

年 報

平成27年度

Annual Report of Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute



中小企業こそがイノベーションを起こす

平成 27 年度は、第二期中期計画（平成 23 年度～平成 27 年度）の最終年度として、自らの技術、製品で市場に打って出る開発型中小企業支援を共同研究やオーダーメイド試験などの事業を通じて注力するとともに、新規事業にも取り組み、多くの中小企業にご利用いただくことができました。

成長産業であるロボット産業への中小企業参入を支援するため、ロボット産業活性化事業を開始し、開発拠点となる「東京ロボット産業支援プラザ」を開設しました。技術開発、試作評価、安全認証技術の支援、事業化を前提とした共同研究の推進など幅広い事業を進めています。7 月には新たなものづくりが期待される金属 AM（3D プリンター）の機器利用サービスを開始し、11 月にはスポーツや健康分野などの製品開発を支援する生活空間計測スタジオ（墨田支所）を開設しました。また、「広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）」による製品輸出のための技術支援に加えて、ASEAN 地域に展開する日系中小企業の現地支援に取り組むため、タイ王国のバンコクに都産技研初の海外拠点となる「バンコク支所」を開設しました。主要事業である依頼試験は約 14 万 5 千件、機器利用は約 13 万件、技術相談は約 14 万件と、昨年度同様の実績となりました。

中国経済の減速や原油価格の下落、株価の急落・為替の乱高下といった金融市場の変動を背景に、依然として中小企業の経営環境には厳しいものがあります。こうした状況を打開していくため、都産技研は平成 28 年度から始まった第三期中期計画においては、第二期に取り組んできた自らの技術、製品で市場に打って出る開発型中小企業の支援から、さらに、海外市場にも積極的に挑戦していく「世界に勝つものづくり支援」を目指してまいります。

主な取り組みとして、今後の成長が期待される「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」を重点研究分野として研究開発事業体制を強化し、中小企業にご活用いただける技術シーズの創出に努めます。また、平成 27 年度より開始したロボット産業活性化事業では 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会を視野に入れた、ロボット技術の実用化、事業化を推進します。開発型中小企業に対する技術支援を強化するため、本部に「3D ものづくりセクター」と「先端材料開発セクター」、多摩テクノプラザに「複合素材開発セクター」を新たに立ち上げます。海外展開支援事業においては、国内製品の海外輸出を支援する「広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）」および東南アジアに展開した日系企業を技術支援するバンコク支所をより一層活用いただくための事業強化に取り組めます。

「中小企業こそがイノベーションを起こす」、その支援こそ都産技研の役割です。研究開発の強化、機器の高度化を図り、中小企業への技術支援、産業活性化支援の充実・強化に取り組んでまいります。中小企業の皆さま、関係機関の皆さまには、一層のご利用・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 6 月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

理事長 奥村 次徳

平成 27 年度 東京都立産業技術研究センター年報

目 次

1. 概要	
1.1 概要	1
1.2 組織	2
2. 技術支援	
2.1 技術相談	3
2.2 総合支援窓口	4
2.2.1 ご利用カード発行状況	4
2.2.2 料金収納状況	4
2.3 実地技術支援事業	5
2.4 依頼試験	6
2.4.1 依頼試験	6
2.4.2 オーダーメイド試験	10
2.4.3 試験所認定制度への取り組み	10
2.4.4 環境計量証明事業の登録	11
2.5 機器整備	12
2.5.1 機器整備一覧	12
2.5.2 経済産業省平成 26 年度補正予算事業による機器整備 およびその取り組み	13
2.6 機器利用	14
2.6.1 機器利用ライセンス制度	15
2.6.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での 予約申し込み受け付けの提供	15
2.7 震災復興技術支援	16
2.7.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免	16
2.7.2 工業製品等の放射線量測定試験	16
2.7.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験	17
2.7.4 節電・省エネ技術支援の実施	17
2.7.5 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業	17
3. 製品開発支援	
3.1 高度分析開発セクター	18
3.2 システムデザインセクター	19
3.3 実証試験セクター	20
3.4 生活技術開発セクター	21
3.5 先端計測加工ラボ	22
3.6 AM（3D プリンター）ラボ	23
3.7 オーダーメイド開発支援	24

3.8	製品開発支援ラボ	24
3.9	共同研究開発室	27
4.	技術経営支援	
4.1	知的財産権の取得	28
4.1.1	知的財産権総括	28
4.1.2	保有する登録済み知的財産権	29
4.1.3	出願案件	41
4.1.4	実施許諾	51
4.1.5	著作権の許諾	52
4.2	海外規格対応の支援	53
4.2.1	広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)	53
4.2.2	バンコク支所	57
4.3	技術審査	59
5.	産学公連携	
5.1	東京イノベーションハブの活用	60
5.2	コーディネート事業	63
5.3	異業種交流事業	63
5.4	業種別交流会	65
5.5	技術研究会	65
5.6	行政等支援機関連携	67
5.6.1	協定・覚書締結一覧	67
5.6.2	大学などとの連携	69
5.6.3	区市町村などとの連携	71
5.6.4	公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携	76
5.6.5	首都圏公設試験研究機関との連携	77
5.6.6	産業技術連携推進会議	79
5.6.7	学協会連携事業	83
6.	研究開発の推進	
6.1	基盤研究	86
6.2	共同研究	91
6.3	外部資金導入研究・調査	94
6.3.1	競争的資金導入研究	94
6.3.2	受託研究	96
6.4	ロボット産業活性化事業	97
6.5	外部発表	99
6.6	職員の受賞	112
6.7	研究評価制度	113
6.7.1	評価方法	113

6.7.2	評価結果	113
6.7.3	平成 27 年度評価員	118
7.	産業人材育成	
7.1	技術セミナー・講習会	119
7.1.1	技術セミナー・講習会一覧	119
7.1.2	重点 4 技術分野フォーラム	127
7.2	オーダーメイドセミナー	130
7.3	職員派遣	131
7.3.1	委員等の派遣	131
7.3.2	講師等の派遣	131
7.3.3	研修学生・インターンシップなどの受け入れ	133
8.	情報発信	
8.1	研究成果発表会	135
8.2	主催イベント	143
8.2.1	施設公開	143
8.2.2	サイエンスアゴラ 2015	145
8.2.3	多摩テクノプラザイベント	145
8.3	施設見学	146
8.4	展示会出展およびセミナーの開催	147
8.4.1	展示会出展	147
8.4.2	ものづくりセミナー	149
8.5	刊行物	150
8.5.1	刊行物一覧	150
8.5.2	年報	151
8.5.3	研究報告	151
8.5.4	TIRI NEWS	151
8.6	ホームページ	152
8.7	マスコミ報道	152
8.8	都産技研メールニュース	175
8.9	図書室	175
9.	業務運営	
9.1	組織運営	176
9.1.1	都産技研戦略ロードマップ	176
9.1.2	業務改革	176
9.1.3	人材育成	177
9.2	都産技研情報システム	178
9.2.1	概要	178
9.2.2	業務運営	178

9.3 業務実績報告書と業務実績評価	179
9.3.1 業務実績報告書の提出	179
9.3.2 業務実績評価	179
9.4 施設整備	181
9.4.1 本部	181
9.4.2 城東支所	181
9.4.3 墨田支所 生活技術開発セクター	182
9.4.4 城南支所	182
9.4.5 多摩テクノプラザ	182
9.5 安全衛生管理	183
9.5.1 放射線安全管理	183
9.5.2 安全衛生管理	186
9.5.3 リスクマネジメント	187
9.6 情報開示	187

資料

1 沿革	188
2 施設	189
3 第二期中期計画・平成 27 年度計画	196
3.1 第二期中期計画	196
3.2 平成 27 年度計画	210
4 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会	223
5 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章	224
6 環境方針	225
7 リスクマネジメントに関する基本方針	226
8 職員名簿	227

1. 概 要

1.1 概要

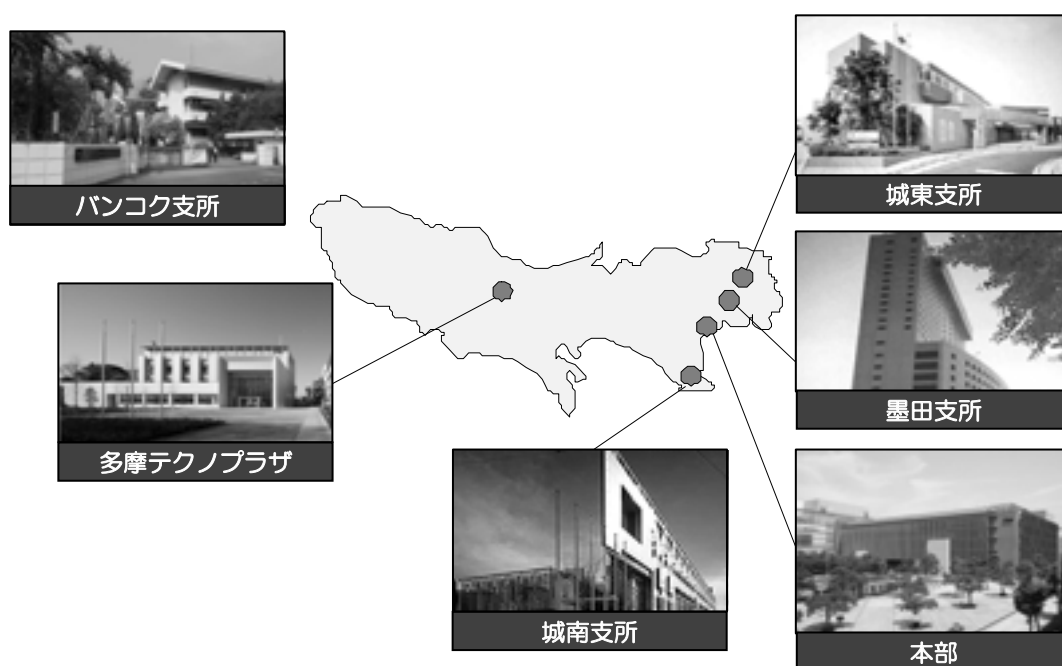
東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は平成 18 年 4 月に全国に先駆けて地方独立行政法人へ移行し、平成 22 年度で第一期中期計画期間の 5 年が終了し、平成 23 年度から第二期中期計画期間を開始した。この第二期においては、従来以上に都内中小企業の技術支援を強化すべく、6 つの方針に基づき活動している。

- (1) ものづくり産業の総合的支援の推進
～高付加価値化、デザイン活用、高信頼性～
- (2) イノベーションの創出・新事業創出型研究の充実
～「環境」、「福祉」、「安全・安心」など大都市課題の解決に貢献～
- (3) 中小企業の国際競争力強化
- (4) サービス産業などへの技術支援サービス拡充
- (5) ものづくりに携わる産業人材の育成
- (6) 震災復興技術支援の推進

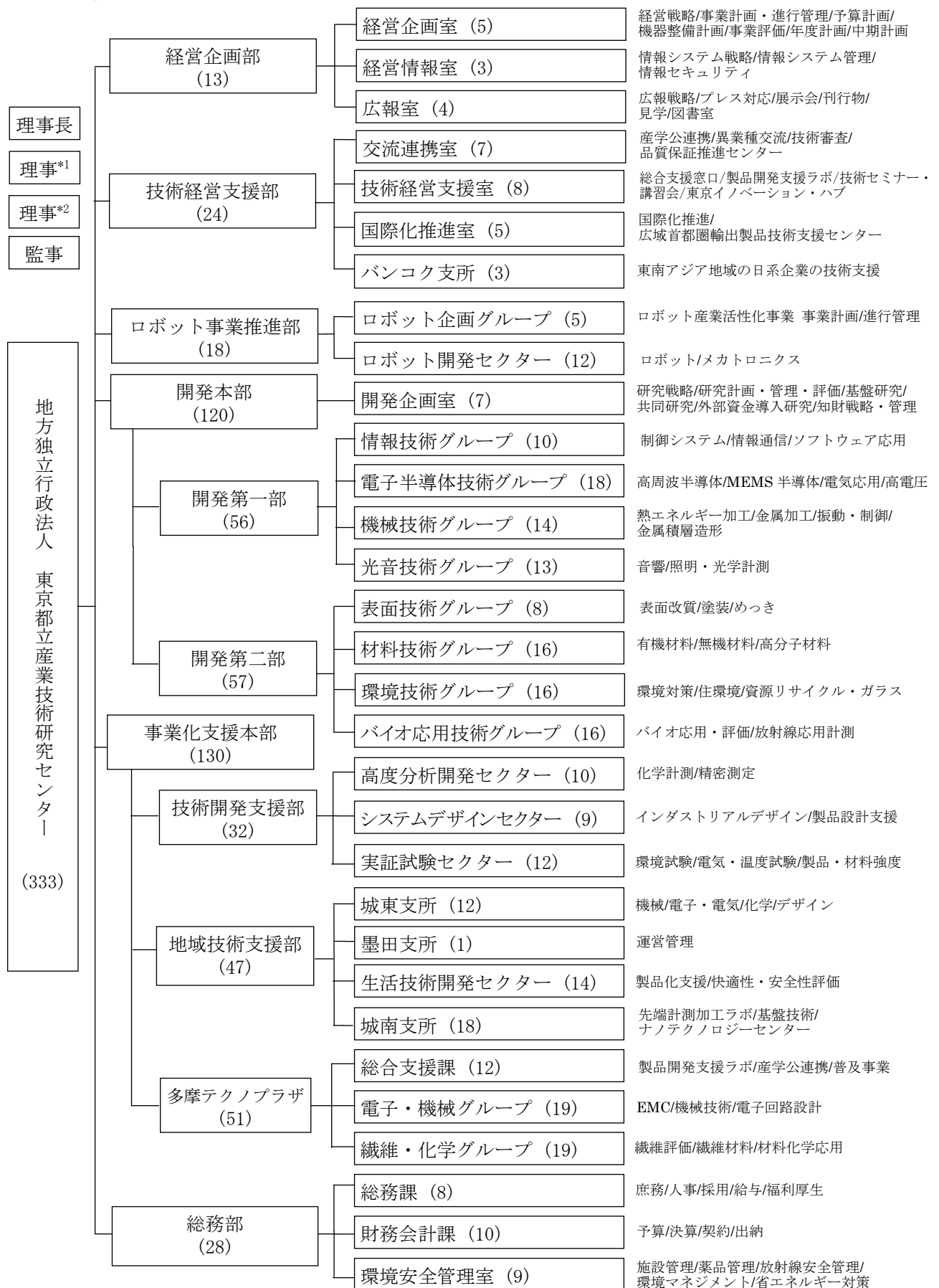
平成 27 年度は、サービスロボットの事業化を支援する目的でロボット事業推進部を 4 月に設置した。ロボットの試作開発から安全・信頼評価まで行うためのロボット開発拠点として「東京ロボット産業支援プラザ」をテレコムセンター内に整備した。

また、海外展開に取り組む中小企業の現地での技術支援を目的として、都産技研としては初めての海外拠点であるバンコク支所を 4 月に開設した。TV 会議システムを活用した技術相談や無料セミナー等によって海外展開した中小企業支援を行っている。

都産技研は都民の期待に応えつつ、中小企業に対する事業化支援、研究開発、技術移転、人材育成などの総合的な技術支援によって、東京の産業発展と都民生活の向上を目指している。



1.2 組織



注1：()内の数字は職員数。ワイドキャリア (12日型、時間型)を含む。(平成28年3月31日現在)

注2：理事*1は開発本部長を兼務。理事*2は事業化支援本部長および地域技術支援本部長を兼務。経営企画部長は経営情報室長、技術経営支援部長は国際化推進室長、ロボット事業推進部長は経営企画室長、開発第一部長は機械技術グループ長、開発第二部長は表面技術グループ長、墨田支所長は生活技術開発セクター長、多摩テクノプラザ所長は総合支援課長、総務部長は財務会計課長をそれぞれ兼務。

2. 技術支援

2.1 技術相談

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。生産現場での支援が必要な場合は、職員や外部専門家を現地に派遣して利用者の要望に応えた。

相談件数は、来所 28,814 件 (20.7%)、電話 52,349 件 (37.6%)、メール 46,292 件 (33.3%)、その他 11,646 件 (8.4%) であり、総相談件数は 139,101 件であった。企業規模別では中小企業 107,499 件 (77.3%) であり、技術分野別では評価技術、材料、エレクトロニクスが多かった。

企業規模別の技術相談件数（件）

区 分	来所	電話	メール	その他	合計	比率(%)
一般	5,672	7,594	10,326	2,231	25,823	18.6
中小企業	22,768	42,677	33,457	8,597	107,499	77.3
中小企業団体	172	1,064	646	166	2,048	1.5
公益法人等	202	1,014	1,863	652	3,731	2.7
合 計	28,814	52,349	46,292	11,646	139,101	100

技術分野別の技術相談件数（件）

区 分	来所	電話	メール	その他	合計	比率(%)
ナノテクノロジー	37	477	394	122	1,030	0.7
IT	547	2,079	2,953	16	5,595	4.0
エレクトロニクス	4,556	5,838	4,904	323	15,621	11.2
システムデザイン	2,119	2,814	2,390	1,339	8,662	6.2
環境	2,058	4,053	3,104	184	9,399	6.8
少子高齢・福祉	435	751	1,063	21	2,270	1.6
バイオテクノロジー	85	591	564	113	1,353	1.0
材料	5,265	9,667	8,183	1,523	24,638	17.7
精密加工	2,013	2,231	2,482	635	7,361	5.3
光音・照明	1,038	2,980	4,067	320	8,405	6.0
繊維	2,579	2,513	1,247	128	6,467	4.6
放射線	648	2,871	3,215	184	6,918	5.0
評価技術	6,182	11,052	6,821	1,431	25,486	18.3
技術連携	42	430	908	281	1,661	1.2
その他	1,210	4,002	3,997	5,026	14,235	10.2
合 計	28,814	52,349	46,292	11,646	139,101	100

2.2 総合支援窓口

2.2.1 ご利用カード発行状況

依頼試験・機器利用等の試験の受け付けをスピーディーに行うために、本部・支所のいずれかで登録すれば、共通して使用できる「ご利用カード」を平成 18 年度から導入した。10 年間で約 4 万 4 千枚のカードを発行し、お客さまへのサービス向上を実現した。

「ご利用カード」発行枚数（枚）

事業所	累計枚数	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 18～22 年度
本部	32,597	3,294	3,200	4,242	4,515	2,923	14,423
城東支所	1,952	181	201	220	132	100	1,118
墨田支所	2,209	296	273	229	184	174	1,053
城南支所	1,871	98	77	105	117	144	1,330
旧駒沢支所	372	—	—	—	—	—	372
多摩テクノプラザ	5,450	732	694	700	754	945	1,625
合 計	44,451	4,601	4,445	5,496	5,702	4,286	19,921

＊本部は旧西が丘本部分、多摩テクノプラザは旧多摩・八王子支所分を含む。

2.2.2 料金収納状況

料金収納方法について、現金以外にお客さまの利便性を考慮して平成 18 年度よりコンビニ収納や銀行振込による取り扱いを開始した。また、平成 20 年度よりクレジットカード（およびデビットカード）による支払いも可能とした。

料金収納状況

支払い方法	現金	コンビニ	銀行振込	クレジットカード	デビットカード	合計
支払い件数（件）	17,728	2,761	9,057	4,047	0	33,593
支払い金額（千円）	181,619	19,926	333,354	82,826	0	617,726
金額比率（％）	29.4	3.2	54.0	13.4	0.0	100

2.3 実地技術支援事業

都内中小企業の要請により、職員や外部専門家（エンジニアリングアドバイザー・技術指導員）が現地に出向き、現場が抱えている技術的諸問題について3種類の方法で技術支援を実施した。

平成27年度は、エンジニアリングアドバイザーによる支援（実地技術支援A）49社218日、技術指導員と職員による支援（実地技術支援B）70日、職員による支援（実地技術支援C）929日であり、技術分野別では、材料、エレクトロニクス、精密加工、システムデザインが多かった。目的別では製品開発、技術開発が多かった。

＜実地技術支援Aの主な支援内容＞

CE マーケティング・海外規格取得に関する支援
 デザイン開発・設計・販売促進に関する支援
 品質管理・品質評価に関する支援
 製造コスト削減と販路開拓
 システム設計・構築に関する支援
 精密機械加工に関する支援

技術分野別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率（％）
ナノテクノロジー	0	0	6	6	0.5
IT	3	0	55	58	4.8
エレクトロニクス	33	7	123	163	13.4
システムデザイン	38	32	52	122	10.0
環境	14	4	90	108	8.9
少子高齢・福祉	0	0	12	12	1.0
バイオテクノロジー	0	3	29	32	2.6
材料	33	9	156	198	16.3
精密加工	40	4	93	137	11.3
光音・照明	16	7	49	72	5.9
繊維	25	0	66	91	7.5
放射線	0	0	7	7	0.6
評価技術	9	1	67	77	6.3
技術連携	0	0	20	20	1.6
その他	7	3	104	114	9.4
合 計	218	70	929	1,127	100

目的別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率（％）
品質証明	9	0	20	29	2.4
品質管理	28	12	109	149	12.2
性能評価	3	4	74	81	6.7
製品開発	107	22	382	511	42.0
技術開発	41	8	133	182	15.0
事故関連	0	2	74	76	6.2
その他	30	22	137	189	15.5
合 計	218	70	929	1,217	100

2.4 依頼試験

2.4.1 依頼試験

中小企業の生産活動に必要な、製品、部品、材料などについて各種の試験、測定、分析、設計を実施し、成績証明書を発行した。製品開発に関わる工業デザインの依頼にも対応した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

平成 27 年度の依頼試験の実績を以下の表に、試験件数の目的別構成比および地域別構成比を図 1 および 2 に示す。

平成 27 年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	試験件数	金額（円）
一 材料試験		
（一）強度試験 引張試験、製品の荷重試験、静的強度試験、硬さ試験ほか	15,933	41,785,352
（二）特性試験 金属材料の疲れ試験、材料の熱膨張試験、耐熱試験ほか	671	9,187,026
（三）組織試験 光学式顕微鏡によるもの、透過型電子顕微鏡によるもの	2,785	7,972,964
（四）非破壊検査 エックス線透過試験、エックス CT スキャン試験、 透過写真判定、線量測定	18,407	21,204,400
（五）塗料の物性試験 碁盤目試験、鉛筆引っかき試験、テーバ式摩耗試験ほか	430	1,126,486
（六）表面処理皮膜試験 皮膜厚さ測定、色彩測定、ボールディスク乾燥摩擦試験ほか	2,178	5,411,666
（七）照射試験 イオン注入装置によるイオン注入、セシウム 137 によるガンマ線 照射	332	579,525
小 計	40,736	87,267,419

試験項目	試験件数	金額（円）
二 精密測定		
（一）機械・器具等の精密測定 長さ測定、表面粗さ・形状測定機による測定、歯車の測定、 走査型白色干渉測定器による測定ほか	3,953	9,046,138
（二）核種等の測定 放射線計数装置、液体シンチレーション計数装置によるものほか	1,875	3,760,886
小 計	5,828	12,807,024
三 化学試験		
（一）化学分析 容量法による試験、重量法による試験ほか	124	591,781
（二）機器分析 赤外線分光光度計、スパーク放電発光分光分析装置、 エネルギー分散型エックス線分析装置、走査型電子顕微鏡、 イオンクロマトグラフによるものほか	8,933	85,711,355
（三）窯業試験 ひずみ観察、表面応力測定、ガラスの破損事故解析ほか	125	477,456
（四）化学製品等の性能試験 製品の防かび試験、耐薬品試験ほか	1,111	5,322,137
小 計	10,293	92,102,729
四 機械器具・装置等の性能試験		
（一）性能試験 耐久試験、応力・ひずみ測定、振動測定・解析ほか	569	1,560,411
（二）メカトロニクス・ロボット性能試験 高速度撮影、落下試験ほか	340	50,244
（三）ロボットによる耐久性試験 低頻度、中頻度、高頻度	547	86,889
小 計	1,456	1,697,524
五 電気試験		
（一）校正試験 電圧計、電流計、抵抗計、抵抗箱、標準電圧電流発生器、 デジタル計器ほか	1,518	1,221,351
（三）測温素子の温度特性試験 熱電対、測温抵抗体	295	1,048,768
（四）保温・保冷効果の測定 放射温度分布の測定、サーモグラフィによる温度測定	2	9,534
（五）絶縁試験 絶縁抵抗試験、耐電圧試験、衝撃耐電圧試験、衝撃電流試験、 絶縁破壊試験、漏れ電流試験ほか	2,743	9,262,315
（六）構造および性能試験 機能的強度試験、温度上昇試験、開閉試験、誘電率・誘電正接試 験、消費電力試験ほか	2,455	8,787,948
（七）部品および材料の電気特性試験 動作特性試験、磁気特性試験ほか	31	88,647

試験項目	試験件数	金額（円）
（九）電子機器・電子部品試験 電子機器特性試験、電子部品試験	2,399	4,537,597
（十）静電気試験 帯電電荷量試験	7	29,197
（十一）電波暗室試験 10m電波暗室、3m電波暗室、電波ノイズ試験室ほか	2,731	25,176,905
小 計	12,181	50,162,262
六 音響試験		
（一）材料の音響特性試験 残響室法吸音率測定、音響透過損失測定、制振性能測定、 垂直入射吸音率測定ほか	4,846	11,620,402
（二）材料および装置の音響特性試験 音圧・騒音・振動レベル測定、オクターブバンド分析ほか	922	4,987,179
小 計	5,768	16,607,581
七 照明試験		
（一）材料試験 反射率・透過率測定、赤外分光放射測定ほか	1,299	15,845,928
（二）機器および光源の試験 光度・光束測定、照度、輝度測定、配光測定、分光放射照度測定、 分光透過率・反射率測定ほか	2,018	17,854,336
小 計	3,317	33,700,264
八 環境試験		
（一）振動試験 動電形振動試験機によるもの(加振、共振、伝達特性、衝撃試験)	2,963	19,541,917
（二）腐食試験 塩水噴霧試験、ガス腐食試験	25,593	21,907,627
（三）耐候性試験 促進耐候試験(サンシャインカーボンアーク灯式、キセノン アーク灯式)、促進耐光試験(紫外線カーボンアーク灯式) ほか	7,351	52,155,544
（四）温湿度試験 恒温試験、恒温恒湿試験、冷熱衝撃試験、温湿度サイクル試験	5,735	11,948,779
小 計	41,642	105,553,867
九 材料および製品の加工		
（一）機械加工 油圧プレス加工、フライス盤加工、旋盤加工ほか	558	2,885,331
（二）冶金加工 鑄造、粉末冶金	11	101,534
（三）金属粉末積層造形品の後加工 熱処理、ビルドプレート、サポート処理、バレル研磨	296	355,297
小 計	865	3,342,162
十 デザイン		
（一）工業デザイン	2,371	872,446

試験項目	試験件数	金額（円）
(三) グラフィックデザイン	13	23,127
小 計	2,384	895,573
十一 繊維製品試験および試験的加工		
(一) 繊維工業用原料および材料・繊維製品等の試験 繊維製品等の物性試験(質量、密度、番手・繊度、引張強さ・伸び率、寸法変化、防水性等)、染色仕上げ加工試験(染色堅ろう度試験、浸染試験等)、ホルムアルデヒド試験、光学的試験、クレーム解析試験ほか	8,572	12,063,625
(二) 繊維製品のデザイン 繊維製品デザイン、織物・ニットの設計・分解ほか	203	231,254
(三) 繊維・編織物等の試験的加工 編織準備(ねん糸、繰り返し、整経等)、 編織(編成)コンピュータ制御編機、染色仕上げ加工	1,939	526,227
小 計	10,714	12,821,106
十二 成績証明書の交付		
成績証明書および成績証明書(副本)の交付ほか	5,649	1,054,339
成績証明書および成績証明書(副本)等の交付に当たって 郵送する場合の手数料等	3,847	1,938,148
小 計	9,496	2,992,487
端数処理に伴う減額		▲60,868
急速料金 依頼試験料金の100%増額	(461)	1,570,370
震災復興技術支援 依頼試験料金の50%減額	(4,072)	▲10,705,980
総 合 計	144,680	410,753,520

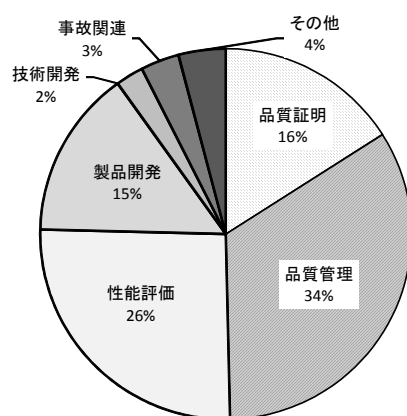


図1 依頼試験件数の目的別構成率

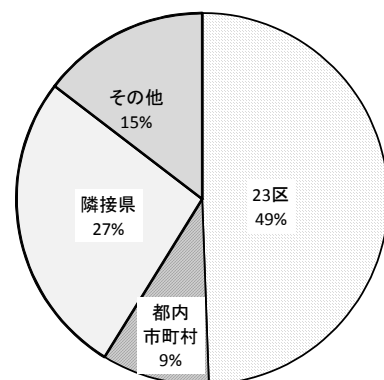


図2 依頼試験件数の地域別構成率

(※隣接県は、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県)

2.4.2 オーダーメイド試験

依頼試験の実施要綱に定められていない試験項目あるいは JIS などの規定にない試験に関してはオーダーメイド試験として対応し、利用者の多様な要望に対応した。

平成 27 年度には、330 件、20,864,310 円を実施した。

オーダーメイド試験の依頼目的は、品質証明 54 件、品質管理 53 件、性能評価 117 件、製品開発 49 件、技術開発 25 件、事故関連 14 件、その他 18 件であった。

2.4.3 試験所認定制度への取り組み

平成 18 年度より、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、平成 20 年 12 月より、英文の校正証明書の発行ができるようになった。これにより都産技研の発行する校正証明書および試験報告書は世界 87 国・地域、90 機関（平成 27 年 12 月現在）で受け入れが認められることとなった。

今年度、新たに JCSS(長さ)認定を取得し、登録分野が 6 分野に拡大した。国際的な試験品質保証体系である事業を推進することで、世界に通用する校正証明書や試験報告書を発行し、都内中小企業の海外における事業展開を積極的に支援している。

(1) 計量法校正事業者登録制度（JCSS）

都産技研本部は、電気（直流抵抗器）および温度（熱電対）の区分で国際 MRA 対応の JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録認定を受けており、ILAC MRA 付き JCSS 認定シンボルの入った校正証明書を発行することができる。そのため都産技研が発行する JCSS 校正証明書は、ILAC に加盟する世界中の国々で有効である。また、長さ（1 次元寸法測定器）の区分で平成 26 年 10 月に申請を行い、平成 27 年 6 月に登録認定を受けた。



当センターは、認定基準として ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

当センターは、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0184 は、当センターの認定番号です。

(2) 多摩テクノプラザ EMC サイトの試験所認定制度（VLAC）

多摩テクノプラザ EMC サイトは、平成 25 年 2 月に株式会社電磁環境試験所認定センター（VLAC）より ISO/IEC 17025 試験所認定を受けた。認定範囲は、VCCI、FCC、CSISPR22、EN55022、J55022（4 章）の規格に基づいた 10m 法電波暗室での放射妨害波試験、伝導妨害波試験（電源ポート）および伝導妨害波試験（通信ポート）の EMC 試験である。平成 25 年度から認定範囲における規格適合確認試験を開始した。さらに、英文の試験成績書の発行も実施した。平成 28 年 1 月には VLAC のサーベイランスにより試験適合評価を受けた。



(3) 試験事業者登録制度（JNLA）登録

都産技研本部は、平成 26 年 10 月に独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）より、照明分野における JNLA 試験事業者として国際 MRA に対応した登録認定を受けた。続けて平成 27 年 1 月には鉄鋼・非鉄金属分野における登録認定も受けた。これにより、照明器具電气的特性試験（全光束、消費電力）、光源色試験（色彩）および金属材料引張試験では、国際相互承認シンボルを付与した試験報告書の発行が可能となった。また、平成 26 年 11 月より施行された、電球形 LED ランプのトップランナー制度適合性確認試験も対応可能となり、平成 27 年度は 38 件実施した。



当センターは、APLAC 及び ILAC の相互承認の署名者である IAJapan により認定された試験所であり、認定国際基準に対応しています。

JNLA 140361JP は当センターの認定番号です。

2.4.4 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、平成 20 年 4 月に区分「濃度」、平成 21 年 3 月に区分「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。平成 23 年 10 月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。計量証明用設備の管理を徹底し、担当者のスキル向上に取り組むことで、充実した受け入れ態勢を継続している。

2.5 機器整備

2.5.1 機器整備一覧

平成 27 年度は、繊維・化学グループ関連の機器などニーズに対応した分野の機器や、平成 27 年 11 月に開設した生活技術開発セクター内の生活空間計測スタジオ用の機器を中心に全 29 機種を整備した。平成 27 年度の主要な機器整備は以下の通りである。

平成 27 年度機器整備実績

	機 器 名	事業所	組織
1	高速通信受信耐性試験システム	本部	情報技術 G
2	CNC 普通旋盤		機械技術 G
3	絞り試験機（薄板成形試験機）※JKA 補助		機械技術 G
4	遮音性能測定装置		光音技術 G
5	配光測定装置		光音技術 G
6	簡易型電子顕微鏡		表面技術 G
7	顕微紫外ラマン分光装置		表面技術 G
8	マイクロフォーカス X 線 CT スキャン装置		バイオ応用技術 G
9	超純水製造装置		高度分析開発 S
10	標準校正器		実証試験 S
11	熱拡散率測定装置		実証試験 S
12	ファインカッター	城東支所	城東支所
13	全身 3D デジタイザ	墨田支所	生活技術開発 S
14	シート型圧力測定器		生活技術開発 S
15	トレッドミル		生活技術開発 S
16	身長計付き体組成計		生活技術開発 S
17	ハプティックスキルロガー		生活技術開発 S
18	モーションスーツ		生活技術開発 S
19	マルチトレーニングジム		生活技術開発 S
20	シグナルコンディショナ	城南支所	城南支所
21	カーボン・アラミド繊維用織機	多摩 テクノ プラザ	繊維・化学 G
22	裁断機		繊維・化学 G
23	オートクレーブ		繊維・化学 G
24	プラズマ表面処理装置		繊維・化学 G
25	X 線 CT 装置		繊維・化学 G
26	X 線光電子分光分析装置		繊維・化学 G
27	超音波検査装置		繊維・化学 G
28	フレームシステム		繊維・化学 G
29	複合材料成形システム		繊維・化学 G

※組織名の表記について、「G」グループの略、「S」セクターの略。

※公益財団法人 JKA の公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業による。

2.5.2 経済産業省平成 26 年度補正予算事業による機器整備およびその取り組み

経済産業省平成 26 年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」（戦略分野オープンイノベーション環境整備事業）に応募し、「関東圏と関西圏の広域連携による医療機器産業競争力強化事業」が平成 27 年 4 月 30 日付で採択された。

本事業は、関東圏で公設試連携体を構成している 5 公設試（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市）と関西圏で公設試連携している 2 公設試（大阪府、大阪市）の 7 公設試が広域連携することにより、これまで個別に国際戦略特区などで実施していた医療機器産業支援を包括的かつ効果的に実施できる体制を整備し、公設試単独では対応が困難であった高度医療機器の開発支援や海外への製品輸出支援を連携して実施することを目的とする。

(1) 機器整備

7 公設試に計 7 機種を導入した。うち都産技研では、低電圧電子顕微鏡（卓上型透過電子顕微鏡）をバイオ応用技術グループに導入した。

(2) 導入機器の利用促進に向けた活動

1) 利用普及セミナーの開催

本事業で整備した機器を効果的・効率的に活用するため、普及セミナーを開催した。

利用普及セミナーの開催状況

開催年月日	開催場所	タイトル	参加者数 (人)
平成 28 年 3 月 16 日	本部	電顕観察技術を用いた医療機器開発支援	10

2) 利用促進活動

本事業の利用拡大を目的に、連携公設試の導入機器・医療機器産業支援事例の紹介パンフレットを 1,000 部発行し、利用普及セミナーなどで配布した。

また、展示会等で、本事業の紹介および各公設試の事業紹介を行った。

利用促進活動

開催年月日	開催場所	イベント名
平成 27 年 11 月 18 日～20 日	東京ビッグサイト	産業交流展 2015
平成 27 年 12 月 1 日	大阪産業創造館	大阪市立工業研究所・大阪府立産業技術総合研究所 合同発表会

3) 各公設試が保有する機器の WEB 検索システム広域連携

T K F ホームページ内の設備検索ページに、関西ラボねっとの設備検索ページのリンクを貼り、本事業を利用する中小企業の利便性向上を図った。

2.6 機器利用

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスを行った。平成 27 年度の機器利用の実績は以下の通りである。

平成 27 年度機器利用（試験項目別）実績

No.	機 器 利 用 試 験 項 目	件数	金額（円）
1	指示計器（絶縁抵抗計）	65	41,575
2	定数測定器・測定用素子（ミリオームメータ）	257	116,542
3	電圧・周波数測定器（デジタルマルチメータ）	288	93,600
4	信号発生器および発振器（高周波ノイズシミュレータ）	2,052	1,687,521
5	校正装置（計器用変成器）	88	10,511
6	波形測定器・記録装置（温度記録計）	3,210	3,795,349
7	電源装置その他（電圧調整器）	1,886	1,242,311
8	試験機械（万能試験機）	3,196	2,795,220
9	測定機器（三次元測定機）	8,319	15,637,270
10	環境試験機器（恒温恒湿槽）	39,681	43,231,617
11	試験機器（耐電圧試験器）	289	313,258
12	記録解析装置（デジタルシリアルアナライザ）	331	653,306
13	観察機器（マイクロフォーカス X 線 CT）	3,519	12,767,670
14	クリーンルームおよび関連機器（クリーンルーム）	663	474,936
15	加工機器（プリント配線板試作装置）	11	45,685
16	切削加工機械（普通旋盤）	1,332	881,666
17	設計・生産支援装置（ナイロン粉末造形装置）	36,481	45,409,950
18	ナノテクノロジー加工装置（レーザーマーカ）	429	900,905
19	その他の加工機械（マイクロハイスコープ）	2,981	1,962,641
20	繊維計測・生産加工機器（インクジェットプリントシステム）	4,766	4,772,252
21	電波暗室・測定システム（シールドルーム）	3,947	7,393,323
22	メカトロニクス試験・ロボット開発支援機器・計測制御機器	2,040	344,421
23	生活科学計測機器	4,189	10,789,682
24	指導料（機器利用指導、放射線施設利用に伴う技術指導）	10,577	13,708,874
端数処理に伴う減額			▲64,365
震災復興技術支援 機器利用料金の 50%減額		(3,838)	▲2,883,550
総 合 計		130,597	166,122,170

2.6.1 機器利用ライセンス制度

平成 24 年 2 月から、機器利用ライセンス制度を導入し、今まで要望が多かった機能が高度で操作に習熟が必要な装置を機器利用事業の対象機器とした。今年度は、昨年度の 12 機種から 4 機種を増やし、合計 16 機種を対象機器とした。利用希望者には利用方法習得セミナーを受講後「機器利用ライセンスカード」を交付した。平成 27 年度は 125 枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は、388 枚となった。

「機器利用ライセンスカード」発行枚数（累計）

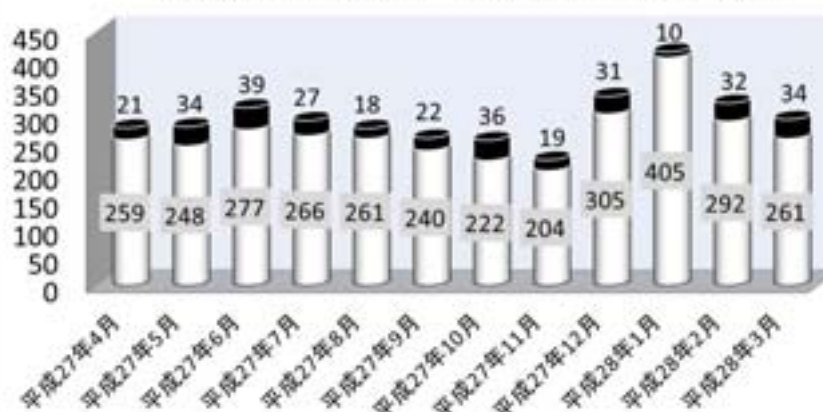
ライセンス制度対象機器	発行枚数（枚）
分析機能付き走査電子顕微鏡	147
キセノンフラッシュアナライザー	58
スタジオ撮影システム	7
蛍光 X 線分析装置(波長分散型)	16
X 線回折装置	51
マグネトロンスパッタ	2
スクラッチ試験機	22
万能試験機（20kN）	15
万能試験機（100kN）	15
絶対 PL 量子収率測定装置	5
音響管 *	5
ハイパワーキセノンフラッシュアナライザー *	5
フーリエ変換赤外分光光度計 *	1
分析機能付き走査電子顕微鏡（多摩テクノプラザ）	13
走査型白色干渉測定機（多摩テクノプラザ）	23
分析機能付き走査電子顕微鏡（城南支所）*	3

* 平成 27 年度追加対象機器

2.6.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での予約申し込み受け付けの提供

ホームページ上で機器利用可能情報、機器の仕様などの情報提供を平成 23 年度から実証試験セクターの機器利用設備において開始した。今年度は多摩テクノプラザや全支所の機器利用設備を新たに加えて 449 機種（本部：215 機種、多摩テクノプラザ：94 機種、城東支所：43 機種、墨田支所：66 機種、城南支所：31 機種）の情報提供を開始した。実証試験セクターの予約可能 29 機種については、インターネット経由での予約申し込み受け付けを継続して行った。

環境試験機器年間月別予約日数
(上段:オンライン予約分 下段:電話・メール等予約分)



2.7 震災復興技術支援

2.7.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免

東日本大震災で直接的・間接的に大きな影響を受けた中小企業を支援するため、平成 23 年度から開始した依頼試験料金などの 50%減額は、平成 27 年度も特定被災区域および都内の中小企業を対象として継続実施した。

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、青森県、千葉県、新潟県、長野県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 5 号（ハ）」または「東日本大震災復興緊急保証」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

平成 27 年度利用実績： 7,910 件（依頼試験＋機器利用件数合計）

1 件（オーダーメイド試験）

2 件（オーダーメイド開発支援）

2.7.2 工業製品等の放射線量測定試験

東京電力福島第一原子力発電所事故による都内工業製品の風評被害を防ぐために開始した放射線量測定と成績証明書の発行を継続実施した。また、都内中小企業からの依頼試験手数料の無料および大型試験品についての出張測定についても継続した。平成 27 年度の試験実績は以下の通りである。

平成 27 年度試験実績

	持ち込み試験		出張試験	
	実施件数	成績証明書 発行枚数	実施件数	成績証明書 発行枚数
都内中小企業	105	95	6	6
都内中小企業以外	0	0	0	0
都外企業	0	0	0	0
合 計	105	95	6	6

2.7.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験

都産技研は平成 19 年 3 月に東京都産業労働局と締結した「放射線物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、空間線量率測定および大気浮遊塵の放射線量測定を平成 27 年度も継続実施した。

(1) 空間線量率測定

本部に設置したモニタリングポストによりデータ収集を継続実施した。平成 24 年 4 月 11 日から、測定結果は東京都健康安全研究センターのホームページに都内他地域の測定結果とともに公表している。

(2) 大気浮遊塵の放射能測定

都産技研では昭和 50 年から継続的に環境放射能の測定を旧駒沢支所（世田谷区深沢）で実施していた。本部移転後も平成 23 年 10 月 13 日から捕集を開始し、測定を継続実施した。I-131、I-132、Cs-134、Cs-137 の測定結果は、東京都産業労働局ホームページで毎日公表されている。なお、平成 28 年 1 月に発生した北朝鮮の地下核実験に対して、東京都との協定に基づき緊急測定体制を整備して測定結果を速やかに東京都に報告した。また、平成 28 年 1 月 6 日の北朝鮮の核実験の実施を受け、1 月 6 日 16 時から 1 月 15 日 16 時まで捕集時間を通常の 24 時間ごとから 8 時間ごと（1 日 3 回）に変更し、測定対応した。

2.7.4 節電・省エネ技術支援の実施

平成 23 年 6 月 27 日に開始した工場などで使用する照明器具の照度・電力、エアコンの電力、温度分布などの現場での測定（省エネ巡回）を、平成 27 年度も無料で継続実施した。

・平成 27 年度節電・省エネ技術支援実施回数（省エネ巡回実施回数） 計 5 回

2.7.5 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業

都産技研は全国 68 機関で構成される全国公立鉦工業試験研究機関長協議会の会長機関として、放射線・放射能の正しい理解を促す目的で平成 23 年度に作成した企業向けの放射線対策ガイドを平成 27 年度も無料で配布した。

・技術冊子の配付

書 名：「放射線・放射能の基礎と測定の実際」（平成 23 年 1 月 31 日発行）

配布部数： 120 部

3. 製品開発支援

3.1 高度分析開発セクター

「高度分析開発セクター」では、中小企業による高度な研究開発や技術的課題の解決を支援するため、機能性材料、環境対応製品、高精度加工製品などの開発や、製品の不具合発生の原因究明などを行っており、高度で先端的機器を本部1階に集中的に設置している。

高度分析開発セクターは、表面・微小領域の観察や成分分析ならびに物質の構造解析などを行う化学計測分野と高精度な形状計測を行う精密測定分野で構成されている。

化学計測の主な装置は、透過電子顕微鏡、走査電子顕微鏡、X線光電子分光分析装置、誘導結合プラズマ質量分析装置、蛍光X線分析装置、X線回折装置、核磁気共鳴分析装置、集束イオンビーム装置、ラザフォード後方散乱分析/弾性反跳検出分析装置などがある。

精密測定の主な装置は、三次元座標測定機、超高精度形状測定機、走査型白色干渉計、高精度画像測定機、真円度測定機、表面粗さ測定機、レーザー測長器、レーザー干渉計などがある。

(1) ライセンス制度による機器利用

機能が高度で操作に習熟が必要な分析機能付き走査電子顕微鏡、X線回折装置および波長分散型蛍光X線分析装置については、利用方法習得セミナー受講者に対してライセンスを発行して、機器利用に供している。

平成27年度の新規ライセンス発行数は、分析機能付き走査電子顕微鏡31枚、X線回折装置25枚、蛍光X線分析装置（波長分散型）5枚、合計61枚である。なおライセンス制機器利用開始時からの発行累計は、合計223枚である。

(2) 高度産業人材育成

高度化する研究開発や製品開発に高度分析開発セクターの機器を活用していただくために、以下の二つの講習会を開催した。

- ・「測定器具の使用方法和精度管理」
- ・「電子顕微鏡と関連技術」

(3) 機能性材料開発技術の応用展開

ナノ粒子製造技術を応用展開し、中小企業と共同研究を行い、表面強化層評価装置の製品化につなげた。

平成27年度の高度分析開発セクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次の通りである。

高度分析開発セクター利用実績（件）

平成27年度利用実績	8,636
------------	-------

3.2 システムデザインセクター

「システムデザインセクター」では、ブランド化を目指した商品企画、デザイン（外観意匠）開発、試作、販売促進まで一貫して支援を行っており、ハード・ソフト面から企業をバックアップし、事業化・商品化の総合支援を目指した取り組みを強化、実施している。

デザイン依頼試験、オーダーメイド開発支援、機器利用（主な装置：大判プリンター、シールプリンター等 2D 出力、商品撮影システム、高速造形機・試作用 3D 切削機等）、創作実験ギャラリー、デザイン支援室、実践セミナー室を活用した高度産業人材育成セミナー（ブランド確立実践ワークショップ）や造形の基本となる 3D-CAD ソフト講習会を数多く開催している。

(1) 保有機器

インダストリアルデザイン支援

グラフィックデザインシステム（フォトショップ、イラストレータ）、大判プリンター、印刷カンパ用プリンター、シールプリンター、3D切削モデリングマシン、映像編集システム、スタジオ撮影システム、レーザー加工機

製品設計支援

三次元モデリングシステム、三次元CAD/CAE（構造解析、機構解析 他）、非接触三次元デジタイザ、卓上3Dスキャナー、高速造形機（大型機、高精細機2台）、X線CT、製品複合試験器、小型製品耐衝撃性解析システム、非接触同時多点計測システム

(2) 高度産業人材育成（ブランド確立実践ワークショップ）

事業化＝ブランド化のための「商品企画基礎講座」、「販売促進企画講座」に加え、サービス産業人材（デザイナー）育成のために事業構想からマーケティングまでを企業にアドバイスできるデザイナーを育成するために「デザインアドバイザー養成講座」を開催した。

平成 27 年度のシステムデザインセクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次の通りである。

システムデザインセクター利用実績（件）

平成 27 年度利用実績	31,130
--------------	--------

3.3 実証試験セクター

「実証試験セクター」では、中小企業の安全で信頼性の高い製品を開発するために必要な、温湿度・劣化、振動・衝撃、電気・耐ノイズの試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援ができるよう環境試験機器を集約した。

平成 27 年度は、迅速かつ効率的な試験サービスの拡充と、各種規格などに対応した質の高い試験業務の拡大を行った。

(1) 実証試験セクターのサービス拡充

実証試験セクターは、環境試験、電気・温度試験、製品・材料強度の各技術分野において製品の品質評価支援を行っている。

本部 2 階にある実証試験セクター窓口では、温湿度試験機などの機器利用予約情報、稼働状況、装置仕様を 60 インチディスプレイなどにより表示・提供している。また、装置と機器利用の概要をまとめたわかりやすい機器利用ガイドについては、平成 26 年度に作成した恒温恒湿槽編、振動・衝撃・EMC 試験編、強度試験編の内容をリニューアルして配布した。

ホームページでは、温湿度試験機や EMC 試験機、万能試験機など、49 機種 of 機器利用予約情報、機器仕様などの提供を行っている。ウェブサイトからのオンライン予約が可能な 29 機種については、平成 26 年度に引き続き継続実施した。

(2) 対応可能な規格試験の拡大

熱拡散率測定装置、および熱伝導率測定装置について、機器を導入してマニュアルを整備した。熱拡散率測定装置では、ASTM E 1461、JIS R 1611 の規格に基づく熱拡散率測定が可能となった。熱伝導率測定装置では、JIS A 1412-2、ISO 8301、ASTM C 518、DIN EN12667 の規格に完全準拠した定常法による熱伝導率測定が可能になった。

(3) 試験所認定および校正事業者登録による国際化支援

電気（直流抵抗器）、および温度（熱電対）の校正試験については、平成 26 年度に引き続き JCSS 校正試験を実施した。また、鉄鋼（金属材料引張試験）については、平成 26 年度に引き続き JNLA 試験を実施した。

(4) 利用促進 PR 活動

本部 3 セクターを 1 冊にまとめた紹介パンフレットを作成し、認知度向上と利用者増、事業目標達成につながる PR 展開を行った。ホームページでは実証試験セクターサイトの充実、強化を図り利便性を向上させた。また、PR 用動画を展示会や見学などで活用した。

平成 27 年度の実証試験セクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次の通りである。

実証試験セクター利用実績（件）

平成 27 年度利用実績	64, 194
--------------	---------

3.4 生活技術開発セクター

(1) 生活空間計測スタジオの新設

生活関連製品に求められる「快適・健康」、「安全・安心」、「使いやすさ」に関する機能・性能についての評価機器に加え、生活空間の中で製品使用時の人間の動きや特性を計測し、客観的なデータ収集・解析を可能とする生活空間計測スタジオを 11 月に開設した。全身 3D デジタイザや人体モーション計測システム等 7 機種を新たに整備し、平成 26 年度に新設した生活製品開発ラボ（カラー AM, レーザー加工機等）と連携して利用することにより使用感の評価を反映した試作が可能となった。

(2) 利用促進に向けた活動

- 1) 生活空間計測スタジオオープン記念セミナー「ものづくりに活かす人間計測」開催
（墨田支所、10 月 29 日開催、参加者：68 名）

講師：門田浩二 氏（大阪大学医学系研究科 助教）

題目：「どう感じ、どう動くべきか？～身体の動きと感覚からみた動作の巧みさ～」

- 2) 情報発信

日本経済新聞等による記事掲載や繊維学会誌への広告掲載を行った。また、感性工学会年次大会へ都産技研として初めて出展を行い（9 月）、PR を行った。

(3) 外部機関との連携

地方独立行政法人北海道立総合研究機構、広島県立総合技術研究所、埼玉県産業技術総合センター等 計 12 道府県と各種連携事業を推進した。

- 1) 人間生活工学機器データベース DHuLE（デューレ）

各公設試の人間計測に関連した機器の DB を構築した。（平成 28 年 4 月公開）

- 2) 産業技術連携推進会議 人間生活工学研究会

医療福祉分科会を母体として研究会を立ち上げた。（平成 28 年 4 月設立）

- 3) 東京オリンピック・パラリンピックに向けたクールジャパンセッション

研究成果発表会（6 月）でセッションを開催し、公設試 4 機関（岐阜、長野、富山、福岡）から人間工学系の取り組みを紹介した。

(4) 利用実績

- 1) 機器利用・相談事例

- ① 日射環境試験装置

- ・屋外無線基地局、太陽光発電機、冷凍機の霜取り機能評価

- ② 生活空間計測スタジオ

- ・ベビーカーの形状やハンドルの高さが操作者の筋活動に及ぼす影響の定量化
- ・ベッド仰臥時の頸部の角度の違いが嚥下の筋活動に及ぼす影響の定量化

- ③ 生活製品開発ラボ

- ・はさみの意匠デザイン、小型ホビーロボット部品（ボールジョイント）

生活技術開発セクター利用実績（件）

平成 27 年度利用実績	16,717
--------------	--------

3.5 先端計測加工ラボ

(1) 役割・機能

平成 26 年 12 月に、機械・化学・材料分野からなる「先端計測加工ラボ」を開設した。航空機産業支援、医工連携産業支援、海外展開支援をキーワードに、多くの新鋭装置を導入し、リバースエンジニアリングや試作品・開発品の包括的安全性評価を実現することで、高付加価値ものづくりによる事業化を技術面で支援している。

(2) 利用促進に向けた活動

1) 大田区産業振興協会共催セミナー

- ① 第 1 回 8 月 25 日 三次元計測技術の最前線 参加者 58 名
- ② 第 2 回 9 月 15 日 試作加工技術の最前線 参加者 38 名
- ③ 第 3 回 10 月 19 日 化学特性評価の最前線 参加者 20 名

2) 先端計測加工ラボ 1 周年記念講演会(12 月 22 日)(参加者 91 名)

- ① 第一部基調講演 講師：菊田鉄夫 氏(Aerospace K's consulting 代表)
「航空機業界への新規参入、既参入企業の更なる成長戦略について」
- ② 第二部基調講演 講師：内田毅彦 氏(株式会社日本医療機器開発機構 代表取締役)
「町工場から世界へ、医療イノベーションの現状と将来」

3) 施設公開・展示会への出展

- ① 第 11 回さわやか信用金庫ビジネスフェア(6 月)
- ② 第 8 回大田区加工技術展示商談会(7 月)
- ③ 施設公開(10 月)
- ④ 第 5 回おおた研究開発フェア(10 月)
- ⑤ 産業交流展(11 月)
- ⑥ 第 20 回おおた工業フェア(2 月、初出展)

4) 見学の受け入れ

中小企業、連携金融機関など 件数:23 件 延べ人数:192 人

(3) 新たな取り組み

- 1) 併走型技術支援：中小企業 10 社と展開中である。国際的医療機器展示会(COMPAMED)の出展企業を事前訪問し、製品のデータ補充のための依頼試験を実施。展示会に同行して製品の技術的優位性を P R した。
- 2) 業務提携中の金融機関に同行した企業訪問：潜在顧客の開拓と企業の技術力評価に向けて連携した。

(4) 利用実績

1) 依頼試験事例

- ① 非接触式三次元寸法測定機：インプラント（医療用材料）の寸法計測
- ② X 線透視・CT システム：医療用精密試作品、流体噴霧部品の内部観察
航空機速度計の透視観察
- ③ 耐候性試験装置：誘導灯（飛行場灯火）の耐候性評価

- 2) 先端計測加工ラボの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次の通りである。

平成 27 年度利用実績(件)	28,856
-----------------	--------

3.6 AM（3Dプリンター）ラボ

(1) AM（3Dプリンター）ラボの開設

3次元積層造形装置(3Dプリンター)による3Dデジタルものづくり支援を強化するため、平成27年7月1日より、新たに金属粉末積層造形装置による機器利用サービスを開始した。これに合わせて金属粉末積層造形装置を中心とした「AM（3Dプリンター）ラボ1」を本部門内に開設し、運用中のナイロン粉末積層造形装置を中心とした実験室を「AM（3Dプリンター）ラボ2」と改称し、総合的な支援体制により開発型中小企業の高付加価値のものづくり支援体制を構築した。

(2) AM（3Dプリンター）ラボ1の機能

1) 金属粉末積層造形による試作開発を総合的に支援

金属製部品等の試作、およびビルドプレートからの切り離しやサポートの除去など造形後の後加工まで一貫した支援により、実際に組み立てて最終製品に近い環境でテストを行うなど、開発型中小企業の高度な試作開発を可能とした。

2) 機器整備

新たに開設した「AM（3Dプリンター）ラボ1」に整備した機器は以下の8機種である。

- ・造形装置・・・金属粉末積層造形装置
- ・後加工装置・・・ワイヤ放電加工機、コンタマシン、ブラスト装置、バレル研磨機、熱処理炉、マシニングセンタ、CNC 普通旋盤

(3) 利用促進に向けた活動

1) 広報活動

① プレス発表（2回）

② 新聞等掲載

日刊工業新聞、TIRI NEWS、金属産業新聞、鉄鋼新聞

③ パンフレット作成

「AM（3Dプリンター）ラボ1」パンフレット：2,000部

「AM（3Dプリンター）ラボ2」パンフレット：1,000部

2) 施設公開・展示会への出展

① INNOVESTA!2015（6月）特別講演、見学会

② 産業交流展（11月）出展

③ 3D Printing 展（1月）出展

3) 無料セミナー

SIP_MIAMO プロジェクトとの共催セミナー「『Additive Manufacturing（AM:3Dプリンター）が築く新たなものづくり』の最新動向とビジネス展開」（12月）

4) 見学の受け入れ

中小企業、連携金融機関、連携団体、大学、公設試験研究機関などから見学受け入れ

(4) 利用実績（7月～3月）

1) 金属粉末積層造形（機器利用）：624件

2) 造形後の後加工（依頼試験）：264件

3.7 オーダーメイド開発支援

中小企業の製品開発における上流工程・上流設計支援を目的に、オーダーメイド開発支援事業を平成 21 年 6 月に開始した。主にデザイン、設計、加工、試作等の分野で、開発過程でのデータ収集、測定、性能評価等も対象とした。複雑で高度化する企業のニーズに対し、従来制度である依頼試験や受託研究での対応では、支援内容が制度にマッチしない事例が発生していたが、オーダーメイド開発支援事業の開始により、都産技研が保有する機器・設備と、職員の人的能力を最大限に活用して、中小企業の製品開発を有効に支援できるようにした。成果において特許、実用新案が発生する場合は、必要に応じて都産技研・利用者と協議し、契約を結ぶことも可能である。

平成 27 年度は、535 件のオーダーメイド開発支援を実施した。

平成 27 年度オーダーメイド開発支援例

開発支援品	開発支援事項	目的
電子基板	非破壊検査による経年劣化評価	性能評価
家庭用洗剤	販売用パッケージのデザイン設計	製品開発
業務用加湿器	霧の粒子径分布測定による性能評価	製品開発

平成 27 年度実績

535 件	17,834,860 円
-------	--------------

3.8 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、平成 18 年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に 3 室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、平成 22 年 2 月、多摩テクノプラザ開設時に 24 時間利用可能なラボを 5 室設置、平成 23 年 10 月、本部開設時には新たに 18 室設置し、平成 24 年 10 月からは増室により 19 室とし、合計 24 室を製品開発支援のために提供している。

製品開発支援ラボは、①都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、②24 時間利用できる、③ラボマネージャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特徴がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実に努めている。また、本部・多摩テクノプラザ、それぞれにラボマネージャーを配置している。

入居者はホームページやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。平成 28 年 3 月 31 日現在、本部ラボ（19 室）は、18 室が利用中であり、多摩テクノプラザラボ（5 室）は満室である。

本部

室番号	企業名	利用の概要	契約期間
301	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成25年 6月 1日 ～平成28年 5月31日
302	美浜(株)	電気を使用しない触媒ヒーターの開発と製品化	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	ハードロック工業(株)	宇宙航空機産業参入のため、新製品開発とボルト締結体基礎物性を把握する	平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
303	(株)NejiLaw	「史上初の緩むことのないネジ技術」の各産業分野、各種製品への応用、実用化	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	ティエムファクトリ(株)	「透明な断熱性を有するエアロゲル」の製品化	平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
304	(株)サイトライン・ソリューションズ	マイクロアレイや次世代シーケンサーのデータ解析システムの開発	平成27年11月16日 ～平成29年10月31日
			平成25年10月 1日 ～平成27年 8月31日
305	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成27年 9月 1日 ～平成28年 8月31日
			平成24年10月 1日 ～平成27年 9月30日
306	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化	平成27年10月 1日 ～平成28年 9月30日
307	(株)アトシン	高齢者の安否確認・位置検知機能を有した見守りシステム等を開発	平成25年10月 1日 ～平成28年 9月30日
308	ヤマト化工(株)	漆と植物繊維による成形材料「サスティーモ」事業の効率的な事業推進	平成25年11月15日 ～平成27年 9月30日
	(株)トリマティス	光通信技術と制御回路技術をもとにレーザー光源と電源の開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
309	ジョイントリンク(株)	組込系製品と関連 IT サービスの開発	平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
			平成28年 1月 1日 ～平成30年12月31日
310	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成26年 4月 1日 ～平成29年 3月31日
311	(株)ジャパンユニックス	レーザーならびに超音波はんだ付けロボットの研究開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
		はんだこて先具材の研究開発	平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
312	(株)新日本電波吸収体	小型無線機器及びEV/HV 車 ECU ユニット向けノイズ吸収抑制塗料の開発・評価及び効果検証	平成26年10月 1日 ～平成29年 9月30日
	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日

室番号	企業名	利用の概要	契約期間
313	(株)バイオマステクノロジー	バイオマス樹脂成型加工品の分析、評価、課題抽出および解析等多様な要求事項に対する課題解決	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
			平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
			平成27年10月 1日 ～平成28年 9月30日
314	(株)ティ・エフ・ディ	光波、電磁波を応用した臨床検査、計測機器の研究と開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
			平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
			平成27年10月 1日 ～平成28年 9月30日
315	サンケイエンジニアリング(有)	加熱機器(過熱水蒸気、過熱水蒸気プラズマ等)の開発および各業界での実用化に向けた共同開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
			平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
316	(株)ジャパンリフォーム	マンション・複合ビルに伴う維持管理・保全における改修工法・技術研究	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	日本電熱(株)	過熱蒸気発生機器関連の開発および爆砕処理とそれによる残渣の利用開発	平成26年10月 1日 ～平成29年 9月30日
317	大東潤滑(株)	グリースやエアゾール、エンジニアリング・プラスチック等の新製品の設計開発および性能等実験調査	平成25年10月 1日 ～平成26年 9月30日
			平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
			平成27年10月 1日 ～平成28年 9月30日
318	(株)MIRAI	レアメタル等希少金属の精製方法の研究開発および地熱エネルギーの研究および開発等	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	(株)TBM	フィラー高充填シートの開発	平成26年11月 1日 ～平成29年10月31日
319	(株)CDM コンサルティング	水熱爆砕処理技術を利用したセシウム除去システムの開発等	平成24年 4月 1日 ～平成27年 3月31日
			平成27年 4月 1日 ～平成28年 3月31日

多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要	契約期間
ラボ 1	(株)ヒサワ技研	大電流回転接続コネクタの開発高温環境用接続コネクタの開発	平成22年 8月 1日 ～平成25年 7月31日
			平成25年 8月 1日 ～平成26年 7月31日
			平成26年 8月 1日 ～平成27年 7月31日
ラボ 2	(株)EVTD 研究所	知見を有す電動車両技術を踏まえ、家庭向け蓄電池事業の開発	平成27年 8月 1日 ～平成30年 7月31日
	(株)PARAM	電子ビーム描画装置等試作開発	平成24年11月 1日 ～平成27年 8月31日
	ナノコート・ティーエス(株)	真空・プラズマ技術を用いた薄膜作成技術の開発	平成27年 9月15日 ～平成30年 8月31日

室番号	企業名	利用の概要	契約期間
ラボ 3	(株)ティケイディ	プラスチック研磨材の開発	平成23年12月 1日 ～平成26年11月30日
	Cambwick Healthcare(株)	抗酸化ストレス治療用の治療器の開発	平成27年 2月22日 ～平成29年11月30日
ラボ 4	EVTD(株) (旧 電動車両技術開発 (株)、平成 24 年会社名変更)	リチウムイオンバッテリーのマネジメン トシステムの研究開発	平成22年 9月 1日 ～平成25年 8月31日
			平成25年 9月 1日 ～平成26年 8月31日
			平成26年 9月 1日 ～平成27年 8月31日
	(株)PARAM	電子ビーム描画装置等試作開発	平成27年 9月 1日 ～平成28年10月31日
ラボ 5	(株)MITOMI	遠赤外線放射材料や面状シートヒーター 等の開発	平成24年 9月 1日 ～平成26年 8月31日
			平成26年 9月 1日 ～平成27年 8月31日
			平成27年 9月 1日 ～平成28年 8月31日

3.9 共同研究開発室

競争的資金導入研究や共同研究などを中小企業と都産技研が共同で実施するテーマについて、迅速に成果を出せるよう、研究の実施場所として共同研究開発室を 3 室提供している。共用を原則とするが、共同研究開発室運営会議で審査し承認が得られた場合には、6 か月を限度に専用使用することができる。共同研究開発室の利用者は、試作加工室や化学実験室など製品開発支援ラボの共用利用施設も利用することができ、研究開発に活用している。平成 28 年 3 月 31 日までの利用状況は、2 室 3 テーマである。

本部

室	共同研究実施者	テーマ	使用期間
391A	--	--	--
391B	--	--	--
392	(株)タンケンシーラセーコー 都産技研表面技術 G	CVD 多結晶ダイヤモンド皮 膜を用いたメカニカルシ ールの開発	平成27年 3月 1日 ～平成28年 3月31日 (共用)
	(株)三協興産 都産技研材料技術 G	Co, Ce 系酸化物触媒の機能 性付与及びリサイクル技 術の開発	平成27年10月 1日 ～平成28年 3月31日 (共用)
393	東京医科大学 アイリックス(株) 都産技研バイオ応用技術 G	ラマンイメージング微細 レーザーマイクロダイセ クターの開発	平成26年11月 2日 ～平成27年 9月30日 (共用)

4. 技術経営支援

4.1 知的財産権の取得

4.1.1 知的財産権総括

(1) 知的財産権保有件数

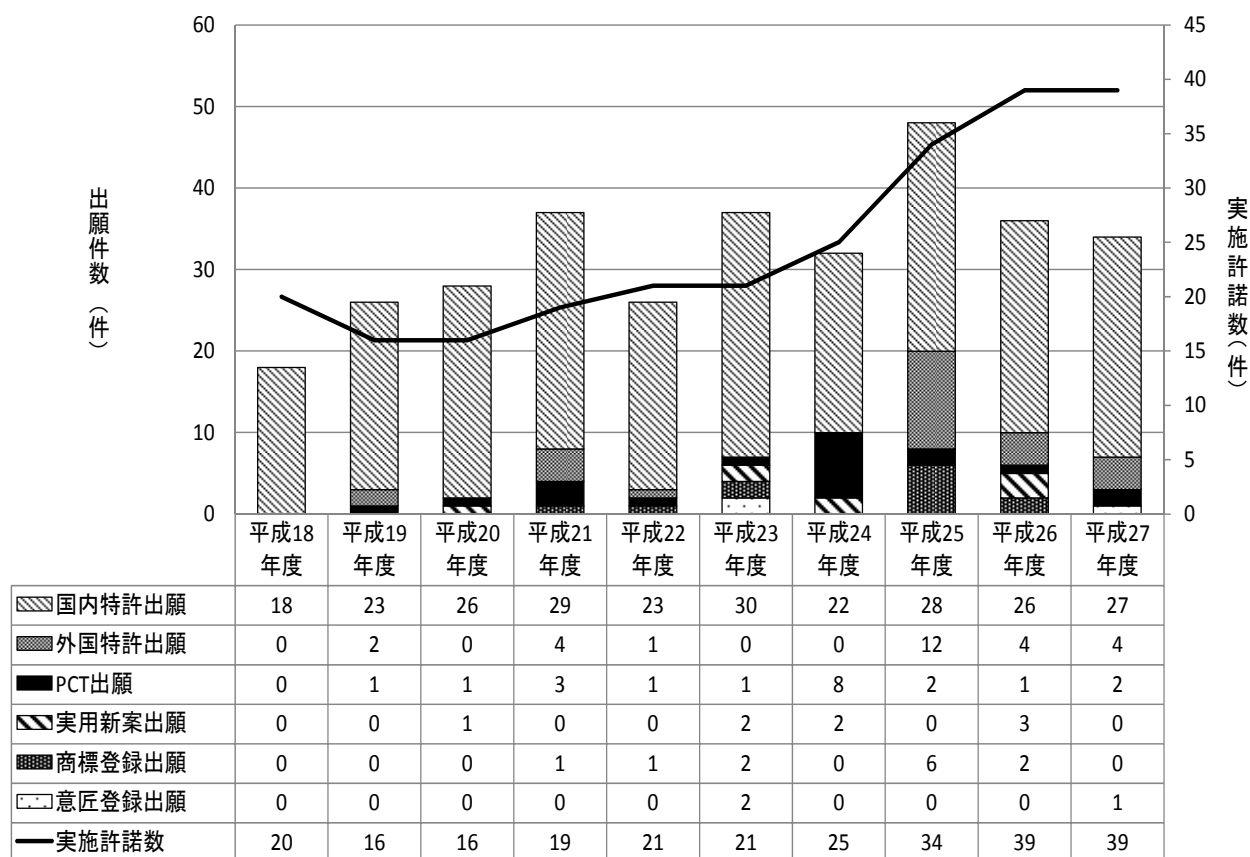
		特許(件)		実用新案(件)		意匠(件)	商標(件)	
		登録	出願中	登録	出願中	登録	登録	出願中
国内※1	今年度分	22	27	0	0	1	0	0
	累計	146	117	8	0	3	10	2
国外※2	今年度分	1	4					
	累計	7	25					
PCT※3	今年度分		2					
	累計		4					

※1 国内優先権主張を利用した場合には、原出願は件数から削除しています。また登録となった場合には、累計における「出願中」から削除しています。登録累計においては、実績上権利終了案件も含めています。

※2 自国（日本）指定も含めて計上しています。

※3 PCT 出願後、各国への移行が完了したものについては、PCT の「出願中」から削除しています。

(2) 出願案件数の推移（平成 18 年度～平成 27 年度まで）



4.1.2 保有する登録済み知的財産権

(1) 国内登録特許

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
1	第 3062813 号 (平 10-251835)	べつ甲基材の再生 製造方法	H12. 5. 12 (H10. 8. 21)	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべつ甲端材を再生し、有効利用することができる製造方法に関する
2	第 3082911 号 (平 09-273212)	球状成型用凹凸金 型盤による網目構 造の球状繊維成型 物及びその製造方 法	H12. 6. 30 (H9. 9. 1)	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物に関する
3	第 3122870 号 (平 06-324046)	交流用 LED 点灯回 路	H12. 10. 27 (H6. 11. 21)	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路
4	第 3261676 号 (平 11-357480)	電気ニッケルめっ き浴	H13. 12. 21 (H11. 12. 16)	土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくてもよい、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴に関する
5	第 3292239 号 (平 10-084250)	鋳造用すず合金	H14. 3. 29 (H10. 3. 30)	佐藤健二 他 1 名	創造性、転写製に優れ鋳造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鋳造用すず合金に関する
6	第 3326546 号 (平 07-321057)	コンピュータシステ ムの故障検知方法	H14. 7. 12 (H7. 11. 15)	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法に関する
7	第 3354377 号 (平 08-047151)	レーザ溶射法によ る高耐食性改質層 の作製方法	H14. 9. 27 (H8. 3. 5)	一色洋二 藤木 栄	レーザ溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善
8	第 3406390 号 (平 06-180964)	重水素の濃縮方法 及び装置	H15. 3. 7 (H6. 7. 8)	斎藤正明 他 3 名	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
9	第 3520505 号 (平 09-131548)	ポリオレフィン系 プラスチック廃棄 物からの液体燃料 回収方法	H16. 2. 13 (H9. 4. 16)	山本 真 中澤 敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法
10	第 3559727 号 (平 11-198208)	放射性核種吸収体 とこれを用いた放 射性核種の濃度測 定法	H16. 5. 28 (H11. 7. 12)	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
11	第 3590932 号 (2000-282652)	EMI プローブ	H16. 9. 3 (H12. 8. 15)	大森 学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電磁界)を3つの検出面を同軸上に互いに 60 度の角度で配置した EMI プローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる
12	第 3612659 号 (平 09-131549)	フミン酸の改質に よる吸水性材料の 製造方法	H16. 11. 5 (H9. 4. 16)	山本 真 中澤 敏 他 2 名	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法
13	第 3624394 号 (平 10-347644)	電解用活性陰極の 製造方法	H16. 12. 10 (H10. 12. 7)	田中慎一 棚木敏幸 広瀬徳豊	水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法
14	第 3719847 号 (平 10-131320)	摺動性材料及びそ の製造方法	H17. 9. 16 (H10. 4. 24)	三尾 淳 仁平宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦指数かつ耐磨耗性に優れた新しい硬質材料およびその製造方法
15	第 3748304 号 (平 08-327402)	重水素の濃縮度算 出決定装置	H17. 12. 9 (H8. 12. 9)	斎藤正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮度を算出する方法および装置
16	第 3779290 号 (2003-322418)	漆および植物繊維 を用いた成形用材 料、前記成形用材 料を用いて得られ る漆/植物繊維成 形体	H18. 3. 10 (H15. 9. 16)	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 他 1 名	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
17	第 3812783 号 (平 10-066426)	超音波振動付加型 摩擦試験機	H18. 6. 9 (H10. 3. 17)	片岡征二 加藤光吉 基 昭夫 中田高志 佐々木武三 他 1 名	一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、 摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に 試験できる摩擦試験機
18	第 3963859 号 (2003-116330)	電動自転車用電源 供給装置	H19. 5. 22 (H15. 3. 18)	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモータに流れ る大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源であ る「電気二重層コンデンサ」から供給することによ りバッテリーの長寿命化を図る
19	第 3968413 号 (2001-024203)	工作物に穴を形成 する放電加工方法	H19. 4. 11 (H13. 1. 31)	山崎 実 森 紀年 武井健三郎 国枝正典	直径数十ミクロンという微細な穴あけに関する技 術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を＋、 加工物を－にし、電極を回転させながら送りつつ放 電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細 な穴が形成できる
20	第 3970021 号 (2001-392816)	デジタル回路実験・実習遠隔教育 方法	H19. 6. 15 (H13. 11. 20)	森 久直 坂巻佳壽美 他 4 名	デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて 行えるようにした遠隔教育システム
21	第 3993784 号 (2002-106827)	多次元座標測定機 の性能評価方法、 多次元座標測定機 の校正用ゲージ及 び校正用ゲージの 治具	H19. 7. 24 (H14. 4. 9)	澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 他 1 名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するた め、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直 度、および直角度を容易に評価するための方法およ び校正用ゲージ
22	第 3992536 号 (2002-138469)	ラドン等の放射性 核種の濃度測定方 法とこの方法に用 いる装置	H19. 7. 24 (H14. 5. 14)	斎藤正明	遮光したチャンバー内にプラスチックシンチレー タおよび光電子増倍管を対面配置し、チャンバー内 に連続的に流入させた試料水または試料空気に含ま れるラドンをシンチレータに吸収させるラドンの放 射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、 その回数を増倍管で計数する
23	第 4046450 号 (平 11-325903)	表面プラズモン共 鳴センサ	H19. 11. 30 (H11. 10. 12)	上野武司 加澤エリト 佐々木智憲 他 1 名	光の波長または光の入射角度を変化させることに より生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質 の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパク トで良好な感度を有するセンサ
24	第 4086241 号 (2004-035337)	水素吸蔵合金粉末	H20. 2. 29 (H16. 2. 12)	内田 聡 他 3 名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボール ミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
25	第 4125671 号 (2003-436038)	ノイズ測定用多素 子アンテナ	H20. 5. 16 (H15. 11. 28)	寺井幸雄 天早隆志 清水康弘	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための 片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの
26	第 4126576 号 (平 10-245288)	鋳造用アルミニウ ム合金	H20. 5. 23 (H10. 8. 31)	佐藤健二 他 2 名	材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、かつ塑性加 工しても製品の割れが発生しにくくなり加工工数の 低減化と製品歩留まりが向上する
27	第 4222515 号 (2004-314637)	ダイヤモンドの研 磨方法と装置	H20. 11. 28 (H16. 10. 28)	横澤 毅 基 昭夫 片岡征二 仁平宣弘	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモ ンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンド を研磨する方法
28	第 4226875 号 (2002-312841)	放電加工による素 材の成形方法	H20. 12. 5 (H14. 10. 28)	山崎 実 鈴木岳美 森 紀年 国枝正典	放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 μm の細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作る ことができる
29	第 4233222 号 (2001-008685)	着色ガラスの製造 方法	H20. 12. 19 (H13. 1. 17)	鈴木 蕃 大久保一宏 小山秀美 田中 実 陸井史子	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2 ～50%の三宅島火山灰を配合することにより、清澄 剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、 着色剤を使用することなく美しい青色に発色する 高品質の着色ガラスが製造できる
30	第 4359537 号 (2004-177562)	立体製織体、金属 繊維立体製織体及 びそれらの製造方 法	H21. 8. 14 (H16. 6. 15)	樋口明久 吉野 学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織 繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造 および製法の改良に関するもの
31	第 4392719 号 (2004-036734)	母材表面の下地処 理方法及びこの方 法により下地処理 された表面を持つ 母材及び製品	H21. 10. 23 (H16. 2. 13)	片岡征二 基 昭夫 玉置賢次 他 3 名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩 擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
32	第 4394050 号 (2005-254626)	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	H21. 10. 23 (H17. 9. 2)	藤木 栄 他 1 名	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐摩耗性を一層向上させた金属板に関する
33	第 4568142 号 (2005-048669)	放電加工による素材の成形方法	H22. 8. 13 (H17. 2. 24)	山崎 実 鈴木岳美 國枝正典	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関する
34	第 4573174 号 (2005-226475)	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	H22. 8. 27 (H17. 8. 4)	小山秀美 小林政行 他 1 名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術
35	第 4599529 号 (2005-234849)	放射線照射判別方法および放射線照射判別システム	H22. 8. 11 (H17. 8. 12)	後藤典子 山崎正夫 他 3 名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法に関するもの
36	第 4680612 号 (2005-016154)	カーボンオニオンの製造方法	H23. 2. 10 (H17. 1. 24)	基 昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 他 8 名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便でかつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法を提供すること
37	第 4740439 号 (2000-008551)	塗装用ブラシ	H23. 5. 13 (H12. 1. 18)	木下稔夫 他 2 名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ
38	第 4764973 号 (2005-356870)	CRC 値の算出装置	H23. 6. 24 (H17. 12. 9)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現した
39	第 4776212 号 (2004-340549)	マルチ X 線の発生方法及びその装置	H23. 7. 8 (H16. 11. 25)	鈴木隆司	1 種類以上の金属元素からなるフィルターを用いて、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線または 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置に関するもの
40	第 4791746 号 (2005-094574)	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H23. 7. 29 (H17. 3. 29)	田中 実 上部長隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
41	第 4827657 号 (2006-222746)	排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析方法と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理装置と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理キット	H23. 9. 22 (H18. 8. 17)	野々村 誠 栗田恵子	排ガス中のハロゲン化合物と硫黄酸化物を分析するための前処理装置と前処理キットを提供することにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、安価に測定することができる
42	第 4828159 号 (2005-153290)	赤外線追尾装置	H23. 9. 22 (H17. 5. 26)	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置
43	第 4832785 号 (2005-114097)	表面改質された超高分子量ポリエチレン製成形品、およびその製造方法	H23. 9. 30 (H17. 5. 26)	谷口昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐摩耗性の向上を目的としている
44	第 4847931 号 (2007-211714)	揮発性有機物除去装置及び揮発性有機物検出方法	H23. 10. 21 (H19. 8. 15)	紋川 亮 石束真典 加澤エリト	ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性値が変化することを利用した VOC センサー等を組み込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法
45	第 4851432 号 (2007-320334)	揮発性有機物回収処理装置及びこれを有する揮発性有機物回収処理システム	H23. 10. 28 (H19. 12. 12)	紋川 亮	多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合するという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処理装置
46	第 4873617 号 (2006-093164)	低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材	H23. 12. 2 (H18. 3. 30)	基 昭夫 後藤賢一 他 3 名	研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
47	第 4920007 号 (2008-129932)	ガラス発泡体の製造方法、ガラス発泡体及びガラス発泡体の再生方法	H24. 2. 10 (H20. 5. 16)	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法に関するものである
48	第 4936349 号 (2005-161094)	金属内包カーボンナノカプセルの製造方法	H24. 3. 2 (H17. 6. 1)	基 昭夫 片岡征二 他 2 名	量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造方法
49	第 4940464 号 (2005-271060)	ネットワーク機器試験装置	H24. 3. 9 (H17. 9. 16)	坂巻佳壽美 乾 剛 他 4 名	通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する
50	第 5019445 号 (2007-230736)	低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材	H24. 6. 22 (H19. 9. 5)	基 昭夫 他 4 名	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材を提供する
51	第 5022207 号 (2007-326851)	多層編地および多層編地の編成方法	H24. 6. 22 (H19. 12. 19)	飯田健一	5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有する多層編地を提供する
52	第 5025209 号 (2006-262181)	絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 6. 29 (H18. 9. 27)	田中 実 上部長隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
53	第 5055617 号 (2007-139787)	分注装置	H24. 8. 10 (H19. 5. 25)	楊 振 他 3 名	従来の分注装置の高さを低くし、小型の分注装置とする
54	第 5078002 号 (2007-124308)	ダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法	H24. 9. 7 (H19. 5. 9)	玉置賢次 片岡征二 他 2 名	鉄基合金上に密着性良くダイヤモンド膜が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法を提供する
55	第 5083768 号 (2008-008191)	バイオセンサシステム	H24. 9. 14 (H20. 1. 17)	沢井正之 他 2 名	溶存酸素の影響を受けずに、NAD ⁺ または NADP ⁺ を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステムを提供すること
56	第 5105957 号 (2007-146932)	自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法	H24. 10. 12 (H19. 6. 1)	斎藤正明	植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法を提供する
57	第 5107261 号 (2008-548357)	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	H24. 10. 12 (H19. 12. 7)	加沢エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
58	第 5107571 号 (2006-354819)	LED 制御方法	H24. 10. 12 (H18. 12. 28)	宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子	多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路を提供する
59	第 5116245 号 (2006-083377)	自動分析装置に用いる検量線作成用化合物	H24. 10. 26 (H18. 3. 24)	上野博志 山本 真 石田直洋 金子真理奈 他 1 名	硫黄および主要なハロゲン (F、Cl、Br、I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成用化合物を提供する
60	第 5135022 号 (2008-081958)	揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法	H24. 11. 16 (H20. 3. 26)	紋川 亮	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することを可能とする揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法を提供することである
61	第 5135341 号 (2009-520544)	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24. 11. 16 (H20. 6. 20)	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により高精度に形成する。ベースプレート上に反応ガスの流通経路となる所定のパターンの隔壁を印刷によって形成する燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、導電性材料を含むインク組成物をスクリーン印刷によって順次上方に複数回刷り重ねることにより隔壁となる所定の厚さの導電性インキ層を形成することを特徴とする
62	第 5137768 号 (2008-253593)	断面形態制御繊維およびその製造方法	H24. 11. 22 (H20. 9. 30)	山本清志	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維等の断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法を提供する
63	第 5140519 号 (2008-212839)	はんだの組成分析方法	H24. 11. 22 (H20. 8. 21)	林 英男 上本道久	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法を提供する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
64	第 5147633 号 (2008-263687)	フッ素アパタイト の製造方法	H24. 12. 7 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、 ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイト を製造する
65	第 5175584 号 (2008-064141)	局所表面プラズモン 共鳴イメージング装置	H25. 1. 11 (H20. 3. 13)	紋川 亮	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズ モン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク 質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などの タンパク質標識を行うことなく検出する LSPR イメ ージング装置を提供する
66	第 5177472 号 (2006-274408)	カット面を着色した ダイヤモンド粒子の製造方法、お よびカット面に文 様を描画したダイ ヤモンド粒子の製 造方法	H25. 1. 18 (H18. 10. 5)	谷口昌平 他 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、 短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としない カラーダイヤモンド製造方法を提供する
67	第 5183301 号 (2008-139659)	成型型およびその 製造方法	H25. 1. 25 (H20. 5. 28)	寺西義一 他 3 名	ガラス状炭素部材を用いて、離型性が高く、しかも 凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成型 型およびその製造方法を提供する
68	第 5183328 号 (2008-174673)	編成体及びその製 造方法	H25. 1. 25 (H20. 7. 3)	樋口明久	無機繊維と収縮繊維との交差系から編成されたも のをを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊 維が不規則に変形した状態で編成されていること を特徴とする編成体
69	第 5203603 号 (2006-355457)	親水性熱可塑性共 重合体	H25. 3. 5 (H18. 12. 28)	清水研一 篠田 勉 上野博志	芳香族ビニルジェン共重合体の二重結合部分のみ にカルボキシ基を付加して、親水性の高分子材料 を得る方法に関する
70	第 5207669 号 (2007-165339)	再生繊維製造方法	H25. 3. 1 (H19. 6. 22)	樋口明久 他 2 名	塩ビ系壁紙を粉碎処理した後に得られる塩ビ樹脂 粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、 濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およ びその製造方法
71	第 5214290 号 (2008-071504)	食品用 X 線異物検 査装置およびその 方法	H25. 3. 8 (H20. 3. 19)	大平倫宏 周 洪鈞 他 2 名	ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過 し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難で あった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する 装置および方法を開発した
72	第 5231294 号 (2009-055710)	揮発性有機化合物 吸着材とその製造 方法	H25. 3. 29 (H21. 3. 9)	瓦田研介 井上 潤	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出 されるリグニン残渣を揮発性有機化合物 (VOC) 吸着 材に転換する技術に関するものである
73	第 5242289 号 (2008-207817)	揮発性有機物吸収 材及びその製造方 法	H25. 4. 12 (H20. 8. 12)	紋川 亮 田村和男	取り扱いが簡便で、VOC の吸収能が高く、さらに活 性炭やメソポーラスシリカ等といった従来の VOC 吸 着材よりも VOC の吸収能が極めて高い吸収材である ため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない 揮発性有機物吸収材およびその製造方法に関する
74	第 5243222 号 (2008-322621)	粉体分離装置、粉 体分離システム、 及び粉体分離方法	H25. 4. 12 (H20. 12. 18)	樋口明久 他 8 名	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離 装置、粉体分離方法、および、これを用いた粉体分 離システムに関する
75	第 5261690 号 (2008-131617)	高強度ダイヤモンド 膜工具	H25. 5. 10 (H20. 5. 20)	横澤 毅 玉置賢次 寺西義一 片岡征二 他 2 名	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰 囲中にボロンを含むガスを積極的に導入すること でボロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダ イヤモンド膜工具に関する
76	第 5268050 号 (2008-010369)	カーボンナノチュ ーブ含有樹脂組成 物、硬化物、成形 体及びカーボンナ ノチューブ含有樹 脂組成物の製造方 法	H25. 5. 17 (H20. 1. 21)	柳 捷凡 他 2 名	機械強度 (曲げ強度、曲げ弾性率) や導電性 (特に 均一性) に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組 成物、硬化物、成形体及びカーボンナノチューブ含 有樹脂組成物の製造方法に関する
77	第 5281926 号 (2009-046676)	揮発性有機化合物 吸着剤とその製造 方法、並びに樹皮 又はその成型体の 利用方法	H25. 5. 31 (H21. 2. 27)	瓦田研介 井上 潤	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有 機化合物吸着材とその製造方法、ならびに樹皮また はその成型体の利用方法に関する
78	第 5301140 号 (2007-286805)	ガラス状炭素材か らなる微細成型型 材料とその製造方 法ならびにそれ を用いた微細成型 型	H25. 6. 28 (H19. 11. 2)	寺西義一 他 1 名	凹凸部の寸法を数 nm～数百 μ m 程度とする微細な 成形が行われた微細成型型の材料とその製造方法 ならびにそれを用いた微細成型型に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
79	第 5302860 号 (2009-266467)	家畜骨残渣の処理方法	H25. 6. 28 (H21. 11. 24)	柳 捷凡	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法に関する
80	第 5308608 号 (2001-024519)	締結体締め付け力安定化剤、これを用いた締結力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	H25. 7. 5 (H13. 1. 31)	大久保一宏 石田直洋 他 2 名	締結体の締め付け力を安定化することができる安定化剤、およびこれを用いた締結体の締め付け力安定化方法、さらに、同安定化剤をあらかじめ付着させてなる締結体を構成する部品に関する
81	第 5309354 号 (2006-052500)	高速パターンマッチング装置の探索方法	H25. 7. 12 (H18. 2. 28)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法に関する
82	第 5350866 号 (2009-096262)	皮革または革製品	H25. 8. 30 (H21. 4. 10)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 中村 宏	皮革および革製品の表面に付着したおもに環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品に関する
83	第 5367341 号 (2008-283986)	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	H25. 9. 20 (H20. 11. 5)	渡部友太郎	Al-Si(Al-Si-Mg)系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法に関する
84	第 5376669 号 (2010-070763)	金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型	H25. 10. 4 (H22. 3. 25)	小金井誠司 他 6 名	フッ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、プレス加工が繰り返し行えるように金型の耐久性を高めるとともに、チタン部材やマグネシウム合金部材といった難加工金属部材について、ドライ加工を行えるようにすることができるプレス加工方法等に関する
85	第 5378024 号 (2009-075049)	揮発性有機物吸収材	H25. 10. 4 (H21. 3. 25)	紋川 亮 藤井恭子	揮発性有機物の吸収能（吸収量及び吸収速度）が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため、吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材に関する
86	第 5382638 号 (2008-014005)	マグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型	H25. 10. 11 (H20. 1. 24)	基 昭夫 他 4 名	絞り、曲げ成形等のプレス加工によるマグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型に関する
87	第 5388304 号 (2010-074034)	掲示板のための照明装置	H25. 10. 18 (H22. 3. 29)	中村広隆 榊本博司 三上和正 長谷川孝 西澤裕輔 他 3 名	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報（掲示情報）についての視認性の改善に寄与する照明装置に関する
88	第 5394132 号 (2009-134259)	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	H25. 10. 25 (H21. 6. 3)	紋川 亮 他 1 名	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法に関する
89	第 5399034 号 (2008-246074)	微細成型型および微細成型型用基材並びに微細成型型の製造方法	H25. 11. 1 (H20. 9. 25)	寺西義一 三尾 淳 石束昌典	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型型および微細成型型用基材並びに微細成型型の製造方法に関する
90	第 5404465 号 (2010-031649)	ポリアニリン半導体材料	H25. 11. 8 (H22. 2. 16)	中川清子 谷口昌平 山崎正夫	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料に関する
91	第 5413939 号 (2007-198213)	タンパク質自動合成精製方法及び装置	H25. 11. 22 (H19. 7. 30)	楊 振 佐々木智憲	ディスク内に微細流路および反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成生成装置に関する
92	第 5414719 号 (2011-052181)	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	H25. 11. 22 (H23. 3. 9)	染川正一 他 1 名	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等に関する
93	第 5422320 号 (2009-218022)	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	H25. 11. 29 (H21. 9. 18)	染川正一 石川麻子 他 1 名	揮発性有機化合物分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度で揮発性有機化合物を分解することができる触媒等に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
94	第 5425689 号 (2010-081190)	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	H25. 12. 6 (H22. 3. 31)	神田浩一 坂巻佳壽美 大原 衛 金田泰昌 加藤光吉 他 4 名	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘因効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等に関する
95	第 5435911 号 (2008-218293)	除放性製剤とその製造方法	H25. 12. 20 (H20. 8. 27)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖	短期間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放性製剤とその製造方法に関する
96	第 5438287 号 (2008-143107)	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	H25. 12. 20 (H20. 5. 30)	柳 捷凡 他 3 名	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法に係わり、さらに皮膚外用剤に関する
97	第 5439155 号 (2009-286011)	歯間清掃具及びその製造方法	H25. 12. 20 (H21. 12. 17)	許 琛 樋口明久	歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法に関する
98	第 5441485 号 (2009-106510)	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	H25. 12. 27 (H21. 4. 24)	紋川 亮	揮発性有機物の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法に関する
99	第 5448549 号 (2009-106520)	光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	H26. 1. 10 (H21. 4. 24)	平野康之 加沢エリト 吉田裕道 原本欽郎	金属電極に交流電圧又は交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でも VOC 濃度の測定が可能な光イオン化検出器等に関する
100	第 5460113 号 (2009-105359)	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	H26. 1. 24 (H21. 4. 23)	紋川 亮 加沢エリト	VOC 等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
101	第 5479826 号 (2009-204833)	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化装置	H26. 2. 21 (H21. 9. 24)	三尾 淳 他 2 名	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法、ならびにこれに使用するプラズマ電極に関する
102	第 5486790 号 (2008-263686)	多孔質アパタイトおよびその製造方法	H26. 2. 28 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	天然骨等の廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
103	第 5511523 号 (2010-129014)	二脚型移動装置	H26. 4. 4 (H22. 6. 4)	坂下和広	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに乗り越すことのできる二脚型移動装置に関する
104	第 5548144 号 (2011-016517)	表示装置	H26. 5. 23 (H23. 1. 28)	豊島克久	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する、表示装置
105	第 5560065 号 (2010-047994)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保できる
106	第 5560066 号 (2010-047997)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能
107	第 5564680 号 (2009-170391)	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	H26. 6. 27 (H21. 7. 21)	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収するのに適した高いリン酸吸着能を有し、且つ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
108	第 5572459 号 (2010-152637)	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	H26. 7. 4 (H22. 7. 5)	上野博志 菊池有加 峯 英一	試料中の微量な 4 種類のハロゲン（フッ素、塩素、臭素、ヨウ素）および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法に関する
109	第 5579644 号 (2011-059966)	赤色ガラス	H26. 7. 18 (H23. 3. 18)	大久保一宏 増田優子 上部隆男	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラスに関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
110	第 5604094 号 (2009-286822)	防かび剤組成物、 およびそれを利用 した木材および木 製品	H26. 8. 29 (H21. 12. 17)	小沼ルミ 宮崎 巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 他 1 名	木材および木製品にも適した防かび剤組成物、およ びそれを使用した防かび加工方法、木材および木製 品等に関する
111	第 5632597 号 (2009-200679)	弦楽器、弦楽器の 製造方法及び弦楽 器製造装置	H26. 10. 17 (H21. 8. 31)	横山幸雄	積層造形法を活用した、弦楽器、弦楽器の製造方法 および弦楽器製造装置に関する
112	第 5647669 号 (2012-503249)	多孔質シリカの製 造方法	H26. 11. 14 (H23. 3. 3)	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ 粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオ ン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることが できる多孔質シリカの製造方法に関する
113	第 5647836 号 (2010-198628)	導電紙及びその製 造方法	H26. 11. 14 (H22. 9. 6)	上野武司 竹村昌太 島田勝廣	無電解金属めっきにより金属で被覆された木材パ ルプを含む導電紙およびその製造方法に関する
114	第 5650916 号 (2010-047999)	防護服	H26. 11. 21 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成さ れたツナギ型の防護服であり、一端の袖部から頭部 近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部があるた め、防護服の脱衣が容易で、短時間で迅速に脱衣で きる
115	第 5660831 号 (2010-219707)	アルミニウム合金 の材質判定方法	H26. 12. 12 (H22. 9. 29)	竹澤 勉 上本道久 伊藤 清	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミニ ウム合金のグループ分けを行う場合に適用して好 適なアルミニウム合金の材質判定方法に関する
116	第 5660918 号 (2011-026993)	情報処理装置、コ ンピュータプログ ラム、および情報 処理方法	H26. 12. 12 (H23. 2. 10)	大平倫宏	3 次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数 の頂点データを有する 3 次元図形データに対する 電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、デ ータの改ざんが検出されやすくなるようにする情 報処理装置、コンピュータプログラム、および情報 処理方法に関する
117	第 5667431 号 (2010-287832)	三次元座標測定機 簡易検査用ゲージ	H26. 12. 19 (H22. 12. 24)	中西正一 西村信司 中村弘史	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に行 うことができ、マルチスタイラスの検査も実施可能 な三次元座標測定機簡易検査用ゲージに関する
118	第 5690244 号 (2011-179367)	はんだの組成分析 方法	H27. 2. 6 (H23. 8. 19)	林 英男	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する方 法に関する
119	第 5697309 号 (2009-053490)	局在プラズモン共 鳴センサの製造方 法	H27. 2. 20 (H21. 3. 6)	加沢エリト 紋川 亮	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学セン サの性能向上に関し、センサ性能低下の要因となっ ていた導電・密着層を熱処理により誘電体化するこ とを特徴とする
120	第 5697852 号 (2009-073154)	揮発性有機物回収 システム	H27. 2. 20 (H21. 3. 25)	紋川 亮	揮発性有機物を効率的に液化して回収することが できる揮発性有機物回収システムに関する
121	第 5698034 号 (2011-045449)	加熱補助器具及び 加熱装置並びに化 学的酸素消費量の 測定方法及び加熱 方法	H27. 2. 20 (H23. 3. 2)	荒川 豊	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に 加熱することができるとともに、試料間の加熱むら を小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置 および加熱方法、ならびに、複数の試料水について 簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試 料間の測定精度のばらつきを小さくすることがで きる化学的酸素消費量の測定方法に関する
122	第 5706069 号 (2009-024032)	ダイヤモンド研磨 装置及びダイ亚马 ンド研磨方法	H27. 3. 6 (H21. 2. 4)	横澤 毅 片岡征二 他 1 名	被研磨物にコーティングされたダイヤモンドを研 磨する装置及び方法に関する
123	第 5711927 号 (2010-222197)	固体酸化物型燃料 電池	H27. 3. 13 (H22. 9. 3)	樋口明久 他 7 名	MEA セルとセパレータの間に集電材が設けられる平 板型の固体酸化物型燃料電池、および MEA セルの空 気極と燃料極の内周面または外周面に集電材が設 けられる円筒型の固体酸化物型燃料電池に関する
124	第 5717491 号 (2011-065307)	揮発性有機化合物 用の担体触媒及び その製造方法	H27. 3. 27 (H23. 3. 24)	染川正一 小島正行 藤井恭子 萩原利哉 他 1 名	揮発性有機化合物用の触媒層を担体に担持するに あたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大き くでき、且つ触媒層が担体から剥離しにくいので、 触媒性能のアップを図ることができるとともに触 媒燃焼法の装置設計がしやすくなる

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
125	第 5722736 号 (2011-202620)	流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法	H27. 4. 3 (H23. 9. 16)	田中 実 伊東洋一 上田隆男 他 3 名	一対の石英ガラス基板の両板の対向面に、スクリーン印刷法でガラスペーストを印刷して焼成により該両板間に微細流路を形成する流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター、及びその石英ガラスマイクロリアクターの流路形成方法に関する
126	第 5734589 号 (2010-162015)	水道用ゴムパッキン	H27. 4. 24 (H22. 7. 16)	清水研一 飛澤泰樹 他 2 名	バルブ、フランジ、その他各種の継手に使用する水密性に優れた水道用ゴムパッキンに関する
127	第 5739125 号 (2010-2011507)	人工骨部材	H27. 5. 1 (H22. 9. 9)	寺西義一 他 1 名	自家骨との接合強度を高くして自家骨との強固な接合を発現維持させて、しかも汎用性の高い人工骨部材に関する
128	第 5753568 号 (2013-240142)	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	H27. 5. 29 (H25. 11. 20)	加沢エリト 紋川 亮	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサの製造方法であって、誘電体基板と金属微細構造の間に設けた導電層または密着層を誘電体化する、局在プラズモン共鳴センサ製造方法に関する
129	第 5762151 号 (2011-126795)	数値データの圧縮システム及び方法	H27. 6. 19 (H23. 6. 6)	大原 衛 山口隆志	主にコンピュータによる科学技術計算や表計算のソフトウェアで一般的に採用されている浮動小数点形式の数値データの処理に関し、連続して入力される数値入力データを効率的に圧縮及び伸長するためのシステム、方法及びその装置に関する
130	第 5767076 号 (2011-227936)	熱型加速度センサー	H27. 6. 26 (H23. 10. 17)	豊島克久	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサーに関する
131	第 5775326 号 (2011-041203)	LED 点灯回路	H27. 7. 10 (H23. 2. 28)	小林丈士 染谷克明 寺井幸雄	照明器具、照明装置関連技術分野における省エネルギー型で、比較的大きな動作電流を持つ LED（発光ダイオード）の点灯回路に関する
132	第 5779038 号 (2011-175078)	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	H27. 7. 17 (H23. 8. 10)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	被測定対象に含まれる揮発性有機物を検出する揮発性有機物検出器および揮発性有機物検出方法、特に、揮発性有機物をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる揮発性有機物の種別を特定することが可能な揮発性有機物検出器および揮発性有機物検出方法に関する
133	第 5780640 号 (2011-146285)	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	H27. 7. 24 (H23. 6. 30)	峯 英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 他 1 名	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキットに関する
134	第 5803003 号 (2011-150689)	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	H27. 9. 11 (H23. 7. 7)	長坂浩志	基材の表面にダイヤモンド薄膜などの薄膜を形成するための熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いて薄膜を形成するための成膜方法に関する
135	第 5812828 (2011-262112)	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	H27. 10. 2 (H23. 11. 30)	小野澤明良 木下稔夫 他 1 名	錆面（付着物が付着した管内壁）への研削材の衝突エネルギーを高め、錆除去のブラスト力とその効率をさらに向上させるとともに、円錐形部材の円錐面の摩耗を少なくすることができる。したがって、偏向部材を長時間使用可能であること、研掃効率がよいため同じ範囲をより短い時間で研掃できることから、大変経済性の高い偏向手段に関する
136	第 5818619 号 (2011-220890)	スラリー状触媒液の付着装置	H27. 10. 9 (H23. 10. 5)	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉	有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術に関する
137	第 5827735 号 (2014-198975)	多孔質シリカの製造方法	H27. 10. 23 (H26. 9. 29)	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法に関する
138	第 5840054 号 (2012-74775)	複合材料、培養容器及び細胞培養器用仕切り部材	H27. 11. 20 (H24. 3. 28)	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコーラゲンゲル膜及びこれを用いた培養容器に関する
139	第 5861177 号 (2011-228859)	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	H28. 1. 8 (H23. 10. 18)	杉森博和 他 3 名	活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
140	第 5861231 号 (2011-138440)	絹繊維品のプリーツ加工方法及び絹繊維品のプリーツ加工品	H28. 1. 8 (H23. 6. 22)	武田浩司 木村千明 小林研吾	絹繊維品のプリーツ加工に非常に有効であり、絹繊維品本来の特性を損なうことなく、プリーツの保持性にも優れるという効果を有する、プリーツ加工方法に関する
141	第 5875761 号 (2010-280036)	コラーゲン線維ゲルおよびその用途	H28. 1. 29 (H22. 12. 16)	柚木俊二 他 2 名	コラーゲン線維を架橋してなり、接着・増殖した細胞の牽引力によって収縮しない硬さを持つコラーゲン線維ゲル、およびそのコラーゲン線維ゲルを用いた動物移植用培養基材に関する
142	第 5876311 号 (2012-15800)	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	H28. 1. 29 (H24. 1. 27)	西沢啓子 神田浩一 渡辺茂幸	試料の吸音率を測定する吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラムに関する
143	第 5878294 号 (2011-2763)	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具	H28. 2. 5 (H23. 1. 11)	小金井誠司 他 4 名	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具において、チタン部材について、潤滑油を用いることなくドライ環境下での曲げ加工が行えるとともに、フッ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、曲げ加工が繰り返し行えるように、曲げ加工工具の耐久性を高めることができる、加工方法及加工工具に関する
144	第 5883287 号 (2011-276326)	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	H28. 2. 12 (H23. 12. 16)	服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 2 名	気体の供給によるフード部内の騒音を低減できるので、防護帽の装着者と他人との間で会話を適切に行うことができ、意思疎通を適切に図ることができる、防護帽に関する
145	第 5892485 号 (2011-282885)	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	H28. 3. 4 (H23. 12. 26)	斎藤正明	多量の試料水の昼夜無人連続運転が可能であり、大幅に労力を省くことができる自動蒸発濃縮器に関する
146	第 5901156 号 (2011-144300)	無機有機複合粒子及びその製造方法	H28. 3. 18 (H23. 6. 29)	柳 捷凡	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法に関する

(2) 外国特許登録

番号	登録番号	名称 (和名)	登録年月日	発明者	内 容
1	米国特許 第 5203901 号	結晶化ガラスの製造方法	H5. 4. 20	鈴木 蕃	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	韓国特許 第 10-1212393 号	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 12. 7	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
3	米国特許 第 8729371 号	弦楽器、その製造方法及び装置	H26. 5. 20	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法等に関する
4	中国特許 ZL 2011 8 0011994. 1 (201180011994. 1)	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H27. 6. 24 (H24. 9. 3)	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに関する
5	韓国特許 第 10-1417009 号	絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びガラスペースト	H26. 6. 30	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
6	韓国特許 第 10-1502996 号	燃料電池用集電材	H27. 3. 10	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に関する
7	韓国特許 第 10-1609080 号	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 3. 29	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する

(3) 実用新案登録

番号	登録番号	名称	登録年月日	考案者	内 容
1	登録第 3149562 号	モビール細工及びモビール	H21. 3. 11	秋山 正 他 1 名	立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモビール細工
2	登録第 3170441 号	照明器具	H23. 8. 24	上野明也 他 1 名	シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具
3	登録第 3171954 号	ブラジャー	H23. 11. 2	藤田薫子 他 1 名	授乳者や、乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者等が使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー
4	登録第 3183799 号	注射器の針部取り外し器具ユニット	H25. 5. 8	石堂 均 他 2 名	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを追求するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニットに関する
5	登録第 3183939 号	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	H25. 5. 15	西川康博 佐野宏靖 小船論史 岩田雄介	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばねに関する
6	登録第 3194598 号	装飾品及び照明器具	H26. 7. 4	上野明也	希少なベッ甲を有効に利用しつつ、ベッ甲が持つ風合いを活かした装飾品及び照明器具に関する
7	登録第 3195080 号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	H26. 12. 3	秋山 正	立て掛けて保管した書籍等の水平面でのズレを防止するとともに、ブックスタンド一対を相互に向かい合わせて連結させてブックエンドを構成する際、その連結を安定させることができ、また、ブックスタンドとブックエンドや、ブックエンド同士をそれぞれ安定的に連結させていくことができ、さらに、本の収納領域の段階的な間隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニットに関する
8	登録第 3195171 号	パンツ型着用物	H26. 12. 10	平山明浩 他 1 名	日常生活における着用者の動作に追従し着用者の肌と密着して、吸収パッドからの漏れを抑制するパンツ型着用物に関する

(4) 意匠登録

番号	登録番号	意匠に係る物品	登録年月日	創作者	内 容
1	登録第 1433084 号	ランプシェード	H24. 1. 6	上野明也 他 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードである
2	登録第 1439104 号	ランプシェード	H24. 3. 23	上野明也 他 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するものである
3	登録第 1546747 号	ランプシェード	H28. 2. 26	上野明也	LED などの光源を内部に収容して使用するランプシェードであり、大きさの異なる 3 つの六角形の枠（大枠、中枠、小枠）から形成され、大枠正面に透光性を有する素材が配設されてなるものである

(5) 商標登録

番号	登録番号	商標	登録年月日	内 容
1	登録第 5358694 号		H22. 10. 8	世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子供服中心のブランド
2	登録第 5424369 号	サスティーモ (標準文字)	H23. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成形材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
3	登録第 5466219 号		H24. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド

番号	登録番号	商標	登録年月日	内 容
4	登録第 5492668 号		H24. 5. 11	メリヤス（ニット）の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー（実験室）の「ラボ」から生まれたニットブランド
5	登録第 5663387 号		H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
6	登録第 5663388 号	チリン (標準文字)	H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
7	登録第 5680841 号		H26. 6. 27	介護服の新ブランド
8	登録第 5689214 号		H26. 7. 25	都産技研のロゴマーク
9	登録第 5689215 号	東京都立産業技術 研究センター (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の名称
10	登録第 5689216 号	TIRI (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の英語略称

4.1.3 出願案件

* 公報が発行されていない出願の内容は「未公開」と表記しています

(1) 国内出願

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
平成 18 年度					
1	2007-079315	H19. 3. 26	アーク発光分光による材料中の微量成分分析法	佐々木幸夫	アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析に関すること
平成 19 年度					
1	2007-303522	H19. 11. 22	吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置	阪口文雄 武田有志	揮発性有機化合物ガス処理装置において、吸着体の効率的な交換や脱着が図ることのできる、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構ならびに検出方法に関する
2	2008-018066	H20. 1. 29	マイクロバルブを有する微細流路	伊東洋一 基 昭夫 他 2 名	微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御 (ON・OFF) させる技術
3	2008-022789	H20. 2. 1	路面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法	小池茂幸	道路路面標示塗料をヒーターにより溶かし、ローラーブラシでかきとり、しかも残渣を効率よく回収することのできる道路の路面表示物の消去方法および装置に関する
4	2008-054596	H20. 3. 5	ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法	武田有志 他 3 名	管内を通過する揮発性有機化合物ガスの累積ガス量を 1 つのセンサで計測する機構とその方法に関する
平成 20 年度					
1	2008-303347	H20. 11. 28	生地加工方法	木村千明 小林研吾 藤田 茂	合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地加工方法
2	2009-042030	H21. 2. 25	マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法	基 昭夫 他 2 名	マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た
3	2009-042804	H21. 2. 25	織物及び編物のブリーツ性試験方法とその装置	田中みどり 岩崎謙次	伸長法ブリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置を製作した
平成 21 年度					
1	2009-134114 【優先権主張】 原出願 2008-145511	H21. 6. 3	編針及びその製造方法	堀江 暁 森河和雄 三尾 淳 川口雅弘	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにダイヤモンドライクカーボン膜を施した編針とその製造方法
2	2009-213585	H21. 9. 15	画像合成装置及び画像合成方法	大平倫宏 他 1 名	取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述をしている
3	2009-285657	H21. 11. 27	LED 点灯回路	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生の無い、LED 点灯回路
4	2010-046922	H22. 3. 3	活性炭及びその製造製法	瓦田研介 井上 潤 萩原利哉 他 1 名	従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス（特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス）を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法
5	2010-48371	H22. 3. 4	多孔質シリカならびにその製造方法および集合体	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
6	2010-71902	H22. 3. 26	揮発性有機化合物分解反応器	紋川 亮 杉森博和 秋山恭子 他 1 名	揮発性有機化合物分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする揮発性有機化合物分解反応器
7	2010-72806	H22. 3. 26	工場排気ガス処理装置	小島正行 平野康之 他 2 名	印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC（揮発性有機化合物）および塗料、インクなどの高沸点有機化合物ならびにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置
8	2010-72807	H22. 3. 26	工場排気ガスの 2 層ろ過装置	小島正行 他 2 名	塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と 2 種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立
平成 22 年度					
1	2010-163584	H22. 7. 21	フィールド機器用データストレージシステム	金田泰昌 入月康晴 佐野宏靖 他 6 名	記録済みのデータが外部から改変あるいは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム
2	2010-248770	H22. 11. 5	塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法	小島正行 染川正一 秋山恭子 萩原利哉 他 2 名	判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的に PN 判定する
3	2011-038925	H23. 2. 24	オゾン濃度測定装置	中村広隆 他 6 名	測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置を提供する
平成 23 年度					
1	2011-124782	H23. 6. 3	有害化学物質低減木質ボードの製造方法と有害化学物質低減木質ボード	濱野智子 瓦田研介 他 2 名	木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボードの実現
2	2011-220895	H23. 10. 5	塗装物の乾燥・焼付炉	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉 他 1 名	塗装物の乾燥・焼付炉に係り、特に中小規模の塗装工場内へ好ましく設置することができ、装置コストの低減および塗装物を乾燥・焼付する際の省エネに寄与する技術に関する
3	2011-236695	H23. 10. 28	制御システム	佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
4	2011-260878	H23. 11. 29	電解セル	斎藤正明	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質（Solid Polymer Electrolyte）から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セルに関する
5	2011-283724	H23. 12. 26	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
6	2011-287408	H23. 12. 28	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	藤巻研吾 横澤 毅	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置に関する
7	2012-068325 【優先権主張】 原出願 2011-064405	H24. 3. 23	冷却基材、冷却シート及びネッククーラー	清水研一 飛澤泰樹 他 1 名	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、さらに詳しくは、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラーに関する
8	2012-074775 【優先権主張】 原出願 2011-071215	H23. 3. 28	コラーゲン膜及び培養容器	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコラーゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器に関する
平成 24 年度					
1	2012-103787	H24. 4. 27	尾てい骨保護下着	藤田薫子 他 1 名	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着に関する
2	2012-129660	H24. 6. 7	重金属吸着剤及び重金属回収方法	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	金属の吸着剤、さらに詳しくは担子菌の死菌体またはこれを含む廃菌床を利用した重金属吸着剤、およびこれらを使用する重金属回収方法等に関する
3	2012-143083	H24. 6. 26	テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法	榎本一郎	機能性プラスチックに関し、特に撥水性に優れた機能性ポリエチレンに関する
4	2012-150881	H24. 7. 4	冷却シート	飛澤泰樹 清水研一 他 1 名	冷却シートに関するもので、さらに詳しくは、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シートに係るものである
5	2012-151440 【優先権主張】 原出願 2011-150229	H24. 7. 5	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法	梶山哲人 清水研一 林 孝星 安田 健	脂肪族ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶されてなる複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法に関するものである
6	2012-154100 【優先権主張】 原出願 2011-151286	H24. 7. 9	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	菅谷紘子 岩崎謙次	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関する
7	2012-180829 【分割出願】 親出願 2008-131617	H24. 8. 17	高強度ダイヤモンド膜工具	横澤 毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 他 1 名	耐久損性を向上させることで破壊強度と耐摩耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具を提供することにある
8	2012-181879	H24. 8. 20	補助布付きコート、補助布及びマフラー	加藤貴司	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等に関する
9	2012-186879 【優先権主張】 原出願 2011-185806	H24. 8. 27	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
10	2012-214096	H24. 9. 27	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久	金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチに関する
11	2012-227142 【分割出願】 親出願 2009-520544	H24. 10. 12	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により非印刷部分を設けつつ高精度に形成する
12	2012-241704	H24. 11. 1	鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム	大平倫宏 富山真一	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ばたいている状態の鳥獣を識別することのできる鳥獣識別装置等に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
13	2012-251622	H24. 11. 15	ハイドロゲル	柚木俊二 大藪淑美 関口正之 他 1 名	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲルに関する
14	2012-255357	H24. 11. 21	高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル状態を維持することができる高融点ゼラチンと、その製造方法等に関する
15	2012-256802	H24. 11. 22	コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、生体温度で速やかにゲル化することが可能なコラーゲン水溶液と、そのゲル
16	2012-257432	H24. 11. 26	ライトパイプ	横田浩之	発光の形状を点状に近似させ、発光の位置を任意とすることで、LED を光源としつつフィラメント素子との相違を解消させてフィラメント素子の配光に近似させることができるライトパイプに関する
17	2012-266048	H24. 12. 5	プラスチックのバイオマス由来判別方法	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	固体プラスチックに含まれる放射性炭素(¹⁴ C)を、LSC 法を用いて固体のまま測定するプラスチックのバイオマス由来判別方法
18	2012-275046 【優先権主張】 原出願 2011-275027	H24. 12. 17	骨結合性材料、人工骨並びに基材と自家骨との結合促進方法	寺西義一 他 1 名	所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料等に関する
19	2013-021929	H25. 2. 7	メカニカルシールおよびその製造方法	長坂浩志 渡辺友太郎 寺西義一 他 1 名	未公開
20	2013-070640 【優先権主張】 原出願 2012-125985	H25. 3. 28	LED 照明の分光分布設計方法	岩永敏秀 中村広隆 他 4 名	基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかでかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となる LED 照明の分光分布設計方法に関する
平成 25 年度					
1	2013-096087	H25. 4. 30	金属編地及びその製造方法	唐木由佑	通気性、光透過性に優れた金属編地およびその製造方法に関する
2	2013-100737	H25. 5. 10	光源装置	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、点光源を形成することを実現可能とする光源装置に関する
3	2013-113498	H25. 5. 29	X 線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びに X 線三次元測定装置及び方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
4	2013-119604 【優先権主張】 原出願 2012-129660	H25. 6. 6	重金属吸着剤及び重金属回収方法	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およびそれを用いた重金属の回収方法に関する
5	2013-125803	H25. 6. 14	配光測定装置および配光測定方法	横田浩之	面発光体の配光分布の測定を精度良く行うことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可能にする配光測定装置等に関する
6	2013-129077	H25. 6. 19	電気ニッケルめっき液および電気めっき方法	浦崎香織里 土井 正	ピット防止等のための添加剤やホウ素を含まない、高速電気めっきのめっき液として用いた場合にも、耐食性および外観に優れためっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液に関する
7	2013-134031	H25. 6. 26	移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法	坂下和広	移動台車上に配設された構造体の向きを所定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能な移動台車の制御装置に関する
8	2013-159010	H25. 7. 31	飛行装置及び駆動装置	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 島田茂伸 坂下和広	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステムに関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
9	2013-172143	H25. 8. 22	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	澁谷孝幸 岩永敏秀 横田浩之	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度よく行うことができる測光量測定安定性評価方法等に係る技術に関する
10	2013-181647	H25. 9. 2	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	浦崎香織里 他 1 名	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液等に関する
11	2013-192629	H25. 9. 18	オゾン濃度測定装置	武田有志 中村広隆 他 3 名	固体発光素子をチョップパ発信させ計測する紫外線吸収式オゾン濃度測定装置に関する
12	2013-194199	H25. 9. 19	ノード装置及びネットワークシステム	中川善継	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置およびネットワークシステム
13	2013-218054	H25. 10. 21	光学部材および光源装置	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、必要十分な平行度の出射光を得ることを実現可能とする光源装置
14	2013-224627	H25. 10. 29	X線三次元測定装置及びX線三次元測定方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也	X線 CT 画像を補正して測定対象物のエッジを精確に特定することができるX線三次元測定装置
15	2013-224629	H25. 10. 29	三次元測定装置及び三次元測定方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也	測定対象物の三次元形状を測定する際の作業効率を格段に向上させることができる三次元測定装置
16	2013-240142 【分割出願】 親出願 2009-053490	H25. 11. 20	局在ブラズモン共鳴センサ	紋川 亮 加沢エリト	金属微細構造を持つ局在ブラズモン共鳴センサにおいて、リソグラフィ法による製造上必要不可欠な、誘電体基板と金属微細構造の間に挿入される導電層または密着層としての金属層を除去することなく、かつ複雑、高価な製造工程を必要とすることのない、局在表面ブラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
17	2013-241895	H25. 11. 22	運動支援システム及び運動支援プログラム	後濱龍太 他 1 名	内発的動機付けを促進すると共に、運動強度及び運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるようにユーザを支援することができる運動支援システム及び運動支援プログラム
18	2013-256516	H25. 12. 11	反応物供給流路	峯 英一 窪寺健吾 他 2 名	液体燃料に用いた場合にも発電性能が高く、簡便に製造できる、反応物供給流路
19	2014-001479 【優先権主張】 原出願 2013-001809	H26. 1. 8	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介	多量の廃棄物を生じるような高温高压処理等を必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および／または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術に関する
20	2014-031747	H26. 2. 21	黒色合金メッキ皮膜	水元和成 他 2 名	亜硫酸金塩およびパラジウム錯塩を含むメッキ液を用いて深味のある黒色調の金・パラジウム合金皮膜に関する
21	2014-048017	H26. 3. 11	信号検出装置及び信号検出方法	村上真之 志水 匠	電磁ノイズを検出対象信号として誤検出することを防止することができる信号検出装置及び信号検出方法
22	2014-052115 【優先権主張】 原出願 2013-052321	H26. 3. 14	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	杉森博和 安藤恵理 田熊保彦 瓦田研介 荒川 豊	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置等に関する
平成 26 年度					
1	2014-092371 【優先権主張】 原出願 2013-095732	H26. 4. 7	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	岩岡 拓	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法等に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
2	2014-107600	H26. 5. 23	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	後濱龍太 他 1 名	未公開
3	2014-124534	H26. 6. 17	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	吉野 徹 山中寿行 大久保一宏 渡邊禎之	未公開
4	2014-126615 【分割出願】 親出願 2009-134114	H26. 6. 19	編針	堀江 暁 森河和雄 川口雅弘 三尾 淳	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにダイヤモンドドライカーボン膜を施した編針
5	2014-144888 【優先権主張】 原出願 2013-147761	H26. 7. 15	マイクロヒータ	山岡英彦	熱応力を抑制することができるマイクロヒータに関する
6	2014-168330	H26. 8. 21	触媒	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	未公開
7	2014- 189562 【優先権主張】 原出願 2013-195891	H26. 9. 18	揮発性有機化合物検出センサ	紋川 亮 月精智子 城 照彰 他 3 名	未公開
8	2014-192135	H26. 9. 22	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	未公開
9	2014-198975 【分割出願】 親出願 2012-503249	H26. 9. 29	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカと、その製造方法に関する
10	2014-202048 【優先権主張】 原出願 2014-000573	H26. 9. 30	成形体	寺西義一 他 2 名	生体親和性、生体分解性、及び強度に優れる成形体
11	2014-209085	H26. 10. 10	遅延量測定回路および遅延量測定方法	岡部 忠	未公開
12	2014-210057	H26. 10. 14	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	柚木俊二 畑山博哉 大藪淑美	未公開
13	2014-210060	H26. 10. 14	コラーゲンゲルの作製方法及びコラーゲンゲル	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝	未公開
14	2014-211950 【優先権主張】 原出願① 2013-095732 原出願② 2014-125805	H26. 10. 16	金属イオン捕集材	梶山哲人 他 1 名	水溶液中の金属イオンを捕集でき、金属イオンによっては選択的に捕集できる地球環境に優しい金属イオン捕集材
15	2014-223328	H26. 10. 31	量子ドット複合光触媒	渡辺洋人 染川正一 他 2 名	未公開
16	2014-2350504	H26. 11. 13	放熱性を向上させる塗装方法および塗装装置および塗料	木下稔夫 他 3 名	未公開
17	2014-233373	H26. 11. 18	多孔質シリカの製造方法	渡辺洋人 他 2 名	未公開
18	2014-250421	H26. 12. 10	ナノ粒子の製造方法	川口雅弘 渡邊禎之 林 英男	未公開
19	2014-259095	H26. 12. 22	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	上野明也 山中寿行	未公開
20	2015-006392	H27. 1. 16	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	唐木由佑 他 2 名	未公開

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
21	2015-060009	H27. 3. 23	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置及びメカニカルシール	長坂浩志 他 2 名	未公開
平成 27 年度					
1	2015-078027 【優先権主張】 原出願 2014-079717	H27. 4. 6	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	加沢エリト 紋川 亮	未公開
2	2015-080285	H27. 4. 9	LED照明の分光分布設計方法	岩永敏秀 中村広隆	未公開
3	2015-110645	H27. 5. 29	強度確知評価方法	川口雅弘 他 1 名	未公開
4	2015-115101	H27. 6. 5	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
5	2015-116085	H27. 6. 8	廃棄汚泥の減少方法	田中真美 中澤亮二 小林宏輝 佐々木直里	未公開
6	2015-120886	H27. 6. 16	光電変換装置	太田優一	未公開
7	2015-121205 【優先権主張】 原出願 2014-125217	H27. 6. 16	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	林 孝星 渡辺洋人 他 2 名	未公開
8	2015-125324	H27. 6. 23	めっき付き樹脂成形体	竹村昌太 浦崎香織里 土井 正 桑原聡士 小野澤明良	未公開
9	2015-132390	H27. 7. 1	車輪構造体	西川康博	未公開
10	2015-140165	H27. 7. 14	表面プラズモン共鳴測定装置及びそのチップ	紋川 亮	未公開
11	2015-158143	H27. 8. 10	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	大西 徹 村上祐一	未公開
12	2015-168867	H27. 8. 28	微粒子凝集制御装置、微粒子凝集体生成方法、および微粒子凝集体	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	未公開
13	2015-172025	H27. 9. 1	造形材料	飛澤泰樹 小沼ルミ 村上祐一	未公開
14	2015-196039	H27. 10. 1	通気性扉	渡辺茂幸 服部 遊 西沢啓子 宮入 徹 神田浩一	未公開
15	2015-196042	H27. 10. 1	局在表面プラズモン共鳴センサ	加沢エリト	未公開
16	2015-196152	H27. 10. 1	回転体、回転機械及びポンプ	小西 毅 平野康之	未公開
17	2015-201498	H27. 10. 9	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 他 5 名	未公開
18	2015-207399	H27. 10. 21	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 他 1 名	未公開

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
19	2015-208371	H27. 10. 22	ダイヤモンド結晶製造装置及びダイヤモンド結晶製造方法	川口雅弘 他 2 名	未公開
20	2015-225399	H27. 11. 18	フローセンサ及びその製造方法	山岡英彦 他 1 名	未公開
21	2016-008946	H28. 1. 20	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	紋川 亮 他 1 名	未公開
22	2016-008947	H28. 1. 20	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	紋川 亮 他 1 名	未公開
23	2016-019288 【優先権主張】 原出願 2015-019615	H28. 2. 3	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	村上真之	未公開
24	2016-030300 【優先権主張】 原出願 2015-057992	H28. 2. 19	積層造形装置を用いた積層造形方法	山内友貴	未公開
25	2016-041375	H28. 3. 3	成形体の製造方法	峯 英一 伊東洋一 小野澤明良	未公開
26	2016-044667	H28. 3. 8	ダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材及びダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法	徳田祐樹 川口雅弘 他 2 名	未公開
27	2016-068938	H28. 3. 30	導電性繊維	添田 心 古田博一 池田善光	未公開

(2) 外国出願（自国指定も含む）

番号	出願番号	出願年月日	名称（和名）	発明者	内 容
1	10-2009-7023522 【韓国移行出願】 PCT/JP2008/061295	H21. 1. 11	燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池用セパレータブレードの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法
2	2012-503249 【自国指定出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 7. 27	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
3	13/582112 【米国移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 8. 31	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
4	【中国移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 9. 3	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
5	11750758. 2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 9. 27	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
6	10-2012-7025433 【韓国移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 9. 27	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
7	11 2011 103 324. 9 【ドイツ移行出願】 PCT/JP2011/072912	H25. 3. 8	燃料電池用集電材	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に係り、特に、平板型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルとセパレータの間に設けられる集電材、及び円筒型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルの空気極と燃料極の内周面又は外周面に設けられる集電材に関する
8	2013-533461 【自国指定出願】 PCT/JP2012/004025	H26. 2. 24	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法に関する

番号	出願番号	出願年月日	名称（和名）	発明者	内 容
9	14/241589 【米国移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 2. 27	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
10	2013-531433 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072214	H26. 2. 27	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
11	2013-531434 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072216	H26. 2. 27	成形体の製造方法	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
12	2013-531435 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072217	H26. 2. 27	成形用材料と、これを用いた成形体	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
13	12828428. 8 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072214	H26. 2. 27	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
14	12828401. 5 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072216	H26. 2. 27	成形体の製造方法	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
15	12826932. 1 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072217	H26. 2. 27	成形用材料と、これを用いた成形体	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
16	201280042513. 8 【中国移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 2. 28	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
17	12828309. 0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 3. 12	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
18	14/216, 588 【米国移行出願】 PCT/JP2012/004025	H26. 3. 17	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法に関する
19	12831773. 2 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/004025	H26. 4. 7	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法に関する
20	2013-540845 【自国指定出願】 PCT/JP2012/077719	H26. 4. 17	制御システム	佐藤 研 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
21	14/354, 758 【米国移行出願】 PCT/JP2012/077719	H26. 4. 28	制御システム	佐藤 研 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
22	2015-508824 【自国指定出願】 PCT/JP2014/59526	H27. 8. 4	悪臭処理用担持触媒	染川正一 井上 潤 他 1 名	Co、Ce 系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができる、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒

番号	出願番号	出願年月日	名称（和名）	発明者	内 容
23	2015-519944 【自国指定出願】 PCT/JP2014/064330	H27. 10. 30	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
24	14/894, 325 【米国指定出願】 PCT/JP2014/064330	H27. 12. 8	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
25	14804436.5 【欧州指定出願】 PCT/JP2014/064330	H27. 12. 15	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開

(3) PCT 出願

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	PCT/JP2009/058891 【PCT 優先権出願】 原出願 2008-127030	H21. 5. 13	トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法	月精智子 他 4 名	トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法に関し、特に高感度かつ簡便にトルエンを検出することができる、トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法
2	PCT/JP2014/052958 【PCT 優先権出願】 原出願 2013-021929	H26. 2. 7	メカニカルシールおよびその製造方法	長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 他 1 名	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
3	PCT/JP2016/055825 【PCT 優先権出願】 原出願① 2014-039680 原出願② 2015-039192	H28. 2. 26	周波数変換器、計測システム及び計測方法	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器
4	PCT/JP2016/ 59352 【PCT 優先権出願】 原出願 US 62/137, 249	H28. 3. 24	ロッカーボキー	坂下和広 森田裕介 益田俊樹	未公開

(4) 実用新案登録出願

なし

(5) 意匠登録出願

なし

(6) 商標登録出願

番号	出願番号	出願年月日	商 標	内 容
1	979000 【タイ王国出願】	H27. 3. 19		都産技研のロゴマーク 区分：第 41 類
2	979001 【タイ王国出願】	H27. 3. 19		都産技研のロゴマーク 区分：第 42 類

4.1.4 実施許諾

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	1
2	特許	①特許第 4791746 号 ②韓国第 10-2006-28002	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
3	特許	特許第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
4	特許	特願 2009-286822	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
5	特許	特許第 3292239 号	鋳造用すず合金	1
6	特許	特許第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体	1
7	特許	特願 2010-047997	防護服	1
8	特許	特願 2009-266467	家畜骨残渣の処理方法	1
9	特許	特願 2011-276326	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
10	特許	特願 2011-282885	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2
11	特許	特許第 5107571 号	LED 制御方法	1
12	特許	特願 2001-024519	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	1
13	特許	特許第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	1
14	特許	特許第 4599529 号	放射線照射判別方法および放射線判別システム	1
15	特許	特願 2012-251622	ハイドロゲル	1
16	特許	特許第 5183328 号	編成体及びその製造方法	1
17	特許	特許第 5243222 号	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	1
18	特許	特許第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
19	特許	特許第 5414719 号	無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
20	特許	特許第 5175584 号	局所表面プラズモン共鳴イメージング装置	1
21	特許	特許第 4359537 号	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	1
22	特許	特許第 5572459 号	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	1
23	特許	特願 2011-065307	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
24	特許	特願 2013-074842	悪臭処理用担持触媒	1
25	特許	特願 2011-138440	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	1
26	特許	特願 2011-059966	赤色ガラス	1
27	特許	特願 2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	1
28	特許	特願 2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	1
29	特許	特願 2013-070640	L E D 照明の分光分布設計方法	1
30	特許	特願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	1
31	実用新案	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	1
32	実用新案	登録第 3170441 号	照明器具	1
33	実用新案	登録第 3171954 号	ブラジャー	1
34	意匠	登録第 1433084 号	ランプシェード	1
35	意匠	登録第 1439104 号	ランプシェード	1
36	商標	登録第 5358694 号	PICKY's	1
37	商標	登録第 5424369 号	サスティーモ【標準文字】	1

4.1.5 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下の通り掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS』平成 18 年 8 月号記事 (平成 18 年 8 月 20 日発行)、pp. 8～9 「吸音について-遮音との違いから吸音のメカニズムまで-」	(一社)日本熱供給事業協会	「熱供給技術者のための基礎知識」 (平成 27 年 8 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『平成 26 年度技術シーズ集』 (平成 26 年 9 月 30 日発行)、p. 7、9 「環境低負荷型クエン酸ニッケルめっき」 「セラミック材表面へのイオン注入効果」	仁平技術士事務所	「図解 現場に役立つ表面処理」 (平成 27 年 8 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS』平成 26 年 7 月号記事 (平成 26 年 6 月 25 日発行)、p. 6 「素材表面へのイオン注入による表面改質」	仁平技術士事務所	「図解 現場に役立つ表面処理」 (平成 27 年 8 月発行)
「静電植毛装置の実験」撮影協力時の画像 (平成 24 年 6 月 12 日撮影)	(株)NHK エデュケーションナル	教育教材用 DVD (平成 28 年 2 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『EU 入門シリーズその 5 RoHS 指令入門』、p. 9、12	(一社)日本電気制御機器工業会	平成 27 年 12 月 4 日開催のセミナー 「欧州 RoHS 指令基礎」資料
東京都立産業技術センター ホームページ http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html 繊維製品の顕微鏡試験の例として掲載している画像 7 点	漆原次郎 氏	会員誌『Rikejo』第 37 号 (平成 28 年 1 月発行)

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、平成 19 年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。

4.2 海外規格対応の支援

4.2.1 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP」という。）は、1都10県1市の運営機関（都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所、横浜市工業技術支援センター）が連携して実施する中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。平成27年度は、中小企業の海外規格対応の支援について円滑かつ適切な運営を進めるための運営委員会等を以下の通り開催した。

No.	開催年月日	開催場所	会議等名	内容
1	平成27年 6月16日	横浜市工業技術支援センター	第6回MTEP事務局会議	広域首都圏公設試験研究機関「海外展開支援製品化事例集」発行について
2	平成27年 8月28日	埼玉県産業技術総合センター	第7回MTEP事務局会議	海外展開支援分科会参加機関のMTEP会議オブザーバー参加について
3	平成27年 11月6日	ちば仕事プラザ	第8回MTEP事務局会議	MTEP3周年記念事業実施に関する報告、自治体および関連団体の海外事務所に関する報告
4	平成28年 1月29日	都産技研	第4回MTEP運営委員会	各機関海外展開支援事例報告

(1) 海外展開支援サービス

- 1) 海外規格（ISO、IEC）情報の閲覧サービス
- 2) 専門相談員による技術相談

都産技研には次の16名の専門相談員を置き、相談に対応した。

専門相談員氏名	技術分野
森 淨	EMC、電気安全、CE マーキング
松浦徹也	RoHS、REACH
岡野雅一	RoHS、REACH
池上利寛 ※1	EMC、CE マーキング
奥野克幸	中国規格、UL 規格
藤ノ木修二	EMC、電気安全、CE マーキング
小西 頌	EMC、電気安全、CE マーキング
板谷雅樹	航空機関連
吉川 保	機械安全、CE マーキング
金田光範	機能安全（自動車・電子機器）
石井 満	機械安全、CE マーキング
田口和美 ※1	医療機器、FCC
篠崎厚志	EMC、CE マーキング
忍足光史	国内薬事法

専門相談員氏名	技術分野
福井 寛 ※2	欧州化粧品指令
元 淑華 ※3	各国 EMC・安全・無線認証

※1 平成27年 9月まで委嘱

※2 平成27年11月から委嘱

※3 平成28年 3月から委嘱

(2) 普及啓発活動

都産技研の職員や専門相談員を講師とした技術セミナーや連携セミナーの開催、および他機関主催の技術セミナーなどへの講師派遣により、海外展開支援事業の普及啓発活動を以下の通り実施した。

1) 技術セミナー等

都産技研主催の技術セミナー 46 件 (7.1.1 技術セミナー、講習会一覧参照)

MTEP 共同運営機関連携セミナー 4 件

No.	開催年月日	実施場所	名称
1	平成 27 年 6 月 24 日	群馬県立産業技術センター	分析技術講演会
2	平成 27 年 10 月 2 日	群馬県立産業技術センター	電磁環境測定試験技術講習会 (電気電子製品の海外輸出のための CE マーケティング入門セミナー)
3	平成 27 年 11 月 27 日	新潟県工業技術総合研究所	製品認証制度と CE マーケティング+改正 RoHS 指令解説
4	平成 28 年 3 月 10 日	山梨県工業技術センター	RoHS 指令徹底解説

他機関主催イベントでの講演等 7 件

No.	開催年月日	主催者	実施先の名称	実施場所
1	平成 27 年 5 月 12 日	東京都	東京都技術会議ラボネット 2015	都民ホール
2	平成 27 年 5 月 27 日	都産技研技術研究会 「締結問題研究会」 総会・研究会	締結問題研究会総会・研究会	都産技研 本部
3	平成 27 年 8 月 29 日	八王子市	中小企業の海外への販路開拓のために ～その心構えと成功のポイント～	八王子先端技術センター
4	平成 27 年 9 月 1 日	東京ライフサイエンス インキュベーションセンター (TLIC)	CE マーケティング制度の概要および広域 首都圏輸出製品技術支援センターでの支援	TLIC 会議室
5	平成 27 年 9 月 16 日	日本石鹼洗剤工業組合	業種別交流会	油脂工業会館 9 階会議室
6	平成 27 年 9 月 28 日	東京商工会議所	平成 27 年度経営指導員等研修 (特別コース②)	東京商工会議所 会議室 D
7	平成 28 年 1 月 26 日	東京 TY フィナンシャル グループ	海外展開の技術支援について	「エステック情報ビル」 21 階 会議室 B

2) MTEP メールニュース

海外規格セミナーや各種イベントの情報など、海外展開支援情報を提供する MTEP メールニュースを配信した。

配信回数 計 15 回

配信登録数 約 1,800 件

(3) 相談実績

相談件数合計 1,247 件となり、メール相談が最も多く 696 件であった。また、相談企業の所在地別では東京都が最も多く 792 件、規模別では中小企業が最も多く 946 件であった。

1) 相談方法別（件）

相談方法	件 数	相談方法	件 数
電 話	39	テレビ会議	17
来 所	439	オーダーメイドセミナー	10
実地支援	39	その他	7
メール	696	合計	1,247

2) 相談企業所在地別（件）

	東京都	茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	千葉県
件 数	792	6	28	12	110	23

	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県	新潟県	その他
件 数	120	9	19	22	12	94

3) 相談企業規模別（件）

中小企業	946
大企業	284
その他	17
合計	1,247

(4) 刊行物

中小企業への技術情報提供のため、海外規格の概要をまとめた「海外規格解説ガイドブックシリーズ」など、以下の刊行物を発行した。

1) 東京都 平成 27 年度 海外展開技術支援「海外規格等適合化の普及啓発」事業 海外規格解説ガイドブックシリーズ

No.	タイトル	発行年月	部数 (部)
1	PED 圧力機器指令	平成 28 年 3 月	3,100
2	ATEX 防爆指令	平成 28 年 3 月	3,000
3	TSD 玩具指令	平成 28 年 3 月	3,100

2) 海外展開支援事例集

No.	タイトル	発行年月	部数 (部)
1	経済産業省 平成 24 年度補正予算 「地域新産業創出基盤強化事業」(関東地域) 広域首都圏公設試研究機関 海外展開支援製品化事例集	平成 27 年 6 月	2,000
2	平成 27 年度 都産技研 MTEP による海外展開事例集	平成 28 年 3 月	1,000

3) リーフレット

No.	タイトル	発行年月	部数 (部)
1	中小企業の海外展開支援サービス 英語版	平成 27 年 6 月	2,000
2	広域首都圏輸出製品技術支援センター サービスガイド(増刷)	平成 27 年 10 月	2,000
3	MTEP 1 都 10 県専門相談員紹介パンフレット(増刷)	平成 27 年 11 月	2,000
4	都内中小企業の皆さまへ 海外展開支援サービスの紹介(増刷)	平成 27 年 12 月	2,000

(5) 受賞

中小企業向け海外展開支援の取り組みが評価され、以下の賞を受賞した。

受賞名	第 5 回地域産業支援プログラム表彰 (イノベーションネットアワード 2016) 全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞
件名	広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) による中小企業向け海外展開支援サービス
表彰団体	(一財)日本立地センター全国イノベーション推進機関ネットワーク

4.2.2 バンコク支所

海外で技術支援を受けたいという中小企業の要望に応じて、ASEAN 地域の中で日系中小企業が多く展開するタイ王国に平成 27 年 4 月 1 日、バンコク支所を開設した。都産技研初めての海外拠点である。バンコク支所では主に技術相談や技術セミナーによる情報提供を実施する。また、都産技研本部とのテレビ会議システムを活用し、さまざまな技術的な課題解決を支援する。

(1) 業務内容

- 1) 来所、メール、本部との TV 会議システム等により日系中小企業の技術相談を実施
- 2) 職員が工場や事務所で実地技術支援し、品質改善などの現場が抱える課題に対応
- 3) 技術セミナーでの最新の技術動向や国際化対応などに関する情報提供
- 4) ASEAN 地域へ進出を希望するものづくり中小企業の現地での活動支援

(2) 開所式（4 月 24 日）

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)バンコク事務所長、タイ工業省副大臣、タイ王国政府顧問を来賓に迎え、開所式を開催した。(111 名参加：バンコク グランドミレニアムスクンビットホテル)

(3) 技術相談

1) 日系中小企業の技術相談

バンコク支所職員および本部職員との TV 会議により、製品開発や技術課題の解決を図った。

主な相談事例

- ・材料分析、振動試験、三次元計測、薄膜厚や表面粗さ測定に関すること
 - ・電気や機械設計および三次元 CAD などの設計・試作に関すること
 - ・タイの製品規格 (TIS) や EU の CE マーキングに関すること
 - ・タイ人の人材育成・エンジニア教育に関すること
- 2) 本部および多摩テクノプラザ職員等と連携した特別相談会および実地技術支援
 - ・化学物質規制 RoHS・REACH 相談会 (8 月 25 日)
 - ・工場省エネ診断実地支援 (10 月 26, 27 日)
 - ・機械加工特別相談会、実地支援 (11 月 18～21 日)
 - ・製品安全相談会 (11 月 18～21 日)

バンコク支所技術相談実績 (件)

平成 27 年度実績	345
------------	-----

(4) 展示会への出展活動

バンコク支所の取り組みの周知活動としてタイおよびベトナムの展示会等に出展した。

- ・INTERMACH2016 併設：SUBCON THAILAND 5 月
- ・Manufacturing EXPO 併設：ものづくり商談会 6 月
- ・VIETNAM METALEX (講演会のみ参加) 10 月
- ・METALEX 2015 11 月

(5) 技術セミナー

バンコク支所開設セミナー「タイでの日本流品質管理の展開」を3回、「タイでの日本流労働・製品安全の展開」等を2回、合計5回のセミナーを開催した。(計105名参加)

(6) 産業交流事業

1) タイ機関との連携協定の締結

バンコク支所の活動を円滑に推進するため、業務協定を締結した。

- ・泰日経済技術振興協会（締結日 4月20日）

（TPA：Technology Promotion Association(Thailand-Japan)）

- ・泰日工業大学（締結日 2月4日）

（TNI：Thai-Nichi Institute of Technology）

2) 日系企業技術交流会の開催

日系企業への有益な情報提供や現地日系企業の交流推進を目的にタイで支援している公的機関、大学、金融機関、タイ機関等と連携し、「世界に勝つものづくりシンポジウム 日系企業技術交流会 2016 in バンコク」を開催した。(参加者107名)

また、この事業はバンコクに事務所を持つ都産技研、東京都中小企業振興公社、首都大学東京の共同開催で実施した。

3) 日系企業向けタイ試験所機関見学会

日系企業から都産技研へタイ国内試験所機関への見学会開催の企画要望が多数あり、見学会を3回実施した。

回数	実施機関名	参加者数	開催日
第1回	INTERTEK（民間試験所）	9社14名	11/13
第2回	EEI（タイ国工業省傘下の試験所）	11社18名	12/15
第3回	TISTR（タイ国科学技術省傘下の試験所）	7社12名	1/15

4.3 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行った。

平成 27 年度は 29 団体からの依頼により 58 事業の審査に携わり、延べ 4,543 件の技術審査を行った。

	実 施 主 体	審 査 件 名	延べ件数
東京都	産業労働局商工部	経営革新計画等承認審査会	426
	産業労働局商工部	東京都ベンチャー技術大賞	436
	産業労働局商工部	新事業分野開拓者認定（トライアル発注）	116
	産業労働局商工部	文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	87
	その他		48
	小計（比率％）		1,113(24.5%)
(公財) 東京都 中小企 業振興 公社	助成課	(公財)東京都中小企業振興公社助成事業	1,325
	助成課	中小企業応援ファンド（地域資源活用助成）	113
	助成課	ものづくり産業基盤強化グループ支援事業	16
	その他		348
	小計（比率％）		1,802(39.7%)
区市	(公財)大田区産業振興協会	新製品・新技術支援事業	204
		大田区中小企業新製品新技術コンクール	217
	北区	新製品・新技術支援事業	24
	品川区	メイドイン品川 PR 事業	11
		新製品・新技術開発促進事業	42
	港区	新製品・新技術開発支援事業	17
	府中市	新製品・新事業支援	6
	その他		260
	小計（比率％）		781(17.2%)
団体等	東京商工会議所	第 13 回勇気ある経営大賞	41
	(公財)日本発明振興協会	発明大賞表彰	300
	(一財)機械振興協会	新機械振興賞	48
	東京都中小企業団体中央会	受注型中小製造業競争力強化支援事業	219
	多摩信用金庫	多摩ブルー・グリーン賞	86
	その他		153
	小計（比率％）		847(18.6%)
	合 計（比率％）		4,543(100%)

5. 産学公連携

5.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m²のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し、産業交連携事業を推進した。

平成 27 年度の取り組みは以下の通りである。

(1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成27年 4月17日	MTEP セミナー「IEC 62368-1 第2版の概要と安全設計の考え方」
平成27年 5月15日	MTEP セミナー「日本・米国・欧州の医療機器規制の概要」
平成27年 5月25日	MTEP セミナー「CE マーキング入門シリーズ CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門（第1回）」
平成27年 6月10日	MTEP セミナー「技術者のための知財セミナー 特許明細の書き方～海外展開のその前に～」
平成27年 6月24日～26日	研究発表会
平成27年 7月 8日	技術セミナー「プラスチック成形加工・金型加工技術者のためのすぐに使えるシミュレーション技術」
平成27年 7月27日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ RoHS 指令徹底解説～基礎から実践まで～」
平成27年 7月29日	多摩業種別交流会
平成27年 9月11日～12日	INNOVESTA!2015
平成27年10月 2日	技術セミナー「若手技術者のための金属加工技術シリーズ 第1回 金属材料と加工技術の基礎編」
平成27年10月 5日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ 北米規格（UL/CSA, FCC）」
平成26年10月15日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ REACH 規則～REACH の基本と成形品の対応～」
平成27年10月27日	技術セミナー「プラスチック材料の基礎—合成から強度特性まで—」
平成27年10月30日	技術セミナー「機器開発で押さえておきたい熱設計のポイント」
平成27年11月 6日	重点4技術分野フォーラム（EMC・半導体技術分野）
平成27年11月26日	重点4技術分野フォーラム（バイオ応用技術分野）
平成27年12月 1日	重点4技術分野フォーラム（環境・省エネ技術分野）
平成27年12月10日	ブランド確立実践ワークショップ「マーケティングデザイナー養成講座」
平成27年12月17日	重点4技術分野フォーラム（メカトロ技術分野）
平成28年 3月29日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ RoHS 指令徹底解説～基礎から実践まで～」

(2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成27年 4月22日	ロボット研究会総会	ロボット研究会
平成27年 5月20日	めっき技術の新潮流	(一社)表面技術協会 めっき部会
平成27年 5月22日	第5回熱可塑性複合材料研究会	(一社)強化プラスチック協会
平成27年 6月 9日	第27回木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
平成27年 7月 9日	共催セミナー「3Dプリンタが生み出すものづくり製造業の革新」	港区
平成27年 9月 2日	マテリアルライフ学会 表面－界面物性研究会 2015年秋季講演会	マテリアルライフ学会 表面－界面物性研究会
平成27年 9月 4日	都市課題解決のための技術戦略プログラム普及セミナー	東京都 産業労働局
平成27年 9月28日	第150回講演会「身近な現場で考える地球環境問題とプラスチック製造」	(一社)プラスチック成形加工学会
平成27年10月 6日	第36回木材接着研究会「木材接着技術の変遷から新しい木質材料の接着へ」	(一社)日本木材学会 接着研究会
平成27年10月 8日	産業技術連携推進会議 第17回医療福祉技術シンポジウム	(国研)産業技術総合研究所
平成27年10月23日	VCAD システム研究会講演会 「3D デジタル造形の新しい風」	(特非)VCAD システム研究会
平成27年11月13日～15日	サイエンスアゴラ 2015	(国研)科学技術振興機構
平成27年11月20日	第51回日本食品照射研究協議会「技術セミナー/教育講演会」	日本食品照射研究協議会
平成27年11月27日	第141回温度計測部会講演会 「匠の温度計測」	(公社)計測自動制御学会 計測部門 温度計測部会
平成27年12月 2日	安全な省エネ社会の構築と中小企業	(一社)電気学会
平成27年12月 4日	第448回トライボロジー懇談会	(一社)日本トライボロジー学会
平成27年12月11日	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム 第3回研究会	(国研)産業技術総合研究所
平成27年12月15日	東京ベイイノベーションフォーラム 2015	(国研)産業技術総合研究所
平成27年12月22日	共催セミナー「3Dプリンタが生み出すものづくり製造業の革新」	港区

(3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成27年 5月 27日	第 33 回 JCIE セミナー「UV-LED の技術開発・市場投入の現状とエネルギー計測上の課題」	(一社)日本照明委員会
平成27年 7月 7日	NEDO 特別講座シンポジウム	東京大学

(4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成27年 7月 14日～17日	新製品・新技術開発助成事業、海外展開技術支援助成事業審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成27年 8月 18日～21日	成長産業等設備投資特別支援事業審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成27年 9月 16日～18日	試作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成事業、先進的防災技術実用化支援事業審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成27年11月 9日	大学・大企業（特許・技術）説明会	(一社)コラボ産学官
平成28年 2月 9日～12日	成長産業等設備投資特別支援助成事業審査	(公財)東京都中小企業振興公社

5.2 コーディネート事業

コーディネート事業は、平成 21 年 4 月に東京都から都産技研に移管され本部を拠点として事業の推進を図ってきた。平成 22 年 2 月から多摩テクノプラザ開設に伴い、多摩テクノプラザを拠点とした多摩地域での事業も実施している。

産学公連携コーディネータは、本部では電機・電子、センサー・システム、機械・金属、情報・通信、環境化学・分析などの分野で 5 名、多摩テクノプラザでは生産技術・機械設計、環境・化学、機械・金属などの分野で 3 名の外部専門家に委嘱し、産学公連携に関わる相談、支援を行った。平成 27 年度の実績は以下の通りである。本事業は本年度をもって終了する。

相談件数（件）

合計	内 訳	
	来所	電話、メール
1,058	290	768

成約件数（件）

合計	内 訳		
	産・学	産・公(官)	産・産
22	8	9	5

5.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）の新グループを昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 27 グループ約 420 名の会員が活動している。

平成 27 年度は、本部および多摩テクノプラザにおいて異業種交流グループ会員を募集し、平成 27 年 7 月に新グループを結成した。各グループに専門の助言者を配置して、平成 28 年 3 月まで毎月 1 回交流会を開催し、自社紹介、都産技研施設の見学、講演会などを実施した。

グループ名	開催日	回数（回）	参加者数（人）
本部グループ	7 月～3 月、各 1 回	9	153
多摩テクノプラザグループ	7 月～3 月、各 1 回	9	133

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

グループ協議会は、既存グループが活動状況や計画を報告することでお互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催している合同交流会の開催についても検討を行い、第 31 回合同交流会の開催を決定した。

会 議 名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	6 月 3 日	17 (20)

2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

グループ間の交流を深めるために、都産技研異業種交流グループの全グループ会員が一堂に会する第 31 回合同交流会を、平成 28 年 2 月 25 日、三鷹産業プラザにて開催した。本年度はより幅広い連携交流を図るため、公益財団法人東京都中小企業振興公社異業種交流グループおよび都産技研技術研究会の会員も参加した。「知って得する小さい力 小さな技術を大きく実現」のテーマのもと、①製品展示会（49 社）、②基調講演、③プレゼンテーション（13 社）、④名刺交換・商談会を実施した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下の通りである。

会 議 名（開催日）	開催回数（回）	参加者数（人）
第 31 回合同交流会（2 月 25 日）	1	276
合同交流会実行委員会等	6	95

また、多摩テクノプラザを拠点として活動している 5 グループが、産業サポートスクエア・TAMA を会場に、平成 27 年 8 月 26 日、第 3 回の多摩グループ合同交流会を開催し 59 名が参加した。

3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の 25 グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供など、グループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談に対応した。既存異業種交流グループが都産技研において定例会などを開催した実績は、以下の通りである。

会 議 名	利用回数（回）	参加者数（人）
定例会など	79	842

5.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業参加者数 (都産技研・商工部)	内 容
1	東京ニットファッション工業組合他計4団体	平成27年 7月9日	9 (10)	墨田支所、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社の事業を説明。業界の現状と課題の報告および技術的支援に関する要望を受け、意見交換を行った。
2	多摩繊維関連業界	平成27年 7月29日	16 (13)	都産技研事業概要・計画説明、繊維・化学グループの研究報告、業界現状報告、業界の現状と課題の報告および技術的支援に関する要望を受け、意見交換を行った。
3	東部金属熱処理工業組合	平成27年 9月2日	26 (9)	所内見学後、金属熱処理業界の近況報告、都産技研の技術支援概要紹介、機械技術グループ紹介、中核人材セミナー報告、意見交換を行った。
4	日本石鹼洗剤工業組合	平成27年 9月16日	25 (6)	日本石鹼洗剤工業組合に関連する最近のニーズや家具業界の動向および日本石鹼洗剤工業組合が抱えている技術的な課題と都産技研への要望を中心に意見交換を行った。
5	東京鼈甲組合連合会	平成28年 3月24日	17 (3)	東京都受託研究報告、開発試験経過報告および表面仕上げの実演等を実施後、今後の支援と取り組みについて意見交換を行った。

5.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など、技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
1	化学技術研究会	昭和62年 4月	化学技術の向上、相互の技術交換	53 (7)	3
2	静電植毛加工技術研究会	昭和62年 4月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	11 (1)	1
3	超音波応用懇談会	昭和63年 3月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	124 (45)	9
4	PC情報研究会	平成元年 7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	113 (39)	24
5	締結問題研究会	平成6年 2月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	90 (28)	7
6	城東デザイン研究会	平成7年 4月	デザインに関する情報収集、デザイン力の向上、製品企画・デザインにおける異業種間の連携促進など	90 (20)	10
7	東京都健康福祉技術研究会	平成8年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	102 (33)	6
8	粉末冶金技術研究会	平成9年 4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究などを実施	56 (4)	2
9	信頼性技術研究会	平成9年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの開催、技術情報交換	140 (18)	8
10	表面科学交流会	平成10年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	29 (3)	3
11	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成13年 10月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	96 (16)	8

No.	名 称	設 立 年 月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
12	照明技術研究会	平成 14 年 4 月	照明技術の研究、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換	24 (7)	2
13	環境技術研究会	平成 14 年 4 月	環境汚染技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	66 (33)	4
14	循環型技術研究会	平成 14 年 7 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	142 (9)	7
15	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成 14 年 8 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓などの勉強会を行う	50 (4)	2
16	東京温度検出端工業会 技術懇談会	平成 18 年 4 月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	65 (5)	3
17	東京都ロボット研究会	平成 23 年 4 月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	188 (19)	5
18	塗膜性能評価研究会	平成 23 年 12 月	情報交換、共同調査・研究などを通じ、既存の技術にとらわれない新たな評価方法の検討・普及	16 (4)	2
19	ガラス技術交流会	平成 24 年 3 月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することによる、技術者の活性化や新技術の理解習得など	225 (25)	5
20	デザインマーケティング 技術研究会	平成 23 年 4 月	デザイナーのセルフマーケティングについて研究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や営業技術の研究	52 (17)	7
21	感性工学研究会	平成 25 年 1 月	新しい工学技術分野としての感性工学について理解を深め、企業や研究者による製品の感性評価や感性工学技術の情報交換、会員相互による研究の協力体制の確立など	113 (7)	7
22	トライボコーティング技術研究会	平成 6 年 11 月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	34 (4)	3
23	航空宇宙部品製造技術 研究会(アマテラス)	平成 23 年 10 月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの構築、マーケットの獲得	9 (2)	1
24	TIRI 情報セキュリティ 研究会	平成 27 年 4 月	サイバー攻撃の実態調査、生活ロボットへの組込みシステム、中小企業向けセキュリティ簡易診断法開発、情報セキュリティに関する勉強会や普及促進活動	124 (21)	11
25	保存修復開発研究会	平成 27 年 7 月	新材料を修復技術に応用することを目的とし、情報収集、情報交換、共同調査・研究を実施し、相互の技術力と経営力を向上させる	24 (9)	4

以下の技術研究会は、平成 27 年度をもって廃止した。

CAD/CAM 研究会（平成 27 年 6 月 23 日）

計測制御研究懇談会（平成 27 年 8 月 31 日）

制御システム研究会（平成 28 年 2 月 29 日）

5.6 行政等支援機関連携

5.6.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下の通りである。(平成28年3月31日現在)

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年4月1日
		覚書	平成19年1月4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	平成18年8月10日
		秘密保持契約書	平成18年9月1日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成19年2月26日
4	首都大学東京	業務協定書	平成19年3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年4月1日
6	長岡技術科学大学	協定書	平成20年8月26日
		覚書	平成21年8月6日
7	新宿区	協定書	平成20年9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	平成21年3月12日
		教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年6月3日
11	港区	協定書	平成21年7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの活用に関する覚書	平成21年7月16日
13	府中市	覚書	平成22年5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
15	北区	覚書	平成23年2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	平成23年4月14日
17	品川区	協定書	平成23年6月1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年9月12日
19	江東区	協定書	平成23年9月14日
20	朝日信用金庫	協定書	平成24年1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	平成24年3月8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	平成24年4月9日
23	江東信用組合	協定書	平成24年6月6日
24	東京電機大学	協定書	平成24年7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	平成24年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	平成24年12月7日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
27	日野市	覚書	平成25年 2月26日
28	昭島市	協定書	平成25年 3月12日
29	城南信用金庫	覚書	平成25年 3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	平成25年 3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	平成25年 4月 1日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	平成25年 9月 5日
33	東京都商工会連合会	協定書	平成25年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	平成25年10月28日
35	東京理科大学	協定書	平成25年11月 5日
36	葛飾区	協定書	平成25年11月26日
37	(株)東京都民銀行	協定書	平成26年 3月 4日
38	(独)国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校	協定書	平成26年 3月26日
39	法政大学	協定書	平成26年 4月11日
40	東京東信用金庫	協定書	平成26年 6月 3日
41	芝信用金庫	協定書	平成26年 6月11日
42	東京商工会議所	協定書	平成26年 7月14日
43	青梅市	協定書	平成26年 8月26日
44	青梅商工会議所	協定書	平成26年 8月26日
45	千葉工業大学	協定書	平成26年 9月30日
46	墨田区	協定書	平成26年11月13日
47	タイ工業省	協定書	平成26年11月25日
48	電気通信大学	協定書	平成26年12月 9日
49	荒川区	協定書	平成27年 3月 3日
50	泰日経済技術振興協会	協定書	平成27年 4月24日
51	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	平成27年10月19日
52	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	平成27年11月 5日
53	泰日工業大学	協定書	平成28年 2月 4日
54	亀有信用金庫	協定書	平成28年 2月17日
55	信州大学	協定書	平成28年 3月10日

個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	平成25年10月30日	多摩テクノプラザ
2	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	平成25年10月 1日	城南支所
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	平成25年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	平成26年 1月17日	墨田支所

5.6.2 大学などとの連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

(1) 首都大学東京

- ・研究成果発表会(6月)で発表および外部評価委員委嘱
- ・INNOVESTA(9月)でポスター、パンフレット掲示、配布
- ・インターンシップ5名受け入れ(8月～9月)[3部署：電子半導体、光音、城南支所]
- ・セミナー・展示会協力
 - 「事前防災・減災対策推進展」出展(7月)
 - 「イノベーション・ジャパン2015」出展(8月)
 - 「都市課題解決のための技術戦略プログラム(高度な防災都市編)普及セミナー」(東京都、都産技研、首都大、公社共催 9月)1名講師派遣
 - システムデザインフォーラム「多言語対応案内ロボット チリンロボットデモ」(10月)出展、後援
 - 「新機能材料展」出展(1月)
 - 「高齢者生活サービス展2016」出展(1月)
 - 「第2回ウェアラブルEXPO」出展(1月)
 - 「SURTECH2016」(1月)
- ・共同研究2テーマ実施

(2) 産業技術大学院大学

- ・研究成果発表会(6月)で発表および外部評価委員委嘱
- ・学協会連携事業「一般社団法人表面技術協会 めっき部会」(5月)で1件の講演
- ・委員、講師の派遣
 - 「オープンインスティテュート(OPI)企画経営委員会」(5、6、9、10、12月)
- ・共同研究1テーマ実施

(3) 東京都立産業技術高等専門学校

- ・研究成果発表会(6月)で発表および外部評価委員委嘱
- ・連携セミナー実施(10月)「若手技術者のための金属加工語術シリーズ第4回」
- ・インターンシップ2名受け入れ(8月～9月)
- ・委員の派遣
 - 地域連携推進委員(平成27年12月～平成28年2月)

(4) 東京都立多摩科学技術高等学校

- ・科学技術に関する講義(科学技術アドバイザー講演・特別授業)講師2名派遣(12月)

(5) 長岡技術科学大学

- ・実務訓練生3名受け入れ(10月～2月)

(6) 芝浦工業大学

- ・研究成果発表会(6月)で発表および外部評価委員委嘱
- ・INNOVESTA(9月)にポスター、パンフレット掲示、配布

- ・大学院生 3 名受け入れ
- (7) 東京電機大学
- ・ INNOVESTA(9 月)にポスター、パンフレット掲示、配布
 - ・ 研究者交流会の実施(2 月)
- (8) 明星大学
- ・ 研究成果発表会(6 月)で発表
- (9) 東京理科大学
- ・ インターンシップ 1 名受け入れ
 - ・ 研修生 1 名受け入れ
 - ・ 「経済産業省：地域オープンイノベーション事業(9,800 万円)」に関連した研究者交流会実施(12 月)13 名参加
- (10) 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- ・ 研究成果発表会(6 月)で発表および外部評価委員委嘱
 - ・ 東京ベイイノベーションフォーラム開催(12 月：東京イノベーションハブ)共同技術展示 9 社招待(7 社 13 名出席)、参加者 73 名
 - ・ INNOVESTA(9 月)にポスター、パンフレット掲示、配布
 - ・ 共同研究 4 テーマ実施
 - ・ 地域経済活性化人材育成事業「ロボット自律移動技術のソフトウェアコンポーネント化」都産技研より 1 名招聘(2015 年 12 月 18 日～2016 年 2 月 29 日)
 - ・ 「第 5 回 臨海地域産学官連携フォーラム」講師 1 名派遣(9 月)
- (11) 公益財団法人東京都農林水産振興財団
- ・ 共同研究 1 テーマ実施
 - ・ 研究成果発表会(6 月)で発表
- (12) 一般社団法人コラボ産学官
- ・ 大企業・大学(特許・技術)説明会連携実施(11 月：東京イノベーションハブ)都産技研から 10 件シーズ提供
 - ・ 産学官金連携推進フォーラム講師派遣(2 名)
「ロボット産業活性化事業オリンピック・パラリンピック」(9 月)
「人間特性を活かした製品開発支援」(3 月)
 - ・ INNOVESTA(9 月)にポスター、パンフレット掲示、配布
- (13) 一般財団法人機械振興協会
- ・ 研究者交流会実施(9 月)
- (14) 一般財団法人化学研究評価機構
- ・ 連携推進会議実施(10 月)
 - ・ 研究成果発表会(6 月)で発表

(15) 独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校

- ・ INNOVESTA(9 月)にポスター、パンフレット掲示、配布

(16) 電気通信大学

- ・ 研究成果発表会(6 月)で発表
- ・ ロボット分野での研究室紹介ツアー(4 月、6 名参加)
- ・ 大学院生インターンシップ受け入れ(8 月)1 名
- ・ 共同研究 1 テーマ実施

(17) 千葉工業大学

- ・ 研究成果発表会(6 月)で発表
- ・ 千葉工業大学附属研究所「研究活動報告会」(9 月、1 名参加)

(18) 東京工業団体連合会

- ・ 連携技術相談フォーラムの構築(12 月)

(19) JASA 一般社団法人組込みシステム技術協会

- ・ 協定締結 10 月 19 日
- ・ Embedded Technology 2015 [組込み総合技術展] 出展(11 月)

5.6.3 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料補助制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成 27 年度の取り組みは以下の通りである。

(1) 区部での連携

1) 城東地域

① 墨田区

- ・ 4 者連絡協議会への参加

墨田区主催 墨田区、国際ファッションセンター (KFC)、ファッション産業人材育成機構 (IFI)、都産技研墨田支所の 4 者での情報交換会 (計 3 回)

- ・ 区長表敬訪問(10 月)

② 江東区

- ・ 都産技研利用料補助を継続実施
- ・ ものづくり商談会コーディネータ派遣(8 月)
- ・ 「the 東京湾岸・起業家交流会 2015」(11 月：テレコムセンター)
ブース出展：ロボット実演、パネル展示、産業交流コーディネーター 1 名派遣
- ・ INNOVESTA(9 月)にポスター、パンフレット掲示、配布

③ 荒川区

- ・ 都産技研利用料補助を継続実施
- ・ 荒川区ビジネスプランコンテスト後援
- ・ MACC フォーラム 産学連携パネルディスカッションへのパネラー派遣

- ・特別区長会理事長講演(9月：東京区政会館)
- ・産学公金連携セミナー「中小企業向け 知っておくべき！補助金等各種説明会」開催(2月：荒川区ホテルラングウッド)
- ・「第37回荒川区産業展」(3月：荒川総合スポーツセンター 出展：ロボット実演、パネル展示)
- ・荒川区後援による城東支所でのセミナー2回開催(2月、3月)
「技術支援はおまかせ～都産技研のトリセツ～」

④ 足立区

- ・都産技研利用料補助を継続実施
- ・公社ニュースときめきに「産学連携支援補助金案内」掲載(10月)

⑤ 葛飾区

- ・都産技研利用料補助を継続実施
- ・「第31回葛飾区産業フェア運営実行委員会」への委員派遣(4～8、10月)
- ・「葛飾区産学公連携推進協議会」への委員派遣(7月)
- ・「葛飾区工業振興会議」への委員派遣(8、2月)
- ・「葛飾区内官公署長連絡協議会」への委員派遣(7、12月)
- ・「かつしか異業種交流会」への委員派遣(4月)
- ・「葛飾区産学公連携シンポジウム2015」での発表(7月)
(7月14日 理科大にて開催 参加者数：130名 城東支所紹介展示)
- ・「第31回葛飾区産業フェア」出展・施設公開(10月)
- ・「葛飾区町工場見本市2016」出展(1月)

⑥ 江戸川区

- ・都産技研利用料補助を継続実施
- ・「第17回産業ときめきフェア in EDOGAWA」講師派遣1名(11月)
- ・「江戸川区発明コンクール」後援(1月)

⑦ 台東区産業振興事業団

- ・協定締結 11月5日
- ・MTEP 台東区セミナー(1月：台東区中小企業振興センター)

2) 城南地域

① 品川区

- ・都産技研利用料補助を継続実施
- ・品川産業支援交流施設「SHIP」オープンセレモニー(5月、2名出席)
- ・「ものづくり商談会」(8月)：品川区立品川産業支援交流施設
- ・「技術マッチング交流会」開催(3月)

② 大田区

- ・城南支所施設公開を連携実施(第5回おおた研究・開発フェアと同時開催)(10月)
- ・大田区産業振興協会共催 技術セミナー

第1回 三次元計測技術の最前線（8月）

第2回 試作加工技術の最前線（9月）

第3回 化学特性評価の最前線（10月）

3) 城北地域

① 北区

- ・都産技研利用料補助を継続実施

- ・産公連携共催セミナー

現場と営業で役立つプラスチック技術（2月）

② 板橋区

- ・都産技研利用料補助を継続実施

- ・「都産技研 公設試助成金パンフレット」提供

- ・「第19回 いたばし産業見本市」出展(11月)

- ・産公連携共催セミナー

レンズ開発セミナー～理論設計と生産現場のギャップを埋めるために～(10月)

4) 都心・副都心地域

① 千代田区

- ・都産技研利用料補助を継続実施

② 港区

- ・都産技研利用料補助を継続実施

- ・MTEP・港区共催セミナー(1月：港勤労福祉会館)

③ 豊島区

- ・「第9回としまものづくりメッセ」出展(3月)

(2) 多摩地域での連携

1) 八王子市

- ・都産技研利用料助成の継続実施

2) 立川市

- ・都産技研利用料助成の継続実施

3) 青梅市

- ・「おうめものづくり支援事業専門家会議」委員派遣(9月)

- ・「理科教室」出展(10、11月)

4) 府中市

- ・府中市工業技術情報センターとインターネットを介した遠隔相談を継続実施

- ・第26回 府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェア出展(10月)

- 5) 昭島市
 - ・都産技研利用料助成の継続実施
 - ・「第 47 回昭島市産業まつり」出展および工作教室の開催(11 月)
- 6) 日野市
 - ・研究成果発表会(6 月)で発表者派遣
- (3) 東京都立職業能力開発センターとの連携
 - 1) 城東職業能力開発センターとの連携
 - ・情報交流会の連携実施(5、6、8 月)
 - ・第 1 回企業向けセミナー「知って得する人材育成のはなし」の共同開催(7 月)
 - 2) 多摩職業能力開発センターとの連携
 - ・多摩テクノプラザ施設公開と「技能祭」をウェルカムデーとして合同実施(10 月)
- (4) 金融機関などとの連携
 - 1) 多摩信用金庫
 - ・「多摩ブルー・グリーン賞」選考委員派遣 表彰式参加(12 月)
 - 2) さわやか信用金庫
 - ・「さわやか信用金庫第 11 回ビジネスフェア」後援・出展(6 月)
 - 3) 朝日信用金庫
 - ・東京イノベーションハブにて講演 金融機関による支援事業の紹介(9 月)
 - 4) 城南信用金庫
 - ・「2015 “よい仕事おこし” フェア」出展(9 月)
 - 5) 西武信用金庫
 - ・「第 16 回ビジネスフェア from TAMA」出展(11 月)
 - 6) 株式会社東京都民銀行
 - ・知的資産経営講座の連携実施
 - ・バンコク支所への研修生現地受入(10 月～3 月)
 - 7) 東京東信用金庫
 - ・連携技術相談実施(10 月)
 - ・都市型信用金庫研究会実施&都産技研見学(2 月、15 名参加)
 - 8) 芝信用金庫
 - ・芝信用金庫大森駅前支店お取引先様の都産技研見学ツアー(11 月、11 名参加)
 - 9) 西京信用金庫
 - ・「第 10 回西京信用金庫ビジネス交流会」出展(4 月)

- 10) 昭和信用金庫
 - ・「ビジネスマッチング交流会'15」出展(8月)
- 11) シグマバンクグループ
 - ・「第7回ビジネス交流会」出展(7月)
- 12) 日本政策金融公庫
 - ・「技術交流会 2016」での融資事業紹介(2月)
- 13) 亀有信用金庫
 - ・協定締結 2月17日
 - ・技術支援セミナーの共同開催(11月)
 - ・事業説明(1月)
 - ・各支店長見学会(2月)
- (5) その他の連携
 - 1) 東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会
 - ・第7回東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会 委員派遣(6月)
 - ・協議会ホームページに、関連事業として都産技研のデザインセミナー、重点4技術分野フォーラム事業「バイオ応用技術編」を掲載
 - 2) 一般社団法人首都圏産業活性化協会
 - ・協会理事として、都産技研理事を派遣(継続)
- (6) 自治体が実施する技術審査事業への協力
 - ・港区：港区新製品・新技術開発支援事業(2回)、商品モニター調査支援事業(1回)
 - ・新宿区：新宿ものづくりマイスター認定事業実技審査(1回)
 - ・文京区：文京区新製品・新技術開発費補助事業(1回)、文京区大学発ベンチャー支援事業(1回)
 - ・台東区：台東区新製品新技術開発支援事業等審査会(1回)
 - ・品川区：新製品・新技術開発促進事業(2回)、メイドイン品川PR事業(1回)、
 - ・大田区：大田区新製品・新技術開発支援事業審査会(4回)、
中小企業新製品・新技術コンクール審査会(5回)
 - ・北区：北区新製品・新技術開発支援事業(3回)、北区きらりと光るものづくり顕彰(1回)、産学連携研究開発支援事業(1回)
 - ・荒川区：「荒川区と都産技研との産学公金連携事業」補助金等各種事業説明会(2月)
 - ・板橋区：公設試験研究機関等利用助成金募集
 - ・足立区：あだちブランド認定選考委員会(3回)
 - ・葛飾区：葛飾区新製品・新技術開発等補助金交付審査会(1回)、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」審査(2回)
 - ・青梅市：おうめものづくり支援事業専門家会議委員会(1回)
 - ・府中市：府中市新製品・新事業支援(1回)
 - ・町田市：トライアル発注認定制度(2回)
 - ・八王子市：八王子市中小企業新商品開発認定制度(2回)

- ・日野市：日野市事業拡大支援事業補助金審査会(1回)

5.6.4 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成18年、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「公社」という。）と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京都城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMAでは、「産業サポートスクエア・TAMA運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

(1) 本社との連携

- ・知財活用商品活用マッチング会の共催(10月)
- ・広域多摩イノベーションプラットフォーム 新技術創出交流会(11月)
産学公連携コーディネート相談、事業・設備等の紹介、講師派遣
- ・各種助成事業などでの技術審査協力(審査会委員、書類審査、面接審査)
- ・事業承継・再生支援強化事業(ハンズオン支援)対象企業への技術支援を実施
- ・「都市課題解決のための技術戦略プログラム 普及セミナー 高度な防災都市編」(東京都、都産技研、首都大、公社共催 9月)
- ・連絡推進会議の開催(3月)
- ・都産技研主催事業「異業種グループ合同交流会」を共催(2月)
- ・公社主催事業「ライフサポートフェア」を共催(1月)
- ・本部および多摩テクノプラザ見学会(随時)
- ・公社広報誌「アーガス21」への記事掲載(1月 TKF オープンフォーラムについて)
- ・「都産技研メールニュース」への公社記事掲載
- ・各種事業案内チラシなどを相互に配架 など

(2) 地域中小企業振興センター内での連携

- ・合同企業見学会の開催(城東支所、10月、11月)
- ・施設公開(城東・城南支所)の共催(10月)
- ・技術支援と経営相談の連携相談および実地技術支援を実施
- ・運営協議会・連絡協議会・情報交流会、合同消防訓練の実施 など

(3) 「産業サポートスクエア・TAMA」での連携

- ・産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデーの合同開催(10月)
- ・公社主催セミナー「モノづくり企業のための3Dプリンター活用セミナー」への講師派遣
- ・異業種交流会員への知財説明会「異業種交流と知的財産」開催(7月)
- ・「第15回たま工業交流展」後援(2月)

(4) 広域多摩イノベーションプラットフォーム事業への協力と連携

公社多摩支社が実施する成長産業分野において、中小企業の技術・製品開発支援や、新分野への参入を促進する「広域多摩イノベーションプラットフォーム」事業に連携協力し、

多摩地域のイノベーションを促進した。

- ・「ものづくり企業のための 3D プリンター活用セミナー」への講師派遣(10 月)
- ・「新技術創出交流会」出展および広域首都圏輸出製品技術支援センターによるセミナー開催(10 月)

(5) 国際化支援室との連携

- ・都産技研広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)セミナー「ものづくり企業 海外ビジネスセミナー：リーダーの役割と実務」を共催、公社国際化支援室事業を紹介(3 月)

(6) 公社タイ事務所との連携

- ・バンコク支所で発足する異業種交流グループを共同で募集(1~2 月、平成 28 年 4 月開始)
- ・バンコク支所シンポジウム「世界に勝つものづくりシンポジウム 日系企業技術交流会 2016 in バンコク」を共催(2 月)
- ・バンコク支所セミナー「タイで上流設計を支援する 3D-CAD 設計と 3D プリンター」にて、公社タイ事務所活動紹介

(7) 東京都知的財産総合センターとの連携

- ・「知的財産活用商品開発マッチング会」(10 月：東京イノベーションハブ)
特許保有する大企業・研究機関等と特許等の技術シーズを活用し製品化を検討している中小企業対象に、特許保有する大企業・研究機関等による説明会およびマッチング会

5.6.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成 14 年度より東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都の公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）が連携し、都県域の枠にとらわれず、域内の中小企業の技術支援をするために、首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））を設立した。平成 20 年度からは横浜市も参加し、5 機関体制となった。また、公設試では、平成 23 年度より長野県、平成 25 年度より、栃木県、群馬県、山梨県、山梨県富士工業技術センター、さらに平成 26 年度には茨城県、静岡県、平成 27 年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。TKF ではウェブサイトの運営や、「IT・情報」、「微細加工技術」、「高分子材料」、「デザイン」、「熱処理・表面処理」、「バイオ技術」、「ロボット技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKF ミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、年に 1 度は TKF 事業の成果発表の場として TKF フォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。

平成 27 年度には、中小企業の方々に TKF の活動の成果を広く知っていただくための情報提供の場、交流の場として、TKF オープンフォーラムを開催した。

(1) 開催実績

No.	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成 27 年 6 月 16 日	横浜市工業技術 支援センター	5 機関（都産技研、埼玉県産業技術総合センター、 千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術セン ター、横浜市工業技術支援センター） オブザーバー機関（関東経済産業局、東京都産業 労働局商工部、(国研)産業技術総合研究所、茨城県 工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬 県立産業技術センター、新潟県工業技術総合研究 所、山梨県工業技術センター、山梨県富士工業技術 センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工 業技術研究所） 大阪府立産業技術総合研究所、大阪市立工業研究 所、NEDO 省エネルギー部	51 名
2	平成 27 年 8 月 28 日	埼玉県産業技術 総合センター	5 機関、オブザーバー機関	41 名
3	平成 27 年 11 月 6 日	ちば仕事プラザ	5 機関、オブザーバー機関	40 名
4	(TKF オープン フォーラム) 平成 28 年 1 月 29 日	東京都立産業技 術研究センター	5 機関、オブザーバー機関	202 名

また、他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行なった。発表タイトルなどは以下の通りである。

(2) 発表実績

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	大会等の名称
1	平成 27 年 7 月 29 日	都産技研における相談対 応エキスパートシステムの 開発・活用	大平倫宏	千葉県産業支援 技術研究所	千葉県産業支援技術 研究所 平成 27 年度 研究成果発表会
2	平成 27 年 7 月 29 日	バナナ繊維を用いた金属 イオン捕集材の開発	梶山哲人	千葉県産業支援 技術研究所	千葉県産業支援技術 研究所 平成 27 年度 研究成果発表会
3	平成 27 年 10 月 1 日	粉末焼結AM装置による造 形品の異方性緩和手法の 提案	木暮尊志	埼玉県産業技術 総合センター	平成 27 年度 SAITEC 研究発表会
4	平成 27 年 10 月 28 日	東京都におけるロボット 産業活性化事業	坂下和広	神奈川県産業技 術センター	平成 27 年度 神奈川 県ものづくり技術交 流会
5	平成 27 年 10 月 28 日	グロー放電質量分析 (GD-MS) による軽金属材 料中の極微量成分の迅速 定量	山田健太郎	神奈川県産業技 術センター	平成 27 年度 神奈川 県ものづくり技術交 流会
6	平成 28 年 3 月 11 日	情報技術に基づく災害発 生時対応支援用具の開発	加藤貴司	静岡県工業技術 研究所	静岡コンベンション アーツセンターグラ ンシップ

5.6.6 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。

産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

平成 27 年度の参加実績および各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果発表などを行った発表実績は以下の通りである。

(1) 参加実績

No.	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成 27 年 5 月 8 日	医療福祉技術分科会 第 1 回勉強会 医療用具の洗浄・滅菌技術	川崎市立多摩病院(多摩区)
2	平成 27 年 5 月 8 日	医療福祉技術分科会 見学会	川崎市立病院(登戸)
3	平成 27 年 5 月 17 日	メカトロニクス分科会/ロボット分科会地域交流ワークショップ	京都市勧業館
4	平成 27 年 5 月 27 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東東北地域連絡会 総会	群馬県繊維工業試験場 講堂
5	平成 27 年 6 月 11 日～12 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 総会	山形県山形市 山形テルサ
6	平成 27 年 6 月 24 日～25 日	製造プロセス部会 第 1 回 3D ものづくり特別分科会・関東甲信越静地域部会 3D プリント研究会	(国研) 産業技術総合研究所 臨海副都心センターおよび 都産技研本部
7	平成 27 年 6 月 25 日～26 日	製造プロセス部会 第 22 回表面技術分科会	石川県工業試験場
8	平成 27 年 9 月 17 日～18 日	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会第 62 回総会	ホテルレイクビュー水戸
9	平成 27 年 10 月 1 日～2 日	製造プロセス部会表面技術分科会 DLC 技術会 技術向上支援事業「ドライコーティング膜のナノインデンテーション評価に関する検討」	(国研) 産業技術総合研究所 九州センター
10	平成 27 年 10 月 1 日～2 日	情報通信・エレクトロニクス部会—情報技術分科会情報通信研究会	甲府商工会議所
11	平成 27 年 10 月 8 日～9 日	ナノテクノロジー・材料部会 ガラス材料技術分科会第 9 回総会	(地独) 京都市産業技術研究所
12	平成 27 年 10 月 8 日	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 医療福祉技術シンポジウム	都産技研本部
13	平成 27 年 10 月 8 日	製造プロセス部会 第 2 回 3D ものづくり特別分科会	大阪府大阪市 たかつガーデン
14	平成 27 年 10 月 15 日～16 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 9 回木質科学分科会	静岡商工会議所
15	平成 27 年 10 月 15 日～16 日	情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会 第 9 回音・振動研究会 音・振動研究会	滋賀県大津市 ピアザ淡海、滋賀県工業技術総合センター
16	平成 27 年 10 月 22 日～23 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 53 回高分子分科会	石川県金沢市 金沢都ホテル
17	平成 27 年 10 月 29 日～30 日	製造プロセス部会 第 23 回塗装工学分科会	(地独) 青森県産業技術センター 弘前地域研究所
18	平成 27 年 10 月 29 日～30 日	ライフサイエンス部会 第 18 回デザイン分科会 (秋期)	ホテルポートプラザちば
19	平成 27 年 11 月 5 日～6 日	第 9 回情報技術分科会及び第 13 回組込み技術研究会	熊本大学工学部 黒髪南キャンパス
20	平成 27 年 11 月 6 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡部会 繊維測定技術研究会	山梨県甲府市 ホテル談露館

No.	開催年月日	会議名	開催場所
21	平成 27 年 11 月 12 日～13 日	知的基盤部会 第 20 回電磁環境分科会及び 第 25 会 EMC 研究会	アイリス愛知（1 日目）、あ いち産業科学技術総合セン ター（2 日目）
22	平成 27 年 11 月 18 日～20 日	知的基盤部会計測分科会形状計測研究会	青森県八戸市 八戸プラザホテル
23	平成 27 年 11 月 19 日～20 日	知的基盤部会計測分科会第 44 回温度・熱研究 会	青森県八戸市 八戸プラザホテル
24	平成 27 年 11 月 19 日	材料評価技術研究会	青森県八戸市 八戸プラザホテル
25	平成 27 年 11 月 26 日～27 日	第 11 回電子技術分科会及び第 16 回実装・信 頼性技術研究会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
26	平成 27 年 11 月 26 日～27 日	情報通信・エレクトロニクス部会 電子技術 分科会・高機能材料・デバイス研究会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
27	平成 27 年 11 月 26 日～27 日	情報通信・エレクトロニクス部会 実装・信 頼性研究会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
28	平成 27 年 12 月 3 日～4 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	あいち産業科学技術総合セ ンター 尾張繊維技術セン ター
29	平成 27 年 12 月 10 日～11 日	知的基盤部会総会 平成 27 年度分析分科会	京都平安ホテル
30	平成 27 年 12 月 10 日～11 日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス 分科会 第 50 回セラミックス技術担当者会 議	(国研)産業技術総合研究所 中部センター
31	平成 28 年 1 月 15 日	製造プロセス部会表面技術分科会 DLC 技術会 技術向上支援事業「ドライコーティング膜の ナノインデンテーション評価に関する検討」	奈良県産業振興総合センター
32	平成 28 年 2 月 4 日～5 日	ナノテクノロジー・材料部会 総会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
33	平成 28 年 2 月 18 日～19 日	「ドライコーティング膜のナノインデンテー ション評価に関する検討」検討会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
34	平成 28 年 3 月 11 日	知的基盤部会 電磁環境分科会 第 13 回関 東甲信越静岡 EMC 研究交流会	神奈川県産業技術センター

(2) 発表実績

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場 所	会 議 の 名 称
1	平成 27 年 5 月 17 日	東京都立産業技術研究センターに おけるロボット事業の取組みにつ いて	佐々木智典	京都市勧業館	メカトロニクス分科会 /ロボット分科会 地 域交流ワークショップ
2	平成 27 年 6 月 25 日	東京都立産業技術研究センターの 近況について	水元和成	石川県工業試験場	製造プロセス部会 第22回表面技術分科会
3	平成 27 年 6 月 26 日	クエン酸を用いた電子部品用ハウ 素フリーニッケルめっきの開発	浦崎香織里	石川県工業試験場	製造プロセス部会 第22回表面技術分科会
4	平成 27 年 10 月 2 日	福島県における放射線除染事業の 現状と技術支援	中川善継	甲府商工会議所	情報通信・エレクトロ ニクス部会 情報技術 分科会情報通信研究会
5	平成 27 年 10 月 2 日	sp ³ /sp ² 定量評価の現状と課題	川口雅弘	(国研)産業技術総 合研究所 九州センター	製造プロセス部会 表 面技術分科会 DLC 研 究会
6	平成 27 年 10 月 8 日	「茜硝子」の光学特性と商品展開	大久保一宏	(地独)京都市産業 技術研究所	ナノテクノロジー・材 料部会 第 9 回ガラス材料技術 分科会

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
7	平成 27 年 10 月 15 日	実証試験セクターにおける環境試験への取り組み	林 夢愛子	滋賀県大津市 ピアザ淡海	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 9 回音・振動研究会
8	平成 27 年 10 月 15 日	都産技研における船舶業界への技術支援事例紹介	渡辺茂幸	滋賀県大津市 ピアザ淡海	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 9 回音・振動研究会
9	平成 27 年 10 月 15 日	伝統工芸品である桐箆管用防カビ剤の開発	小沼ルミ	静岡商工会議所	ナノテクノロジー・材料部会 第9回木質科学分科会
10	平成 27 年 10 月 22 日	プラスチックの耐候性に関する共同研究	清水研一	金沢都ホテル	ナノテクノロジー・材料部会 高分子分科会
11	平成 27 年 10 月 29 日	構造解析を利用したコンセプトデザイン	上野明也	千葉県、ホテルポートプラザちば	ライフサイエンス部会 第18回デザイン分科会
12	平成 27 年 10 月 29 日	Py-GC/MS による塗料の樹脂成分と鉱物系顔料の同時検出	神谷嘉美	(地独)青森県産業技術センター 弘前地域研究所	製造プロセス部会 第23回塗装工学分科会
13	平成 27 年 10 月 29 日	スクリーン印刷による水素燃料電池部材の加工に関する報告	峯 英一	(地独)青森県産業技術センター 弘前地域研究所	製造プロセス部会 第 23 回塗装工学分科会
14	平成 27 年 11 月 6 日	生体用静電型 4 自由度力センサの開発に関する研究紹介	村上知里	熊本大学工学部 黒髪南キャンパス	情報通信・エレクトロニクス部会 第13回組込み技術研究会
15	平成 27 年 11 月 6 日	マットレス側地の汚染原因について	岡田明子	山梨県甲府市 ホテル談露館	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会
16	平成 27 年 11 月 6 日	最近の摩擦係数評価試験について	木村千明	山梨県甲府市 ホテル談露館	関東・東北地域連絡会 繊維測定技術研究会
17	平成 27 年 11 月 13 日	電波吸収体を床面に追加敷設しない GHz 帯 EMI 測定手法の提案	佐々木秀勝	あいち産業科学技術総合センター	知的基盤部会 EMC 研究会
18	平成 27 年 11 月 18 日	現場環境における三次元測定機の高度化に関する研究 -回転式ローピングシステムの評価-	大西 徹	青森県 八戸プラザホテル	知的基盤部会 計測分科会形状計測研究会
19	平成 27 年 11 月 19 日	現場環境における温度ドリフトの影響	村上祐一	青森県 八戸プラザホテル	知的基盤部会 計測分科会形状計測研究会
20	平成 27 年 11 月 19 日	東京都立産業技術研究センター実証試験セクターの紹介	小船論史	青森県 八戸プラザホテル	知的基盤部会計測分科会材料評価技術研究会
21	平成 27 年 11 月 19 日	高分子材料をはじめとする材料の熱測定事例	山中寿行	青森県 八戸プラザホテル	知的基盤部会 第 44 回計測分科会 第 47 回温度・熱研究会
22	平成 27 年 11 月 19 日	都産技研における熱拡散率測定への取り組み	佐々木正史	青森県 八戸プラザホテル	知的基盤部会計測分科会 第 44 回温度・熱研究会
23	平成 27 年 11 月 19 日	産業の現場における熱電対の信頼制評価	倉持幸佑	青森県 八戸プラザホテル	知的基盤部会計測分科会 第 44 回温度・熱研究会
24	平成 27 年 11 月 27 日	反射光検出型 LSPR センサの検討	加澤エリト	茨城県つくば市 (国研)産業技術総合研究所	情報通信・エレクトロニクス部会 第 11 回電子技術分科会 第 16 回高機能材料・デバイス研究会
25	平成 27 年 11 月 27 日	都産技研における半導体実装設備の利用状況	山岡英彦	茨城県つくば市 (国研)産業技術総合研究所	情報通信・エレクトロニクス部会 第 11 回電子技術分科会 第 16 回高機能材料・デバイス研究会

No.	開催年月日	発 表 タ イ ト ル	発 表 者	場 所	会 議 の 名 称
26	平成 27 年 11 月 27 日	シンクロトン放射光を用いた酸化シリコン薄膜の評価	永田晃基	茨城県つくば市 (国研)産業技術総合研究所	情報通信・エレクトロニクス部会 第 11 回 電子技術分科会 第 16 回高機能材料・デバイス研究会
27	平成 27 年 12 月 3 日	クレーム事例の紹介	添田 心	あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会繊維技術研究会
28	平成 27 年 12 月 10 日	都産技研ブランドとガラス技術 ガラス製品の破損事故解析	宮宅ゆみ子	(国研)産業技術総合研究所 中部センター	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科会
29	平成 28 年 1 月 15 日	XPS および分光エリプソメーターによる分析結果について	徳田祐樹	奈良県産業振興総合センター	製造プロセス部会表面技術分科会 DLC 技術会 技術向上支援事業

5.6.7 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 27 年度に実施した事業は以下の通りである。

(1) 実施実績

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
1	平成 27 年 5 月 20 日	(一社)表面技術協会 めっき部会	めっき技術の新潮流	65	東京イノベーションハブ
2	平成 27 年 5 月 22 日	(一社)強化プラスチック協会	第 5 回熱可塑性複合材料研究会	43	東京イノベーションハブ
3	平成 27 年 6 月 9 日	木材塗装研究会	第 27 回木材塗装基礎講座	128	東京イノベーションハブ
4	平成 27 年 9 月 2 日	マテリアルライフ学会 表面界面物性研究会	マテリアルライフ学会 表面-界面物性研究会 2015 年秋期講演会	34	東京イノベーションハブ
5	平成 27 年 9 月 28 日	(一社)プラスチック成形加工学会	第 150 回講演会 身近な現場で考える地球環境問題とプラスチック製造	15	東京イノベーションハブ
6	平成 27 年 10 月 6 日	木材接着研究会	第 36 回木材接着研究会 木材接着技術の変遷から新しい木質材料の接着へ	80	東京イノベーションハブ
7	平成 27 年 10 月 23 日	(特非)VCAD システム研究会	講演会 3D デジタル造形の新しい風	70	東京イノベーションハブ
8	平成 27 年 11 月 6 日	(公社)日本セラミックス協会 珪瑯部会	珪瑯技術講演会	50	会議室 531
9	平成 27 年 11 月 20 日	日本食品照射研究協議会	第 51 回技術セミナー/教育講演会	48	東京イノベーションハブ
10	平成 27 年 11 月 27 日	(公社)計測自動制御学会 計測部門 温度計測部会	第 141 回会講演会 匠の温度計測	50	東京イノベーションハブ
11	平成 27 年 12 月 2 日	(一社)電気学会	安全な省エネ社会の構築と中小企業支援	64	東京イノベーションハブ
12	平成 27 年 12 月 3 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会	第 10 回セラミック化学分析技術セミナー	23	会議室 531
13	平成 27 年 12 月 4 日	(一社)日本トライボロジー学会	第 448 回懇談会 研究所探訪 都産技研のトライボロジーへの取り組み	15	東京イノベーションハブ
14	平成 27 年 12 月 11 日	制振工学研究会	2015 技術交流会	50	講堂
15	平成 28 年 1 月 20 日	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会	プラスチック材料の基礎と破断面の見方	30	城南支所
16	平成 28 年 2 月 4 日～5 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 10 回放射線による非破壊評価シンポジウム	39	会議室 531

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
17	平成 28 年 2 月 10 日	(特非)FPGA コンソーシアム	東京 FPGA カンファレンス 2016 with プログラマブルデバイスプラザ	62	講堂
18	平成 28 年 2 月 12 日	(一社)プラスチック成形加工学会	建材用高分子材料の開発動向と最新技術	29	会議室 531
19	平成 28 年 2 月 26 日	NMIJ 計測クラブ	CMM ユーザーズクラブ講演会	72	会議室 531
20	平成 28 年 3 月 10 日	マテリアルライフ学会 表面界面物性研究会	マテリアルライフ学会 表面-界面物性研究会 2016 年春季講演会	28	研修室 243

また、各連携事業において、都産技研の事業紹介や研究成果などの発表を行った。発表タイトルなどは以下の通りである。

(2) 発表実績

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターと表面技術グループの紹介	木下稔夫	平成 27 年 5 月 20 日	(一社)表面技術協会 めっき部会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 鈴木雅洋	平成 27 年 6 月 9 日	木材塗装研究会
塗装工程の組み方とその役割	村井まどか	平成 27 年 6 月 9 日	木材塗装研究会
塗装関連機器設備の紹介	木下稔夫	平成 27 年 6 月 9 日	木材塗装研究会
イオン注入による表面改質－生体セラミックスへのイオン注入効果－	寺西義一	平成 27 年 9 月 2 日	マテリアルライフ学会 表面界面物性研究会
都産技研の3Dデジタルものづくり支援紹介	横山幸雄	平成 27 年 10 月 23 日	(特非)VCAD システム研究会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 原田 晃	平成 27 年 11 月 6 日	(公社)日本セラミックス協会 珪瑯部会
釉薬開発に向けた耐つまとび性能評価方法の改良	吉野 徹	平成 27 年 11 月 6 日	(公社)日本セラミックス協会 珪瑯部会
都産技研の3Dデジタルものづくり支援	藤巻研吾	平成 27 年 11 月 6 日	(公社)日本セラミックス協会 珪瑯部会
放射線関連施設の概要説明	櫻井 昇	平成 27 年 11 月 20 日	日本食品照射研究協議会
防菌・防かび評価技術	飯田孝彦	平成 27 年 11 月 20 日	日本食品照射研究協議会
におい分析	佐々木直里	平成 27 年 11 月 20 日	日本食品照射研究協議会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 原田 晃	平成 27 年 11 月 27 日	(公社)計測自動制御学会 計測部門 温度計測部会

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
高所・航空機環境をシミュレートする減圧環境試験	三上和正	平成 27 年 12 月 2 日	(一社)電気学会
分析値の妥当性評価、数値の取り扱い方法	林 英男	平成 27 年 12 月 3 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	三尾 淳	平成 27 年 12 月 4 日	(一社)日本トライボロジー学会
ポリマー型SAPSフリー極圧剤のトライボ特性と絞り加工性能	中村健太	平成 27 年 12 月 4 日	(一社)日本トライボロジー学会
潤滑剤としてのイオン液体の可能性の検討	近藤ゆりこ	平成 27 年 12 月 4 日	(一社)日本トライボロジー学会
水素含有DLC膜の表面性状制御による低摩擦化手法の開発	徳田祐樹	平成 27 年 12 月 4 日	(一社)日本トライボロジー学会
トライボロジーに関わる技術課題への取り組み	川口雅弘	平成 27 年 12 月 4 日	(一社)日本トライボロジー学会
城南支所先端計測加工ラボの紹介	玉置賢次	平成 28 年 1 月 20 日	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会
プラスチック材料の基礎	萩原利哉	平成 28 年 1 月 20 日	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会
プラスチック材料の破断面の見方	藤木 榮	平成 28 年 1 月 20 日	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	木下稔夫	平成 28 年 2 月 4 日	(一社)日本非破壊検査協会
都産技研におけるFPGA開発支援について ～高速シリアル伝送規格試験と高位合成技術を使った製品開発支援～	岡部 忠	平成 28 年 2 月 10 日	(特非)FPGA コンソーシアム
現場環境における三次元測定機の高度化 —温度の影響について—	大西 徹	平成 28 年 2 月 26 日	NMIJ 計測クラブ
多結晶 ダイヤモンド被覆メカニカルシールの開発	長坂浩志	平成 28 年 3 月 10 日	マテリアルライフ学会 表面界面物性研究会

6. 研究開発の推進

平成 27 年度は、基盤研究 85 テーマ、共同研究 45 テーマ、競争的資金導入研究 39 テーマ、受託研究 6 件を実施した。

これらの研究成果については、国内外の学協会などにおいて、251 件の発表を行い、公表と普及に努めた。

6.1 基盤研究………85 テーマ

中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術的課題の解決に必要なシーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する都産技研独自の研究である。

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
① ナノテクノロジー分野				
1	プラズモン共鳴デバイスの開発	電子半導体技術G	加澤エリト、永田晃基	H27. 4～H28. 3
2	低エネルギー光照射によるナノ粒子の形状制御	光音技術G	海老澤瑞枝、磯田和貴、 (表面技術G) 寺西義一、 (情報技術G) 山口隆志	H27. 4～H28. 3
3	植物の電荷移動プロセスを模倣した量子ドット複合光触媒の創製	材料技術G	渡辺洋人、染川正一	H27. 4～H28. 3
4	ナノグラフェンの集積状態制御による高機能蛍光材料の開発	材料技術G	藤巻康人、渡辺洋人、 染川正一、林 孝星	H27. 4～H28. 3
5	ITO代替透明導電膜の開発	高度分析開発S	小川大輔、森河和雄	H27. 4～H28. 3
6	深紫外発光素子開発に向けたAlBN混晶薄膜の結晶成長	電子半導体技術G	太田優一、時田幸一	H26. 10～H27. 9
② 情報技術分野				
7	劣化の影響を受けるシステムのモデリング手法の開発	情報技術G	村上知里、金田泰昌	H27. 4～H28. 3
8	3次元画像からの空隙率測定方法の開発	生活技術開発S	大平倫宏、 (情報技術G) 富山真一	H27. 4～H28. 3
③ エレクトロニクス分野				
9	高電圧試験時における労働安全衛生に関する検討	電子半導体技術G	黒澤大樹	H27. 10～H28. 9
10	配線用遮断器およびヒューズの直接接続によるSPD分離器構成方法の検討	電子半導体技術G	黒澤大樹	H26. 10～H27. 9
11	手腕の動作情報を取得する複合センサモジュールの開発	電子半導体技術G	志水 匠、福司達郎	H26. 10～H27. 9
④ システムデザイン分野				
12	金属粉末積層造形におけるレーザー入熱制御による造形品質および機械的性質の向上	機械技術G	千葉浩行、横山幸雄、 藤巻研吾、大久保 智	H27. 10～H28. 9
13	木粉を用いた材料開発	城東支所	酒井日出子、松原独歩、 (交流連携室) 島田勝廣	H27. 10～H28. 9
14	輸送梱包における振動低減	電子・機械G	岩田雄介、阿保友二郎、 西川康博、 (機械技術G) 福田良司	H27. 10～H28. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
15	プロダクトデザインにおけるカラーユニバーサルデザイン配色の研究	システムデザインS	角坂麗子、小池真生、 中田恵子、薬師寺千尋 (繊維・化学G) 小野澤明良	H26. 10～H27. 9
16	木粉の硬化法の開発	城東支所	酒井日出子、松原独歩、 (交流連携室) 島田勝廣	H26. 10～H27. 9
⑤ 環境・省エネルギー分野				
17	クロムめっき製品の止り穴形状に対する残留六価クロムの汚染リスク評価	環境技術G	安藤恵理、中澤亮二、 田熊保彦、小坂幸夫、 小林宏輝、森久保 論、 (表面技術G) 浦崎香織里、桑原聡士	H27. 10～H28. 9
18	複層ガラス再資源化技術の開発 (2)	環境技術G	小林宏輝、中澤亮二、 田中真美、上部隆男、 井上研一郎	H27. 10～H28. 9
19	低温VOC処理触媒の調製とキャラクターゼーション	環境技術G	井上研一郎、 (材料技術G) 染川正一	H27. 10～H28. 9
20	GD-MS分析を用いたレアメタル金属中の微量成分の定量と循環利用に向けた材料評価	城南支所	山田健太郎、湯川泰之、 上本道久	H27. 10～H28. 9
21	電子部品用のバレルめっきに適したクエン酸ニッケルめっき浴の開発	表面技術G	桑原聡士、竹村昌太、 浦崎香織里、土井 正	H27. 4～H28. 3
22	フラーレン誘導体の合成による新規機能性材料の開発と有機薄膜他太陽電池への応用	材料技術G	小汲佳祐、 (城南支所) 梶山哲人	H27. 4～H28. 3
23	RoHS指令に対応した樹脂に含有する六価クロム分析方法の改良	環境技術G	中澤亮二、小林宏輝	H27. 4～H28. 3
24	黒雲母を利用した成分徐放-局所沈殿による六価クロム排水処理法の開発	繊維・化学G	杉森博和、 (環境技術G) 安藤恵理	H27. 4～H28. 3
25	放射強度の角度分布測定による赤外放射応用器具の比較手法提案	光音技術G	磯田和貴、中島敏晴、 澁谷孝幸、横田浩之、 海老澤瑞枝、 (交流連携室) 山本哲雄	H26. 10～H27. 9
26	船舶用扉のルーバーによる遮音性能低下の改善	光音技術G	渡辺茂幸、服部 遊、 西沢啓子、宮入 徹、 神田浩一	H26. 10～H27. 9
27	亜鉛めっき用クロムフリー耐食性化成皮膜の開発	表面技術G	浦崎香織里、竹村昌太、 寺西義一、土井 正、 桑原聡士	H26. 10～H27. 9
28	天然物を利用した金属イオン捕集法の開発	材料技術G	木下健司、 (城南支所) 梶山哲人	H26. 10～H27. 9
29	天然繊維/植物由来高分子複合体の作製	材料技術G	山中寿行、 (城南支所) 梶山哲人	H26. 10～H27. 9
30	クロムめっき製品における残留六価クロムの洗浄技術の開発	環境技術G	安藤恵理、中澤亮二、 小林宏輝、 (繊維・化学G) 杉森博和、 (総合支援課) 荒川 豊、 (表面技術G) 浦崎香織里、桑原聡士	H26. 10～H27. 9
31	複層ガラス再資源化技術の開発	環境技術G	小林宏輝、中澤亮二、 田中真美、陸井史子、 上部隆男、増田優子、 (生活技術開発S) 佐々木直里	H26. 10～H27. 9
32	におい識別装置における精度向上のための測定方法の最適化	生活技術開発S	佐々木直里、岩崎謙次、 添田 心	H26. 10～H27. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
⑥ バイオ応用分野				
33	【プロジェクト型研究】 Collagen-Fiber-Reinforced Collagen(CFRC)技術の開発：医療機器開発 における都産技研モデルの確立にむけて	バイオ応用 技術G	柚木俊二、成田武文、 大藪淑美、 (光音技術G) 海老澤瑞枝、 (城南支所) 豊島克久、 玉置賢次、上本道久	H27. 10～H29. 9
34	【プロジェクト型研究】 高感度かつ高精度なバイオマーカー探索 技術の開発	バイオ応用 技術G	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴、 (高度分析開発S) 中西正一、 (城南支所) 梶山哲人、 萩原利哉、樋口英一	H27. 10～H30. 9
35	局注による膨隆形成現象を模倣した瞬発 的吸水性ゲル材料の開発	バイオ応用 技術G	永川栄泰、柚木俊二、 関口正之、中川清子、 櫻井 昇	H27. 4～H28. 3
36	ESR・放射線照射法を用いた抗酸化能評価 システムの開発	バイオ応用 技術G	中川清子、関口正之	H27. 4～H28. 3
37	化学物質の有害性評価を目指した三次元 構築皮膚モデルの短期作製技術の開発	バイオ応用 技術G	藤井恭子、大藪淑美、 畑山博哉	H27. 4～H28. 3
38	【プロジェクト型研究】 汎用インフルエンザ検査チップの開発	バイオ応用 技術G	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴、 (電子半導体技術G) 加澤エリト、永田晃基	H25. 4～H28. 3
⑦ メカトロニクス分野				
39	セルフセンシングアクチュエータを用い た歯科用タービンの振動制御	機械技術G	福田良司、小西 毅	H27. 4～H28. 3
40	運搬ロボットの安全性強化と開発	ロボット 開発S	益田俊樹、佐々木智典、 森田裕介、村上真之、 坂下和広	H26. 10～H27. 9
41	サービスロボットの緊急停止システムの 開発	ロボット 開発S	村上真之、森田裕介、 益田俊樹、佐々木智典、 坂下和広	H26. 10～H27. 9
⑧ EMC半導体分野				
42	EFT/Bに対する耐性を向上させる設計手法 の検証	電子・機械G	佐々木秀勝、大森 学、 佐野宏靖	H27. 10～H28. 9
43	90 GHz帯アプリケーション用周波数変換器 の開発	電子半導体 技術G	藤原康平、小林丈士	H27. 4～H28. 3
44	封止型放射線検出器の実用化	電子半導体 技術G	小宮一毅、藤原康平、 小林丈士	H27. 4～H28. 3
45	適応型フィードフォワード制御を用いた スイッチング電源制御系の開発	電子半導体 技術G	福司達郎、西澤裕輔	H26. 10～H27. 9
46	ケーブルに起因するノイズのEMI簡易測定 用アンテナの開発	電子・機械G	高橋文緒、大森 学、 佐野宏靖、村上祐一	H26. 10～H27. 9
⑨ 品質強化分野				
47	商品展示用ディスプレイ向け静電植毛加 工技術と評価方法の検討	城東支所	長谷川 孝、宇井 剛、 殿谷保雄	H27. 10～H28. 9
48	着装環境を考慮した機能性生地の透湿度 評価試験方法の開発	生活技術 開発S	木村千明、岩崎謙次	H27. 10～H28. 9
49	生活環境を考慮したサポーターの実用性 評価技術の確立	生活技術 開発S	菅谷紘子、岩崎謙次	H27. 10～H28. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
50	産業用繊維資材の汚染ガスと光による複合試験	繊維・化学G	岡田明子、小柴多佳子、堀江 暁	H27. 10～H28. 9
51	LAによって生じる試料エアロゾルのサイズ分布と元素組成の解明	高度分析開発S	林 英男、川口雅弘、渡邊禎之、(城南支所)湯川泰之	H27. 4～H28. 3
52	超音波疲労試験機を用いたねじ締結体ギガサイクル疲労試験	実証試験S	櫻庭健一郎、新垣 翔	H27. 4～H28. 3
53	熱電対自動評価装置の開発	実証試験S	倉持幸佑、沼尻治彦、佐々木正史	H27. 4～H28. 3
54	熱電対の不均質評価方法の確立	実証試験S	佐々木正史、沼尻治彦、倉持幸佑	H27. 4～H28. 3
55	自己潤滑性粒子を利用した低摩擦DLC膜の開発	城東支所	徳田祐樹、(高度分析開発S)川口雅弘、森河和雄、古杉美幸	H27. 4～H28. 3
56	二重収束型ICP質量分析装置による生体用金属材料からの溶出元素の評価	城南支所	湯川泰之、上本道久	H27. 4～H28. 3
57	医療機器用高分子材料の滅菌処理による劣化度および耐久性評価	城南支所	萩原利哉、(材料技術G)木下健司	H26. 10～H27. 9
58	現場環境における三次元測定機の寸法の違いを用いた温度補正の評価	電子・機械G	大西 徹、村上祐一	H26. 10～H27. 9
⑩ ものづくり基盤技術分野				
59	アークアシストグロー放電を利用した非鉄金属材料のプラズマ窒化に関する研究	機械技術G	中村 勲、(表面技術G)近藤ゆりこ	H27. 10～H28. 9
60	チタンの深絞り加工におけるドライ・セミドライ加工条件の最適化	機械技術G	奥出裕亮、中村健太、(城南支所)玉置賢次、平野康之	H27. 10～H28. 9
61	17-4PH粉末積層造形材の機械的性質に及ぼす熱処理の影響：造形形状と最適熱処理条件	機械技術G	大久保 智、横山幸雄、藤巻研吾、千葉浩行、(実証試験S)櫻庭健一郎	H27. 10～H28. 9
62	分光応答度測定装置に最適な試料照射系の構築	光音技術G	中田 修、岩永敏秀	H27. 10～H28. 9
63	背景騒音下で発生する異音の心理音響評価手法の開発	光音技術G	宮入 徹、神田浩一、服部 遊、西沢啓子、渡辺茂幸	H27. 10～H28. 9
64	表面改質によるセラミック材の反射率の制御	表面技術G	寺西義一、近藤ゆりこ、(光音技術G)海老澤瑞枝	H27. 10～H28. 9
65	光硬化性樹脂AM基材へのめっき技術の確立	表面技術G	竹村昌太、浦崎香織里、土井 正、桑原聡士、(電子・機械G)高橋俊也	H27. 10～H28. 9
66	非結晶領域の構造制御によるPET/PTTフィルムの開発	材料技術G	許 琛、安田 健、山中寿行、佐野 森、清水研一	H27. 10～H28. 9
67	ほうろう用釉薬の開発	環境技術G	吉野 徹、宮宅ゆみ子、(実証試験S)大久保一宏、(機械技術G)佐藤健二、(表面技術G)村井まどか	H27. 10～H28. 9
68	化学強化薄板ガラスの破壊挙動の解析	環境技術G	宮宅ゆみ子、上部隆男、吉野 徹	H27. 10～H28. 9
69	マグネシウム合金の切削片を用いた板状固化成形技術の開発	実証試験S	小船論史、新垣 翔	H27. 10～H28. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
70	研削加工の効率向上	電子・機械G	鈴木悠矢	H27. 10～H28. 9
71	炭素繊維強化プラスチックによるロボット部品の成形技術の構築	繊維・化学G	谷口昌平、水元和成、小柴多佳子、榎本一郎、堀江 暁、窪寺健吾、小野澤明良、飛澤泰樹、岡田明子、神谷嘉美、唐木由佑、杉森博和、武田浩司、池田紗織、中島 茂、 (電子・機械G) 西川康博、久慈俊夫、 (ロボット開発S) 坂下和広	H27. 10～H28. 9
72	プリント技術を用いた耐衝撃性CFRPの開発	繊維・化学G	武田浩司、 (電子・機械G) 西川康博	H27. 10～H28. 9
73	摩擦攪拌接合（FSW）/作用（FSP）と熱処理とを併用した高機能異種金属接合体の創製	機械技術G	青沼昌幸、肥澤拓也、岩岡 拓	H27. 4～H28. 3
74	金属粉末積層造形におけるモデル形状に対する条件データベースの構築	機械技術G	藤巻研吾、横山幸雄、小金井誠司、千葉浩行、大久保 智	H27. 4～H28. 3
75	A1基粒子分散型複合材と高強度A1合金の摩擦攪拌接合を対象としたツール形状の検討と開発	機械技術G	肥澤拓也、青沼昌幸	H27. 4～H28. 3
76	粉末焼結型AM造形物における強度モデルの構造解析への適用	城東支所	木暮尊志、 (システムデザインS) 山内友貴、 (材料技術G) 山中寿行	H27. 4～H28. 3
77	有機導電体ファイバーの利用技術	生活技術 開発S	添田 心、古田博一、池田善光	H27. 4～H28. 3
78	スポーツ向けウェアラブル機器の研究	生活技術 開発S	後濱龍太、平山明浩	H27. 4～H28. 3
79	知能化技術援用小型サーボプレスを用いたチタンのドライ・セミドライ深絞り加工技術の開発	機械技術G	奥出裕亮、中村健太、 (城南支所) 平野康之、玉置賢次	H26. 10～H27. 9
80	多孔質構造体を用いたポンプの技術開発	機械技術G	小西 毅、 (城南支所) 平野康之	H26. 10～H27. 9
81	振動により製品から発生する異音の心理音響評価量を用いた評価手法の開発	光音技術G	宮入 徹、神田浩一、服部 遊 (機械技術G) 福田良司	H26. 10～H27. 9
82	スクリーン印刷による機能性インキの加工プロセスの検討	表面技術G	峯 英一、 (繊維・化学G) 小野澤明良、 (技術開発支援部) 伊東洋一	H26. 10～H27. 9
83	ナイロン粉末焼結型積層造形における熱-構造解析を用いたそり抑制手法の構築	システム デザインS	小林隆一、横山幸雄、小金井誠司、山内友貴	H26. 10～H27. 9
84	高強度繊維不織布を用いた防護材料の開発	繊維・化学G	榎本一郎、 (開発企画室) 長尾梨紗	H26. 10～H27. 9
⑪ 少子高齢・福祉分野				
85	視線による遠隔位置制御手法の開発とそのシステム化	生活技術 開発S	大島浩幸、後濱龍太、 (ロボット開発S) 武田有志	H27. 4～H28. 3

6.2 共同研究……………45 テーマ

企業や業界団体、大学、他の試験研究機関などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、応用研究や一歩進んだ技術の事業化・製品化に向けた実用研究を共同で推進することにより、効果的かつ効率的な研究成果の実現を図る研究である。

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
① ナノテクノロジー分野				
1	省エネ小型軟X線管球の開発	材料技術G	柳 捷凡、染川正一	H27. 11～H28. 9
2	量子ドット蛍光体材料の開発	材料技術G	渡辺洋人、染川正一 林 孝星	H27. 5～H28. 3
3	表面強化層の強度評価技術の開発	高度分析 開発S	川口雅弘、林 英男、 渡邊禎之	H26. 11～H27. 9
4	機能性ペーストの開発	高度分析 開発S	川口雅弘、林 英男、 渡邊禎之、上野博志、 (技術開発支援部) 伊東洋一	H26. 11～H27. 9
② 情報技術分野				
5	外国人向け観光情報推薦システムの開発	情報技術G	阿部真也、三木大輔	H27. 11～H28. 9
③ エレクトロニクス分野				
6	施設園芸向け無線式モニタリングシステムの開発	電子・機械G	仲村将司、佐野宏靖、 秋山美郷	H27. 11～H28. 9
7	施設園芸向け無線統合環境制御システムの開発	電子・機械G	仲村将司、佐野宏靖、 (ロボット開発S) 佐藤 研	H26. 11～H27. 9
8	音声通信可能な3Gシールドの開発	ロボット 開発S	佐藤 研、 (電子・機械G) 仲村将司、佐野宏靖	H26. 11～H27. 9
9	デスクトップ温調機能付き熱損失測定器の開発	ロボット 開発S	佐藤 研、 (電子・機械G) 高橋文緒	H26. 11～H27. 9
④ システムデザイン分野				
10	バリアフリーを目指した、靴紐着脱補助用具の開発	城東支所	酒井日出子、木暮尊志	H27. 5～H28. 3
11	新型リフレクトメータの開発	城東支所	酒井日出子、木暮尊志、 (電子・機械G) 高橋文緒、佐々木秀勝	H27. 5～H28. 3
12	伝統工芸品「東京銀器」の金工芸職人の特殊技術を活かした新製品開発	城東支所	秋山 正、 (高度分析開発S) 中村弘史	H26. 11～H27. 9
⑤ 環境・省エネルギー分野				
13	ガラスカレット工場から排出される汚泥の減量技術の開発	環境技術G	田中真美、中澤亮二、 小林宏輝	H27. 11～H28. 9
14	アルミニウム合金溶湯の清浄化技術に関する開発研究	機械技術G	佐藤健二、西村信司、 (高度分析開発S) 林 英男	H27. 5～H28. 3
15	ハンディタイプの拡散透過材測定器の開発	光音技術G	横田浩之	H27. 5～H28. 3
16	耐候性向上を目的とした熱処理木材への塗装技術の開発	表面技術G	村井まどか、木下稔夫、 (繊維・化学G) 小野澤明良	H27. 5～H28. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
17	環境低負荷型のめっき浴の実用化	繊維・化学G	水元和成、杉森博和、 池田紗織、棚木敏幸 (環境技術G) 浦崎香織里、土井 正、 桑原聡士	H27. 5～H28. 3
18	Co, Ce系酸化物触媒の機能性付与及びリサイクル技術の開発	材料技術G	染川正一、篠田 勉、 (環境技術G)井上研一郎	H27. 5～H28. 3
⑥ バイオ応用分野				
19	再生医療用ゼラチンの開発	バイオ応用 技術G	大藪淑美、柚木俊二、 畑山博哉、藤井恭子	H27. 5～H28. 3
20	ラマンイメージング微細レーザーマイクロダイセクターの開発	バイオ応用 技術G	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴	H26. 11～H27. 9
⑦ メカトロニクス分野				
21	装着しやすい動作支援ロボットの開発	生活技術 開発S	加藤貴司、平山明浩、 大泉幸乃、 (ロボット開発S) 武田有志	H27. 5～H28. 3
22	移動ロボット応用システム構築を容易化する自律ナビゲーションフレームワークの開発	ロボット 開発S	佐々木智典、坂下和広、 村上真之、益田俊樹、 森田裕介、小林祐介	H26. 11～H27. 9
23	低価格で高信頼なサービスロボットを実現するT型ロボットベースの上位コントローラの開発	ロボット 開発S	村上真之、森田裕介、 佐々木智典、益田俊樹、 坂下和広	H26. 11～H27. 9
⑧ EMC・半導体分野				
24	ホウ素含有量を削減した穴あき電極の開発	電子半導体 技術G	小宮一毅、藤原康平、 小林丈士	H27. 11～H28. 9
25	MEMSヒータを使用したセンサ開発	電子半導体 技術G	山岡英彦、永田晃基	H27. 5～H28. 3
26	IEEE802. 11ad評価システム用アップコンバータの製品化の為にプロトタイプ化	電子半導体 技術G	藤原康平、小林丈士	H27. 5～H28. 3
27	セラミックスを用いたガス電子増幅器用孔あき電極の開発	電子半導体 技術G	小宮一毅、藤原康平、 小林丈士	H26. 11～H27. 9
28	廃棄物を用いたEMC対策部品の開発	電子・機械G	上野武司、佐々木秀勝、 佐野宏靖、大森 学、 (広報室)平井和彦、 (交流連携室)島田勝廣	H26. 11～H27. 9
⑨ 品質強化分野				
29	船舶用遮音性防火扉の開発	光音技術G	渡辺茂幸、西沢啓子、 宮入 徹、服部 遊、 神田浩一	H27. 11～H28. 9
30	現場環境における三次元測定機の寸法の違いを用いた温度補正の確立	電子・機械G	大西 徹、村上祐一	H27. 11～H28. 9
⑩ 震災復興支援に貢献する技術分野				
31	放射線除染事業向けモニタリング装置および自動化システムの開発	情報技術G	中川善継、山口隆志	H27. 5～H28. 3
⑪ ものづくり基盤技術分野				
32	固体潤滑皮膜と潤滑剤の組合せ効果の解明	機械技術G	中村健太	H27. 11～H28. 9
33	高温域における熱電対校正技術の開発	実証試験S	沼尻治彦、佐々木正史、 倉持幸佑	H27. 11～H28. 9
34	新規成膜プロセスを用いた高機能CVD-DLC膜の開発	城東支所	徳田祐樹、 (高度分析開発S) 川口雅弘	H27. 11～H28. 9
35	色彩に優れるポリオレフィン釣糸の開発	繊維・化学G	榎本一郎	H27. 11～H28. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
36	計測用X線CT装置の開発（継続）	情報技術G	阿部真也、富山真一、 （バイオ応用技術G） 紋川 亮、外立貴宏、 （高度分析開発S） 中西正一	H27. 5～H28. 3
37	省エネに寄与するCVD多結晶ダイヤモンド 皮膜メカニカルシール製品の開発	表面技術G	長坂浩志、寺西義一、 近藤ゆりこ	H27. 5～H28. 3
38	φ0.1mm極細シース熱電対の開発	実証試験S	沼尻治彦、佐々木正史、 倉持幸佑、 （バイオ応用技術G） 河原大吾	H27. 5～H28. 3
39	スポーツ用義足の研究開発	電子・機械G	西川康博、 （実証試験S）小船諭史	H27. 5～H28. 3
40	eテキスタイルを用いたき裂検知センサの 開発	繊維・化学G	窪寺健吾、 （電子・機械G）佐野宏靖、 （表面技術G）峯 英一、 （技術開発支援部） 伊東洋一	H27. 5～H28. 3
41	導電性ダイヤモンド電極の開発	表面技術G	長坂浩志、寺西義一、 近藤ゆりこ	H26. 11～H27. 9
42	特殊インク調色機のノズル開発	電子・機械G	村上祐一、佐野宏靖、 （ロボット開発S） 吉村僚太、佐藤 研、 （城東支所）酒井日出子、 （繊維・化学G）飛澤泰樹	H26. 11～H27. 9
43	ダイヤモンドコーティング工具の開発	城南支所	平野康之、 （機械技術G） 中村健太、藤巻研吾	H26. 11～H27. 9
44	荷重制御型接触冷感評価装置の開発	繊維・化学G	小柴多佳子、 （技術経営支援室） 山田 巧	H26. 11～H27. 9
45	ガス処理によるポリオレフィンの表面改質	繊維・化学G	榎本一郎	H26. 11～H27. 9

6.3 外部資金導入研究・調査

6.3.1 競争的資金導入研究………39 テーマ

都産技研が保有する研究成果を基に、国などの公募に対し研究課題および研究内容を提案し、審査を経て採択された課題について、研究資金の交付を受けて実施する研究である。都産技研においては、その積極的な獲得に努めている。

平成 27 年度に獲得・実施した研究は、経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」、文部科学省「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」など、以下の通りである。

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
1	H26	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	城東支所 開発第一部 機械技術 G	松原独歩 木暮尊志 三尾 淳 中村 勲
2	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	情報技術 G バイオ応用技術 G	富山真一 紋川 亮
3	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	光音技術 G	服部 遊
4	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	高度分析開発 S	森河和雄
5	H26	研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) [FS ステージ] シーズ顕在化	(独) 科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	柚木俊二 畑山博哉
6	H26	研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) [FS ステージ] 探索タイプ	(独) 科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	畑山博哉 柚木俊二
7	H25	環境研究総合推進費	環境省	材料技術 G	梶山哲人
8	H27	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	農林水産省	城東支所	松原独歩
9	H27	平成 27 年度笹川科学研究助成	(公財) 日本科学協会	機械技術 G 城南支所	小西 毅 平野康之
10	H26	奨励研究	(公財) 天田財団	システムデザイン S	山内友貴
11	H26	調査研究助成	(公財) LIXIL 住生活環境財団	光音技術 G	西沢啓子
12	H26	SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) / 革新的設計生産技術	(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	システムデザイン S 城東支所	横山幸雄 山内友貴 木暮尊志
13	H26	平成 26 年度調査研究助成金	(公財) 鈴木謙三記念医科学応用研究財団	バイオ応用技術 G	柚木俊二
14	H27	海外研修助成金	(公財) スズキ財団	電子半導体技術 G	小宮一毅
15	H27	海外研修助成金	(公財) スズキ財団	電子半導体技術 G	藤原康平
16	H24	科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究 (A)	(独) 日本学術振興会	機械技術 G	島田茂伸
17	H25	科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究 (B)	(独) 日本学術振興会	環境技術 G	小沼ルミ
18	H25	科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究 (B)	(独) 日本学術振興会	バイオ応用技術 G	月精智子
19	H25	科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (B)	(独) 日本学術振興会	繊維・化学 G	神谷嘉美
20	H25	科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 挑戦の萌芽研究	(独) 日本学術振興会	城東支所	樋口智寛
21	H25	科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 (A) [分担]	(独) 日本学術振興会	高度分析開発 S	川口雅弘
22	H25	科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 (A) [分担]	(独) 日本学術振興会	機械技術 G	福田良司

No.	開始 年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
23	H25	科学研究費助成事業（科学研究費補助金） 基盤研究（S）〔分担〕	（独）日本学術振興会	高度分析開発 S	川口雅弘
24	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成 金）挑戦的萌芽研究〔分担〕	（独）日本学術振興会	材料技術 G	吉野 徹
25	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	情報技術 G	金田泰昌
26	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	情報技術 G	大原 衛
27	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	機械技術 G	岩岡 拓
28	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	機械技術 G	福田良司
29	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	高度分析開発 S	川口雅弘
30	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	電子・機械 G	渡部雄太
31	H26	科学研究費助成事業（科学研究費補助金） 基盤研究（B）〔分担〕	（独）日本学術振興会	繊維・化学 G	神谷嘉美
32	H26	科学研究費助成事業（科学研究費補助金） 研究活動スタート支援	（独）日本学術振興会	表面技術 G	近藤ゆりこ
33	H27	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）基盤研究（C）	（独）日本学術振興会	バイオ応用技術 G	柚木俊二
34	H27	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助 成金）若手研究（B）	（独）日本学術振興会	城東支所	徳田祐樹
35	H27	学研究費助成事業（学術研究助成基金助成 金）挑戦的萌芽研究	（独）日本学術振興会	材料技術 G	林 孝星
36	H27	学研究費助成事業（学術研究助成基金助成 金）挑戦的萌芽研究	（独）日本学術振興会	繊維・化学 G	榎本一郎
37	H27	学研究費助成事業（科学研究費補助金）基 盤研究（B）〔分担〕	（独）日本学術振興会	高度分析開発 S	林 英男
38	H27	学研究費助成事業（科学研究費補助金）基 盤研究（B）〔分担〕	（独）日本学術振興会	高度分析開発 S	林 英男
39	H27	学研究費助成事業（学術研究助成基金助成 金）基盤研究（C）〔分担〕	（独）日本学術振興会	バイオ応用技術 G	永川榮泰 櫻井 昇

6.3.2 受託研究……………6件

受託研究は企業からの委託に基づいて都産技研職員が短期の研究・調査を行う事業である。受託研究の受け付けは常時行っており、企業の緊急な技術課題に対して即応できるという特徴がある。また、研究費は企業の負担となるが、非公開が原則となっており、秘密保持性の高いこともこの研究の特徴の一つである。

平成27年度の実績は、以下の通りである。

所属部署	件 数	受託研究費
開発本部開発第二部 材料技術グループ	1 件	900,430 円
事業化支援本部技術開発支援部 システムデザインセクター	1 件	497,520 円
事業化支援本部地域技術支援部 生活技術開発セクター	1 件	117,540 円
事業化支援本部地域技術支援部 城南支所	1 件	542,280 円
事業化支援本部多摩テクノプラザ 電子・機械グループ	2 件	404,180 円
合 計	6 件	2,461,950 円

6.4 ロボット産業活性化事業

中小企業のロボット産業への参入を支援するため、平成27年4月より、「ロボット産業活性化事業」を開始した。（事業推進根拠：東京都長期ビジョン）

本事業では、案内支援、産業支援、点検支援、介護支援の4分野におけるロボットの実用化を推進するための支援を行うとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて東京のロボット技術を発信する契機とし、中小企業のロボット産業への参入を後押しする。

(1) 東京ロボット産業支援プラザの新設

ロボットの試作開発から安全性の評価までに対応する新しいロボット開発拠点、「東京ロボット産業支援プラザ」をテレコムセンター内に整備した。平成27年度は、生活支援ロボットや介護用ロボットの実証実験を行うため、住宅やオフィス、コンビニエンスストアを模した空間「疑似実証実験スペース」を整備し、一部業務を開始した。

(2) 技術開発

1) 基盤研究および実証研究

従来の研究事業と異なり、ロボット開発に関する基盤的で汎用性の高い技術開発や実証環境を求めてロボットを試作開発するための研究開発に取り組んだ。

平成27年度開始 基盤研究および実証研究テーマ一覧

種別	テーマ名	研究者名	期間
実証	安全認証に向けたT型ロボットベースの実用化開発とその評価	益田俊樹	H27.10～H28.9
実証	T型ロボットベースを用いたサービスロボットの安全認証取得体制の構築	村上真之	H27.10～H28.9
基盤	安全認証取得を目的としたロボットベース制御基板の開発	佐藤 研	H27.10～H28.9
実証	混雑環境に向けた自律型案内ロボット用ソフトウェアの実装と評価	武田有志	H27.10～H28.9
基盤	屋外環境向け重量型T型ロボットベース TypeL の6輪移動機構の開発	益田俊樹	H28.2～H29.1

2) 公募型共同研究開発事業

日本国内からロボットを開発・活用して事業化を目指す中小企業を公募し、都産技研が開発経費を負担（委託）して、共同で開発を行う「公募型共同研究開発事業」を実施した。

平成27年度開始 事業テーマ

短期展開型（事業期間：1年 委託上限額：1,000万円）

分野	事業者名	事業テーマ名
共通	(株)システムクラフト (東京都立川市)	T型ロボットベースの高機能化
介護支援	WHILL(株) (神奈川県横浜市)	自働停止機能有する電動車椅子の開発

新市場創出型（事業期間：3年 委託上限額：3,000万円）

分野	事業者名	事業テーマ名
案内支援	SOCIAL ROBOTICS(株) (東京都立川市)	観光案内をサポートするコンシェルジュ ロボットの開発
産業支援	(株)府中技研 (東京都府中市)	電動アシスト人力車の開発と事業化
産業支援	(株)TNGM (三重県四日市市)	嚥下食盛り付け協働型ロボットアームの開発
点検支援	サンリツオートメイション(株) (東京都町田市)	モジュラー型オールインワン調査点検 ロボットシステム
介護支援	(株)ブイ・アール・テクノセンター (岐阜県各務原市)	地域サポート介護支援見守りロボット サービス
介護支援	テクノツール(株) (神奈川県川崎市)	日常生活支援のロボットアームの開発

(3) 事業化支援

都産技研の研究開発成果や試作開発ロボットを広く周知し、事業への参画を促すとともに、共同開発企業の拡販を支援するために「2015 国際ロボット展」に出展した。

出展小間数：20 小間、展示・ブース内プレゼンテーション協力企業：8 社

また、「産業交流展 2015」では、新しく企画された「次世代ロボットゾーン」に出展するとともに、共同研究企業の出展協力を行った。

(4) ロボット産業人材育成

ロボット開発や導入への興味喚起、ロボットに関する最新の技術情報を提供するため、「ロボット産業活性化セミナー」を開催した。

第1回：ロボット技術の活用可能性（3月） 参加者 46名

第2回：サービスロボットの安全性（3月） 参加者 52名

(5) 外部機関との連携

1) ロボット研究・産業関係団体

ロボット産業における情報共有や実用化に向けた課題解決を図るため、ロボットビジネス推進協議会、ベイエリアおもてなしロボット研究会等の活動に参加し、意見交換を行った。

2) 自治体・産業支援機関

自治体等が主催する研究会や展示会に参加し、本事業や都産技研の研究成果の紹介を行った。

埼玉県ロボットニーズ研究会（4月）、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会（6月）、えどがわ産学金連携推進フォーラム（9月）、新技術創出交流会（10月）、ふちゅうテクノフェア（10月）、荒川区産業展（3月）

3) オリンピック・パラリンピック関連

多言語対応・ICT 化推進フォーラム（7月）に参加し、多言語対応に取り組む区市町村、道府県の職員を対象に試作ロボットの実演を行った。また、2020 年に向けた科学技術イノベーションシンポジウム（2月）で、ロボット技術の紹介を行った。

6.5 外部発表……………251 件

基盤研究などの成果普及は、各種学協会などの外部機関への論文投稿、口頭発表などを通じて行っている。また、依頼原稿や依頼講演を通じて成果普及を行い、中小企業の技術課題の解決や製品開発に寄与している。

平成 27 年度の外部発表実績は以下の通りである。なお、執筆者、発表者には共同執筆者および共同発表者の場合も掲載している。

論文発表 31 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌 名
1	ファイルバージョン機能を備えた分散データレプリケーションプロトコルの提案	大原 衛 他 5 名	電子情報通信学会	電子情報通信学会和文論文誌 D Vol. 98-D, No. 4, pp. 684-699 (2015)
2	Dynamic Adsorption of Toluene on Pore-Size-Tuned Supermicroporous Silicas	渡辺洋人 他 3 名	ELSEVIER	Microporous and Mesoporous Materials Vol. 214, No. 15, pp. 41-44 (2015)
3	Impact of pulse duration in high power impulse magnetron sputtering on growth of wurtzite phase (Ti, Al)N films with high hardness	寺西義一 森河和雄 小宮英俊 渡部友太郎 長坂浩志 他 2 名	ELSEVIER	Thin Solid Films Vol. 581, pp. 39-47 (2015)
4	褐色腐朽菌オオウズラタケが放散する揮発性有機化合物の分析手法の検討	小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介 他 1 名	(公社) 日本木材保存協会	木材保存 Vol. 41, No. 3, pp. 108-118 (2015)
5	Analysis of microbial volatile organic compounds produced by wood-decay fungi	小沼ルミ 瓦田研介 他 3 名	Springer	Biotechnology Letters Vol. 37, No. 9, pp. 1845-1852 (2015)
6	歩行型腰部柔らかカダミーを用いた衣服圧測定方法の確立	菅谷紘子 岩崎謙次	(公財) 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	デサントスポーツ科学 Vol. 36, pp. 30-40 (2015)
7	ブラウン管パネルガラス粉末および貝殻粉末を原料とした造粒焼結体を用いたリン酸循環利用システム	中澤亮二 佐々木直里 田中真美 小山秀美 平井和彦 他 7 名	日本環境学会	人間と環境 Vol. 41, No. 2, pp. 17-27 (2015)
8	The effect of Si poisons on Co_3O_4 - CeO_2 oxide catalyst: comparison with a $\text{Pt}/\text{Al}_2\text{O}_3$ catalyst	染川正一 萩原利哉	Rangsit University	Rangsit Journal of Arts and Sciences Vol. 5, No. 1, pp. 43-48 (2015)
9	Structural analyses of thin SiO_2 films formed by thermal oxidation of atomically flat Si surface by using synchrotron radiation X-ray characterization	永田晃基 他 6 名	The Electrochemical Society	ECS Journal of Solid State Science and Technology Vol. 4, No. 8, pp. N96-N98 (2015)
10	東北スマートコミュニティ事業における既存情報モデルによるユースケースの実現に向けた検討と課題	中川善継 他 1 名	(一社) 電気学会	電子情報通信学会技術研究報告 Vol. 115, No. 95, pp. 77-82 (2015)
11	環境低負荷型クエン酸ニッケルめっきの電子部品用下地めっきへの適用	浦崎香織里 土井 正	日本材料科学会	日本材料科学会誌「材料の科学と工学」 Vol. 52, No. 3, pp. 94-98 (2015)
12	Development of a very low-cost down converter for the IEEE802.11ad wireless network appliance test	藤原康平 小林丈士 他 2 名	IEEE	Radio & Wireless Week 2015 pp. 117-119 (2015)
13	Biosynthesis and characterization of novel poly(3-hydroxybutyrate-co-3-hydroxy-2-methylbutyrate): thermal behavior associated with α -carbon methylation	渡辺世利子 他 4 名	Royal Society of Chemistry	RSC Advances Vol. 5, pp. 58679-58685 (2015)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌 名
14	Development of a novel fabrication method to create a thick collagen bundle composed of uniaxially aligned fibrils: An essential technology to develop an artificial tendon/ligament matrix	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝 他 2 名	Wiley Periodical	Journal of Biomedical Materials Research part A Vol. 103, No. 9, pp. 3054-3065 (2015)
15	低融点金属粉を添加した焼結マグネシウムの組織と強度	岩岡 拓 青沼昌幸 他 1 名	(一社)軽金属学会	軽金属 Vol. 65, No. 7, pp. 269-274 (2015)
16	Fiber-optic sorbitol biosensor based on NADH fluorescence detection toward rapid diagnosis of diabetic complications	月精智子 他 3 名	Royal Society of Chemistry	Analyst No. 140, pp. 6335-6342 (2015)
17	圧粉成形における二分割金型を用いた側圧測定による抜出壁面摩擦の基礎検討	岩岡 拓 他 2 名	(一社)粉体粉末冶金協会	粉体および粉末冶金 Vol. 62, No. 8, pp. 422-430 (2015)
18	Simultaneous Organic and Inorganic Analysis of Colored Oriental Lacquerware by Pyrolysis-Gas Chromatography/Mass Spectrometry	神谷嘉美 他 3 名	Hindawi Publishing Corporation	International Journal of Polymer Science doi.org/10.1155/2015/725467
19	A low-cost IEEE802.11ad wireless network appliance test system with Mixed Domain Oscilloscope and down converter	藤原康平 小林丈士 他 2 名	IEEE	Microwave Conference (EuMC), 2015 European 10.1109/EuMC.2015.73
20	VOC decomposition over a wide range of temperatures using thermally stable Cr ⁶⁺ sites in a porous silica matrix	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	ELSEVIER	Catalysis Communications Vol. 72, No. 5, pp. 161-164 (2015)
21	窓ガラスを構成要素とする直方体キャビティにおける強連成モードとその抑制	福田良司 他 1 名	(一社)日本機械学会	日本機械学会論文集 Vol. 81, No. 830 (2015)
22	統計量に基づく L1 最小化問題のパラメータ設計手法	金田泰昌 入月康晴	(一社)電気学会	電気学会論文誌 C 偏 Vol. 135, No. 11, pp. 1419-1426 (2015)
23	Characterization of the optical properties of 2D-to-3D conversion imaging screens using bidirectional transmittance distribution function	横田浩之 他 6 名	日本画像学会	日本画像学会誌 Vol. 54, No. 6, pp. 526-531 (2015)
24	3 成分系植物由来複合材料（麻繊維/ポリアミド 1010/TPE）の機械的およびトライボロジック的性質に及ぼす植物由来 TPE の種類の影響	山中寿行 梶山哲人 他 3 名	日本材料試験技術協会	材料試験技術 Vol. 61, No. 1, pp. 3-11 (2016)
25	Color change mechanism of niobium oxide thin film with incidental light angle and applied voltage	海老澤瑞枝 他 5 名	ELSEVIER	Thin Solid Films doi:10.1016/j.tsf.20(2016)
26	Growth rate and electrochemical properties of B-doped diamond films prepared by hot-filament chemical vapor deposition methods	長坂浩志 寺西義一 近藤ゆりこ 他 2 名	(公社)日本表面科学会	e-Journal of Surface Science and Nanotechnology Vol. 14, pp. 53-58 (2016)
27	Study of adsorption behavior of cesium and strontium ions with banana fiber adsorbent	梶山哲人 他 1 名	日本イオン交換学会	Journal of Ion Exchange Vol. 27, No. 1, pp. 8-12 (2016)
28	Effect of contrast Enhancement Prior to Iteration Procedure on Image correction for Soft X-ray Projection Microscopy	金城康人 他 4 名	Institute for Systems and Technologies of Information, Control and Communication	4th International Conference on Photonics, Optics and Laser Technology doi:10.1063/1.4937531
29	Stability of friction fade-out at polymer-like carbon films slid by ZrO ₂ pins under alcohol-capped hydrogen gas environment	川口雅弘 他 4 名	SAGE	Journal of Engineering Tribology doi:10.1177/1350650116636797
30	C-A-S-H への Cs の吸着挙動の評価	渡邊慎之 他 3 名	(一財)セメント協会	セメント・コンクリート論文集 Vol. 69, No. 1, pp. 53-60 (2015)
31	Noise Influence on Low Contrast Image Correction for Soft X-ray Projection Microscopy	金城康人 他 4 名	Institute for Systems and Technologies of Information, Control and communication	Proceedings of the 4th International Conference on Photonics, Optics and Laser Technology pp. 169-178 (2016)

※論文発表は、『平成 26 年度年報』未掲載分を含む。

口頭発表（学協会など） 82件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	C-A-S-H への Cs の収着挙動の評価	渡邊禎之 他 3 名	平成 27 年 5 月 12 日	ホテルメトロポリタ ン	第 69 回セメント技術大会
2	軸受・シール部材用多結晶ダイヤモンド成膜技術の開発	長坂浩志	平成 27 年 5 月 19 日	(一社)日本溶接協会 溶接会館	平成 27 年度 第 1 回表面改 質技術研究委員会
3	微量放射能計測のための水試料自動蒸発濃縮システムの 開発	斎藤正明 他 11 名	平成 27 年 5 月 23 日	山梨大学甲府 キャンパス	(公社)日本分析化学会 第 75 回分析化学討論会
4	高温下におけるサーメット溶射膜の摩耗特性	川口雅弘 他 4 名	平成 27 年 5 月 27 日	姫路商工会議所	トライボロジー会議 2015 姫路
5	高荷重下における DLC 複合膜の摩擦フェイドアウトの安 定的発現	川口雅弘 他 4 名	平成 27 年 5 月 28 日	姫路商工会議所	トライボロジー会議 2015 姫路
6	Mg-Sn-Zn 系アトマイズ粉の焼結によるマグネシウムの高 強度・高延性化	岩岡 拓 青沼昌幸 他 1 名	平成 27 年 5 月 28 日	早稲田大学国際 会議場	(一社)粉体粉末冶金協会 平成 27 年度春季大会
7	A Note on Rejuvenation in Time Warp-Based Distributed Systems	大原 衛 他 1 名	平成 27 年 6 月 3 日	筑波大学 東京キャンパス 文京校舎	The 9th International Conference on Mathematical Methods in Reliability
8	軽量ブロック暗号、SPECK のハードウェア開発	岡部 忠	平成 27 年 6 月 4 日	東京ビッグサイト	JPCAshow2015 アカデミックプラザ
9	麻繊維強化ポリアミド 1010 複合材料のトライボロジー的 性質に及ぼす表面処理方法の影響	梶山哲人 山中寿行 他 3 名	平成 27 年 6 月 4 日	タワーホール船堀	(一社)プラスチック 成形加工学会 第 26 回年次大会
10	電子部品用ホウ素フリーニッケルめっきの開発	浦崎香織里 土井 正	平成 27 年 6 月 5 日	工学院大学 新宿キャンパス	日本材料科学会 平成 27 年 度学術講演大会
11	The effect of molecular structure on the tribological properties of ionic liquids against carbon coatings	近藤ゆりこ 寺西義一 長坂浩志 他 2 名	平成 27 年 6 月 5 日	Hotel de la Paix, Lugano, Switzerland	The European Conference on Tribology 2015 (Ecotrib2015)
12	塗布加工による金属線織物の接触抵抗低減	峯 英一 窪寺健吾 小野澤明良 樋口明久 伊東洋一 他 2 名	平成 27 年 6 月 11 日	タワーホール船堀	平成 27 年度繊維学会 年次大会
13	Multicolor and Multiple QR Code based Information Support System during Disaster for Elderly People	加藤貴司 岩崎謙次 菅谷紘子 他 4 名	平成 27 年 6 月 16 日	北九州国際会議場	the 4th International Conference on Informatics, Electronics & Vision
14	尿とりパットずれ防止パンツの開発	平山明浩 他 1 名	平成 27 年 6 月 27 日	信州大学 繊維学部	(一社)日本繊維製品 消費者学会 2015 年年度大会
15	ヤモリテープを用いた極微量分析の可能性-輸出漆器の 分析事例から-	神谷嘉美 他 4 名	平成 27 年 6 月 27 日	京都工芸繊維大学	(一社)文化財保存修復学会 第 37 回大会
16	応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検 診 1・真菌叢調査	小沼ルミ 他 9 名	平成 27 年 7 月 4 日	東京大学伊藤国際学 術研究センター	第 46 回日本職業・環境アレ ルギー学会総会・学術大会
17	タイムワープシミュレーションにおけるソフトウェア若 化法に関する一考察	大原 衛 他 1 名	平成 27 年 7 月 17 日	棟方志功ゆかりの宿 椿館	第 73 回 FTC 研究会
18	電気用品安全法と安全性試験	新井宏章 小林丈士	平成 27 年 7 月 17 日	日本教育会館	(一財)日本科学技術連盟 第 45 回信頼性・保全性シン ポジウム
19	クラスタ制御を適用した振動試験用垂直加振台の数値解 析	福田良司	平成 27 年 8 月 26 日	弘前大学	Dynamics and Design Conference 2015
20	L1 正則化付き線形回帰の逐次型アルゴリズム	金田泰昌 入月康晴	平成 27 年 8 月 27 日	長崎大学 文教キャンパス	平成 27 年度 電気学会 電 子・情報・システム部門大会
21	色みえと光源効率を考慮した照明用 LED ランプの開発	岩永敏秀 中村広隆 他 3 名	平成 27 年 8 月 27 日	福井大学	(一社)照明学会 平成 27 年度(第 48 回) 全国大会
22	ハイパワータイプ LED の点光源化技術の開発	横田浩之 岩永敏秀 他 2 名	平成 27 年 8 月 27 日	福井大学	(一社)照明学会 平成 27 年度(第 48 回) 全国大会
23	放射線照射-E S R 法による OH ラジカル消去能システ ムの改良	中川清子 関口正之	平成 27 年 8 月 29 日	京都大学 吉田キャンパス	(公社)日本食品科学工学会 第 62 回大会
24	黒色表面の赤外分光放射率の角度依存性評価	中島敏晴 磯田和貴	平成 27 年 8 月 29 日	福井大学	(一社)照明学会 平成 27 年度(第 48 回) 全国大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
25	便座からの立ち上がり動作に関する実験的検討	島田茂伸 他 7 名	平成 27 年 9 月 2 日	公立はこだて 未来大学	ヒューマンインタフェース 学会 ヒューマンインタフ ェースシンポジウム 2015
26	レーザー焼結の低温造形における造形物のスケール効果	木暮尊志 山内友貴 他 1 名	平成 27 年 9 月 5 日	東北大学 川内北キャンパス	(公社)精密工学会 2015 年 度秋季大会学術講演会
27	現場環境における三次元測定機の高度化に関する研究 -低熱膨張ブロックゲージの寸法の違いを用いた温度補 正の評価-	大西 徹 他 1 名	平成 27 年 9 月 5 日	東北大学 川内北キャンパス	(公社)精密工学会 2015 年 度秋季大会学術講演会
28	粉末焼結型 AM 技術におけるそりの測定と補正	山内友貴 小金井誠司 横山幸雄 安田 健	平成 27 年 9 月 5 日	東北大学 川内北キャンパス	(公社)精密工学会 2015 年 度秋季大会学術講演会
29	RSNP と RT ミドルウェアを利用した移動ロボット遠隔操作 システムのシングルボードコンピュータ上での構築	佐々木智典 他 1 名	平成 27 年 9 月 5 日	東京電機大学 東京千住キャンパス	第 33 回日本ロボット学会 学術講演会
30	ファイバーレーザを用いたポリアミドの粉末焼結におけ る低温造形の試み	山内友貴 木暮尊志 他 1 名	平成 27 年 9 月 6 日	東北大学 川内北キャンパス	(公社)精密工学会 2015 年 度秋季大会学術講演会
31	MECHANICAL PROPERTIES OF ¹³ C DLC FILMS DEPOSITED BY PBII&D	川口雅弘 徳田祐樹 他 3 名	平成 27 年 9 月 8 日	Lyon (仏国)	42nd Leed-Lyon Symposium on Tribology
32	Stability of friction fade out at PLC films slid by ZrO ₂ pins under ethanol added hydrogen gas environment	川口雅弘 他 3 名	平成 27 年 9 月 8 日	Lyon (仏国)	42nd Leed-Lyon Symposium on Tribology
33	アークアシストグロー放電を利用したプラズマ窒化処理 に関する検討	中村 勲 渡部友太郎	平成 27 年 9 月 9 日	信州大学 長野キャンパス	(一社)表面技術協会 第 132 回講演大会
34	直流パルス GD-MS による薄板試料の微量成分の迅速高感 度定量	山田健太郎 上本道久	平成 27 年 9 月 9 日	九州大学 伊都キャンパス	日本分析化学会 第 64 年会
35	Al 固溶の C-S-H (C-A-S-H) のセシウム収着特性に関する 検討	渡邊慎之 他 5 名	平成 27 年 9 月 10 日	静岡大学 静岡キャンパス	(一社)日本原子力学会 2015 年秋の大会
36	電場印加による六方晶窒化アルミニウム (h-AlN) のバンド ギャップ変調	太田優一	平成 27 年 9 月 13 日	名古屋国際会議場	第 76 回応用物理学会 秋季学術講演会
37	パルーンロボットの開発	小林祐介 佐々木智典 益田俊樹 坂下和広	平成 27 年 9 月 15 日	北海道大学工学部	(一社)日本機械学会 2015 年度年次大会
38	高剛性・難剥離の曲げに強いサンドイッチコア材	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	平成 28 年 9 月 16 日	東京都中小企業振興 公社 多摩支社	(独法)科学技術振興機構 TAMA 新技術説明会
39	Shape Optimization of Chipless RFID Tags Composed of Fractal Structure	渡部雄太 他 1 名	平成 27 年 9 月 17 日	淡路夢舞台 国際会議場	The 17th International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics
40	¹³ C DLC films deposited by PBII&D	川口雅弘 徳田祐樹 他 3 名	平成 27 年 9 月 17 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	International Tribology Conference, Tokyo 2015
41	Effect of Polyalkylmethacrylates on Drawability of Stainless Steel Sheets	中村健太 奥出裕介 他 1 名	平成 27 年 9 月 17 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	International Tribology conference, Tokyo 2015
42	一軸配向した繊維からなる太いゲル状コラーゲンバンド ルの作製技術 - 人工腱を創製するための要素技術 -	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝 他 2 名	平成 27 年 9 月 17 日	東北大学 川内キャンパス	第 64 回高分子討論会
43	Friction Fade-Out of DLC Composite Films at Heavier Loads under Various Hydrogen Environments	川口雅弘 他 4 名	平成 27 年 9 月 17 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	International Tribology Conference, Tokyo 2015
44	Tribological properties of hydrogenated DLC films optimized by surface topography	徳田祐樹 川口雅弘 他 1 名	平成 27 年 9 月 18 日	東京理科大学	International Tribology Conference, Tokyo 2015
45	Tribological properties affected by the structures of ionic liquids against ceramic materials	近藤ゆりこ 長坂浩志 他 2 名	平成 27 年 9 月 18 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	International Tribology Conference, Tokyo 2015
46	非晶質炭酸カルシウムを経由したカルサイト中への不純 物ドーピングによる蛍光体の合成と蛍光波長の制御	吉野 徹 他 2 名	平成 27 年 9 月 25 日	東京大学 本郷キャンパス	日本鉱物科学会 2015 年年会
47	シャフル表現による非同期イベント系列の形式的記述	阿部真也	平成 27 年 9 月 28 日	名古屋工業大学	平成 27 年度電気・電子・情 報関係学会東海支部連合大 会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
48	ヤモリテープを用いた Py-GC/MS のための新規サンプル保持方法	神谷嘉美 他 2 名	平成 27 年 9 月 30 日	ウイנק あいち	(公社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会 第 379 回例会
49	都産技研における FPGA 開発支援について	岡部 忠	平成 27 年 10 月 9 日	幕張メッセ	CEATEC2015 プログラマブル デバイスプラザ オープンセ ミナー
50	X 線 CT 装置による寸法測定値の信頼性評価	竹澤 勉 樋口英一 中西正一 紋川 亮 上本道久	平成 27 年 10 月 16 日	北海道立道民活動セ ンター (かでる 2・7)	(一社)日本非破壊検査協会 秋季講演大会
51	Al-4%Mg 合金の溶湯酸化とその酸化機構	佐藤健二 林 英男 他 2 名	平成 27 年 10 月 24 日	室蘭工業大学	(公社)日本鋳造工学会 第 167 回全国講演大会
52	麻繊維強化 PA1010 バイオマス複合材料を用いた機械材料 の開発ー繊維表面処理の最適化検討ー	山中寿行 梶山哲人 他 4 名	平成 27 年 10 月 26 日	名古屋市工業 研究所	第 27 回高分子加工技術討論 会
53	WE43 マグネシウム合金小径管の液圧バルジ加工	奥出裕亮 他 5 名	平成 27 年 10 月 31 日	(一社)日本塑性加工 学会 第 66 回塑性 加工連合講演会	いわき市文化センター
54	小径銅管の液圧バルジ加工	奥出裕亮 他 4 名	平成 27 年 11 月 3 日	大阪大学 吹田キャンパス	日本銅学会 第 55 回講演大会
55	麻繊維強化植物由来 PA1010 バイオマス複合材料のレオロ ジーの性質に及ぼすアルカリ処理の影響	山中寿行 梶山哲人 他 3 名	平成 27 年 11 月 3 日	福岡大学	第 23 回秋季大会 (成形加工シンポジア' 15 (福岡))
56	麻繊維強化植物由来 PA1010 バイオマス複合材料の機械的 性質に及ぼす繊維長の影響	山中寿行 梶山哲人 他 5 名	平成 27 年 11 月 3 日	福岡大学	第 23 回秋季大会 (成形加工シンポジア' 15 (福岡))
57	麻繊維およびガラス繊維ハイブリッド型植物由来ポリア ミド 11 複合材料の機械的およびトライボロジーの性質	山中寿行 梶山哲人 他 4 名	平成 27 年 11 月 3 日	福岡大学	第 23 回秋季大会 (成形加工シンポジア' 15 (福岡))
58	Effect of the mean size of fine intermetallic compounds on the strength property of sintered magnesium alloy by gas atomization	岩岡 拓 青沼昌幸 他 1 名	平成 27 年 11 月 10 日	京都大学百周年 時計台記念館	3rd International Conference of Powder Metallurgy in Asia (APMA2015)
59	ゲル状配向コラーゲン線維束の作製とその in vitro およ び in vivo 評価	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝 他 2 名	平成 27 年 11 月 10 日	京都テルサ	第 37 回日本バイオ マテリアル学会大会
60	Topology Optimization of Tag Structures for Chipless RFID	渡部雄太	平成 27 年 11 月 11 日	Hobart, Tasmania, Australia	International Symposium on Antennas and Propagation (ISAP2015)
61	ガスアトマイズ法による Mg-Sn-Zn 系微粉末の作製と物性 評価 (第 2 報)	小林 凌 岩岡 拓 他 2 名	平成 27 年 11 月 12 日	京都大学百周年時計 台記念館	(一社)粉体粉末冶金協会 平成 27 年度秋季大会
62	L1 正則化を用いたロバストカルマンフィルタとその設 計手法	金田泰昌 入月康晴	平成 27 年 11 月 14 日	神戸大学 六甲台キャンパス	第 58 回 自動制御連合講演会
63	Software rejuvenation schemes for time warp-based PDES	大原 衛 他 1 名	平成 27 年 11 月 19 日	Zhangjiajie International Hotel, Zhangjiajie, China	The 21st IEEE Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing
64	フルボ酸の鉄結合力評価方法の検討	木下健司	平成 27 年 11 月 20 日	名古屋大学野依記念 学術交流館	日本腐植物質学会 第 31 回講演会
65	Al 基 50%SiC 粒子分散型複合材と熱処理型アルミニウム 合金の重ね摩擦攪拌接合性	肥澤拓也 青沼昌幸 他 1 名	平成 27 年 11 月 21 日	日本大学生産工学部 津田沼キャンパス 39 号館	(一社)軽金属学会 第 129 回秋期大会
66	難聴者の音声聴取に適したスピーカシステムの開発	服部 遊 宮入 徹 渡辺茂幸 西沢啓子 神田浩一 他 1 名	平成 27 年 11 月 28 日	山梨大学 甲府キャンパス	(一社)日本福祉工学会 第 19 回 (2015 年) 学術講演会
67	シャフル表現による Web システム動作系列の記述	阿部真也	平成 27 年 11 月 28 日	リクルート本社	第 7 回 Web インテリジェンス とインタラクション研究会
68	麻繊維強化植物由来エンブラ系複合材料を用いたトラ イボマテリアルの開発	山中寿行 梶山哲人 他 3 名	平成 27 年 11 月 29 日	近畿大学 東大阪キャンパス	2015 年度材料技術研究協会 討論会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
69	熱伝達向上を目的としたヒートシンクの開発	富山真一	平成 27 年 12 月 18 日	村上市勤労者総合福祉センタークリエート村上	ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC 研究会)
70	FABRICATION OF HEMP FIBER REINFORCED PLANTS-DERIVED POLYAMIDE 1010 BIOMASS COMPOSITES AND THEIR MECHANICAL PROPERTIES	山中寿行 梶山哲人 他 3 名	平成 27 年 12 月 8 日	しいのき迎賓館	14th Japan International SAMPE Symposium & Exhibition (JISSE14)
71	使用済み製品からの素材回収時に混在する他素材由来の鉄鋼リサイクル材中の不純物濃度の国間比較	林 英男 他 3 名	平成 28 年 3 月 3 日	東京大学 柏キャンパス	日本 LCA 学会 第 11 回日本 LCA 学会研究発表会
72	再構成可能デバイス MRLD とテスト応用	大原 衛 岡部 忠 他 1 名	平成 28 年 3 月 15 日	九州大学 伊都キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2016 年電子情報通信学会総大会
73	導波管マイクロストリップ変換器を用いた 90GHz 帯ハーモニックミキサの開発	藤原康平 小林丈士	平成 28 年 3 月 15 日	九州大学 伊都キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2016 年電子情報通信学会総大会
74	平面型 LSPR センサの検討	加沢エリト 永田晃基	平成 28 年 3 月 16 日	東北大学 川内北キャンパス	(一社)電気学会 平成 28 年電気学会全国大会
75	放射線除染のための無線モニタリング向け表面汚染箇所検出とその評価	中川善継	平成 28 年 3 月 16 日	九州大学 伊都キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2016 年電子情報通信学会総大会
76	粉末床溶融結合における溶融部と未溶融部の収縮差による変形と造形データの補正に関する研究	小林隆一 山内友貴 小金井誠司	平成 28 年 3 月 17 日	東京理科大学 野田キャンパス	(公社)精密工学会 2016 年度精密工学会春季大会学術講演会
77	ファイバーレーザを用いたレーザ焼結における低温造形時に生ずる密度の寸法依存性	山内友貴 木暮尊志 他 1 名	平成 28 年 3 月 17 日	東京理科大学 野田キャンパス	(公社)精密工学会 2016 年度精密工学会春季大会学術講演会
78	レーザ焼結の低温造形における密度と造形時間に及ぼす形状の影響	木暮尊志 山内友貴 他 1 名	平成 28 年 3 月 17 日	東京理科大学 野田キャンパス	(公社)精密工学会 2016 年度精密工学会春季大会学術講演会
79	軽量ブロック暗号 FeW の FPGA 実装	岡部 忠	平成 28 年 3 月 17 日	九州大学 伊都キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2016 年電子情報通信学会総大会
80	セラミックスを用いた GEM フォイルの評価	小宮一毅 他 7 名	平成 28 年 3 月 22 日	東北学院大学 泉キャンパス	(一社)日本物理学会 春季大会
81	複数クロック動作時における高調波ノイズ源識別手法の検討	佐野宏靖 佐々木秀勝	平成 28 年 3 月 24 日	東京工業大学 大岡山キャンパス	(一社)エレクトロニクス実装学会 第 30 回エレクトロニクス実装学会春季講演大会
82	臭素置換低分子オルガノゲル化剤を用いたカラーフォーマーオルガノゲルによるガンマ線の可視化	関口正之 中川清子 他 2 名	平成 28 年 3 月 26 日	同志社大学 京田辺キャンパス	(公社)日本化学会 第 96 春季大会

ポスター発表(学協会など) 62件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	人追従機能を用いた運搬ロボットの研究開発	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 村上真之 坂下和広	平成 27 年 5 月 18 日	みやこめっせ	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015 in Kyoto
2	高齢者のためのスマートデバイス連動型シニアカー	中村佳雅 坂下和広 他 2 名	平成 27 年 5 月 19 日	みやこめっせ	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015 in Kyoto
3	熱処理木材の耐候性に及ぼす塗装効果	村井まどか 小野澤明良 神谷嘉美 木下稔夫	平成 27 年 5 月 26 日	メルパルク東京	(公社)日本木材保存協会 第 31 回年次大会
4	Change of transient absorption spectra induced by irradiation in alcohol containing 1, 2-dibromotetrafluoroethane	中川清子 他 2 名	平成 27 年 5 月 27 日	京都国際会議場	15th International Congress of Radiation Research
5	3 成分系バイオマス複合材料(麻繊維/PA11/TPE)の機械的性質に及ぼす植物由来 TPE 添加量の影響	梶山哲人 山中寿行 他 4 名	平成 27 年 6 月 3 日	タワーホール 船堀	(一社)プラスチック成形加工学会 第 26 回年次大会
6	Experimental Study on Usability Evaluation of a Hydraulic Jack Lever	島田茂伸 他 6 名	平成 27 年 6 月 8 日	Metro Toronto Convention Centre, Toronto, Canada	IUPESM 2015 WORLD CONGRESS ON MEDICAL PHYSICS & BIOMEDICAL ENGINEERING

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
7	Thermal Properties of Hemp Fiber Filled Polyamide 1010 Biomass Composites and the Blend of These Composites and Polyamide 11 Elastomer	山中寿行 梶山哲人 他 3 名	平成 27 年 6 月 10 日	International Convention Center in Jeju Island (韓国)	The 31st International Conference of the POLYMER PROCESSING SOCIETY
8	セルロースナノファイバーとセルロース誘導体で強化された酸性紙の強度試験	村井まどか 木下稔夫 他 1 名	平成 27 年 6 月 27 日	京都工芸繊維大学	(一社)文化財保存修復学会 第 37 回大会
9	水の放射線分解を利用した OH ラジカル消去能評価システムの検討	中川清子 関口正之	平成 27 年 7 月 8 日	東京大学 弥生講堂	第 52 回アイソトープ・ 放射線研究発表会
10	陶磁器の上絵層における有機物分析の試みー焼成に伴う膠成分の変化を中心にー	樋口智寛 他 1 名	平成 27 年 7 月 11 日	東京学芸大学	日本文化財科学会 第 32 回大会
11	Electronic structures of bilayer hexagonal boron nitride under vertical electric field	太田優一	平成 27 年 7 月 16 日	ラフォーレ琵琶湖	第 34 回電子材料 シンポジウム
12	黒色塗装膜の製作手法が耐光性に及ぼす影響	神谷嘉美	平成 27 年 8 月 27 日	奈良春日野国際フ ォーラム 麓〜I・RA・KA〜	2015 International Symposium on Conservation of East Asian Cultural Heritage in Nara
13	Application of Metal Hydride Paper to Simple Pressure Generator for use in Soft Actuator Systems	島田茂伸 他 5 名	平成 27 年 8 月 27 日	MiCo - Milano Conference Center - Milan, Italy	37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society
14	球帯係数法による赤外放射体の放射束測定方法の開発	磯田和貴 澁谷孝幸 横田浩之 海老澤瑞枝 中島敏晴	平成 27 年 8 月 28 日	福井大学	(一社)照明学会 平成 27 年度(第 48 回) 全国大会
15	Development of Haptic Pin-Display for Tactile Map Users	島田茂伸 他 2 名	平成 27 年 8 月 29 日	MiCo - Milano Conference Center - Milan, Italy	37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society
16	放射光 X 線回折による熱酸化 SiO ₂ 薄膜の構造評価	永田晃基 他 6 名	平成 27 年 9 月 4 日	川崎市産業振興会 館	第 12 回 SPRing-8 産業利用報告会
17	A low-cost IEEE802.11ad wireless network appliance test system with Mixed Domain Oscilloscope and down converter	藤原康平 小林丈士 他 2 名	平成 27 年 9 月 10 日	フランス共和国 パリ市	European Microwave Week 2015
18	プラズモンによる銀コロイドの凝集制御と光学特性	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	平成 27 年 9 月 13 日	名古屋国際会議場	第 76 回応用物理学会 秋季学術講演会
19	透過型電子顕微鏡による Nb ドープ TiO ₂ 透明導電膜の膜内構造観察	小川大輔 森河和雄 他 3 名	平成 27 年 9 月 14 日	名古屋国際会議場	第 76 回応用物理学会 秋季学術講演会
20	酸素雰囲気下での深紫外光照射による ta-C 薄膜損傷	川口雅弘 他 3 名	平成 27 年 9 月 15 日	名古屋国際会議場	(公社)応用物理学会 第 76 回応用物理学会秋季学術講 演会
21	液体シンチレーション計測によるポリエチレンのバイオマス度評価法の開発	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	平成 27 年 9 月 15 日	東北大学 川内キャンパス	第 64 回高分子討論会
22	Mechanical properties comparison of hydrogenated DLC films deposited by ¹³ C methane or regular methane gases	徳田祐樹 川口雅弘 他 1 名	平成 27 年 9 月 16 日	東京理科大学	International Tribology Conference, Tokyo 2015
23	Effect of Fiber Content on the Tribological Properties of Ternary Biomass Composites (HF/PA1010/PA11E)	山中寿行 梶山哲人 他 3 名	平成 27 年 9 月 16 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	International Tribology Conference, Tokyo 2015
24	Effect of Blend Ratio of Plants-Derived TPE on the Tribological Properties of Hemp Fiber Reinforced Polyamide 11 Composites	山中寿行 梶山哲人 他 4 名	平成 27 年 9 月 16 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	International Tribology Conference, Tokyo 2015
25	Evaluation of frictional behavior of textured surface by using a newly proposed GPS parameter	徳田祐樹 他 4 名	平成 27 年 9 月 16 日	東京理科大学	International Tribology Conference, Tokyo 2015
26	線維化が加速されたコラーゲン／架橋剤混合水溶液のゲル化挙動	畑山博哉 柚木俊二 大藪淑美 他 1 名	平成 27 年 9 月 16 日	東北大学 川内キャンパス	第 64 回高分子討論会
27	小型共晶点セルによる熱電対の高温校正	佐々木正史 沼尻治彦	平成 27 年 9 月 17 日	金沢大学 角間キャンパス	電気学会 基礎・材料・ 共通部門大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
28	弾性床上の梁理論を用いた座金のめり込み挙動解析	松原独歩 中野貴啓 島田勝廣 他2名	平成27年 9月29日	北海道大学 学術交流会館	日本木材加工技術協会 第33回年次大会
29	Development of a new generation GEM using a fine ceramic	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 他3名	平成27年 10月13日	Trieste Italy	4TH International Conference on Micro Pattern Gaseous Detector 2015
30	Morphological property of the ion implanted Hydroxyapatite ceramics	寺西義一 長坂浩志 近藤ゆりこ 他1名	平成27年 10月20日	つくば国際会議場	The 9th International Conference on the Science and Technology for Advanced Ceramics (STAC-9)
31	バナナ繊維を用いたセシウムおよびストロンチウムイオン捕集特性の検討	梶山哲人 他1名	平成27年 10月23日	金沢工業大学 扇が丘キャンパス	2015年日本イオン交換学会 ・日本溶媒抽出学会連合年会
32	ヤモリテープを用いた Py-GC/MS による合成高分子の熱分解挙動の解析	神谷嘉美 他2名	平成27年 10月27日	つくば国際会議場	公益社団法人日本分析化学会 高分子分析研究懇談会 第20回高分子分析討論会
33	グラファイト状 ZnO の電子状態計算	太田優一	平成27年 10月29日	東京農工大学 小金井キャンパス	第4回 結晶工学未来塾
34	Strength Test of Acid Paper Reinforced with Cellulose Nanofibers and Cellulose derivatives	村井まどか 木下稔夫 他2名	平成27年 10月30日	Korea National University of Cultural Heritage	The 42nd International Conference of the Korean Society Conservation Science for Cultural Heritage
35	表面処理麻繊維/ポリアミド11複合体の溶融混練に関する検討	山中寿行 梶山哲人 他3名	平成27年 11月2日	福岡大学	第23回秋季大会(成形加工 シンポジウム'15(福岡))
36	放射線照射-ESR法によるOHラジカルおよびO ² 消去能の測定	中川清子 関口正之	平成27年 11月3日	朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター	第54回電子スピン サイエンス学会年会 (SEST2015)
37	ゲル化温度が向上したゼラチンによる細胞シート輸送の可能性	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉 他2名	平成27年 11月10日	京都テルサ	第37回日本バイオ マテリアル学会大会
38	Effect of boron incorporation on the structural quality of BAlN layers grown by MOVPE	太田優一 他3名	平成27年 11月11日	アクトシティ浜松	The 6th International Symposium on Growth of III-Nitrides
39	NIR分光法を用いた市場流通医薬品検査のための錠剤精密切断面の成分分布解析	藤巻康人 小金井誠司 他6名	平成27年 11月26日	筑波大学	第31回 近赤外フォーラム
40	スギ材の腐朽に伴って放散される揮発性有機化合物(MVOC)の測定	小沼ルミ 杉森博和 瓦田研介 他1名	平成27年 12月3日	沖縄コンベンションセンター	室内環境学会学術大会
41	ゲル法シリカを配合した非架橋ゴムの塑性変形性	飛澤泰樹 小沼ルミ 村上祐一	平成27年 12月3日	北九州国際会議場	第27回エラストマー 討論会
42	便座からの起立・着座動作時の頭部運動に着目した身体的負担に関する考察	島田茂伸 他5名	平成27年 12月8日	(国研)産業技術総合研究所臨界副都心センター	電子情報通信学会福祉情報 工学研究会 第82回福祉情 報工学研究会
43	Highly sensitive and rapid gas biosensor for formaldehyde	瀧本悠貴 月精智子 城 照彰 紋川 亮 他2名	平成27年 12月16日	アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル	The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
44	Adsorption properties of banana fiber to metal ions.	梶山哲人 他2名	平成27年 12月16日	アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル	The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
45	Fiber-optic biosensor with a UV-LED excitation system for sensitive determination of sorbitol-induced diabetic complications	月精智子 瀧本悠貴 紋川 亮 他2名	平成27年 12月16日	アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル	The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
46	High sensitive inspection chip for influenza virus based on the local surface plasmon resonance	紋川 亮 瀧本悠基 月精智子 中川朋恵 加澤エリト	平成 27 年 12 月 17 日	アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル	The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
47	Dissimilar metal joining of commercial pure titanium and stainless steel by friction stir welding	青沼昌幸 肥澤拓也 岩岡 拓 寺西義一 森河和雄	平成 27 年 12 月 19 日	Kansai University, Osaka, Japan	Twenty-Fourth International Symposium on Processing and Fabrication of Advanced Materials (PFAM 24)
48	鉄鋼リサイクル材中の極微量不純物元素の濃度分布に関する検討	林 英男 他 3 名	平成 28 年 1 月 23 日	香川高等専門学校	高専シンポジウム協議会 第 21 回高専シンポジウム
49	Synthesis of Fullerene Derivatives Having Cyclic Structure through Cationic Intermediate for Organic Solar Cells Application	小汲佳祐 他 3 名	平成 28 年 2 月 21 日	東京大学 本郷キャンパス	第 50 回 フラーレン・ナノチューブ・グラフェン総合シンポジウム
50	福島県と新潟市の阿賀野川水系における湖沼中のトリチウム並びにセシウムの経年挙動	片岡憲昭 永川栄泰 他 4 名	平成 28 年 3 月 9 日	高エネルギー加速器研究機構	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター 第 17 回「環境放射能」研究会
51	The growth rate and the electrochemical properties of boron doped diamond films prepared by hot-filament chemical vapor deposition methods	長坂浩志 他 2 名	平成 28 年 3 月 10 日	名古屋大学	(公社)応用物理学会 ISPlasma2016/IC-PLANTS2016
52	工業塗装における環境配慮のためのプロセスモデリング	小野澤明良 木下稔夫 他 3 名	平成 28 年 3 月 14 日	関西大学 千里山キャンパス	(公社)化学工学会 化学工学会第 81 年会
53	ゲル化温度が向上したゼラチンによる細胞シートの保護	大藪淑美 畑山博哉 柚木俊二 他 2 名	平成 28 年 3 月 17 日	大阪国際会議場	(一社)日本再生医療学会 第 15 回日本再生医療学会総会
54	Synthesis of the Seven-Membered Ring Fullerene Derivative for Organic Photovoltaics	小汲佳祐 他 4 名	平成 28 年 3 月 19 日	東京工業大学 大岡山キャンパス	(公社)応用物理学会 第 63 回応用物理学会春季学術講演会
55	多孔質シリカを鋳型にして作製したナノクロム酸化物を用いた室温から機能する VOC 分解材料の開発	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	平成 28 年 3 月 21 日	大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス	(一社)触媒学会 第 117 回触媒討論会
56	アルゴン雰囲気下での加熱による ta-C 薄膜損傷のラマン分光観察	川口雅弘 他 2 名	平成 28 年 3 月 21 日	東京工業大学 大岡山キャンパス	(公社)応用物理学会 第 63 回応用物理学会春季学術講演会
57	WS ₂ /h-AlN ヘテロ構造の電子状態	太田優一	平成 28 年 3 月 22 日	東京工業大学 大岡山キャンパス	(公社)応用物理学会 第 63 回応用物理学会春季学術講演会
58	亜鉛めっき用クロムフリー耐食性化成皮膜の開発	浦崎香織里 桑原聡士 竹村昌太 寺西義一 土井 正	平成 28 年 3 月 22 日	早稲田大学	(一社)表面技術協会 第 133 回講演大会
59	木材の摩擦を用いた耐力壁の開発 その 3 塑性域トルク算定法の検討	松原独歩 他 5 名	平成 28 年 3 月 28 日	名古屋大学	(一社)日本木材学会 第 66 回日本木材大会
60	木材の摩擦を用いた耐力壁の開発 その 4 湿度変動が応力緩和挙動に与える影響	松原独歩 他 5 名	平成 28 年 3 月 28 日	名古屋大学	(一社)日本木材学会 第 66 回日本木材大会
61	耐火集成材ラミナにおけるドリルとレーザーによるインサイジングの注入特性について	松原独歩 他 6 名	平成 28 年 3 月 28 日	名古屋大学	(一社)日本木材学会 第 66 回日本木材大会
62	金電極上におけるガリウムおよびインジウムのサイクリックボルタンメトリー	梶山哲人 他 3 名	平成 28 年 3 月 28 日	パシフィコ横浜	(公社)日本薬学会 日本薬学会第 136 年会

座長 11 件

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
1	第 75 回分析化学討論会	林 英男	平成 27 年 5 月 24 日	山梨大学 甲府キャンパス	(公社)日本分析化学会
2	トライボロジー会議 2015 姫路	川口雅弘	平成 27 年 5 月 27 日	姫路商工会議所	(一社)日本トライボロジー学会
3	平成 27 年度塑性加工春季講演会	玉置賢次	平成 27 年 5 月 30 日	慶應義塾大学 矢上キャンパス	(一社)日本塑性加工学会
4	第 26 回プラスチック成形加工学会年次大会	梶山哲人	平成 27 年 6 月 4 日	タワーホール 船堀	(一社)プラスチック成形加工学会

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
5	第33回分析化学基礎セミナー	上本道久	平成27年 6月24日	飯田橋レインボービル	(公社)日本分析化学会
6	第17回日本感性工学会大会	森 豊史	平成27年 9月2日	文化学園大学 新都心キャンパス	日本感性工学会
7	2015年度精密工学会秋季大会	山内友貴	平成27年 9月6日	東北大学 川内北キャンパス	(公社)精密工学会
8	International Tribology Conference, Tokyo 2015	川口雅弘	平成27年 9月17日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(一社)日本トライボロジー学会
9	第27回高分子加工技術討論会	梶山哲人	平成27年 10月26日	名古屋工業研究所	(一社)日本レオロジー学会
10	3rd International Conference of Powder Metallurgy in Asia	岩岡 拓	平成27年 11月10日	京都大学百周年時計台記念館	(一社)粉体粉末冶金協会
11	平成27年度秋季大会	岩岡 拓	平成27年 11月12日	京都大学百周年時計台記念館	(一社)粉体粉末冶金協会

依頼講演－研究成果－ 12件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	東北スマートコミュニティ事業における既存情報モデルによるユースケースの実現に向けた検討と課題	中川善継 他1名	平成27年 6月19日	富山国際会議場	(一社)電気学会スマートファシリティ研究会
2	IEEE802.11ad 測定ソリューションの開発とその可能性	藤原康平 小林丈士	平成27年 6月25日	東京コンベンション・ホール	TIF2015 テクノロジクス/ケースレー イノベーション・フォーラム
3	構造解析を利用したコンセプトデザイン	上野明也 角坂麗子 小林隆一 薬師寺千尋 濱野智子	平成27年 7月7日	ANAインターコンチネンタルホテル東京	Altair テクノロジーカンファレンス (2015 Japan ATC)
4	船舶貨物用振動試験の提案と青果物輸送損傷について	小西 毅 他2名	平成27年 7月23日	東劇ビル	第207回輸送包装研究会
5	Property of boron free nickel electroplating with citric acid	浦崎香織里 土井 正	平成27年 8月26日	千葉工業大学 スカイツリーキャンパス	Japan-Korea International Symposium on Materials Science and Technology 2015 (JKMST2015)
6	イオン注入による表面改質 (生体セラミックスへのイオン注入効果)	寺西義一 他1名	平成27年 9月2日	都産技研 本部	マテリアルライフ学会 表面-界面物性研究会
7	釉薬開発に向けた耐つまとび性能評価方法の改良	吉野 徹	平成27年 11月6日	都産技研 本部	平成27年度珪瑯技術講演会
8	無潤滑環境における a-C:H 膜の低摩擦化に及ぼす表面テクスチャリングの効果	徳田祐樹	平成27年 11月10日	東京理科大学葛飾校舎	2015 年度テクスチャリング表面のトライボロジー研究会
9	溶湯酸化による粗大酸化物「オバケ」の生成と成長	佐藤健二	平成27年 12月14日	品川区立総合区民会館「きゅりあん」	第97回シンポジウム「アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成」
10	水素含有 DLC 膜の表面性状制御による低摩擦化手法の開発	徳田祐樹	平成27年 12月4日	都産技研 本部	(一社)日本トライボロジー学会 第448回 トライボロジー懇談会
11	環境対応型ニッケルめっきの開発	浦崎香織里	平成28年 3月3日	(公財)広島市産業振興センター	平成27年度第11回広島表面処理技術研究会
12	グリーン製造技術を目指したドライプレス加工への取り組み	玉置賢次	平成28年 3月16日	昭和精工(株)	(一社)日本塑性加工学会 金型分科会 第37回セミナー

依頼講演－技術解説－ 12件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	高精度型光ファイバー温度計の開発	佐々木正史 沼尻治彦	平成 27 年 6 月 5 日	都産技研 本部	日本 NCSLI 技術交流会
2	分析値の提示と分析値の意味	上本道久	平成 27 年 6 月 23 日	飯田橋 レインボービル	(公社)日本分析化学会 第 33 回分析化学基礎セミナー (無機分析編)
3	東京都立産業技術研究センターの 3D プリンタ活用指南	島田茂伸	平成 27 年 7 月 15 日	広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター 講堂	ひろしま先進ものづくり研究会
4	測定値の取扱い	上本道久	平成 27 年 8 月 28 日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 第 26 回分析化学基礎実習－化学分析実習コース－
5	測定値の正しい取り扱い方 －測定値を分析値にするために	上本道久	平成 27 年 9 月 3 日	幕張メッセ 国際会議場	JAIMA セミナー5「初めての機器分析－自信の持てるデータ処理－」
6	ブリスターテストによる亜鉛合金ダイカストのガス量評価とふくれの形態	佐藤健二	平成 27 年 10 月 24 日	室蘭工業大学	(公社)日本鑄造工学会第 167 回全国講演大会
7	亜鉛合金ダイカストの特性と新たな機能性	佐藤健二	平成 27 年 11 月 9 日	機械振興会館	(一社)日本ダイカスト協会 第 3 回ダイカスト技術セミナー 「材料を制する者はダイカストを制す！」
8	高所・航空機環境をシミュレートする減圧環境試験	三上和正	平成 27 年 12 月 2 日	都産技研 本部	電気学会連携セミナー
9	分析値の妥当性評価, 数値の取り扱い方法	林 英男	平成 27 年 12 月 3 日	都産技研 本部	資源・環境関連材料部会 第 10 回セラミックス化学分析技術セミナー
10	ダイカストの金属組織とその見方 － 組織から何が解るか? －	佐藤健二	平成 28 年 1 月 19 日	TKP 仙台カンファレンスセンター	第 52 回 東北マグネシウム研究会
11	亜鉛めっき排水処理の課題と対策	小坂幸夫	平成 28 年 1 月 28 日	東京ビッグサイト	SURTECH 2016 表面技術要素展
12	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム 第 2 回チュートリアル (基礎編)	太田優一	平成 28 年 3 月 23 日	都産技研 本部	(国研)産業総合研究所 電気化学界面シミュレーションコンソーシアム

依頼原稿－研究成果－ 10件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	スーパーマイクロポーラスシリカの環境浄化技術への応用	染川正一 渡辺洋人	株式会社加工技術研究会	コンパーテック 2015 年 5 月号 30-32 頁
2	木材のボルト接合におけるボルト締付け	松原独歩	日本ねじ研究協会	日本ねじ研究協会誌 第 46 巻、5 号、140-144 頁
3	応急仮設住宅の遮音性能	渡辺茂幸	日本建築学会、地盤工学会、土木学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本地震工学会、日本都市計画学会	東日本大震災合同調査報告 建築編 8 建築設備・建築環境 第 8 巻、217-220 頁
4	金型を対象とした研削加工・研磨への応用 (2) 金型の研磨への適用	横澤 毅	(株)日刊工業新聞社	プレス技術 2015 年 9 月号 Vol. 53, No. 9, pp. 92-95 (2015)
5	「プラスチック成形加工技術者のための光学講座」測定方法 (透過率・反射率)	海老澤瑞枝	(一社)プラスチック成形加工学会	成形加工 Vol. 27, No. 10, pp. 422-425 (2015)
6	金型を対象とした研削加工・研磨への応用 (3) ダイヤモンドコーテッド金型の研磨への適用	横澤 毅	(株)日刊工業新聞社	プレス技術 2015 年 10 月号 Vol. 53, No. 10, pp. 100-103 (2015)
7	真菌類に由来する揮発性有機化合物の木材保存への可能性	小沼ルミ	(公社)日本木材保存協会	木材保存 Vol. 42, No. 1, pp. 2-11 (2016)
8	「低熱膨張セラミックスの開発と精密測定での標準器への活用」 技術賞受賞とその後	大西 徹 他 4 名	(公社)精密工学会	精密工学会誌 Vol. 82, No. 2, pp. 140-141 (2016)
9	回転機械用メカニカルシールへの応用を目的とした CVD 多結晶ダイヤモンド成膜技術の開発	長坂浩志 他 1 名	(一社)ニューダイヤモンドフォーラム	NEW DIAMOND Vol. 32, No. 1, pp. 21-24 (2016)
10	Effect of contrast Enhancement Prior to Iteration Procedure on Image correction for Soft X-ray Projection Microscopy	金城康人 他 4 名	Institute of Material Structure Science	PF Activity Report Vol. 32, pp. 182 (2015)

依頼原稿－技術解説－ 10件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	カビ検査法[7] かび抵抗性試験	小沼ルミ	日本防菌防黴学会	日本防菌防黴学会誌 Vol. 43, No. 5, pp. 253-258 (2015)
2	アルミニウム合金ダイカストの諸特性に及ぼす不純物元素の影響	佐藤健二	カロス出版(株)	アルトピア Vol. 5, No. 5, pp. 9-16 (2015)
3	光架橋性ハイドロゲルに固定化した大腸菌を用いた有機リンセンサー	安藤恵理	(公社)日本分析化学会	ぶんせき 2015年6号、247頁
4	アルミニウム合金ダイカスト「ダイカストの溶湯品質」	佐藤健二 他4名	(公社)日本鋳造工学会	鋳造工学 Vol. 87, No. 6, pp. 412-416 (2015)
5	電気メスチェッカーの評価	岡野 宏 西澤裕輔 長谷川 孝	(株)学研メディカル秀潤社	ClinicalEngineering 別冊 電気メス安全ハンドブック pp. 159-170
6	電磁波抑制シートの電气的特性	上野武司	(株)技術情報協会	電気特性評価 pp. 387-391
7	工具寿命延長のための潤滑の基礎知識	中村健太	(株)日刊工業新聞社	プレス技術 Vol. 54, No. 11, pp. 56-61 (2015)
8	ISOに準拠した全量ピペット	林 英男	(公社)日本分析化学会	ぶんせき 2015年12号、545-546頁
9	自動車のフロントガラスの割れ方はどのようなになっている？	上部隆男	(株)日本医事新報社	日本医事新報 No. 4783, pp. 66-67 (2015)
10	動的粘弾性測定によるハイドロゲルの硬さ評価	柚木俊二 他1名	(株)技術情報協会	動的粘弾性チャートの解釈事例集 pp. 143-148 (2016)

依頼原稿－事業紹介－ 2件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	第27回木材塗装基礎講座を開催して	村井まどか	(公社)日本木材保存協会	木材保存 Vol. 44, No. 4, pp. 183-187 (2015)
2	東京都立産業技術研究センターの取組み	阿保友二郎 横山幸雄	(株)エヌ・ティーエス	「新たなものづくり」 3Dプリンタ活用最前線 pp. 253-250

規格策定・本執筆・書評等 19件

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
1	技能検定2級 電子機器組立て学科過去問題と解説	三上和正	科学図書出版(株)	技能検定2級「電子機器組立て学科 過去問題と解説」
2	技能検定1級 電子機器組立て学科過去問題と解説	三上和正	科学図書出版(株)	技能検定1級「電子機器組立て学科 過去問題と解説」
3	千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻都市環境システムコース和嶋研究室を訪れて	梶山哲人	日本イオン交換学会	日本イオン交換学会会報
4	現場で役立つ化学分析の基礎 第二版	上本道久 他12名	(株)オーム社	現場で役立つ化学分析の基礎 第二版
5	A single-nucleotide substitution in phasin gene leads to enhanced accumulation of polyhydroxyalkanoate (PHA) in Escherichia coli harboring Aeromonas caviae PHA biosynthetic operon	渡辺世利子 他3名	(公財)応用微生物学・分子細胞生物学研究奨励会	The Journal of General and Applied Microbiology
6	中小企業のための IDCAE 概念に基づくシステムアーキテクチャーの設計法	森 豊史	日本感性工学会	第17回日本感性工学会大会
7	熱電対基準接点の信頼性評価	倉持幸佑 沼尻治彦 佐々木正史	(一社)電気学会	電気学会 基礎・材料・共通部門大会
8	衝撃荷重を受けるねじ締結体の軸力挙動に及ぼす初期締付け力の影響	櫻庭健一郎 他6名	日本学術会議 機械工学委員会	第8回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム (JCROSSAR2015)
9	構造解析を利用したコンセプトデザイン	上野明也	東京都・特定非営利活動法人キッズデザイン協議会、 (国研)産業技術総合研究所	セーフティグッズフェア with サイエンスアゴラ 2015

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
10	Development of Skill Scoring System for Ski and Snowboard	大島浩幸 他 2 名	Springer	Sports Science Research and Technology Support
11	ミヤンマー漆器に用いられた鉱物系顔料と塗料の同時検出	神谷嘉美	漆サミット実行委員会	第 7 回漆サミット
12	グラファイト状ワイドギャップ半導体の電子状態	太田優一	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム 第 3 回研究会
13	AM シンポジウム講演 “低温予熱造形の最近の成果について”	木暮尊志	東京大学生産技術研究所 付加製造科学研究室	第 6 回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム
14	MIAMI プロジェクトの説明Ⅳ 地域貢献	横山幸雄	東京大学生産技術研究所 付加製造科学研究室	第 6 回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム
15	ランドマークを利用したシニアカーの自動追従システム	中村佳雅 他 3 名	(一社) 日本ロボット学会	第 33 回日本ロボット学会 学術講演会
16	An Investigation into the Evaluation of Mechanical Properties of Running-Specific Prostheses	西川康博 小船諭史 村上祐一 他 1 名	(国研) 産業技術総合研究所	International Research Forum on Biomechanics of Running-specific Prostheses (IBRSP2016)
17	鎌倉彫盆に用いられた 3 色の塗料と顔料の同時分析	神谷嘉美 他 2 名	琉球の漆文化と科学 2015	浦添市美術館・明治大学「漆の戦略的研究基盤形成事業プロジェクト」
18	私の PACIFICHEM	梶山哲人	日本イオン交換学会	日本イオン交換学会会報 Vol. 27, No. 1, pp. 4-5 (2016)
19	診断用 X 線に対する防護用具 JIS T 61331 の概要について	河原大吾 他 2 名	日本放射線技術学会	第 11 回ジョイントミーティング

※外部発表は、『平成 26 年度年報』未掲載分を含む。

6.6 職員の受賞

国内外の学協会等から、研究成果の実用化、優れた研究、技術の普及・移転に対して9件の賞を受けた。

平成27年度受賞実績

受賞名	平成27年度電機工業技術功績者表彰 優秀賞
件名	太陽光発電用パワーコンディショナ直流側伝導妨害波の測定方法及び限度値の国際規格（CISPR11）への反映
受賞者	上野武司（電子・機械グループ）
受賞名	公益財団法人天田財団 第13回助成研究成果発表会 優秀賞
件名	980MPa 級高張力鋼版の高精度穴あけ加工に用いる工具のコーティングと潤滑剤の組合せ効果
受賞者	中村健太（機械技術グループ）
受賞名	日本マグネシウム協会賞 功績賞
件名	マグネシウムにおける含有成分の分析手法の確立と JIS・ISO 等標準化の推進
受賞者	上本道久（城南支所）
受賞名	日本材料科学会 平成27年度学術講演大会 若手奨励賞（口頭発表部門）
件名	電子部品用ホウ素フリーニッケルめっきの開発
受賞者	浦崎香織里（表面技術グループ）
受賞名	一般社団法人日本繊維製品消費科学会 奨励賞
件名	衣服素材の必要水分透過量設計に向けた基礎研究
受賞者	山田 巧（技術経営支援室）
受賞名	ITC Tokyo 2015 Poster Award for Young Tribologists
件名	Mechanical Properties Comparison of Hydrogenated DLC films Deposited by ¹³ C methane or regular methane gases
受賞者	徳田祐樹（城東支所）
受賞名	一般社団法人電気学会 基礎・材料・共通部門表彰
件名	小型共晶点セルによる熱電対の高温校正
受賞者	佐々木正史（実証試験セクター）
受賞名	平成27年度工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰
受賞者	原田 晃（理事）
受賞名	平成27年度電気学会優秀論文発表賞
件名	フラクタル構造を有するチップレスセンサタグの解析
受賞者	渡部雄太（電子・機械グループ）

6.7 研究評価制度

研究事業を産業界や社会のニーズに対応させ、都産技研資産を活用してより効果的・効率的に推進するため、学識経験者および産業界有識者らの評価で構成される研究課題外部評価制度を運用・実施した。

6.7.1 評価方法

研究課題の個別評価は、計画性、技術性、発展性の3項目について(A)非常に良い、(B)良い、(C)やや良い、(D)やや悪い、(E)悪いの5段階評価とした。

研究課題の分野別評価は、公共性、技術性、戦略性の3項目および総合評価について(A)非常に良い、(B)良い、(C)やや良い、(D)やや悪い、(E)悪いの5段階評価とした。

分野別評価について、6.7.2に示す。

6.7.2 評価結果

(1) 環境・省エネルギー分野

評価員：5名 評価対象テーマ：5件

テーマ1：バナナ繊維を用いた金属イオン捕集材の開発

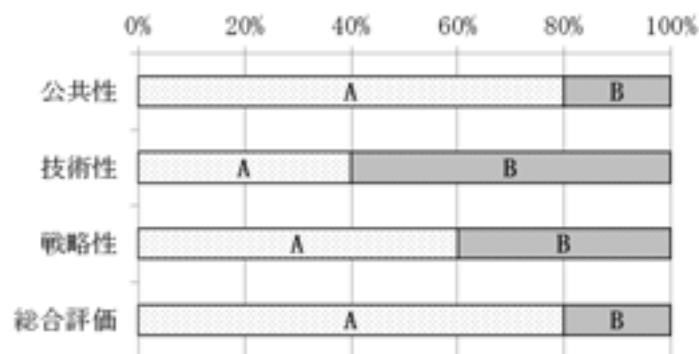
テーマ2：ガラスカレット工場から排出されるガラス含有汚泥の減量・処理技術の開発

テーマ3：音響粒子速度・音圧センサ（PUプローブ）による音響インテンシティの測定

テーマ4：シリカマトリックス（鋳型）内で安定な六価のクロム酸化物量子ドットの挙動と新規触媒への応用

テーマ5：絞り加工用潤滑油の環境負荷低減化技術の開発

評価分布



(2) EMC・半導体分野

評価員：5名 評価対象テーマ：4件

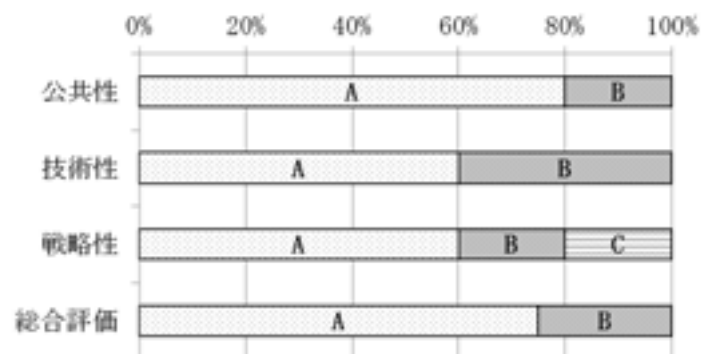
テーマ1：90GHz帯アプリケーション用要素回路の開発1

テーマ2：マイクロヒータの開発

テーマ3：狭ビームアンテナを用いたGHz帯測定手法の提案

テーマ4：製品内部における伝導妨害波の伝搬モード変換モデルの検証

評価分布



(3) 情報技術/エレクトロニクス分野

評価員：5名 評価対象テーマ：5件

テーマ1：テラヘルツ連続波を用いた材料の電気特性評価

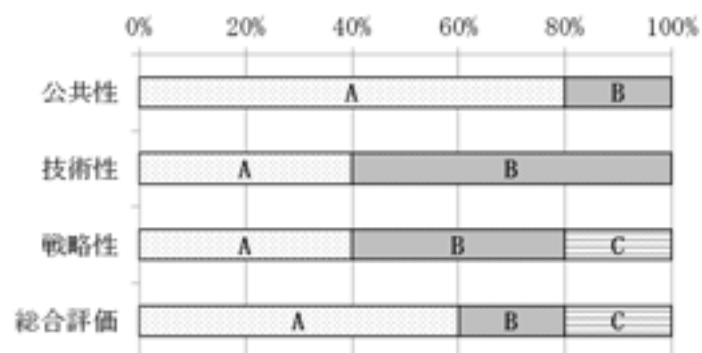
テーマ2：不完全な評価セットに対する検索システムの性能評価指標の開発

テーマ3：自己強制空冷システムの放熱促進を目的としたヒートシンクの開発

テーマ4：レイヤ構造無線センサネットワークの効率的な伝送制御手法

テーマ5：カルマンフィルタとその改良 - オンライン異常値検出・除去への対応 -

評価分布



(4) ものづくり基盤技術分野

評価員：4名 評価対象テーマ：9件

テーマ1：ほうろうの不具合の評価方法について

テーマ2：ポリマーナノコンポジット作製への取り組み

テーマ3：e-テキスタイルの燃料電池部材への応用

テーマ4：大電流パルススパッタ膜の成膜技術の開発

テーマ5：全固体電池用マイクロ構造化セラミックスの製造技術開発

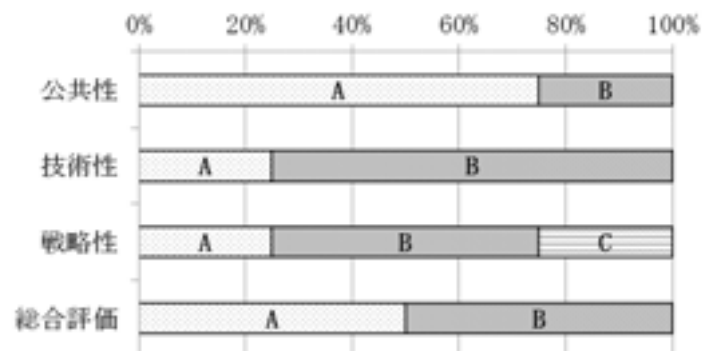
テーマ6：金属間化合物の寸法制御によるマグネシウム焼結合金の高強度・高延性化

テーマ7：元素添加による異材摩擦攪拌接合界面での金属間化合物層厚さの制御

テーマ8：近赤外分光法を用いた光学活性医薬品の識別

テーマ9：高剛性サンドイッチコアの開発

評価分布



(5) バイオ応用分野

評価員：5名 評価対象テーマ：5件

テーマ1：ESR・放射線照射法によるスーパーオキシドアニオン及びOHラジカル消去能の評価

テーマ2：ゲル状配向コラーゲン線維束の開発 - 人工腱マトリクス創成に向けた基盤技術 -

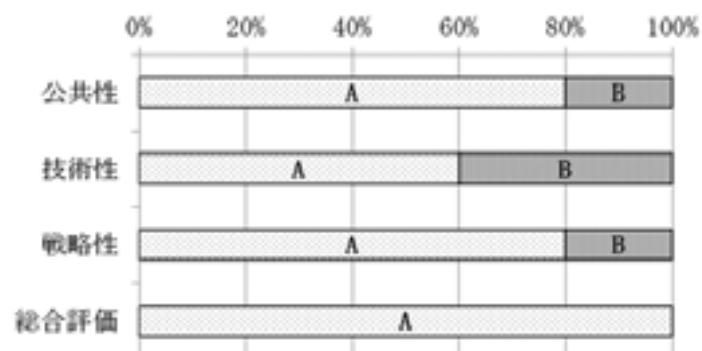
テーマ3：酵素サイクリング法を用いたホルムアルデヒド高感度センサーの開発

テーマ4：市販の銀含有創傷被覆材の抗菌性と細胞毒性の in vitro 評価

テーマ5：熱ルミネッセンス (TL) 法による照射食品の検知 - ドロマイド

(標準鉍物) を用いた校正照射の課題と標準化の試み -

評価分布



(6) メカトロニクス分野

評価員：5名 評価対象テーマ：6件

テーマ1：1mmの変位量を有する静電アクチュエータの試作

テーマ2：運搬ロボットの研究開発

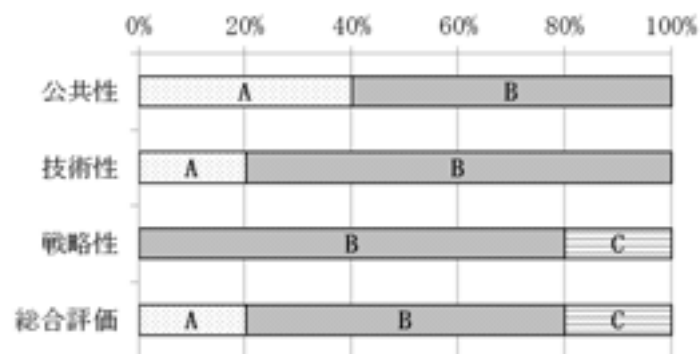
テーマ3：USBを用いた機械制御システムのための低コストな安全技術

テーマ4：都産技研のロボット開発事業の紹介

テーマ5：人位置・姿勢検出と音声対話によるユーザ対移動ロボット間インタラクション・システムの試作開発

テーマ6：移動作業型ロボットのリスクアセスメント

評価分布



(7) 少子高齢・福祉/復興支援に貢献する技術分野

評価員：5名 評価対象テーマ：7件

テーマ1：電力変動からの操作機器推定アルゴリズム

テーマ2：木材-ボルト接合における締付け時の座金めり込み降伏荷重の算定

テーマ3：間仕切壁の遮音性能向上手法

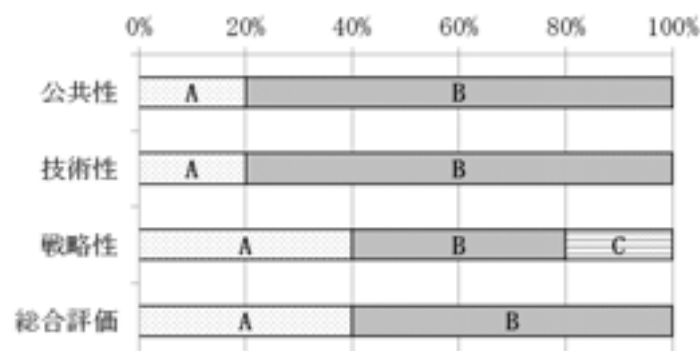
テーマ4：震災で発生した廃木材の塩素濃度簡易自動測定装置の開発

テーマ5：横編機を用いた無縫製かつらベースの開発

テーマ6：歩行型腰部柔らかダミーを用いた衣服圧測定方法の確立

テーマ7：情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発

評価分布



(8) システムデザイン分野

評価員：5名 評価対象テーマ：8件

テーマ1：構造解析を利用したコンセプトデザイン

テーマ2：粉末焼結型 AM 技術におけるそりの補正と制御

テーマ3：塗装による光硬化性樹脂 AM（3D プリンタ）モデルへの意匠性付与

テーマ4：めっきによるナイロン樹脂 AM（3D プリンタ）モデルへの意匠性付与

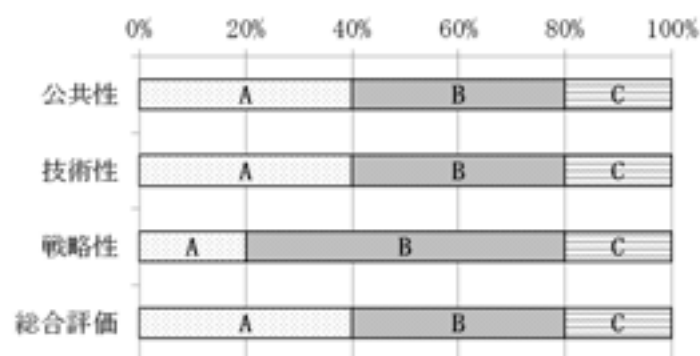
テーマ5：動吸振器の 3D プリンタを用いた設計

テーマ6：粉末焼結型 AM 装置による造形品の異方性緩和手法の提案

テーマ7：生活技術開発セクターのカラー Additive Manufacturing（AM）活用手法

テーマ8：熔融積層造形装置による技術支援と今後の可能性

評価分布



(9) ナノテクノロジー分野

評価員：5名 評価対象テーマ：7件

テーマ1：新規細分化法によるナノ粒子の作製

テーマ2：種々のグラフェン粒子の水分散液の作成と粒度分布の評価に関する検討

テーマ3：第一原理計算による電子状態解析

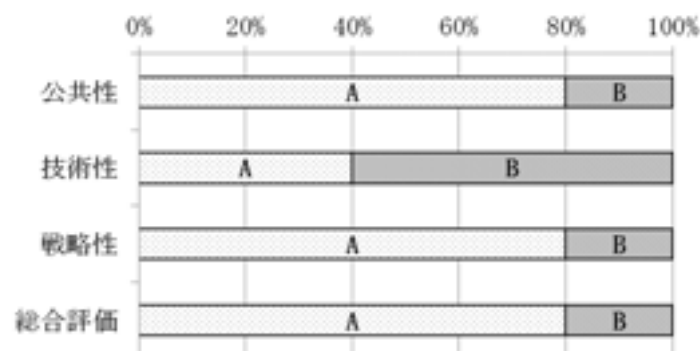
テーマ4：ワイドギャップ半導体窒化ホウ素における不純物添加効果

テーマ5：ナノフォトニクスを応用した微量物質検知技術

テーマ6：水素含有 DLC 膜の表面性状制御による低摩擦化

テーマ7：粉末処理前後における ^{13}C -DLC の構造変化

評価分布



6.7.3 平成27年度評価員（敬称略、五十音順）

No.	氏名	所属	評価分野
1	旭 智治	横浜市工業技術支援センター	ナノテクノロジー
2	阿部紀里子	首都大学東京	バイオ応用
3	石井昭彦	埼玉大学	ナノテクノロジー
4	板倉治男	都産技研エンジニアリングアドバイザー	EMC・半導体
5	井上和俊	工業所有権情報・研修館	情報技術/エレクトロニクス
6	小川 寛	都産技研エンジニアリングアドバイザー	システムデザイン
7	荻原重人	埼玉県産業技術総合センター	メカトロニクス
8	垣内健児	長野県工業技術総合センター	EMC・半導体
9	片野陽子	芝浦工業大学	システムデザイン
10	金田光範	都産技研産学公コーディネータ	情報技術/エレクトロニクス、メカトロニクス
11	菊池耕生	千葉工業大学	メカトロニクス
12	栗原幸男	神奈川県産業技術センター	システムデザイン
13	河面英則	都産技研エンジニアリングアドバイザー	情報技術/エレクトロニクス
14	児嶋正敏	千葉県産業支援技術研究所	環境・省エネルギー
15	小寺敏郎	明星大学	バイオ応用
16	小西 颯	都産技研産学公コーディネータ	EMC・半導体、システムデザイン
17	桜井政考	首都大学東京	環境・省エネルギー
18	佐竹真幸	東京大学	バイオ応用
19	志田あづさ	横浜市工業技術支援センター	少子高齢・福祉/復興支援に貢献する技術
20	島田文生	都産技研産学公コーディネータ	環境・省エネルギー、バイオ応用
21	鈴木浩之	埼玉県産業技術総合センター	情報技術/エレクトロニクス
22	高橋 寛	発明推進協会	システムデザイン
23	高村悦夫	都産技研産学公コーディネータ	少子高齢・福祉/復興支援に貢献する技術
24	武井貴弘	山梨大学	環境・省エネルギー
25	田中敬三	都産技研産学公コーディネータ	ものづくり基盤技術、ナノテクノロジー
26	都竹 進	都産技研エンジニアリングアドバイザー	ものづくり基盤技術
27	中西俊彦	首都大学東京	少子高齢・福祉/復興支援に貢献する技術
28	中原久直	都産技研エンジニアリングアドバイザー	少子高齢・福祉/復興支援に貢献する技術
29	中村憲一	都産技研エンジニアリングアドバイザー	メカトロニクス
30	名川吉信	(国研)産業技術総合研究所	ナノテクノロジー
31	藤本浩志	早稲田大学	少子高齢・福祉/復興支援に貢献する技術
32	松浦徹也	都産技研エンジニアリングアドバイザー	環境・省エネルギー
33	宮城 淳	千葉県産業支援技術研究所	バイオ応用
34	宮崎則幸	都産技研エンジニアリングアドバイザー	バイオ応用
35	武藤 保	都産技研エンジニアリングアドバイザー	ナノテクノロジー
36	村越英樹	産業技術大学院大学	EMC・半導体、情報技術/エレクトロニクス
37	森田孝男	(国研)産業技術総合研究所	メカトロニクス
38	山田岳大	埼玉県産業技術総合センター	ものづくり基盤技術
39	吉田政弘	東京都立産業技術高等専門学校	ものづくり基盤技術

7. 産業人材育成

7.1 技術セミナー・講習会

中小企業等の技術力向上と振興を図ることを目的として、ナノテクノロジー、情報技術、エレクトロニクス、システムデザイン、環境・省エネ、バイオ応用、メカトロニクス、EMC・半導体などの各分野の最新技術、トピックスをテーマとした各種技術セミナー・講習会を開催した。

7.1.1 技術セミナー・講習会一覧

(1) 講習会・技術セミナーの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
●講習会									
ナノテクノロジー分野									
MEMS 技術Ⅰ リソグラフィ	電子半導体 技術	4	4	4	1	1	3	4	5/26
MEMS 技術Ⅱ ドライエッチング	電子半導体 技術	4	4	4	1	1	3	4	7/28
MEMS 技術Ⅲ シリコンエッチング	電子半導体 技術	4	3	3	1	1	3	4	9/29
情報技術分野									
人間中心のプロジェクトマネジメント	情報技術	20	24	24	1	3	3	6	7/3
～実習で学ぶ～GPGPU による画像処理入門	情報技術	15	9	9	1	1	5	6	12/4
組込み開発のための C 言語入門	情報技術	8	8	8	2	2	10	12	2/25
AM(3D プリンタ)の前処理ソフトウェア Magics 実習	生活技術 開発	7	7	7	1	1	3	4	3/30
エレクトロニクス分野									
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】SPICE シミュレータで伝送線路解析	電子・機械	10	11	11	1	2	2	4	5/29
【多摩テクノプラザで入門（電子製品開発編）】無線モジュールスタートアップ	電子・機械	10	13	10	1	2	2	4	6/19
【多摩テクノプラザで入門（電子製品開発編）】組込みマイコン制御スタートアップ	電子・機械	10	11	10	1	2	2	4	7/17
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】マイコンで無線ネットワーク機器開発	電子・機械	10	9	7	1	3	3	6	8/28
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】電子回路基板の近傍界ノイズ測定と解析	電子・機械	10	8	8	1	2	2	4	10/9
SoC 向けデジタル回路設計入門（VHDL・Altera 編）	情報技術	4	4	4	1	0	6	6	12/8
電気用品安全法って何だろう（輸入事業者向け）	電子半導体 技術	15	16	15	1	1	5	6	2/18

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
システムデザイン分野									
3D-CAD 入門（第 1 回）	システム デザイン	8	8	8	1	2	3.5	5.5	5/13
3D-CAD 入門（第 2 回）	システム デザイン	8	10	10	1	2	3.5	5.5	7/8
3D-CAD 入門（第 3 回）	システム デザイン	8	8	8	1	2	3.5	5.5	9/16
3D-CAD 入門（第 4 回）	システム デザイン	8	8	8	1	2	3.5	5.5	11/11
【多摩テクノプラザで入門（機械設計編）】3D-CAD スタートアップ	電子・機械	6	10	6	1	0.5	4.5	5	7/3
【多摩テクノプラザでレベルアップ（機械設計編）】3D-CAD レベルアップ	電子・機械	4	5	4	1	0.5	3.5	4	11/6
グラフィックソフトを使用したチラシ作成講座	システム デザイン	7	7	6	1	3	1	4	6/17
パソコンで作る「コミュニケーションツール」	システム デザイン	8	8	8	1	2	2	4	7/28
3D デジタイザ入門	城東支所	5	6	6	1	1	2	3	10/5
実践グラフィックデザイン入門	城東支所	5	6	4	2	2	8	10	10/6
環境・省エネルギー分野									
付加価値のある商品づくりと、製品事故の解決法～抗菌・抗カビ編～	環境技術	5	5	5	2	3	7	10	7/8
RoHS 指令の規制物質と蛍光 X 線分析	繊維・化学	6	7	6	1	2	2	4	7/8
省エネのための熱設計入門	情報技術	3	3	3	1	3	3	6	12/7
バイオ応用分野									
バイオイメージング講習会(入門編)生体材料や細胞の観察でもう迷わない！顕微鏡の選択術	バイオ応用 技術	4	3	3	1	1	2.5	3.5	10/2
メカトロニクス分野									
【多摩テクノプラザで入門（機械系試験編）】振動試験スタートアップ	電子・機械	6	8	6	1	3	2	5	5/15
振動試験規格と振動試験の進め方（第 1 回）	機械技術	10	10	10	1	4	2	6	5/12
振動試験規格と振動試験の進め方（第 2 回）	機械技術	10	10	10	1	4	2	6	10/14
T 型ロボットベースによるロボット開発実践入門講座	ロボット 開発	5	4	4	1	0.5	3.5	4	2/26
LabVIEW による産業用ロボット制御入門	ロボット 開発	5	5	5	1	0	4	4	3/16
EMC・半導体分野									
【多摩テクノプラザで入門(EMC 試験編)】エミッション測定	電子・機械	5	6	5	1	1	3	4	5/15
【多摩テクノプラザで入門(EMC 試験編)】イミュニティ試験	電子・機械	5	9	5	1	2	2	4	5/29
【多摩テクノプラザで入門(EMC 試験編)】実習で学ぶ EMI と測定現場での対策	電子・機械	15	18	15	1	2	4	6	7/10
【多摩テクノプラザで入門(EMC サイト編)】実習で学ぶイミュニティ試験	電子・機械	15	20	15	1	2	4	6	7/17

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
品質強化分野									
精密万能試験機による製品・材料の強度評価（第1回）	実証試験	10	10	9	1	1	3	4	5/28
精密万能試験機による製品・材料の強度評価（第2回）	実証試験	10	10	10	1	1	3	4	8/27
精密万能試験機による製品・材料の強度評価（第3回）	実証試験	10	10	9	1	1	3	4	11/26
精密万能試験機による製品・材料の強度評価（第4回）	実証試験	10	10	10	1	1	3	4	2/25
鉛フリーはんだづけ（作業者向け）	電子半導体技術	10	10	10	1.5	0.5	10.5	11	6/16
鉛フリーはんだづけ（監督者向け）	電子半導体技術	15	15	15	1	3.25	2.5	5.75	9/1
熱拡散率測定（第1回）	実証試験	16	16	16	1	3	3	6	7/24
熱拡散率測定（第2回）	実証試験	16	13	13	1	3	3	6	12/10
電子機器の非破壊試験入門（X線CT装置）	情報技術	5	5	5	1	0.5	3.5	4	7/6
多摩テクノプラザにおける機器分析ー観察と元素分析ー	繊維・化学	6	8	7	1	1.5	2.5	4	7/24
FT-IR、簡易顕微鏡FT-IR 原理～測定～データベース解析	城東支所	6	8	6	1	2	3	5	7/3
分析機能付き簡易電子顕微鏡、エネルギー分散型蛍光X線分析装置活用講座(From μm to cm)	城東支所	12	12	12	1	4	2	6	7/24
異物や付着物の分析と解析法	城東支所	10	10	10	1	3	3	6	12/2
照明技術ー基礎的な測定・評価・実習ー	光音技術	10	12	11	1	2	4	6	11/10
現場で役立つ顕微鏡観察テクニック 初心者のための顕微鏡活用法～繊維素材の観察法～	生活技術開発	8	8	8	1	1	3	4	1/26
発注者のためのめっき入門ーめっきの品質管理ー	表面技術	5	5	5	1	2	4	6	2/5
測定器具の使用方法和精度管理	高度分析開発	10	10	10	1	2	4	6	2/22
材料分析入門	材料技術	9	9	8	1	2	4	6	2/29
現場で役立つ製品事故の解決法 電子顕微鏡観察と関連技術～金属・無機材料を中心として～	高度分析開発	8	8	8	1	3	3	6	3/4
ナノ材料評価入門～粒度分布・細孔構造解析～	材料技術	5	5	5	1	1.5	2.5	4	3/9
ものづくり基盤技術分野									
生地用インクジェットプリンターの基礎（第1回）	繊維・化学	5	10	6	1	1.5	2.5	4	6/4
生地用インクジェットプリンターの基礎（第2回）	繊維・化学	5	5	4	1	1.5	2.5	4	8/28
繊維評価技術（染色堅ろう度試験実習）	繊維・化学	8	10	10	1	0.5	2.5	3	6/10
【多摩テクノプラザで入門（機械設計編）】幾何公差の読み方、測り方スタートアップ	電子・機械	6	7	7	1	2	2	4	6/11

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
【多摩テクノプラザで入門（機械系試験編）】粗さ測定スタートアップ	電子・機械	6	6	5	1	2	2	4	6/17
【多摩テクノプラザでレベルアップ（機械系試験編）】現場環境における三次元測定	電子・機械	6	8	7	1	2	2	4	7/10
騒音測定技術	光音技術	10	12	12	1	2	4	6	7/7
品質工学による製品開発期間の短縮	情報技術	20	24	24	1	4	2	6	9/9
プラスチックの基礎と成形・物性測定実習	材料技術	12	12	12	1	2	3	5	9/16
若手技術者のための金属加工技術シリーズ「鋳造・ダイカストと切削加工 編」	機械技術	20	28	25	1	3	0.5	3.5	10/9
若手技術者のための金属加工技術シリーズ「塑性・プレス加工と潤滑技術 編」	機械技術	20	32	29	1	3	0.5	3.5	10/16
若手技術者のための金属加工技術シリーズ「溶接と粉末冶金の基礎と応用 編」	機械技術	20	25	24	1	3	0.5	3.5	10/23
若手技術者のための金属加工技術シリーズ「金属熱処理とその観察分析 編」	機械技術	20	26	24	1	3	0.5	3.5	10/30
第一原理計算による電子状態計算入門	情報技術	5	6	6	1	2	4	6	10/21
静電植毛加工技術	城東支所	15	23	23	1	3	1	4	11/13
設計から営業まで役立つ実践型木工塗装技術	表面技術	5	6	6	2	3	10	13	12/8
営業で役立つものづくり基礎の基礎 金属上の硬質薄膜の評価編	表面技術	6	6	6	1	2	1.5	3.5	12/11
雷対策入門【電気電子機器における電源線の雷対策】	電子半導体 技術	10	17	15	1	2	2	4	2/4
講習会	75 件	682	772	716	79.5	146.25	240.5	386.75	
●技術セミナー									
エレクトロニクス分野									
【電気安全・開発支援セミナー】 製品安全における電気安全の考え方 と進め方（中級編）	電子・機械	50	58	56	1	3.5	-	3.5	9/1
システムデザイン分野									
ものづくりの現場でプロダクトデザイナーとどのように新商品開発を進めるか	システム デザイン	30	26	25	1	3	-	3	5/27
環境・省エネルギー分野									
騒音防止技術―遮音・吸音・防振・制振―	光音技術	20	23	23	1	6	-	6	10/6
機器開発で押さえておきたい熱設計のポイント	情報技術	30	23	23	1	6	-	6	10/30
メカトロニクス分野									

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
『Additive Manufacturing(AM:3D プリンター)が築く新たなものづくり』の最新動向とビジネス展開	機械技術	80	52	40	1	4	－	4	12/1
営業で役立つものづくり基礎の基礎振動試験編	機械技術	20	18	18	1	3.5	－	3.5	2/17
【多摩テクノプラザ 機械設計セミナー】機械分野の製造業向け安全設計セミナー	電子・機械	50	40	39	1	4	－	4	3/4
EMC・半導体分野									
事例とともに基礎から学ぶ 現場で活用できる EMC 設計と対策	電子・機械	50	53	51	1	4	－	4	2/19
品質強化分野									
新ケアラベル（JIS L0001）の内容と企業における表示対応について	生活技術 開発	40	34	32	1	4	－	4	6/19
騒音の基礎 —売れる製品のための音の知識—	光音技術	30	40	40	1	4	－	4	7/2
初心者のためのやさしい破断面の見方	城南支所	30	27	27	1	4	－	4	7/10
現場で役立つものづくりに必要な感性評価入門	生活技術 開発	40	40	40	1	4	－	4	7/30
金属製品の防錆技術	繊維・化学	50	46	46	1	4.5	－	4.5	11/25
医工分野のための走査電子顕微鏡による観察と分析	城南支所	30	9	9	1	2	－	2	1/29
光学特性計測の基礎と現場応用 ～光・熱放射と分光測定～	光音技術	15	24	23	1	3.75	－	3.75	3/18
ものづくり基盤技術分野									
コストダウンを実現するマテリアルフローコスト会計（MFCA）講座	環境技術	30	8	8	1	3.5	－	3.5	6/5
カラートレンド情報と最新型 3D ボディスキャナーの活用	生活技術 開発	40	54	54	1	4.5	－	4.5	6/8
プラスチック成形加工・金型加工技術者のための すぐに使えるシミュレーション技術	材料技術	30	18	16	1	4	－	4	7/8
現場と営業で役立つ 素材・製品における色の基礎（第 1 回）	実証試験	30	33	33	1	6	－	6	9/4
現場と営業で役立つ 素材・製品における色の基礎（第 2 回）～素材・製品の特性と色の基礎知識～	生活技術 開発	30	19	18	1	3	－	3	1/19
若手技術者のための金属加工技術シリーズ 「金属材料と加工技術の基礎 編」	機械技術	20	38	38	1	4	－	4	10/2
プラスチック材料の基礎 —合成から強度特性まで—	材料技術	40	38	38	1	3.75	－	3.75	10/27
カラートレンド情報と最新型 3D ボディスキャナーの活用	生活技術 開発	40	39	37	1	4.5	－	4.5	11/11
現場で役立つ CFRP 入門セミナー	電子・機械	20	22	20	1	3	－	3	12/11
超音波利用技術の基礎 —産業に役立つ超音波—	光音技術	20	34	34	1	4	－	4	1/25
放射線の基礎、測定の実際と最新トピックス	バイオ応用 技術	30	21	20	1	6.75	－	6.75	3/18
技術セミナー	26 件	895	837	808	26	107.25	－	107.25	

(2) ブランド確立実践ワークショップの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
ブランド確立実践ワークショップ 販売促進企画講座	システム デザイン	20	7	7	14	8	70	78	7/2
ブランド確立実践ワークショップ マーケティングデザイナー養成講座 ＜基礎編＞		10	9	8	17	14	78	92	7/2
ブランド確立実践ワークショップ 企画基礎講座		20	27	26	3	0	18	18	7/2
ブランド確立実践ワークショップ 商品企画基礎講座		20	15	14	9	0	54	54	9/16
ブランド確立実践ワークショップ チラシ・DM・WEB 講座		20	3	2	4	0	24	24	1/19
ブランド確立実践ワークショップ マーケティングデザイナー養成講座 ＜応用編＞		9	8	8	11	0	44	44	7/2
ブランド確立実践ワークショップ	6 件	99	69	65	58	22	288	310	

(3) 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）セミナーの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
IEC62368-1 第2版の概要と安全設計 の考え方	MTEP	80	99	84	1	3	0	3	4/17
日本・米国・欧州の医療機器規制の 概要		50	102	84	1	2.5	0	2.5	5/15
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 （第1回）		20	26	17	1	1.5	0	1.5	5/21
欧州向け製品輸出入門シリーズ CE マーキング入門＋改正 RoHS 指令 入門（第1回）		80	95	81	1	3	0	3	5/25
技術者のための知財セミナー 特許 明細書の書き方～海外展開のその前 に～		50	33	25	1	2.5	0	2.5	6/10
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 （第1回）		20	29	22	1	1.5	0	1.5	6/23
海外規格精通シリーズ 電気・電子 製品の中国規格と中国版 RoHS		80	110	99	1	3	0	3	7/7
欧州向け製品輸出入門シリーズ CE マーキング入門＋改正 RoHS 指令 入門（第2回）		80	79	62	1	3	0	3	7/13
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 （第2回）		20	20	18	1	1.5	0	1.5	7/21
海外規格精通シリーズ RoHS 指令徹 底解説 ～基礎から実践まで～		80	73	62	1	3	0	3	7/23
CE マーキング実践編 EMC 指令の進め方		30	15	13	1	0	2.5	2.5	7/28
CE マーキング実践編 IEC/ISO 82079-1 取扱説明書作成の要点		30	33	31	1	0	2.5	2.5	7/30
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 （第2回）		20	14	10	1	1.5	0	1.5	8/17
INNOVESTA!2015 海外展開特別セ ミナー（第1回）「欧州におけるビジネ ス展開」		50	40	23	1	1	0	1	9/11
INNOVESTA!2015 海外展開特別セ ミナー（第2回）「やってみよう！欧州 向け製品の安全設計」		50	51	36	1	1	0	1	9/11

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
INNOVESTA!2015 海外展開特別セミナー（第3回）「製品における国際規格の活用について」	MTEP	50	46	34	1	1	0	1	9/11
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門（第3回）		20	28	20	1	1.5	0	1.5	9/24
欧州向け製品輸出入門シリーズ CE マーキング入門＋改正 RoHS 指令入門（第3回）		80	60	51	1	3	0	3	9/29
海外規格精通シリーズ 北米規格(UL/CSA, FCC)		50	52	44	1	3	0	3	10/5
海外規格精通シリーズ REACH 解説 ～REACH の基礎と成形品の対応～		50	59	54	1	2.5	0	2.5	10/15
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 （第3回）		20	24	22	1	1.5	0	1.5	10/19
MTEP 3周年記念事業 世界に勝つものづくりシンポジウム		200	148	111	1	2	0	2	10/23
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門（第4回）		20	22	15	1	1.5	0	1.5	11/10
CE マーキング実践編 RoHS 指令が求める技術文書作成方法		24	29	24	1	0	4	4	11/25
アジアの医療機器規制 ～中国、香港、韓国、マレーシア、 シンガポール、タイ～		50	68	57	1	2.5	0	2.5	11/30
アジアの製品安全認証制度・化学物質規制 ～インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナム～		50	106	90	1	3.5	0	3.5	12/7
海外ビジネスのための知財戦略		50	14	10	1	2	0	2	12/9
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 （第4回）		20	25	19	1	1.5	0	1.5	12/17
MTEP・港区共催セミナー CE マーキング 入門＋改正 RoHS 指令入門		80	73	59	1	3	0	3	1/20
台東区産業振興事業団・MTEP 共催セミナー MTEP ミニ講座 欧州向け製品輸出入門 「CE マーキング超入門」		30	18	14	1	1.5	0	1.5	1/21
CE マーキング実践編 低電圧指令の進め方 ～リスクアセスメントと技術文書～		20	30	21	1	0	4	0	2/5
大阪府立産業技術総合研究所共催セミナー MTEP 欧州向け製品輸出入門 「CE マーキング入門＋改正 RoHS 指令入門」		80	64	55	1	3	0	3	2/10
CE マーキング 医療機器指令（MDD）入門		50	24	16	1	2.5	0	2.5	2/15
“世界に勝つ”ものづくりセミナー ～市場展開のための規格提案と海外規格対応～		50	55	51	1	4	0	4	2/19
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 （第5回）		20	23	19	1	1.5	0	1.5	2/29
国際規格徹底解説 IEC60204-1		20	12	10	1	0	4	0	3/2
CE マーキング 新EMC 指令 ～指令の基礎と改訂版への対応方法～		50	63	56	1	2.0	0	2.0	3/14
海外規格精通シリーズ 電気・電子製品の中国規格と中国版 RoHS		80	73	64	1	3.5	0	3.5	3/22
ものづくり企業 海外ビジネスセミナー：リーダーの役割と実務		40	42	32	1	3.5	0	3.5	3/23
海外規格精通シリーズ RoHS 指令徹底解説 ～基礎から実践まで～		80	90	81	1	3.5	0	3.5	3/29
MTEP V-learning CE マーキング入門		-	-	72	-	3.5	0	3.5	-
MTEP V-learning EMC 指令入門 ＜EMC 指令の入門と事例＞		-	-	67	-	1.5	0	1.5	-

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
MTEP V-learning 低電圧指令入門	MTEP	-	-	67	-	1.5	0	1.5	-
MTEP V-learning 機械指令入門 〈欧州 CE マーキングの制度へ機械指令 2006/42/EC〉		-	-	63	-	1.5	0	1.5	-
MTEP V-learning RoHS 指令入門		-	-	71	-	1.5	0	1.5	-
MTEP V-learning 中国規格入門		-	-	62	-	1.5	0	1.5	-
MTEP セミナー	46 件	2,024	2,067	2,098	40	95.5	17.0	100.5	

(4) その他のセミナーの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催日
●共催セミナー・経産省平成 26 年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー・ロボット産業活性化セミナー									
レンズ開発セミナー～理論設計と生産現場のギャップを埋めるためには～	光音技術	70	74	71	1	4	－	4	10/2
現場と営業で役立つプラスチック技術	材料技術	80	97	92	1	4	－	4	2/19
航空機・医工連携産業における計測・加工・評価の最前線 第 1 回「三次元計測技術の最前線」	城南支所	50	64	58	1	3.5	－	3.5	8/25
航空機・医工連携産業における計測・加工・評価の最前線 第 2 回「試作加工技術の最前線」	城南支所	50	46	38	1	3.5	－	3.5	9/15
航空機・医工連携産業における計測・加工・評価の最前線 第 3 回「化学特性評価の最前線」	城南支所	50	28	20	1	3.5	－	3.5	10/19
経産省平成 26 年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー 「電顕観察技術を用いた医療機器開発支援」	バイオ応用技術	10	11	10	1	2	－	2	3/16
ロボット産業活性化セミナー 「ロボット技術の活用可能性」	ロボット開発	100	62	46	1	3	－	3	3/4
ロボット産業活性化セミナー 「サービスロボットの安全性」	ロボット開発	100	75	52	1	3	－	3	3/22
共催セミナー・新規導入設備活用推進セミナー ・ロボット産業活性化セミナー	8 件	510	457	387	8	26.5	－	26.5	
●知的資産経営講座									
知的資産経営講座	交流連携室	10	1	1	3	9	－	9	10/15
知的資産経営講座	1 件	10	1	1	3	9	－	9	
●重点 4 分野技術フォーラム									
EMC・半導体分野	電子半導体技術	100	68	46	1	4	－	4	11/6
バイオ応用分野	バイオ応用技術	100	73	46	1	4	－	4	11/26

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催日
環境・省エネ技術分野	環境技術	100	55	39	1	4	-	4	12/1
ロボット分野	ロボット 開発	100	122	77	1	4	-	4	12/17
重点４分野技術フォーラム	４件	400	318	208	4	16	-	16	
●特別セミナー：生活空間スタジオ オープン記念セミナー・先端計測加工ラボ１周年記念講演会・バンコク支所開設記念セミナー									
ものづくりに活かす人間計測	生活技術 開発	50	68	68	1	3.5	-	3.5	10/29
先端計測加工ラボ１周年記念講演会	城南支所	150	110	91	1	4	-	4	12/22
タイでの日本流品質管理の展開 （第１回）	バンコク 支所	50	43	36	1	2	-	2	8/24
タイでの日本流品質管理の展開 （第２回）	バンコク 支所	50	18	15	1	2	-	2	8/26
タイでの日本流品質管理の展開 （第３回）	バンコク 支所	50	32	25	1	2	-	2	8/27
タイでの日本流労働・製品安全の 展開	バンコク 支所	50	13	9	1	4	-	4	11/20
世界に勝つものづくりシンポジウム 日系企業技術交流会 2016 in バンコク	バンコク 支所	100	123	107	1	3	-	3	2/5
タイで上流設計を支援する 3D-CAD 設計と 3D プリンター	バンコク 支所	20	28	20	1	5	-	5	3/9
特別セミナー	８件	520	435	371	8	25.5	-	25.5	

7.1.2 重点４技術分野フォーラム

今後の成長が期待される「EMC・半導体」、「バイオ応用」、「環境・省エネルギー」、「メカトロニクス」の４分野を重点技術分野と位置づけ、新事業へチャレンジできる取り組みを強化した。

(1) EMC・半導体フォーラム

開催日：11月6日

会 場：東京イノベーションハブ

都産技研における EMC・半導体分野の研究成果や技術シーズを紹介した。また、講師によるミリ波通信技術を中心とした講演とミリ波関連装置等のデモンストレーションやパネル展示を行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	開催挨拶	原田 晃	理事
2	EMC・半導体技術への取り組み	小林丈士	電子半導体技術グループ

No.	題 目	発表者名	所 属
3	国際競争下における日本工業界の更なる発展への提言：日米における先端無線通信技術開発と会社マネジメントの経験から	加藤修三 氏	東北大学マイクロシステム融合研究開発センター
4	都産技研におけるミリ波関連の研究および技術支援の取り組み	藤原康平	電子半導体技術グループ
5	ミリ波の信号発生と解析に必要な広帯域信号に対応した測定器	岡田信孝 氏	テクトロニクス社/ケースレーインスツルメンツ社
6	デモンストレーションおよびパネル展示	太田優一 時田幸一ほか	電子半導体技術グループ

(2) バイオ応用フォーラム

開催日：11月26日

会 場：東京イノベーションハブ

都産技研におけるバイオ応用分野の取り組みについて、再生医療に向けた医療機器機材開発を中心に研究成果を紹介した。また、バイオセンシング技術による機器開発など、バイオ応用分野におけるその他の研究成果について、パネル展示を行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	開催挨拶	片岡正俊	理事長
2	バイオ応用技術への取り組み	櫻井 昇	バイオ応用技術グループ
3	骨の再生医療実現に向けて	佐藤正喜 氏	東洋紡(株)
4	コラーゲンバイオマテリアルの新たな可能性～既存素材の可能性を引き出す利用機器シーズ開発例～	柚木俊二	バイオ応用技術グループ
5	ゼラチンのゲル化温度を飛躍的に高める試み～再生医療の基盤技術に向けて～	大藪淑美	バイオ応用技術グループ
6	パネル展示	関口正之 永川栄泰ほか	バイオ応用技術グループ

(3) 環境・省エネルギー技術フォーラム

開催日：12月1日

会 場：東京イノベーションハブ

都産技研における環境・省エネルギー分野の研究成果や技術シーズを紹介した。また、講師による企業のコスト削減につながる省エネ活動に関する講演を中心に、環境対策・抑制技術、環境対応材料、リサイクル技術および省エネ分野の開発成果品およびパネル展示を行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	開催挨拶	原 田 晃	理事
2	環境・省エネルギー技術への取り組み	飯田孝彦	環境技術グループ
3	事業所における省エネを『宝の山』に変える方法～累計 2 億 3000 万円のコスト削減の具体策	斉藤金弥 氏	キャノンマーケティング ジャパン(株)
4	震災で発生した廃木材の塩素濃度簡易自動測定装置の開発	安藤恵理	環境技術グループ
5	光源効率と色見えを考慮した LED 照明の分光分布設計方法と省エネ効果	岩永敏秀	環境技術グループ
6	パネル展示	浦崎香織里 水元和成ほか	表面技術グループ 繊維・化学グループ

(4) メカトロニクスフォーラム

開催日：12 月 17 日

会 場：東京イノベーションハブ

都産技研におけるメカトロニクス分野のなかでも、特に関心の高いロボット技術に関して、研究成果や技術シーズを紹介した。また、講師による介護・福祉ロボットの開発と現状についての講演、案内ロボットなど生活支援型ロボットのデモンストレーションを行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	開催挨拶	原 田 晃	理事
2	メカトロニクス技術への取り組み	坂下和弘	ロボット開発セクター
3	介護・福祉ロボットの開発と現状～マッスルスーツ 900 台の出荷実績から見えてくるもの～	小林 宏 氏	東京理科大学／ (株)イノフィス
4	T 型ロボットベースを用いた安全認証取得	森田裕介	ロボット開発セクター
5	T 型ロボットベースを用いたチリンロボット	坂下和弘	ロボット開発セクター
6	デモンストレーション	ロボット開発セクター	

7.2 オーダーメイドセミナー

時期・内容など、個別企業等の依頼者のニーズに合わせ、随時セミナーを実施する。
平成 27 年度は 98 件実施した。

担当	実施件数	主な指導内容
広報室	1	ものづくり体験セミナー
技術経営支援室	1	納期管理に関するセミナー
電子半導体技術 G	2	信頼性や EMC に関する講義、鉛フリーはんだ付け
機械技術 G	9	亜鉛合金ダイカストの不良対策、銀板の結晶粒の組織観察
光音技術 G	1	機械騒音の測定技術
表面技術 G	2	VOC に関する知識及び技術の習得、薬品取扱実習
環境技術 G	2	酸化還元滴定法の実習、改正 RoHS 指令の最新動向と対策
バイオ応用技術 G	2	照射食品検知法の研修、リアルタイム PCR の基礎講座
国際化推進室	9	RoHS、REACH 対応セミナー、海外規格対応の社内構築方法
実証試験 S	1	ねじ締結の基礎と強度評価技術
システムデザイン S	16	ブログ新規開設について、売上をあげるホームページ作成セミナー
ロボット開発 S	1	ロボット開発セクター技術シーズ
墨田支所 生活技術開発 S	21	縫製技術について、特定芳香族アミン規制の経緯と対応について
城南支所	5	歯車測定の実技研修、材料強度試験の実技研修
総合支援課	2	ものづくり企業のためのイノベーション思考法
電子・機械 G	1	3D プリンタが生み出すものづくり製造業の革新
繊維・化学 G	22	繊維の基礎と繊維製品製造工程、繊維製品の染色技術の習得
計	98	

7.3 職員派遣

7.3.1 委員等の派遣

高度な専門知識を持つ職員を、大学、学術団体、産業界、行政機関などへ評価委員や専門委員として、55 機関合計 82 名を派遣した。

主な派遣機関は以下の通りである。

文化学園大学
公益社団法人日本分析化学会
一般社団法人日本繊維機械学会
一般社団法人日本トライボロジー学会
一般社団法人日本マグネシウム協会
国立研究開発法人産業技術総合研究所
公益財団法人東京しごと財団
東京都中小企業団体中央会
公益財団法人東京都中小企業振興公社
独立行政法人中小企業基盤整備機構 など

7.3.2 講師等の派遣

大学との連携強化や社会への知的貢献を目的として、高度な専門知識を持つ職員を大学、学術団体、産業界、行政機関などへ非常勤講師や指導員として派遣した。

その他、都産技研の OB であるワイドキャリアスタッフも指導員として多数派遣した。

	団体名	氏名	役職
1	法政大学	大原 衛	講師
2	文化服装学院	近藤幹也	講師
3	首都大学東京	西村信司	非常勤講師
4	環境省環境調査研修所	林 英男	講師
5	芝浦工業大学	三尾 淳	非常勤講師
6	沖縄県立芸術大学	近藤幹也	非常勤講師
7	日本大学	大西 徹	非常勤講師
8	東京学芸大学	樋口智寛	非常勤講師
9	山梨大学	上本道久	非常勤講師
10	明治大学	上本道久	非常勤講師
11	(一社)日本熱処理技術協会	内田 聡	講師・指導員
12	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	中西正一	講師
13	東京都鍍金工業組合	玉置賢次	講師
14	(一社)日本溶接協会	長坂浩志	講師
15	東京都鍍金工業組合	水元和成	講師
16	法政大学	金田泰昌	講師
17	サイエンス&テクノロジー株式会社	安田 健	講師

	団体名	氏名	役職
18	八王子市	窪寺健吾	講師
19	多摩美術大学	樋口明久	講師
20	(公社)日本分析化学会	上本道久	講師
21	多摩美術大学	唐木由佑	講師
22	木材塗装研究会	村井まどか	講師
23	首都大学東京	福田良司	講師
24	(公財)全日本地域研究交流協会	高橋千秋	講師
25	東京都鍍金工業組合	浦崎香織里	講師
26	(公社)日本包装技術協会	小西 毅	講師
27	(公社)日本分析化学会	林 英男	講師
28	(一社)日本分析機器工業会	上本道久	講師
29	東京理科大学	渡邊禎之	講師
30	首都大学東京	三尾 淳	講師
31	神奈川表面技術研究会	山田健太郎	講師
32	(一社)日本防錆技術協会	鈴木雅洋	講師
33	東京農工大学	瓦田研介	非常勤講師
34	明治大学	神谷嘉美	非常勤講師
35	東京学芸大学	峯 英一	非常勤講師
36	(株)日刊工業新聞社	阿保友二郎	講師
37	(一財)日本立地センター	大泉幸乃	講師
38	江戸川区	木暮尊志	講師
39	江戸川区	酒井日出子	講師
40	NPO 法人 カビ相談センター	小沼ルミ	講師
41	東京都鍍金工業組合	鈴木雅洋	講師
42	ファインブランキング技術研究会	中村健太	講師
43	(一社)日本熱処理技術協会	内田 聡	講師
44	(公財)広島市産業振興センター	浦崎香織里	講師

(順不同)

7.3.3 研修学生・インターンシップなどの受け入れ

(1) 研修学生の受け入れ

大学・大学院の学生を一定期間受け入れ、人材育成や専門技術の習得に寄与した。
平成27年度は6大学より10名の研修学生を受け入れた。

	受け入れ相手先		人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	東京理科大学 工学研究科機械工学専攻		1	表面技術 G	平成27年 4月13日 ～平成28年 3月31日
2	群馬大学大学院 理工学府環境創生理工学専攻		1	材料技術 G	平成27年 4月27日 ～平成28年 3月31日
3	成蹊大学 理工学部物質生命理工学科		1	表面技術 G	平成27年 5月11日 ～平成28年 3月31日
4	芝浦工業大学 工学部材料工学科		3	機械技術 G	平成27年 5月21日 ～平成28年 3月31日
5	長岡技術 科学大学	電気電子情報工学課程	2	電子半導体技術 G	平成27年 10月9日 ～平成28年 2月12日
		経営情報システム工学課程	1	国際化推進室	
6	東北大学大学院 工学研究科 機械システムデザイン工学専攻		1	高度分析開発 S	平成28年 3月 7日 ～平成28年 3月11日

(2) インターンシップ

職業体験による職業意識の向上と、公設試験研究機関の業務について理解を深めることを目的にインターンシップを実施し、3大学、1高等専門学校、1高等学校より12名を受け入れた。

	受け入れ相手先		人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	首都大学 東京	理工学系 電気電子工学コース	1	城南支所	平成27年 8月11日 ～平成27年 9月18日
		システムデザイン学部 知能機械システムコース	1	電子半導体技術 G	平成27年 8月17日 ～平成27年 9月18日
		システムデザイン学部 インダストリアルアートコース	1	城南支所	平成27年 8月17日 ～平成27年 9月18日
		システムデザイン学部 知能機械システムコース	1	光音技術 G	平成27年 8月19日 ～平成27年 9月18日
		システムデザイン学部航空 宇宙システム工学コース	1		
2	電気通信大学大学院 情報理工学研究科 知能機械工学専攻		1	情報技術 G	平成27年 8月17日 ～平成27年 8月28日
3	東京理科大学 工学部第一部機械工学科		1	城東支所	平成27年 8月31日 ～平成27年 9月11日

	受け入れ相手先		人数	受け入れ部署	受け入れ期間
4	東京都立産業技術高等専門学校	ものづくり工学科 電気電子工学コース	1	電子半導体技術 G	平成27年 8月31日 ～平成27年 9月 4日
		専攻科機械工学コース	1		平成27年 8月31日 ～平成27年 9月18日
5	東京都立多摩工業高等学校		3	多摩テクノプラザ	平成28年 2月 2日 ～平成28年 2月 4日

8. 情報発信

8.1 研究成果発表会

都産技研が保有する技術シーズや研究成果を広く発信するため、平成 27 年 6 月 24 日～26 日に「研究成果発表会」を開催した。都産技研の研究成果だけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果や連携機関からの発表などを行った。3 日で 118 テーマ、638 名の参加があった。東京イノベーションハブでは、研究成果のパネル展示を行い、発表者との交流を図った。

平成 27 年 6 月 24 日（水）

<金属粉末 AM（3D プリンター）> 講堂

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 金属 3D プリンター開発の先へ ～高速・低コスト化の現状と課題～	東京農工大学大学院工学研究 院 先端機械システム部門 教授	笹原弘之 氏
【活用事例紹介】 金属技研株式会社の金属積層造形の取り組み	金属技研(株) 技術本部 テクニカルセンター 次長	山本泰弘 氏
都産技研の 3D デジタルものづくり支援	機械技術グループ	藤巻研吾

<ロボット開発> 531 会議室

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 コミュニティづくりから始めるロボットイノベ ーション～社会実装アプローチ～	東京大学 名誉教授 フューチャーセンター推進機 構 ロボット化コンソーシアム	佐藤知正 氏
【パネルディスカッション】 ロボットを用いたサービスイノベーション	(株)国際電気通信基礎技術研 究所 社会メディア総合研究 所 ネットワークロボット研 究室 室長	宮下敬宏 氏 他 4 名

平成 27 年 6 月 25 日（木）

<基調講演> 講堂

題 目	所 属	発表者名
炭素繊維における東レ株式会社の航空機器産業へ の参入、これからの展望	東レ(株) ACM 技術部 部長	小田切信之 氏

<海外展開支援> 講堂

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 モノづくり企業の海外進出の在り方 ～金型を通じて見えてくるもの～	(一社)日本金型工業会 学術 顧問	横田悦二郎 氏
【トークセッション】 ものづくり企業への ASEAN 地域における技術支援	(一社)日本金型工業会 学術 顧問	横田悦二郎 氏 他 3 名

<情報技術> 会議室 531・研修室 241

題 目	所 属	発表者名
スポーツ用義足の研究開発とアスリート支援	(国研)産業技術総合研究所	保原浩明
確率的モデリングによるビッグデータ活用	(国研)産業技術総合研究所	櫻井瑛一
情報ハイディング技術を活用した防災通報システムの開発	東京工業高等専門学校	小嶋徹也
東京理科大学のソフトウェア／アルゴリズムベース・テクノロジーのご紹介	東京理科大学	鵜澤真治
不完全な評価セットに対する検索システムの性能評価指標の開発	生活技術開発セクター	大平倫宏
自己強制空冷システムの放熱促進を目的としたヒートシンクの開発	情報技術グループ	富山真一
レイヤ構造無線センサネットワークの効率的な伝送制御手法	情報技術グループ	中川善継
カルマンフィルタとその改良 ーオンライン異常値検出・除去への対応ー	情報技術グループ	金田泰昌
気球型インタフェース (Aerotop Interface)	産業技術大学院大学	飛田博章
ConfVisor : コンベンションプランナー業務管理システム	産業技術大学院大学	松尾徳朗

<エレクトロニクス> 研修室 241・研修室 242

題 目	所 属	発表者名
テラヘルツ連続波を用いた材料の電気特性評価	電子半導体技術グループ	時田幸一
プログラマブルSoCによる液面センサの開発	(株)ティ・エフ・ディ	村井弘道
デスクトップ温調機 [PELNUS] 高機能モデルの開発	キーナスデザイン(株)	野村健司
低ひずみ出力を実現できる単相7レベル変換器の検討	東京工業高等専門学校	綾野秀樹
狭間隔部品実装技術を用いた部品内蔵基板の開発	(国研)産業技術総合研究所	菊地克弥

<先端ものづくり> 531 会議室

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 3Dプリンタによる積層工法を用いた新しいモノづくり	(株)コイワイ AM事業部 課長	永田佳彦 氏
先端計測加工ラボでの海外展開支援	城南支所	上本道久
航空機・高所環境をシミュレートする減圧恒温槽	実証試験セクター	三上和正
医療用穿刺針の高品質化に関する研究	埼玉県産業技術総合センター	落合一裕
電子線描画装置を用いたナノインプリント金型の検討	神奈川県産業技術センター	安井 学

＜環境・省エネルギー＞ 研修室 241・研修室 243

題 目	所 属	発表者名
バナナ繊維を用いた金属イオン捕集材の開発	城南支所	梶山哲人
ガラスカレット工場から排出されるガラス含有汚泥の減量・処理技術の開発	環境技術グループ	田中真美
音響粒子速度・音圧センサ（PUプローブ）による音響インテンシティの測定	光音技術グループ	西沢啓子
シリカマトリックス（鋳型）内で安定な六価のクロム酸化物量子ドットの挙動と新規触媒への応用	材料技術グループ	染川正一
絞り加工用潤滑油の環境負荷低減化技術の開発	機械技術グループ	中村健太
古紙からのバイオエタノール生産	神奈川県産業技術センター	廣川隆彦
水素エネルギー材料の表面高機能化処理	電気通信大学	田村元紀
超臨界法によるバイオディーゼル燃料の実用化開発	創イノベーション(株)	高橋 収
室内照明で機能する光触媒の研究	千葉県産業支援技術研究所	吉田浩之
再生ポリプロピレン材料の耐候性評価	(一財)化学研究評価機構 高分子試験・評価センター	佐藤圭祐

＜EMC・半導体＞ 研修室 242

題 目	所 属	発表者名
90 GHz帯アプリケーション用要素回路の開発1	電子半導体技術グループ	藤原康平
マイクロヒータの開発	電子半導体技術グループ	山岡英彦
狭ビームアンテナを用いたGHz帯測定手法の提案	電子・機械グループ	佐々木秀勝
誘電率測定の不確かさ評価	(国研)産業技術総合研究所	加藤悠人
製品内部における伝導妨害波の伝搬モード変換モデルの検証	電子・機械グループ	大橋弘幸
2chベクトルシグナルアナライザを用いたEMI電磁波の位相測定	(国研)産業技術総合研究所	飴谷充隆

＜品質強化＞ 研修室 243

題 目	所 属	発表者名
都産技研におけるJNLA登録試験（鉄鋼・非鉄金属分野：金属材料引張試験）	実証試験セクター	櫻庭健一郎
JCSS直流抵抗器校正における品質の維持・管理への取り組み	実証試験セクター	倉持幸佑
直流電圧校正の不確かさ評価	技術経営支援室	水野裕正
世界に通用するトレーサビリティの確立した精密校正システムの開発	MTA ジャパン(株)	沼知朋之
高放射材の分光放射率角度依存性評価	光音技術グループ	中島敏晴

題 目	所 属	発表者名
熱拡散率測定信頼性及び黒化処理の影響	実証試験セクター	沼尻治彦
濾材誘電形エアフィルタ（CMEA）の開発	(株)MITOMI	吉長和男

<ものづくり基盤技術> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
ほうろうの不具合の評価方法について	環境技術グループ	吉野 徹
ポリマーナノコンポジット作製への取り組み	材料技術グループ	安田 健
e-テキスタイルの燃料電池部材への応用	表面技術グループ	峯 英一
大電流パルススパッタ膜の成膜技術の開発	表面技術グループ	寺西義一
全固体電池用マイクロ構造化セラミックスの製造技術開発	機械技術グループ	藤巻研吾
金属間化合物の寸法制御によるマグネシウム焼結合金の高強度・高延性化	機械技術グループ	岩岡 拓
元素添加による異材摩擦攪拌接合界面での金属間化合物層厚さの抑制	機械技術グループ	青沼昌幸
近赤外分光法を用いた光学活性医薬品の識別	材料技術グループ	藤巻康人
高剛性サンドイッチコアの開発	電子・機械グループ	高橋俊也
耐熱CFRP製サンドイッチパネルの特性評価	明星大学	小山昌志
ポリカーボネートをマトリックス樹脂とした炭素繊維強化複合材料の力学特性向上	埼玉県産業技術総合センター	小熊広之

<ロボット/メカトロニクス> デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
都産技研のロボット開発事業の紹介	ロボット開発セクター	坂下和広
小型移動検査ロボットDIR-3 (インフラ点検など狭隘部を検査する技術)	(国研)産業技術総合研究所	神村明哉
人の水上活動を支援するロボティックビークルの研究開発	首都大学東京	武居直行
接地点の切換えを考慮したヘビ型ロボットの多様な運動制御	電気通信大学	田中基康
RTMを活用した課題解決型ロボティクスの提案	芝浦工業大学	松日楽信人
千葉工業大学未来ロボット技術研究センターのロボット開発	千葉工業大学	平井成興
産学公金連携による「おもてなしロボット」の開発	ヤマグチロボット研究所	山口仁一

平成 27 年 6 月 26 日（金）

< 基調講演 > 講堂

題 目	所 属	発表者名
日本をブランディングする ～性能と価格とは別の価値を考える～	(株)海外需要開拓支援機構	太田伸之 氏

< 東京オリンピック・パラリンピックに向けたクールジャパン > 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
【特別講演】 現状に甘んじないモノづくり	(株)オビツ製作所	尾櫃充代 氏
生活技術開発セクターの活用状況	墨田支所	大泉幸乃
長野県工業技術総合センターにおける人間生活関連技術支援事例の紹介	長野県工業技術総合センター	北野哲彦
岐阜県における木工産業への技術支援	岐阜県生活技術研究所	長谷川良一
子供の学習姿勢に関する研究を基に開発した製品の事例紹介	福岡県工業技術センター	友延憲幸
富山県生活工学研究soにおけるスポーツ分野の取り組み	富山県工業技術センター	浦上 晃

< バイオ応用 > 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
ESR・放射線照射法によるスーパーオキシドアニオン及びOHラジカル消去能の評価	バイオ応用技術グループ	中川清子
ゲル状配向コラーゲン線維束の開発 ―人工腱マトリクス創成に向けた基盤技術―	バイオ応用技術グループ	畑山博哉
蛍光イムノクロマトリーダーの高感度化	(株)ティ・エフ・ディ	村井弘道
血中脂肪を測る高感度分光器	(国研)産業技術総合研究所	古川祐光
酵素サイクリング法を用いたホルムアルデヒド高感度センサーの開発	バイオ応用技術グループ	瀧本悠貴
市販の銀含有創傷被覆材の抗菌性と細胞毒性のin vitro評価	バイオ応用技術グループ	柚木俊二
熱ルミネッセンス (TL) 法による照射食品の検知ードロマイト (標準鉍物) を用いた校正照射の課題と標準化の試みー	バイオ応用技術グループ	関口正之

< ロボット/メカトロニクス > 研修室 242

題 目	所 属	発表者名
おもてなしのコミュニティ・セントリック・システム構築のためのソーシャルロボティクスとソーシャルビッグデータ	首都大学東京	山口 亨
スマートフォン連動型ロボットパートナー	首都大学東京	久保田直行
1mmの変位量を有する静電アクチュエータの試作	城東支所	長谷川 孝
運搬ロボットの研究開発	ロボット開発セクター	益田俊樹

題 目	所 属	発表者名
USBを用いた機械制御システムのための低コストな安全技術	ロボット開発セクター	村上真之
人位置・姿勢検出と音声対話によるユーザ対移動ロボット間インタラクション・システムの試作開発	ロボット開発セクター	佐々木智典
移動作業型ロボットのリスクアセスメント	ロボット開発セクター	森田裕介
ロボットにおいてデザインが機能するもの	VECTOR(株)	小山久枝
T型ロボットベース(TYPE III)事業化のための量産設計	(株)システムクラフト	前田政昭

<ナノテクノロジー> 研修室 243

題 目	所 属	発表者名
新規細分化法によるナノ粒子の作製	高度分析開発セクター	川口雅弘
種々のグラフェン粒子の水分散液の作成と粒度分布の評価に関する検討	材料技術グループ	柳 捷凡
第一原理計算による電子状態解析	電子半導体技術グループ	太田優一
ワイドギャップ半導体窒化ホウ素における不純物添加効果	電子半導体技術グループ	太田優一
ナノフォトリクスを応用した微量物質検知技術(技術紹介)	電子半導体技術グループ	加澤エリト
水素含有DLC膜の表面性状制御による低摩擦化	城東支所	徳田祐樹
粉末処理前後における ¹³ C-DLCの構造変化	高度分析開発セクター	川口雅弘

<環境・省エネルギー> 研修室 243

題 目	所 属	発表者名
TiO ₂ /WO ₃ 複合量子ドットにおける光触媒活性の向上	材料技術グループ	渡辺洋人
促進耐候(光)性試験と発光計測による劣化評価	繊維・化学グループ	杉森博和
汚染ガスと光による複合試験	繊維・化学グループ	岡田明子
分光応答度測定装置の概要と活用例	光音技術グループ	中田 修
環境低負荷型めっき浴	繊維・化学グループ	水元和成
微生物製剤の木材青変菌用防カビ剤への適用	環境技術グループ	飯田孝彦

＜震災復興支援技術＞ 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
原発事故からの農業と林業分野での復興支援—汚染水処理への取り組み—	首都大学東京	吉田博久
木材—ボルト接合における締付け時の座金めり込み降伏荷重の算定	城東支所	松原独歩
間仕切壁の遮音性能向上手法	光音技術グループ	渡辺茂幸
震災で発生した廃木材の塩素濃度簡易自動測定装置の開発	環境技術グループ	安藤恵理
情報技術に基づく災害発生時対応支援用具の開発	生活技術開発セクター	加藤貴司
日本の独自規格のトレーラーハウスの開発	首都大学東京	土屋 真

＜少子高齢・福祉＞ 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
高齢者の自立した日常生活を支援する、立ち上がり・歩行システムの開発	首都大学東京大学院	新田 収
電力変動からの操作機器推定アルゴリズム	ロボット開発セクター	武田有志
横編機を用いた無縫製かつらベースの開発	繊維・化学グループ	唐木由佑
歩行型腰部柔らかかダミーを用いた衣服圧測定方法の確立	生活技術開発セクター	菅谷紘子
林業作業における先進工具の活用	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	中村健一

＜品質強化＞ デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
高感度グロー放電質量分析（GD-MS）による軽金属材料中の極微量成分の迅速定量	城南支所	山田健太郎
仮想三次元測定（VCMM）を用いた不確かさ算出の検討	城南支所	樋口英一
マグネシウム材料中微量元素定量法に関するJIS及びISO標準化	城南支所	上本道久
城南支所におけるX線CTへの取り組みについて	城南支所	竹澤 勉

＜システムデザイン＞ デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
構造解析を利用したコンセプトデザイン	システムデザインセクター	上野明也
粉末焼結型AM技術におけるそりの補正と制御	システムデザインセクター	山内友貴
塗装による光硬化性樹脂AM（3Dプリンタ）モデルへの意匠性付与	表面技術グループ	小野澤明良
めっきによるナイロン樹脂AM（3Dプリンタ）モデルへの意匠性付与	表面技術グループ	竹村昌太
動吸振器の3Dプリンタを用いた設計	電子・機械グループ	岩田雄介
粉末焼結型AM装置による造形品の異方性緩和手法の提案	城東支所	木暮尊志
生活技術開発セクターのカラーAdditive Manufacturing (AM) 活用手法	生活技術開発セクター	島田茂伸
溶融積層造形装置による技術支援と今後の可能性	城南支所	豊島克久
東京オリンピック2020のスタッフ用モビリティのデザイン開発（おもてなしモビリティ in 東京オリンピック2020）	産業技術大学院大学	小山 登

8.2 主催イベント

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを、広く中小企業や都民に紹介するために、施設公開や講演会などを開催した。

8.2.1 施設公開

都産技研の主要施設、設備を中小企業および都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図ることを目的に各事業所で施設公開を開催している。

城東支所は葛飾区の産業イベント、城南支所は大田区の産業イベントと同時開催した。多摩テクノプラザでは、産業サポートスクエア・TAMA の各支援機関のイベントと同時開催した。

また、本部および多摩テクノプラザでは、入場者の職層、年齢層を設定し、ビジネスデー、ファミリーデーとして、内容を変えて開催した。

事業所	公開日	日数	入場者数(名)
本部 (INNOVESTA ! 2015)	平成27年 9月11日(金)～12日(土)	2日間	2,203
城東支所	平成27年10月16日(金)～18日(日)	3日間	4,541
墨田支所 生活技術開発セクター	平成27年10月 1日(木)～ 2日(金)	2日間	263
城南支所	平成27年10月 8日(木)～ 9日(金)	2日間	300
多摩テクノプラザ(多摩テクノフェア)	平成27年10月23日(金)～24日(土)	2日間	2,316
計		11日間	9,623

(1) 本部 (INNOVESTA ! 2015)

1) ビジネスデー (9月11日)

特別講演 (4テーマ)、MTEP 海外展開特別セミナー (3テーマ)、
ワークショップ (24テーマ)、製品化支援ラボ入居企業の紹介 (2企業) など

2) ファミリーデー (9月12日)

工作教室 (14テーマ)、サイエンスショー (3公演)、消防体験 (協力：東京消防庁深川消防署)、近隣商店街の出店 (協力：近隣の4つの商店街) など

3) 両日開催

・ロボット展示 (玄関ロビー)

ロボット開発セクター開発ロボット展示、商用ロボット展示 (恐竜ロボット)、
協定締結機関製作ロボット展示 (3機関)

・シンボル展示 (江戸っ子1号プロジェクト) (協力：東京東信用金庫)

・連携機関展示 (おもてなしモビリティ) (作製：産業技術大学院大学)

4) 体験・実演・紹介見学

11日：体験5テーマ、実演11テーマ、紹介見学13テーマ

12日：体験13テーマ、実演9テーマ、紹介見学2テーマ

(2) 城東支所

1) 展示・実演・体験

工作機械の展示、静電植毛体験・化学実験・デザイン作成などのワークショップ

2) クイズラリーによる装置の見学 (記念品贈呈)

- 3) 同時開催
第31回葛飾区産業フェア「葛躍～躍進する葛飾の産業～」(工業・商業・観光展)
主催：葛飾区、葛飾区産業フェア運営委員会、東京商工会議所葛飾支部

- (3) 墨田支所 生活技術開発セクター
 - 1) 展示・実演
快適性評価（日射環境試験装置、視線追尾システムなど）
安全性評価装置（におい識別装置、有害物質分析装置など）
製品化支援（3D プリンター、レーザー加工機等）など
 - 2) 体験コーナー
熱転写プリント

- (4) 城南支所
 - 1) 展示・実演・体験
溶融積層造形装置で製作した試作品の提供、光造形システムのテクノロジー、電子顕微鏡での 30 万倍の世界、恒温恒湿室による多湿環境、低温環境の体験など
 - 2) スタンプラリーによる装置の見学（記念品贈呈）
 - 3) 同時開催
第 5 回おおた研究・開発フェア
主催：大田区、公益財団法人大田区産業振興協会

- (5) 多摩テクノプラザ（多摩テクノフェア）
 - 1) ビジネスデー（10 月 23 日）
ミニセミナー（8 テーマ）、講演会（2 講演）（公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社と共催）、研究成果や試験機器の紹介など
 - 2) ファミリーデー（10 月 24 日）
ものづくりコーナー（4 テーマ）、体験コーナー（4 テーマ）、体験参加型エンターテインメントショー、ロボットハンドベル演奏会、研究成果や実験装置の紹介・実演、立川自然と科学の会紹介など
 - 3) 「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」企画（10 月 24 日）
各施設を回るスタンプラリー（記念品贈呈）、
各支援機関紹介パネル展示（正門隣ポケットパーク）
 - 4) 同時開催
「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」
・公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社 ・東京都商工会連合会
・公益財団法人東京都農林水産振興財団 ・東京都立多摩職業能力開発センター

8.2.2 サイエンスアゴラ 2015

「サイエンスアゴラ 2015」を共催し、都産技研は他の出展者へ会場を提供するとともに、以下のプログラムを実施した。都産技研のほか、日本科学未来館、国立研究開発法人産業技術総合研究所臨海副都心センターなどを会場として、サイエンスに関わる 195 のプログラムが行われた。

開催日：平成 27 年 11 月 13 日～15 日

会場：都産技研 本部

- ・都産技研ミニ見学ツアー
- ・ペットボトル掃除機をつくろう

同時開催：セーフティ グッズ フェア with サイエンスアゴラ 2015

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

8.2.3 多摩テクノプラザイベント

(1) 子ども科学技術教室

小中学生と同伴する大人（都内在住もしくは在学）を対象とする体験型イベント

開催日：平成 27 年 7 月 30 日（木）、31 日（金）

会場：公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社 大会議室

参加者：73 組 161 名

内容：7 月 30 日、7 月 31 日 各 2 テーマ

(2) 技術交流会 2016

多摩テクノプラザの最近の成果の報告や特別講演を行った。

開催日：平成 28 年 2 月 4 日（木）

会場：公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社 大会議室

内容：成果報告

繊維・化学グループ 平成 23～27 年の成果報告など

電子・機械グループ EMC サイト活用事例、今年度出願特許について

特別講演（1 講演）、パネル展示（7 テーマ）

参加者：46 名

8.3 施設見学

都内の中小企業、商工関連業界、学校、自治体等からの要望に応じて、見学・視察を受け入れた。都産技研の役割および各種事業や研究成果、機器などを紹介し、知名度向上と産業技術の普及に努めている。見学に加え、技術分野の技術動向等の情報提供や意見交換の要望も増えている。また産業人材育成の一環として、修学旅行雑誌に記事を掲載するなど、学生の見学受け入れに力を入れた。

平成 27 年度施設見学受け入れ件数・見学者数

庁 舎	本部	城 東	墨 田	城 南	多摩テクノ プラザ	合 計
件 数（件）	151	13	26	23	32	245
見学者数（人）	2,309	146	255	192	525	3,427

主な見学者

本部

CMM ユーザーズクラブ	68 名
腐食防食協会関東支部	24 名
広島県立大門高等学校	21 名
中央アジア視察団	20 名
一般社団法人日・タイ経済協力協会、泰日工業大学	13 名

城東支所

亀有信用金庫	24 名
東京都立産業技術高等専門学校 創造工学専攻	17 名

墨田支所

東京織物卸商業組合	55 名
日本女子大学通信教育課程	25 名
染色補正組合	10 名
愛知県江南市立宮田中学校	6 名

城南支所

大田区臨海部 3 島全体連絡協議会	35 名
東京都健康福祉研究会	10 名

多摩テクノプラザ

昭島市立拝島第二小学校	86 名
明星大学	52 名
タイ工業省、タイ企業	25 名
日本航空電子工業株式会社	9 名

8.4 展示会出展およびセミナーの開催

8.4.1 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用など事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

No.	展示会名	主催	開催年月日	場所	出展内容
1	TOKYO ふしぎ祭エンス 2015	東京都	平成27年 4月19日	日本科学未来館	ものづくり教室、事業紹介
2	INTERMACH 2015	UBM Asia (Thailand) Co., Ltd.	平成27年 5月13日 ～ 5月16日	BITEC, BANGKOK	バンコク支所事業紹介
3	TECHNO-FRONTIER 2015	(一社)日本能率協会	平成27年 5月20日 ～ 5月22日	幕張メッセ	事業紹介、研究紹介、設備紹介
4	2015NEW 環境展	日報ビジネス(株)	平成27年 5月26日 ～ 5月29日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、設備紹介
5	第22回燃料電池シンポジウム	(一社)燃料電池開発情報センター	平成27年 5月29日 ～ 5月30日	タワーホール船堀	研究紹介
6	2015 マイクロエレクトロニクスショー	(一社)エレクトロニクス実装学会	平成27年 6月 3日 ～ 6月 5日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、設備紹介
7	さわやか信用金庫 第11回 ビジネスフェア	さわやか信用金庫	平成27年 6月12日	大田区産業プラザ (PiO)	事業紹介、研究紹介、設備紹介
8	第2回 Mfair バンコク 2015 ものづくり商談会 タイ・バンコク	Factory Network Asia (Thailand) Co., Ltd. / Reed Tradex Co., Ltd.	平成27年 6月24日 ～ 6月27日	BITEC, BANGKOK	バンコク支所事業紹介、出張相談会
9	第8回大田区加工技術展示商談会	大田区、(公財)大田区産業振興協会、(一社)大田工業連合会	平成27年 7月 3日	大田区産業プラザ (PiO)	事業紹介、研究紹介、設備紹介
10	ビジネスマッチング交流会'15	昭和信用金庫	平成27年 7月 7日	新宿エルタワー	産学公連携コーディネート相談、事業・設備等の紹介
11	第7回ビジネス交流会	シグマバンクグループ	平成27年 8月 4日	東武ホテルレバント 東京	産学公連携コーディネート相談、事業・設備等の紹介
12	ものづくり商談会	品川区、江東区、目黒区、板橋区、江戸川区	平成27年 8月24日	品川区産業支援交流施設	産学公連携コーディネート相談
13	第17回日本感性工学会大会	日本感性工学会	平成27年 9月 1日 ～ 9月 3日	文化学園大学	事業紹介、研究紹介、設備紹介
14	2015 “よい仕事おこし” フェア	城南信用金庫	平成27年 9月 8日 ～ 9月 9日	東京国際フォーラム	産学公連携コーディネート相談、事業紹介、設備紹介
15	International Tribology Conference Tokyo2015	(一社)日本トライボロジー学会	平成27年 9月16日 ～ 9月20日	東京理科大学	研究紹介
16	江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2015	東京信用保証協会	平成27年 10月 2日	東京国際フォーラム	事業紹介

No.	展示会名	主催	開催年月日	場所	出展内容
17	システムデザイン フォーラム 2015	首都大学東京	平成27年 10月 7日	首都大学東京	事業紹介
18	CEATEC JAPAN 2015	CEATEC JAPAN 実施協 議会	平成27年 10月 7日 ～10月10日	幕張メッセ	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
19	第5回おおた研究・開発 フェア	大田区、(公財)大田区産 業振興協会	平成27年 10月 8日 ～10月 9日	大田区産業プラザ (PiO)	事業紹介、研究紹介、 設備紹介、施設公開 案内
20	第60回 FRP 総合講演 会・展示会	(一社)強化プラスチック協 会	平成27年 10月15日 ～10月16日	秋葉原 UDX	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
21	第26回府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェア	府中市	平成27年 10月16日 ～10月17日	府中市市民会館	ロボット事業紹介、開 発事例紹介、ものづく りセミナー
22	第31回葛飾区産業フェア	葛飾区、東京商工会議 所葛飾支部、葛飾区産 業フェア運営委員会	平成27年 10月16日 ～10月18日	テクノプラザかつし か 他	事業紹介、城東支所事 業紹介
23	新技術創出交流会	(公財)東京都中小企業 振興公社多摩支社	平成27年 10月27日	パレスホテル立川	産学公連携コーデ ィネート相談、事業紹 介、設備紹介
24	第16回ビジネスフェア FROM TAMA	西武信用金庫、(一社) 首都圏産業活性化協会	平成27年 11月 6日	東京ドームシティ プリズムホール	産学公連携コーデ ィネート相談、事業紹 介、設備紹介
25	第19回いたばし産業見本 市	いたばし産業見本市実 行委員会	平成27年 11月12日 ～11月13日	板橋区立東板橋体育 館	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
26	the 東京湾岸・起業家交流 会 2015	江東区、品川区、港区	平成27年 11月13日	テレコムセンタービ ル	産学公連携コーデ ィネート相談、事業紹 介、設備紹介
27	Embedded Technology 2015	(一社)組込みシステム 技術協会	平成27年 11月18日 ～11月20日	パシフィコ横浜	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
28	METALEX2015-タイ・バン コク	Reed Tradex Company Limited	平成27年 11月18日 ～11月21日	BITEC, BANGKOK	バンコク支所事業紹 介、出張相談会、技 術セミナー
29	第17回産業ときめきフェ ア in EDOGAWA	産業ときめきフェア実 行委員会、江戸川区	平成27年 11月20日 ～11月21日	タワーホール船堀	事業紹介、城東支所 紹介
30	2015 国際ロボット展	(一社)日本ロボット工 業会、日刊工業新聞社	平成27年 12月 2日 ～12月 5日	東京ビッグサイト	ロボット実演、事業 紹介、研究紹介、設 備紹介
31	第10回 MACC フォーラム	荒川区	平成27年 12月 9日	東京電機大学	産学連携パネルディ スカッションへのパ ネラー派遣
32	第6回クルマの軽量化技術 展	リードエグジビジョン ジャパン(株)	平成28年 1月13日 ～1月15日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
33	第2回ウェアラブル EXPO	リードエグジビジョン ジャパン(株)	平成28年 1月13日 ～1月15日	東京ドームシティ プリズムホール	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
34	第2回町工場見本市 2016	葛飾区、東京商工会議 所葛飾支部	平成28年 1月19日 ～1月20日	東京国際フォーラム	城東支所事業紹介、 設備紹介
35	SURTECH 2016	(一社)表面技術協会、 日本鍍金材料協同組 合、(株)ICS コンベン ションデザイン	平成28年 1月27日 ～1月29日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、 設備紹介

No.	展示会名	主催	開催年月日	場所	出展内容
36	nano tech 2016	nano tech 実行委員会	平成28年 1月27日 ～ 1月29日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
37	3D Printing 2016	(株)ICS コンベンション デザイン	平成28年 1月27日 ～ 1月29日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
38	第20回おおた工業フェア	大田区、(公財)大田区 産業振興協会、(一社) 大田区工業連合会	平成28年 2月 4日 ～ 2月 6日	大田区産業プラザ (PiO)	事業紹介、研究紹介、 設備紹介
39	第9回つくば産産学連携 促進市 in アキバ	つくば市	平成28年 2月 9日	秋葉原ダイビル	事業紹介、設備紹介
40	第15回たま工業交流展	たま工業交流展実行委 員会	平成28年 2月25日 ～ 2月26日	東京都立多摩職業能 力開発センター	多摩テクノプラザ事 業紹介、研究紹介、 設備紹介
41	第9回としまものづくり メッセ	としまものづくりメッ セ実行委員会	平成28年 3月 3日 ～ 3月 5日	サンシャインシティ	事業紹介、セミナー 案内
42	街づくり・店づくり未来 提案 EXPO	日本経済新聞社	平成28年 3月 8日 ～ 3月11日	東京ビッグサイト	ロボット実演、事業 紹介、研究紹介
43	第37回荒川区産業展	第37回荒川区産業展 実行委員会	平成28年 3月12日 ～ 3月13日	荒川総合スポーツセ ンター	事業紹介、研究紹介

8.4.2 ものづくりセミナー

区市町村との連携を深め、地域に密着した産業振興・技術支援を行うため、展示会において、都産技研の研究成果や事業を普及する「ものづくりセミナー」を開催した。

[ものづくりセミナー in 府中]

第26回府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェアにおいて、「都産技研がすすめるロボット開発支援」をテーマに開催した。

開催日：平成27年10月16日

会 場：ルミエール府中（府中市市民会館）1階 第1・第2会議室

No.	題 目	発表者名	所 属
1	都産技研のロボット技術開発	坂下和広	ロボット開発 S
2	東京ロボット産業支援プラザの紹介	竹内由美子	ロボット企画 G
3	チリンロボットのデモンストレーションと解説	ロボット開発 S	

8.5 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報の発信機能を果たし、中小企業などへの技術情報提供に貢献している。研究成果をまとめた「研究報告」、研究発表の要旨を記載した「研究成果発表会要旨集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種 PR リーフレットなどを発行した。

8.5.1 刊行物一覧

平成 27 年度の刊行物は以下の通りである。

タイトル	発行年月	部数
本部案内の改訂・増刷	平成 27 年 4 月・6 月	7,400
事業案内の改訂・増刷	平成 27 年 5 月・11 月	10,200
多摩テクノプラザ案内の改訂	平成 27 年 5 月	2,000
認定事業パンフレット	平成 27 年 6 月	2,000
平成 26 年度年報	平成 27 年 6 月	700
海外展開支援製品化事例集	平成 27 年 6 月	3,000
研究成果発表会要旨集 平成 27 年度	平成 27 年 6 月	1,000
研究報告第 10 号（平成 27 年度）	平成 27 年 9 月	1,300
平成 27 年度技術シーズ集	平成 27 年 9 月	3,000
多摩テクノプラザで行える依頼試験・機器利用ハンドブック 【機械系試験編】	平成 27 年 9 月	2,000
多摩テクノプラザで行える依頼試験・機器利用ハンドブック 【EMC 編】	平成 27 年 9 月	2,000
多摩テクノプラザで行える依頼試験・機器利用ハンドブック 【電子回路分野編】	平成 27 年 9 月	2,000
MTEP サービスガイドの改訂	平成 27 年 10 月	2,000
城東支所案内の改訂	平成 27 年 10 月	3,000
実証試験セクター機器利用案内 恒温恒湿槽	平成 27 年 10 月	2,000
実証試験セクター機器利用案内 振動、衝撃、EMC 試験	平成 27 年 10 月	2,000
実証試験セクター機器利用案内 強度試験	平成 27 年 10 月	1,500
東京都異業種交流グループ 平成 27 年度本部グループ交流カルテ	平成 27 年 11 月	60
都産技研活用事例集 多摩テクノプラザ EMC サイト 27	平成 27 年 11 月	2,000
城南支所案内の改訂	平成 27 年 12 月	2,000
TKF オープンフォーラム各機関の成果事例集	平成 28 年 1 月	300
関東圏と関西圏広域連携による医療機器産業向け支援サービスのご紹介	平成 28 年 1 月	1,000

タイトル	発行年月	部数
都産技研活用事例集	平成 28 年 1 月	5,000
異業種交流グループ合同交流会冊子	平成 28 年 2 月	450
広域首都圏公設試験研究機関航空機産業支援事例のご紹介	平成 28 年 3 月	2,000
ブランド確立実践ワークショップ成果事例集	平成 28 年 3 月	2,000
平成 27 年度 都産技研 MTEP による海外展開事例集	平成 28 年 3 月	1,000

(発行年月順)

8.5.2 年報

前年度に実施した試験・研究・調査の成果や普及・技術移転業務の実績などを公開・報告するために平成 26 年度の年報を発行した。

8.5.3 研究報告

都産技研が取り組んでいる研究を幅広く活用していただくために、研究開発、技術開発の成果をまとめた研究報告第 10 号 (2015) を発行した。論文 14 本、ノート 27 本の他、都産技研外で発表した論文、口頭発表、ポスター発表、総説などのリストも掲載した。

8.5.4 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研の活動を都民に広く理解してもらうための月刊広報誌であり、同時に中小企業への技術普及を目的とした技術情報誌でもある。平成 24 年 10 月号のリニューアル以降も「よりわかりやすく・伝わる広報誌」をコンセプトとして制作している。A4 判、12 ページ、カラー印刷で、毎月約 6,000 部を発行している。配送数は昨年から 304 件増加し、中小企業および各関係機関 2,279 件 (平成 28 年 3 月号) へ送付したほか、各種展示会やイベント、施設見学者等に配布した。また、ホームページには PDF 資料として掲載している。

平成 27 年度は、「重点 4 分野への取り組み」の成果展開の年として、技術分野ごとに成果事例等の特集で紹介したほか、最新の技術情報を掲載する「TIRI NEWS EYE」の新設や職員を紹介する「EXPERTS」の継続など、内容の充実に努めた。

8.6 ホームページ

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。

また、職員採用情報を提供する採用サイト、東京都地域結集型研究開発プログラムのサイトや、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市の公設試験研究機関が共同で運営する首都圏テクノナレッジフリーウェイ（1都3県1市の公設試験研究機関の設備・技術検索ページ）、公立鉦工業試験研究機関長協議会を掲載している。

コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。

ページビュー件数は約 2,539,000 件、アクセスユーザー数は約 241,500 件であった。

東京都立産業技術研究センター	URL: http://www.iri-tokyo.jp/
東京都地域結集型研究開発プログラム	URL: http://create.iri-tokyo.jp/
採用サイト	URL: http://saiyou.iri-tokyo.jp/
首都圏テクノナレッジフリーウェイ	URL: http://tkm.iri-tokyo.jp/
公立鉦工業試験研究機関長協議会	URL: http://info.iri-tokyo.jp/kyogikai/
INNOVESTA!	URL: http://tiri-innovesta.jp/
研究成果発表会	URL: http://www.tosangiken-seika.jp/

8.7 マスコミ報道

平成 27 年度の各種マスコミ報道は以下の通りである。

(1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	4月14日	バンコク支所開所式および報道機関向け見学会の開催
2	4月27日	東京都立産業技術研究センターと泰日経済技術振興協会が協定を締結
3	5月26日	多摩テクノプラザ「子ども科学技術教室」開催 ～夏休みものづくり体験！～
4	6月 8日	JNLA 対応試験を実施した電球型 LED が販売開始されました
5	6月11日	金属粉末 AM（3D プリンター）による技術支援の料金が決定しました
6	6月22日	東京からロボット実用化を推進！「ロボット産業活性化事業」開始
7	7月 2日	バンコクで初めてのセミナーを開催 ―都産技研バンコク支所 開設記念セミナー―
8	7月 2日	計量法校正事業者登録制度（JCSS）の長さ区分においても登録認定
9	7月 6日	東京都ロボット産業活性化事業 共同開発テーマの提案募集説明会を開催
10	7月14日	INNOVESTA! 2015 開催 都産技研 施設公開 イノベスタ（Innovation +Festa）
11	7月16日	平成 27 年度東京都異業種交流グループ発足
12	7月16日	照明試験分野の機器導入で海外展開支援 経済産業省平成 24 年度補正予算を活用した中小企業支援
13	9月 3日	人間の使いやすさを考慮した製品開発支援 「生活空間計測スタジオ」開設
14	10月15日	東京都ロボット産業活性化事業 公募型共同研究開発事業 テーマ決定
15	10月20日	東京都立産業技術研究センターと一般社団法人組込みシステム技術協会が協定を締結
16	11月 5日	東京都立産業技術研究センターと台東区産業振興事業団が協定を締結 ―企業支援・産業振興事業の連携により地域産業を活性化―

No.	発表日	発表内容
17	11月 5日	先端計測加工ラボ 「開設 1 周年 記念講演会」を開催
18	11月11日	TKF オープンフォーラム開催 技術の力で中小企業の未来を拓く、公設試験研究機関の成果事例発表会
19	11月25日	先導型案内ロボットを「2015 国際ロボット展」に出展
20	12月24日	東京都異業種交流グループ第 31 回合同交流会の開催 —知って得する小さい力 小さな技術を大きく実現—
21	1月12日	ロボットによる実証実験を開始 チリンロボットがご利用者を接客
22	2月 9日	職員の懲戒処分について
23	2月18日	広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）が 「全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞」を受賞しました
24	2月18日	書籍「明日使える光計測の基礎」を出版 平成 28 年 3 月 18 日発行
25	2月22日	東京都立産業技術研究センターと泰日工業大学が協定を締結
26	2月22日	東京都立産業技術研究センターと亀有信用金庫が協定を締結
27	3月10日	東京都立産業技術研究センターと信州大学が協定を締結
28	3月24日	開発から安全性評価まで対応するロボット開発拠点 「東京ロボット産業支援プラザ」全面オープン
29	3月24日	中小企業と技術の出会いの場「TIRI クロスミーティング 2016」開催 ～地方独立行政法人化 10 周年記念事業併催～

(2) テレビ・ラジオ報道

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	4月11日	よみうりテレビ	ズームイン!!サタデー	ロボット開発に関する取り組みを紹介
2	9月 5日	東京 MX	東京クラッソ	INNOVESTA!2015 開催告知
3	10月22日	BS 朝日	現代建築物遺産～未来へつ なぐプロフェッショナルた ち～	城南支所先端計測加工ラボの紹介
4	12月 3日	フジテレビ	みんなのニュース	国際ロボット展出展の様子が放映
5	1月13日	東京 MX	TOKYO MX NEWS	ロボット産業活性化事業紹介
6	3月 2日	テレビ東京	すけっち	セーフティグッズフェアの会場として紹介
7	3月14日	日本テレビ	NNN ドキュメント' 16	放射線量に関する取材に協力

(3) 撮影協力

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	4月16日	フジテレビ	奇跡体験!アンビリバボー	万能試験機による強度試験
2	4月22日	NHK 総合	あさイチ	はさみの切れ味に関する実験
3	6月 9日	NHK BS プレミアム	イッピン	大理石と庵治石の硬度比較実験
4	7月25日	MBS	サタデープラス	顔ヨガ体操をした際の温度変化をサーモグラフィーにより撮影
5	8月27日	テレビ東京	和風総本家	毛筆の毛先をマイクロスコープで撮影
6	9月 9日	テレビ東京	ソレダメ! あなたの常識は非常識	ワインのにおい強度測定

No.	報道日	放送局	番組名	内容
7	9月22日	NHK BS プレミアム	イッピン	漆器の木の作り方の違いを比較実験
8	10月 6日	NHK E テレ	カガクノミカタ	アリの電子顕微鏡画像や CT 画像を撮影
9	11月11日	フジテレビ	世界に誇る！ニッポンのカミワザ	研磨職人が磨いたステンレス板の表面観測
10	12月30日	フジテレビ	世界に誇る！ニッポンのカミワザ	研磨職人が磨いたステンレス板の表面観測
11	1月 5日	NHK E テレ	カガクノミカタ	ヤモリの足の電子顕微鏡画像の撮影
12	2月11日	テレビ東京	和風総本家	毛の断面観察
13	3月 8日	NHK BS プレミアム	イッピン	植物の強度試験
14	3月22日	テレビ東京	開運!なんでも鑑定団	久谷焼の菓子鉢の割れ調査

(4) 新聞報道

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
1	4月 1日	日刊工業新聞	おもてなしロボの実力 デモでお披露目 芝浦工大など都産技研で ビッグデータ収集
2	4月 8日	日刊工業新聞	情報フラッシュ 3D プリンター説明
3	4月11日	日本経済新聞	五輪ロボ開発拠点 会場案内や点検・・・ 都産技研が開設 企業を公募
4	4月14日	日本経済新聞	金属 3D プリンターに光 都産技研 中小の技術開発支援 切削より材料ロス削減
5	4月15日	日刊工業新聞	中小連携へ新団体 航空機産業参入支援 サプライチェーン東京圏企業に道筋 都が6月始動
6	4月15日	医理産業新聞	都産技研 異業種交流参加者募集 申込6月5日まで
7	4月20日	日刊工業新聞	首都圏リポート 都の2機関、中小支援で相互補完 技術と経営 職員間に連携
8	4月27日	日刊工業新聞	ロボットテクノロジー 自前で安全性検証 都産技研 ロボ試験設備導入年度内 中小の事業化支援
9	4月28日	日本経済新聞	タイ経済団体と都産技研が連携 日系企業にセミナー
10	4月28日	日刊工業新聞	タイ・日の中小技術向上へ連携 都産技研、TPA と協定
11	4月28日	日刊工業新聞	横顔 東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ所長に就任した澤近洋史 氏
12	5月 1日	医理産業新聞	都産技研 医療機器規制 5月15日 東京
13	5月 4日	日刊工業新聞	都ロボ研究会 中小の事業化促進 都産技研が支援拡充 開発・販路 大企業と連携
14	5月 4日	塗料界新報	木材塗装基礎講座 6月9日に都立産技研本部で
15	5月 6日	秋田さきがけ	大潟村エコノ・ムーブ 燃料電池部門 都産技研3位
16	5月12日	電気新聞	ミニガイド 日本照明委員会、5月27日にセミナーを開催
17	5月25日	日刊工業新聞	TAMA 協会 タイ・バンコクに拠点 東南ア販路開拓代行機能 インフラ開発参入視野
18	5月27日	日経産業新聞	解剖先端拠点芝浦工大ロボティクスコンソーシアム 異分野連携実用性追う
19	5月29日	日刊工業新聞	列島ネットワーク 都と八王子市 中核交流拠点に展示場 多摩地域産業の活性化促進
20	6月 1日	医理産業新聞	MTEP 特許明細書 6月10日 東京
21	6月 2日	東京新聞	情報コーナー 子ども科学技術教室

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
22	6月 3日	オートメーション新聞	ロボットや3Dプリンター 都産技研が24～26日 技術成果発表会開催
23	6月 4日	日刊産業新聞	マグネ協会賞／特別功労賞に金澤武前会長
24	6月10日	日刊工業新聞	都産技研のJNLA対応試験実施－電球形LED発売、日本エクスレディア
25	6月12日	日刊工業新聞	金属3Dプリンター 中小、1時間8167円に 都産技研が使用料決定
26	6月12日	都政新報	世界に勝つものづくりを目指して 都産技研の研究成果発表会
27	6月15日	医理産業新聞	都産技研 技研研究成果発表会 6月24～26日開催
28	6月17日	高齢者住宅新聞	トピックス UF商品 独自に開発「服には人を元気にする力」
29	6月19日	日刊工業新聞	ロボット革命 ベクトル ロボ関連で新会社 案内用ロボなど投入 イベント向け提案
30	6月19日	日刊工業新聞	首都大東京・明治機械と共同 表面温度最大15℃減 久保井塗装 樹脂の放熱性大幅向上
31	6月22日	建設通信新聞	7月10日に提案競技公告／18年10月末完成／文科省のトレセン拡充基本設計
32	6月23日	日刊工業新聞	ロボ産業活性化事業開始 中小支援拠点を整備 都産技研
33	6月25日	日刊工業新聞	都産技研が成果発表“世界に勝つモノづくり”示す あすまで
34	6月30日	日刊工業新聞	介護ロボに補助金も 東京を世界一の都市に 東京都知事 舛添要一氏
35	6月30日	鉄鋼新聞	都立産業技術研究センター／3Dプリンター導入／機器の利用サービス開始
36	7月 3日	日刊工業新聞	都産技研、タイで初開催 現地日系向けに品質講座
37	7月 3日	日刊工業新聞	校正事業者登録「長さ」認定取得
38	7月 6日	塗料界新報	木塗装のヒント満載 木塗研が木材塗装基礎講座
39	7月 6日	PR Times	(地独) 東京都立産業技術研究センターが有する特許技術『漆工芸の新技术サスティーモ』を活用したプロダクトデザインを募集 [株式会社TRINUS]
40	7月 7日	日刊工業新聞	ロボット革命 中小のロボ参入促進 都産技研が共同開発プロ 東西3カ所で説明会
41	7月12日	日本計量新報	計量法トレーサビリティの利用促進 (地独)東京都立産業技術研究センター [長さ][温度][電気(直流・交流)] JCSS 登録番号: 0184
42	7月15日	日刊工業新聞	都産技研本部 9月施設公開 ドローンなど専門家が講演
43	7月15日	医理産業新聞	都産技研 ロボット産業実用化推進に焦点 産業活性化事業を開始
44	7月15日	医理産業新聞	海外規格入門シリーズ 全6コースのDVD製作
45	7月29日	日刊工業新聞	千葉県産技研 年度内に4装置 3Dスキャナー新設 中小向け技術支援手厚く
46	7月31日	日刊工業新聞	高度防災都市テーマにセミ
47	7月31日	日刊工業新聞	東京都の産業施策 2020年東京五輪効果 中小にまで波及 次世代イノベーション創出
48	8月 1日	医理産業新聞	MTEP RoHS指令 8月17日 東京
49	8月 6日	日刊工業新聞	中小支援で交流 駐日タイ大使が舛添都知事訪問
50	8月 6日	新潟日報社	情報ボックス クリップ 創業希望者向け講演会
51	8月11日	日刊工業新聞	RoHS改正、新たに4物質を使用制限 「鉛フリー化」並みの衝撃 「RoHS対応」中小の課題 重要性理解進まず 過度の要求
52	8月15日	医理産業新聞	INNOVESTA(イノベスタ)!2015 9/11 ビジネスデー 9/12 ファミリーデー

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
53	8月20日	日本経済新聞	バンコク出張、自粛も、連続爆発、首都圏企業など警戒
54	8月25日	アジア経済情報誌 The Dairy NNA タイ版	日本流管理の現地化促進を、都産技研がセミナー
55	8月27日	ファスニングジャーナル	都産技研 開発ロボットなどを展示 2015INNOVESTA 開催
56	9月 1日	日刊工業新聞	タイで日系中小交流会 モノづくり活性化促す 都産技研
57	9月 1日	中小企業振興	都産技研が「イノベスタ 2015」開催
58	9月 4日	朝日新聞	INNOVESTA(イノベスタ)
59	9月 5日	日本経済新聞	人体計測のスタジオ、機器 7 台導入、都立産技研、中小の開発支援
60	9月 5日	日刊木材新聞	10 月 6、7 日に講演会と見学会
61	9月 6日	東京新聞	情報コーナー 産業技術研究施設公開「イノベスタ」
62	9月 7日	日刊工業新聞	絹ブリーツ 海外加速 杉本ブリーツ 縫製部門を新設、提案力向上 1 日でサンプル出荷
63	9月 7日	日刊工業新聞	知財活用商品マッチング
64	9月 7日	ファスニングジャーナル	都立産業技術研究センター城南支所を見学 最新テクノロジー学ぶ 締結問題研究会の定例会
65	9月11日	日刊工業新聞	情報フラッシュ 16 日に技術説明会 科学技術振興機構
66	9月11日	日刊工業新聞	お知らせ 日本発明振興協会 第 41 回発明大賞応募締切迫る
67	9月15日	医理産業新聞	MTEP CE マーキング 9 月 24 日 東京 欧州向け輸出入 9 月 29 日 東京
68	9月16日	日刊工業新聞	金属 3D 造形、一貫仕上げ 都産技研 ラボに CNC 旋盤 中小の試作開発 円滑に
69	9月16日	日刊工業新聞	生活用品の使用感評価
70	9月21日	都政新報	片岡理事長の名前掲載
71	9月22日	秋田魁新報	〈全電源喪失の記憶〉証言・1F 汚染 [第 6 章「首都パニック」(2)] 浄 水場でヨウ素基準超え 早く知らせなくては
72	9月27日	下野新聞	全電源喪失の記憶 証言・1F(イチエフ)汚染/第 6 章 首都パニック/2/ 「早く知らせなくては」
73	9月29日	日刊工業新聞	バンコク支所 相談続々 開所 5 カ月、早くも 150 件 日本と結び TV 面 談 輸出や試験場の悩み多く 都産技研、中小に技術支援
74	9月29日	信濃毎日新聞	全電源喪失の記憶 証言・1F(イチエフ)汚染/第 6 章 首都パニック/2/ 「早く知らせなくては」
75	10月 1日	医理産業新聞	都産技研城南支所「施設公開」 10 月 8・9 日に開催
76	10月 1日	中小企業振興	都産技研 恒例の「イノベスタ」開催 ロボット開発支援や 3D ものづく り 技術、設備を公開
77	10月 5日	日刊建設工業新聞	文科省／ナショナルトレセン拡充整備基本設計（東京都北区）／松田平田 設計 JV に
78	10月 7日	鉄鋼新聞	軽金属学会／12 月にシンポジウム／アルミ溶解炉「複合酸化物の生成メ カニズム」
79	10月 7日	建設通信新聞	10 月内に基本計画／産業交流拠点複合施設／旭町・明神町地区まちづく り始動
80	10月 8日	ぐんま経済新聞	CE マーキングがテーマ 東毛産技センターが講習会
81	10月10日	プラスチック産業 新聞	小間出展は 46 社・団体 展示品・技術の概要紹介
82	10月12日	金属産業新聞	金属 3D プリントに注目 都産技研 イノベスタに 2200 人

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
83	10月13日	日刊工業新聞	バンコク支所一頼れる存在に 都産技研／相談 150 件
84	10月14日	日刊工業新聞	FLASH フラッシュ IT 経営と知財テーマに講演
85	10月16日	日刊工業新聞	ロボ公募型共同研究 都産技研が決定
86	10月17日	京都新聞	全電源喪失の記憶 証言・1F(イチエフ)汚染/第6章 首都パニック第2話 基準超え「早く知らせなくては」
87	10月19日	朝日新聞	進学特集 東京五輪：1 五輪、ロボでおもてなし
88	10月21日	日刊工業新聞	企業支援業務 組込みシステム技術協会と連携 都産技研
89	10月22日	長崎新聞	全電源喪失の記憶 証言・1F 汚染 第6章 首都パニック・2/「早く公表しなくては」
90	10月26日	日刊工業新聞	ロボット開発 都産技研とタッグ
91	10月27日	東京読売新聞	セーフティグッズフェア
92	11月 1日	医理産業新聞	都産技研 アジアの規制 11月30日東京
93	11月 6日	日刊工業新聞	台東区産振事業団と包括連携
94	11月10日	日刊工業新聞	「3つのLIFE」シンポ 日本医療研究開発機構(AMED)
95	11月11日	建設通信新聞	約3.1万㎡、18年度着工/合同庁舎と市保健所合築/八王子に産業交流拠点施設
96	11月12日	日刊工業新聞	TKF 事例発表会 来年1月初公開 都産技研で中小の参加募集
97	11月12日	産経新聞	子どもの安全配慮商品 あすから見本市開催
98	11月12日	東京読売新聞	サイエンスアゴラ2015・日本医療研究開発機構セッション
99	11月13日	日刊工業新聞	使いやすいロボットを追及 ※都産技研の名称は出ていませんが、着せ替えロボット写真掲載
100	11月13日	朝日新聞	子どもを守る グッズ一堂に 江東で15日まで
101	11月15日	東京新聞	子どもの安全守る 江東で商品見本市 きょうまで
102	11月15日	東京新聞(山手版)	子どもの安全配慮商品100点を紹介 江東で見本市
103	11月15日	東京新聞(下町版)	子どもの安全配慮商品そろえ見本市 きょうまで江東
104	11月15日	医理産業新聞	都産技研/台東区 地域産業の活性化 11月5日協定を締結
105	11月22日	東奥日報	インフォメーション 来月3日、ものづくり中小企業・小規模事業者施策開発等支援補助金成果事例発表会
106	11月25日	新潟日報	欧州連合への輸出 基準適合表示解説 27日、新潟
107	11月26日	日刊工業新聞	先端型案内ロボットを出展
108	11月29日	毎日新聞	ロボ 多言語でおもてなし 5年後目指し産学が研究
109	11月30日	日刊建設工業新聞	東京都財務局/産業交流拠点・八王子合同庁舎新築基本設計など2件プロポ公告
110	12月 1日	日刊工業新聞	2015 国際ロボット展 出展者ワークショップ一覧
111	12月 1日	プラスチック産業資材新聞	案内ロボ開発を採択 都産技研 ロボ産業活性化事業に
112	12月 1日	プラスチック産業資材新聞	中小企業の技術・製品紹介 産業交流展と新価値創造展
113	12月 2日	日刊工業新聞	都産技研 サービスロボ向け開発 移動台車 量産モデル 骨組み、パイプフレーム採用
114	12月 2日	日刊工業新聞	複数の接客ロボ連携 バイエリアおもてなしロボ研 東京五輪向けシステム目指す

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
115	12月 9日	熊本日日新聞	全電源喪失の記憶ー福島第1原発 証言・1F汚染(2)＝第6章「首都パニック」 浄水場、ヨウ素基準超え [連載] 東京電力福島第1原発事故 東日本大震災 東北・関東大地震 イチエフ汚染
116	12月15日	医理産業新聞	先端計測 12月22日 東京
117	12月16日	日刊工業新聞	観光案内ロボット開発 東京五輪向け 都産技研、中小に技術提供
118	12月24日	日刊工業新聞	全国の中小に五輪効果 優秀技術集め世界に発信 来春ポータル開設
119	1月 1日	プラスチック産業 資材新聞	TKF オープンフォーラム 1月29日に都産技研で参加無料
120	1月 1日	環境新聞	我が社の環境ビジネス戦略 三協興産 代表取締役会長 花澤義和氏
121	1月 5日	日刊工業新聞	三鷹で異業種交流会開催 都産技研が来月25日
122	1月 7日	朝日新聞	都、放射性物質の検査強化 北朝鮮の「水爆実験」受け
123	1月 7日	読売新聞	北核実験 知事「国際社会への冒涇」 都が危機管理対策会議
124	1月 7日	東京新聞	北朝鮮「水爆」 「国際社会への冒とく」 知事、都議会、5区長ら抗議
125	1月12日	日刊工業新聞	3D造形技術の中小企業における活用の実例 試作用途・オーダーメイドで好評
126	1月13日	日刊工業新聞	ロボット革命 キャラクターロボ 都産技研が本部で実証
127	1月13日	東京新聞	施設案内ロボット 産技研が実証実験 きょうから3月末まで
128	1月15日	医理産業新聞	都産技研 CE マーケティング 1月20日 東京 超入門 1月21日東京
129	1月16日	東京新聞	北朝鮮核実験で強化 放射性物質測定 都が通常態勢に
130	1月20日	プラスチック産業 資材新聞	新規のCFRP 製品群もクルマの軽量化技術展で紹介
131	1月27日	日本経済新聞	通信機器のトリマティス 無線部品の開発強化 IoT へ照準 都内に拠点 自社ブランドめざす
132	2月 1日	日刊工業新聞	公設試連携体の成果事例を発表 都産技研
133	2月 1日	プラスチック産業 資材新聞	NEDOの革新CF製法や東レの新型成型材などナノテク展に CFRP 加工品など新義肢性材料展で紹介
134	2月 5日	日刊工業新聞	シンガポール航空産業商談会 都が中小組織 出展 冊子作成市場参入を支援
135	2月 9日	日刊工業新聞	自社製品強化へ積極投資 トリマティス センサー向け 出力制御回路増産
136	2月10日	東京新聞	超過勤務手当の不適正受給で減給 都立産技研が処分
137	2月10日	Paint&Coating Journal	スラッジの固形燃料化に着手 東京工業塗装、都産技研と共同
138	2月15日	医理産業新聞	MTEP RoHS 指令 超入門 2月29日 東京
139	2月16日	日本経済新聞	地域産業支援の各賞発表
140	2月23日	日刊工業新聞	理事長に奥村氏 都立産業技術研究センター
141	2月25日	日本経済新聞	中小企業支援で亀有信金と提携、都産技研
142	2月25日	日刊工業新聞	中小振興で亀有信金と提携
143	2月26日	都政新報	次期理事長に首都大・奥村氏 産技研
144	3月 1日	医理産業新聞	都産技研 ネットワーク会長賞を受賞 MTEP が評価
145	3月 8日	日刊建設工業新聞	東京都財務局／産業交流拠点・八王子合同庁舎新築基本設計(八王子市)／山下建設に
146	3月11日	日刊工業新聞	産学公連携で信州大と協力 都産技研

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
147	3月11日	信濃毎日新聞	信大と都立産業技術研究センター 県内企業支援で連携協定 全学部に交流拡大
148	3月15日	化学工業日報	VOC 分解触媒 酸化物で白金代替 三協興産 酢酸エチルにも効果 早期実用化めざす
149	3月15日	医理産業新聞	都産技研 共同研究のテーマ募集 応募は4月4～12日
150	3月15日	医理産業新聞	泰日工業大学と協定 タイ王国の日系企業と連携
151	3月16日	薬事日報	<企画>キッズデザイン受賞商品体験型見本市で高い関心 小児・育児
152	3月17日	ファスニングジャーナル	産業技術の知識深める 締結問題研究会 定例会開く
153	3月25日	日刊工業新聞	ロボット革命 都産技研が中小技術支援 ロボ実験施設 本格開設 来月20日

(5) 雑誌・広報誌報道

No.	発行日	掲載誌	記事タイトル・内容など
1	4月27日	アジア経済情報誌 The Daily NNA タイ版, NNA (THAILAND) Co., Ltd., 第04982号, pp. 1-2 (2015)	都産技研がバンコク支所開設 日系中小企業を技術面からサポート
2	4月	文京区 中小企業サポートブック 2015, 文京区, p. 30 (2015)	ニーズに即した高品質な技術支援を実施し、都内中小企業の製品・技術の競争力向上をバックアップします
3	5月1日	教育旅行, (公財)日本修学旅行協会, 第63巻, 第5号, pp. 32-23 (2015)	中小企業の技術開発を支援 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
4	5月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業振興公社, No. 438, p. 17 (2015)	関係機関からのお知らせ 都産技研 東京都異業種交流グループ参加者募集
5	5月20日	計測標準と計量管理, (一社)日本計量振興協会, p. 56 (2015)	工業標準化法試験事業者登録制度 (JNLA)
6	6月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 439, p. 10 (2015)	乗り物と技術 新幹線とアルミサッシの共通点?
7	6月20日	きらり・たちかわ, 立川市, Vol. 32, p. 19 (2015)	「子ども科学教室」開催
8	6月	電機, (一社)日本電機工業会, No. 777, p. 79 (2015)	東京都立産業技術研究センター バンコク支所開所式出席報告 ～ASEAN 地域での支援活動協会に向け、連携を確認～
9	6月	Tokyo Tech Book, 東京都技術会議, pp. 112-113 (2015)	「VOC 排出削減による大気汚染防止」
10	6月	Tokyo Tech Book, 東京都技術会議, pp. 116-117 (2015)	「環境低負荷型クエン酸ニッケルめっきの開発」
11	7月20日	発明とアイデアの文化誌, 東京堂出版, p. 201 (2015)	「漆製品」「漆の木」「樹液採取の跡」写真提供
12	7月25日	TOKYO SEASIDE STORY, 産経新聞社, 233号, p. 9 (2015)	INNOVESTA!2015(一般公開) ファミリーデー
13	8月1日	塗装技術, (株)理工出版社, Vol. 54, No. 9, p. 32 (2015)	「平成27年度 研究成果発表会」を開催 (地独)東京都立産業技術研究センター
14	8月1日	広報東京都, 東京都, 第840号, p. 6 (2015)	ものづくり技術や科学の体感イベント INNOVESTA!2015
15	8月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業振興公社, No. 441, p. 16 (2015)	東京都立産業技術研究センター INNOVESTA!2015
16	8月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業振興公社, No. 441, p. 19 (2015)	「都市課題解決のための技術戦略プログラム」普及セミナー(高度な防災都市編)
17	8月20日	まちみらいニュース, (公財), No. 125, p. 1 (2015)	INNOVESTA(イノベスタ)2015 開催
18	8月21日	こうとう区報, 江東区, No. 1861, p. 6 (2015)	官公署 都産技研 イノベスタ

No.	発行日	掲載誌	記事タイトル・内容など
19	8月25日	アジア経済情報誌 The Daily NNA タイ版, NNA (THAILAND) Co., Ltd., 第 05062 号, p. 3 (2015)	日本流管理の現地化促進を、都産技研がセミナー
20	9月 1日	教育旅行, (公財)日本修学旅行協会, 第 63 巻, 第 9 号, pp. 22-23 (2015)	中小企業の製品開発をサポートする 公設試験研究機 関を知ろう (地独) 東京都立産業技術研究センター
21	9月 1日	kokoro ニュース, (株)ココロ, No. 79, p. 2 (2015)	都産技研 研究成果発表会でのチリンロボット
22	9月 9日	街の便利帳[総武線沿線版], (株)ク リエイト, 9 月号, p. 1 (2015)	江東区 イベント情報 9/12 (土) INNOVESTA (イノベ スタ) ! 2015~ファミリーデー~
23	9月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業 振興公社, No. 442, p. 9 (2015)	乗り物と技術 「揺れる機械」と「揺らす機械」
24	9月15日	Yano E Plus, (株)矢野経済研究所, No. 90, pp. 69-70 (2015)	5-5、地方行政法人東京都立産業技術研究センター
25	9月20日	きらり・たちかわ, 立川市, Vol. 33, p. 19 (2015)	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」 多摩 テクノプラザ「多摩テクノフェア」
26	9月26日	リビング多摩, サンケイリビング新 聞社, p. 4 (2015)	10/23(金)・24(土)は「ウェルカムデー」へ “来て、 見て、触れて、わくわく体験” を! 産業サポートスクエ ア・TAMA
27	10月 1日	公社ニュースときめき, (公財)足立 区 勤労福祉サービスセンター, Vol. 451, p. 2 (2015)	産学連携を支援する補助金のご案内
28	10月 1日	広報東京都, 東京都, 第 842 号, p. 6 (2015)	産業サポートスクエア・TAMA 「ウェルカムデー」
29	10月25日	TOKYO SEASIDE STORY, 産経新聞社, 236 号, p. 11 (2015)	サイエンスアゴラ 2015 (10 周年記念)
30	11月 1日	工団連, (一社)東京工業団体連合会, 第 562 号, p. 2 (2016)	第 18 回産業交流展 2015
31	11月 1日	工団連, (一社)東京工業団体連合会, 第 562 号, p. 2 (2016)	第 17 回産業ときめきフェア in EDOGAWA
32	11月20日	塗布と塗膜, 塗料報知新聞社, Vol. 4, No. 4, p. 25-27 (2015)	EU 圏内: 建材への 6 価クロム使用はどう規制されるの か? 最新事情を探る
33	12月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業 振興公社, No. 445, p. 8 (2015)	乗り物と技術 暗闇でも光る目印「蓄光式誘導標識」
34	12月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業 振興公社, No. 445, p. 10 (2015)	ライフサポートフェア 2016
35	12月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業 振興公社, No. 445, p. 11 (2015)	広域多摩イノベーションプラットフォーム 平成 27 年 度 新技術創出交流会を開催しました
36	1月 1日	工団連, (一社)東京工業団体連合会, 第 563 号, p. 1 (2016)	東京の産業を活性化へ 東京都産業労働局長 山本 隆
37	1月 1日	おおた区議会だより, 大田区議会, No. 217, p. 2 (2016)	【※写真掲載】大田区産業プラザ Pi0 内 都産技研 城南 支所 先端計測加工ラボ新設
38	1月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業 振興公社, No. 446, p. 19 (2016)	TKF オープンフォーラム
39	1月	Rikejo(リケジョ), (株)講談社, Vol. 37, p. 12 (2016)	【※繊維素材の写真提供 全 7 点】繊維が編み出す最先 端の服
40	2月 1日	U-MACHINE, U-MACHINE International Co., Ltd., Vol. 146, p. 56 (2016)	東京都中小企業振興公社タイ事務所がオープン
41	3月 1日	U-MACHINE, U-MACHINE International Co., Ltd., Vol. 147, p. 57 (2016)	都産技研バンコク支所が開設 1 周年記念セミナー
42	3月10日	アーガス 21, (公財)東京都中小企業 振興公社, No. 448, p. 7 (2016)	乗り物と技術 電気自動車のデザイン開発
43	3月20日	漆学 植生 文化から有機化学まで, 明治大学出版, pp. 164-165 (2016)	あとがきに都産技研 神谷嘉美研究員の名前掲載
44	3月21日	こうとう区報, 江東区, No. 1886, p. 4 (2016)	区内中小企業・事業所をサポート 創業支援、展示会へ の出展経費など、経営に関する各種補助事業を実施 都 立産業技術研究センター利用料

(6) ウェブ報道

No.	日付	サイト名	見出し
1	4月 1日	日刊工業新聞	おもてなしロボの実力、デモでお披露目ー芝浦工大など、都産技研で
2	4月 9日	J-Net21	平成 27 年度東京都異業種交流グループ参加募集
3	4月11日	goo ニュース 他 2 件	会場案内や点検、五輪ロボの開発支援拠点
4	4月15日	J-Net21	東京都、航空機産業への新規参入支援で新団体ー東京圏の中小連携へ道筋
5	4月16日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター（東京都立産業技術研究センター）
6	4月20日	ケンプラッツ	【移転】都の試験研究機関がテレコムセンタービルに
7	4月27日	日経テクノロジーオンライン 他 3 件	金属 3D プリンターで中小企業の航空宇宙への参入促す
8	4月27日	J-Net21	都産技研、中小の事業化支援へロボ試験設備導入ー自前で安全性検証
9	4月27日	日刊工業新聞 他 1 件	都産技研、年度内にロボ試験設備導入ー自前で安全性検証、中小の事業化支援
10	4月28日	J-Net21	平成 27 年度ブランド確立実践ワークショップ「チラシ・DM・WEB 講座」
11	4月28日	J-Net21	平成 27 年度ブランド確立実践ワークショップ「企画基礎講座」
12	4月28日	J-Net21	平成 27 年度ブランド確立実践ワークショップ「商品企画基礎講座」
13	4月28日	J-Net21	平成 27 年度ブランド確立実践ワークショップ「販売促進企画講座」
14	5月 4日	ロボナブル	都ロボ研究会、中小の事業化推進、開発・販路で大企業と連携
15	5月 4日	日刊工業新聞	東京都ロボ研究会、大企業参加で開発・販路面で中小の事業化進むー都産技研が支援拡充
16	5月 6日	ニュースイッチ 他 1 件	ロボット産業の裾野は中小企業にも広がるか！？東京都が五輪に向け後押し
17	5月 7日	(国研)科学技術振興機構	All Analytics Championship ～データサイエンス・アドベンチャー杯～専門家を探せ！ー社内に眠る人材を活用しようー 都産技研チーム（東京都立産業技術研究センター開発本部） 大平倫宏氏
18	5月11日	ゴム報知新聞	十川ゴムのゴムシート事業、14 年度は前年度並みを確保
19	5月13日	ファスニングジャーナル	締結問題研究会 破断面概論を学ぶ
20	5月14日	J-Net21	MTEP V-learning CE マーケティング・海外規格入門シリーズ
21	5月14日	J-Net21	多摩テクノプラザ 製品開発支援ラボ 入居者募集
22	5月14日	J-Net21	都産技研のご利用方法
23	5月14日	J-Net21	平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会
24	5月17日	ニュースイッチ	授乳服やブラジャーのイメージを変えたモーハウスの子育て共感力
25	5月18日	J-Net21	【知的資産経営支援】知的資産経営報告書を更新しました
26	5月18日	J-Net21	セミナー「CE マーケティング入門シリーズ CE マーケティング入門+改正 RoHS 指令入門（第 1 回）」
27	5月18日	J-Net21	セミナー「カラートレンド情報と新アパレル 3D システムの紹介」
28	5月18日	J-Net21	セミナー「ものづくりの現場でプロダクトデザイナーとどのように新商品開発を進めるか」
29	5月18日	J-Net21	環境負荷低減と製造コスト低減を同時に目指すマテリアルフローコスト会計（MFCA）講座

No.	日付	サイト名	見出し
30	5月18日	J-Net21	技術者のための知財セミナー 特許明細書の書き方 ～海外展開のその前に～
31	5月18日	J-Net21	講習会「現場で役立つ 人間中心のプロジェクトマネジメント」
32	5月18日	J-Net21	墨田支所 生活技術開発セクター「ニット製造機器」の多摩テクノプラザ移設のお知らせ
33	5月21日	Jpubb	「伝統工芸品の商品開発・普及促進支援事業」募集開始
34	5月24日	mst	東京理科大学、トライボロジーセンターを開設
35	5月25日	J-Net21	TAMA 協会、タイ・バンコクに拠点ー東南アジアでの販路開拓支援を強化
36	5月25日	J-Net21	都内における大気浮遊塵中の核反応生成物の測定結果について (Measurement of nuclear fission products of dust particles in the air in Tokyo)
37	5月26日	J-Net21	MTEP V-learning CE マーケティング・海外規格入門シリーズ (学習用 DVD)
38	5月26日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門
39	5月26日	J-Net21	セミナー：新ケアラベル (JIS L 0001) の内容と企業における表示対応について
40	5月27日	YOMIURI ONLINE	「10 年探し続けた」…元乳がん患者の一言から生まれたブラ
41	5月27日	マイナビニュース 他 1 件	3D プリンタを学ぶ連続セミナーから、CNC の使い方を一から学べるワークショップまで (5/27～開催のイベント)
42	5月28日	newsclip. be	東京都立産業技術研究センターバンコク支所 (TIRI) TIRI は公的技術支援機関、日系企業の皆様の技術課題の解決を図ります。
43	5月29日	EE Times Japan	IEEE802.11ad の信号解析を従来比 1/10 のコストで構築可能な評価システム (1/2)
44	5月29日	日刊工業新聞	東京都と八王子市、中核交流拠点に展示場を新設ー2500 平方メートル規模
45	6月 4日	ValuePress!	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！注目分野である「ロボット技術開発」や「金属粉末 AM (3D プリンター)」の特別講演なども
46	6月 4日	AEROPRES	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会～世界に勝つものづくりを目指して～』を開催！
47	6月 4日	N+ News Release 他 2 件	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！ロボットや金属粉末 AM (3D プリンター) などをテーマに特別講演も
48	6月 4日	イノベーションズアイ	6/24～26『都産技研 研究成果発表会』を開催！ロボットや金属 3D プリンタなどをテーマに講演も
49	6月 4日	オープンプレス	6/24～26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！「ロボット技術開発」や「金属粉末 AM (3D プリンター)」の講演なども
50	6月 4日	REGNAS/レグナス	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！
51	6月 4日	REGNAS	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！「ロボット技術開発」や「金属粉末 AM (3D プリンター)」、「中小企業の海外展開支援」などをテーマに講演やパネルディスカッションも
52	6月 4日	エヌプラス	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！ロボットや金属粉末 AM (3D プリンター) などをテーマに特別講演も
53	6月 4日	プレスリリース ゼロ	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会～世界に勝つものづくりを目指して～』を開催！注目分野である「ロボット技術開発」や「金属粉末 AM (3D プリンター)」、「中小企業の海外展開支援」などをテーマに、特別講演やパネルディスカッションも

No.	日付	サイト名	見出し
54	6月 4日	イノベーションズアイ	6/24～26『都産技研 研究成果発表会』を開催！ロボットや金属 3D プリンタなどをテーマに講演も
55	6月 4日	OpenPress	6/24～26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！「ロボット技術開発」や「金属粉末 AM (3D プリンター)」の講演なども
56	6月 4日	newzine.net	6/24・25・26『平成 27 年度 都産技研 研究成果発表会』を開催！ロボットや金属粉末 AM (3D プリンタ) がテーマの特別講演も
57	6月 5日	Jpubb	「NEDO 特別講座シンポジウム(ロボット革命の目指すものと RT ミドルウェアによる地方からの実現)」の開催
58	6月 5日	J-Net21	NEDO 特別講座シンポジウム (ロボット革命の目指すものと RT ミドルウェアによる地方からの実現)
59	6月 6日	日経テクノロジーオンライン	スポーツ用義足の進化の軌跡
60	6月 8日	NHK オンライン	「新銀行東京」経営統合へ 交渉のカギは？
61	6月10日	Jpubb	(情報更新)「NEDO 特別講座シンポジウム (ロボット革命の目指すものと RT ミドルウェアによる地方からの実現)」の開催
62	6月10日	マイナビニュース 他 1 件	関西のメイカーズが集結するイベントから、女子中高生向け理系の魅力体験イベントまで (6/12～開催のイベント)
63	6月10日	YOMIURI ONLINE	補整じゃない、ありのままを包む「モープラしゃんと」
64	6月11日	公明新聞	五輪契機にブランド力高める 東京都
65	6月12日	WI2 Web Intelligence and Interaction	第 5 回 Web インテリジェンスとインタラクション研究会
66	6月12日	J-Net21	企業向けセミナー「知って得する人材育成のはなし」
67	6月12日	J-Net21	新着図書 (企画展示) のお知らせ
68	6月12日	日刊工業新聞 他 1 件	都立産業技術研究センター、金属 3D プリンターの使用料決定ー中小は 1 時間 8617 円
69	6月13日	Yahoo!ニュース 他 7 件	新銀行東京を引き取る東京 TY の思惑とは？
70	6月17日	ファスニングジャーナル	東京都立産業技術研究センター 研究成果発表会 6 月 24 日～
71	6月19日	日刊工業新聞	ベクトル、7 月から案内用ロボ「マスカン」など一般向け提供開始ー新会社立ち上げ
72	6月19日	日刊工業新聞	表面温度 15℃減ー久保井塗装、樹脂の放熱性が大幅向上する立体塗装の量産化技術確立
73	6月22日	ゴムタイムス WEB	昭和ゴム 「はた楽マット」拡販に注力
74	6月23日	HANJO HANJO	ロボット導入を検討する中小企業の支援事業、新たなものづくりや新サービス開発を目指す
75	6月23日	日刊工業新聞 他 1 件	東京都立産業技術研究センター、ロボ産業活性化事業を開始ー中小支援拠点を整備
76	6月24日	MONOist 他 2 件	中小企業のロボット参入を支援、都が試作や試験を含めた実用化支援
77	6月24日	Yahoo!ニュース	中小企業のロボット参入を都が支援
78	6月26日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門
79	6月26日	J-Net21	セミナー：3D プリンタが生み出すものづくり製造業の革新
80	6月26日	J-Net21	セミナー：CE マーケティング入門シリーズ CE マーケティング入門＋改正 RoHS 指令入門 (第 2 回)
81	6月26日	J-Net21	セミナー：プラスチック成形加工・金型加工技術者のためのすぐに使えるシミュレーション技術
82	6月26日	J-Net21	セミナー：海外規格精通シリーズ 電気・電子製品の中国規格と中国版 RoHS

No.	日付	サイト名	見出し
83	6月26日	J-Net21	セミナー：海外規格精通シリーズ RoHS 指令徹底解説～基礎から実践まで～
84	6月26日	J-Net21	セミナー：現場で役立つ ものづくりに必要な感性評価入門
85	6月26日	J-Net21	セミナー：初心者のためのやさしい破断面の見方
86	6月26日	J-Net21	セミナー：素材・製品における色の基礎～素材・製品の特性と色の基礎知識～
87	6月30日	日刊工業新聞	「東京都が介護ロボに補助金を出すことを考えてもいい」－舩添知事、産業施策で見解
88	7月 1日	livedoor ニュース 他 8 件	地域に貢献する“おもてなしロボット”をベイエリアの研究機関と合同で開発～オリンピックを見据え、道案内からビッグデータの収集・活用まで～芝浦工業大学
89	7月 1日	Jpubb	NEDO 特別講座シンポジウム 「ロボット革命の目指すものと RT ミドルウェアによる地方からの実現」 にて講演
90	7月 2日	eduon!	地域に貢献する“おもてなしロボット”をベイエリアの研究機関と合同で開発～オリンピックを見据え、道案内からビッグデータの収集・活用まで～芝浦工業大学
91	7月 3日	J-Net21	分光透過率・反射率測定 サービス再開のお知らせ
92	7月 6日	PR Times	（地独）東京都立産業技術研究センターが有する特許技術『漆工芸の新技術サスティーモ』を活用したプロダクトデザインを募集 [株式会社 TRINUS]
93	7月 6日	J-Net21	平成 27 年度研究成果発表会 要旨集（本部 6 月 24～26 日開催）を掲載しました
94	7月 7日	J-Net21	ロボット産業活性化事業 提案募集説明会【多摩】
95	7月 7日	J-Net21	ロボット産業活性化事業 提案募集説明会【大阪】
96	7月 7日	J-Net21	ロボット産業活性化事業 提案募集説明会【東京】
97	7月 7日	日刊工業新聞 他 1 件	東京都立産業技術研究センター、中小のロボ参入促進 - 3 カ所で共同開発プロの説明会
98	7月 7日	知財キャリアセンター	日刊知財 7 月 7 日朝刊
99	7月 9日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジュール
100	7月 9日	J-Net21	本部 電波暗室メンテナンスによる依頼試験、機器利用一時停止のお知らせ
101	7月 9日	Jpubb	「都市課題解決のための技術戦略」セミナーを開催
102	7月10日	J-Net21	「都市課題解決のための技術戦略プログラム」普及セミナー
103	7月10日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第 2 回）
104	7月10日	J-Net21	セミナー：CE マーキング実践編 EMC 指令
105	7月10日	J-Net21	セミナー：CE マーキング実践編 IEC/ISO 82079-1 取扱説明書作成の要点
106	7月10日	J-Net21	バンコク支所開設記念セミナー（第 1 弾）：タイでの日本流品質管理の展開（第 1 回）
107	7月10日	J-Net21	バンコク支所開設記念セミナー（第 1 弾）：タイでの日本流品質管理の展開（第 2 回）
108	7月10日	J-Net21	バンコク支所開設記念セミナー（第 1 弾）：タイでの日本流品質管理の展開（第 3 回）
109	7月10日	J-Net21	冊子「LED 照明器具の設計・利用ガイド」発行
110	7月10日	J-Net21	電気安全・開発支援セミナー：製品安全における電気安全の考え方と進め方（中級編）
111	7月13日	建設通信新聞	基本設計者を 10 月特定／2.7 万㎡ 18 年 10 月完成／文科省の NTC 拡充整備

No.	日付	サイト名	見出し
112	7月 6日	ロボナブル	都産技研が共同開発プロ、東京と大阪で説明会
113	7月10日	CoatingMedia Online	過去最高の 130 名が受講 木塗研、木材塗装基礎講座を開催
114	7月21日	J-Net21	製品開発支援ラボ 入居者募集
115	7月21日	J-Net21	セミナー：航空機・医工連携産業における計測・加工・評価の最前線（全3回）―第1回 三次元計測技術の最前線
116	7月21日	J-Net21	照明試験分野の機器導入で海外展開支援 経済産業省平成 24 年度補正予算を活用した中小企業支援（PDF ファイル）
117	7月22日	ファスニングジャーナル	締結問題研究会 特別講演で海外規制等を解説
118	7月23日	とちょう-i	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会 「多言語対応・ICT 化推進フォーラム」開催
119	7月23日	Yahoo!ニュース 他 13 件	【事前防災・減災対策推進展 15】日用品に QR コードを付け、災害時情報支援…都産技研
120	7月23日	mediajam	締結問題研究会 特別講演で海外規制等を解説
121	7月24日	Yahoo!ニュース 他 11 件	スマホやTシャツなどの身近なアイテムを活用した災害時情報支援システム
122	7月24日	朝日新聞デジタル 他 9 件	INNOVESTA（イノベスタ）！ 2015 ものづくりの技術や科学が体感できる
123	7月25日	Antenna 他 2 件	「漆工芸の新技術サスティモ」を活用したプロダクトデザインを募集
124	7月25日	MSN ニュース	スマホやTシャツなどの身近なアイテムを活用した災害時情報支援システム
125	7月27日	J-Net21	技術セミナー：品質工学による製品開発期間の短縮
126	7月28日	ReseMom	首都大、日用品活用の災害時情報支援システムをデモ展示
127	7月29日	J-Net21 他 1 件	企業と利用者が共同開発するロボット活用事業を資金支援します
128	7月31日	キッズイベント	INNOVESTA! (イノベスタ)2015 (東京都立産業技術研究センター)
129	7月31日	Digital PR Platform 他 1 件	2020 年東京五輪に向けた大学の取り組み
130	7月31日	J-Net21	セミナー：騒音防止技術 ―遮音・吸音・防振・制振―
131	7月31日	Antenna 他 1 件	採用されるとロイヤリティを得られる「漆工芸の新技術サスティモ」を活用したプロダクトデザイン募集」
132	8月 3日	イプロス製造業	INNOVESTA! (イノベスタ) 2015 9月11日(金)～12日(土)開催！
133	8月 3日	J-Net21 他 1 件	平成 27 年度（第 2 回）共同研究募集
134	8月 5日	(公財)板橋区産業振興公社	イノベスタ 2015 9月11日・12日 <都立産業技術研究センター>
135	8月 5日	(公財)東京都中小企業振興公社	都産技研本部 製品開発支援ラボ入居者募集(10 月入居者 6 室)
136	8月 6日	江東区おでかけ情報局	INNOVESTA! (イノベスタ) 2015
137	8月10日	J-Net21	科学技術振興機構 (JST)、首都圏産業活性化協会、東京都立産業技術研究センター
138	8月11日	J-Net21	INNOVESTA ! 2015 MTEP 海外展開特別セミナー
139	8月14日	J-Net21	【多摩テクノプラザ】電波暗室等メンテナンスによる依頼試験、機器利用一時停止のお知らせ
140	8月14日	J-Net21	技術セミナー：航空機・医工連携産業における計測・加工・評価の最前線（全3回）―第2回 試作加工技術の最前線
141	8月14日	J-Net21	技術セミナー：航空機・医工連携産業における計測・加工・評価の最前線（全3回）―第3回 金属製品の化学特性評価の最前線

No.	日付	サイト名	見出し
142	8月15日	ニュースイッチ	「サイレントチェンジ」にご用心！改正RoHSで起こるホラーのような話_2
143	8月17日	goo ニュース 他 13 件	東京都立産業技術研究センターの高品質な技術を体験できる「INNOVESTA!2015」
144	8月18日	J-Net21	【研究開発】平成 27 年度研究課題外部評価結果を掲載しました
145	8月20日	fabcross	初心者でも参加できるモデリングワークショップから、札幌のファブ施設オープニングイベントまで(8月22日～のイベント)
146	8月25日	NNA	日本流管理の現地化促進を、都産技研がセミナー
147	8月26日	J-Net21	MTEP セミナー：欧州向け製品輸出入門シリーズ CE マーキング入門＋改正 RoHS 指令入門（第3回）
148	8月26日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門
149	8月26日	J-Net21	若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第1回）金属材料と加工技術の基礎編
150	8月26日	(公財)東京都中小企業振興公社	都立産業技術研究センター本部「INNOVESTA！2015」開催
151	8月27日	J-Net21	技術セミナー：機器開発で押さえておきたい熱設計のポイント
152	8月30日	AEROPRES 他 5 件	都産技研が、ものづくりの技術や科学が体感できる《無料》イベント「INNOVESTA!（イノベスタ）2015」を9月11日・12日に開催！
153	8月31日	Jpubb	ひろしま先進ものづくり研究会
154	8月31日	J-Net21	若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第2回）鋳造・ダイカストと切削加工編
155	8月31日	Jpubb	知的財産活用商品開発マッチング会を開催
156	9月 1日	J-Net21	知的財産活用商品開発マッチング会
157	9月 1日	J-Net21	都産技研、タイで日系中小交流会ーモノづくり活性化促す
158	9月 1日	プレスリリース ゼロ	都産技研が、ものづくりの技術や科学が体感できる《無料》イベント「INNOVESTA!（イノベスタ）2015」を9月11日・12日に開催！
159	9月 3日	サイエンスアゴラ	サイエンスアゴラ 2015（10周年記念年次総会）の開催にあたって
160	9月 3日	イノベーションズアイ	9/11・12 都産技研イベント「INNOVESTA!（イノベスタ）2015」《無料》開催！
161	9月 3日	日経バイオテック ONLINE	国立研究開発法人 産業技術総合研究所、海水の pH 測定法の国際規格 ISO18191 が発行
162	9月 5日	街の便利帳	INNOVESTA(イノベスタ)!2015 ～ファミリーデー～
163	9月 4日	朝日マリオン・コム	INNOVESTA（イノベスタ）
164	9月 4日	エヌプラス	都産技研が、ものづくりの技術や科学が体感できる《無料》イベント「INNOVESTA!（イノベスタ）2015」を9月11日・12日に開催！
165	9月 9日	J-Net21	【生活空間スタジオ オープン記念セミナー】ものづくりに活かす人間計測
166	9月 9日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第3回）
167	9月 9日	J-Net21	セミナー：クリエイティブ産業のためのデザイン情報（後期）カラートレンド情報と最新型 3D ボディスキャナーの活用
168	9月 9日	J-Net21	セミナー：海外規格精通シリーズ北米規格（UL/CSA、FCC）
169	9月 9日	J-Net21	レンズ開発セミナー～理論設計と生産現場のギャップを埋めるために～

No.	日付	サイト名	見出し
170	9月 9日	J-Net21	依頼試験一覧（料金表）
171	9月 9日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジュール
172	9月 9日	J-Net21	若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第3回）塑性・プレス加工と潤滑技術編
173	9月10日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター城南支所「施設公開」
174	9月10日	Jpubb	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」を開催
175	9月30日	東京都	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」開催 来て、見て、触れて、わくわく体験！！
176	9月12日	@engineer	10/20【セミナー】エンジニアリング現場における静電気対策技術
177	9月14日	イプロス製造業	最新機器を紹介！東京都立産業技術研究センター城南支所施設公開
178	9月14日	金属産業新聞社	締結問題研究会、城南支所へ「遠足」
179	9月15日	J-Net21	多摩テクノフェア―産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー―
180	9月16日	J-Net21	都産技研、ラボに CNC 旋盤―金属 3D プリンター活用した中小の試作開発を円滑に
181	9月16日	Jpubb	都立産業技術研究センター 26 年度業務実績評価結果
182	9月17日	J-Net21	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 平成26年度業務実績評価結果
183	9月17日	Jpubb	セーフティグッズフェアを開催
184	9月18日	J-Net21	MTEP 3 周年記念事業 世界に勝つものづくりシンポジウム
185	9月18日	J-Net21 他 1 件	製品開発支援ラボ 入居者募集
186	9月18日	@engineer	MTEP 3 周年記念事業 世界に勝つものづくりシンポジウム
187	9月24日	J-Net21	セミナー：プラスチック材料の基礎 ―合成から強度特性まで―
188	9月24日	J-Net21	セミナー：若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第4回）溶接と粉末冶金の基礎と応用編
189	9月24日	J-Net21	セミナー：若手技術者のための金属加工技術シリーズ（第5回）金属熱処理とその観察分析編
190	9月24日	リビング web	【体験】10/23(金)・24(土)は「ウェルカムデー」へ。来て、見て、触れて、わくわく体験！
191	9月25日	Jpubb	株式会社東京 TY フィナンシャルグループと株式会社新銀行東京の経営統合（株式交換）に関する最終合意について
192	9月28日	J-Net21	【多摩テクノプラザ】機器故障による試験機器の一時停止のお知らせ
193	9月28日	日刊工業新聞 他 2 件	都産技研、金属 3D プリンター導入から2カ月―10 社が試作、少量生産に強み
194	9月28日	J-Net21	利用機器一覧（利用料金）
195	9月29日	ニュースイッチ	金属 3D プリンターは中小の切り札となるか―利点、欠点を見極めろ
196	9月29日	J-Net21	信頼性・安全技術研究会 一般公開
197	9月30日	Jpubb	サイエンスアゴラ 2015 10 周年記念年次総会の開催について
198	9月30日	おおた研究・開発フェア	おおた研究・開発フェア「さあ、大田区でさがそう 未来の技術！」～同時開催 東京都立産業技術研究センター城南支所 施設公開～
199	10月 1日	リビング Web	【体験】10/23（金）・24（土）は「ウェルカムデー」へ。来て、見て、触れて、わくわく体験！

No.	日付	サイト名	見出し
200	10月 2日	ExpoTODAY	江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2015
201	10月 2日	東京信用保証協会	江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2015
202	10月 2日	J-Net21	【墨田支所生活技術開発セクター】機器故障による機器利用停止のお知らせ
203	10月 5日	産業フェア	第 31 回 葛飾区産業フェア ※城東支所施設公開
204	10月 5日	東京国際科学フェスティバル	多摩テクノフェア ビジネスデー：10 月 23 日 ファミリーデー：10 月 24 日
205	10月 5日	むさし府中商工会議所	ふちゅうテクノフェア
206	10月 5日	産業交流展	産業交流展 2015
207	10月 5日	ケミカルエンターテインメント	10/24 東京都で、どっちのエネルギーショー！ 多摩テクノフェア産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー
208	10月 5日	いたばし産業見本市	いたばし産業見本市 製造と加工技術展 11/12(木)・13 日(金) 10:00～18:00 入場無料
209	10月 5日	ET2015/IoT Technology 2015	ET 2015 組込み総合技術展 Embedded Technology 2015
210	10月 5日	江戸川区	第 17 回 産業ときめきフェア in EDOGAWA
211	10月 5日	建設通信新聞	文科省の NTC 拡充整備基本設計／松田平田・教育施設 JV に
212	10月 7日	建設通信新聞	10 月内に基本計画／産業交流拠点複合施設／旭町・明神町地区まちづくり始動
213	10月13日	J-Net21	【重点 4 分野技術】EMC・半導体フォーラム
214	10月13日	J-Net21	MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門
215	10月13日	J-Net21	セミナー：金属製品の防錆対策
216	10月13日	J-Net21	現場で役立つ CFRP 入門セミナー
217	10月14日	@engineer	【セミナー 12/11】金属材料の破壊・破断面の見方と長寿命化技術
218	10月20日	@Press	「第 17 回産業ときめきフェア in EDOGAWA」11 月 20 日・21 日「タワーホール船堀」(東京都江戸川区)にて開催
219	10月21日	CBCNET	「感触」をテーマにした展覧会「LINK OF LIFE さわる。ふれる。美の大実験室 展」10 月 23 日より資生堂銀座ビル 花椿ホールにて開催
220	10月21日	J-Net21	セミナー：CE マーケティング実践編 RoHS 指令が求める技術文書作成方法
221	10月21日	J-Net21	セミナー：アジアの医療機器規制～中国、香港、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ～
222	10月21日	共同通信 PR ワイヤー	産業技術大学院大学 創立 10 周年記念シンポジウム ～AIIT、未来への挑戦(チャレンジ)～を開催します。
223	10月22日	ケアマネドットコム	介護支援見守りロボットなどの研究開発支援 都産技研
224	10月23日	Yahoo!ニュース 他 15 件	ノーベル科学者講演に面白実験も！お台場の科学イベント
225	10月23日	PR Times	ノーベル賞科学者講演から面白科学実験の体験も！無料参加の日本最大級科学フォーラムがお台場で開催!!
226	10月26日	J-Net21	【バンコク支所開設記念セミナー(第 2 弾)】タイでの日本流労働・製品安全の展開
227	10月26日	J-Net21	セミナー：「Additive Manufacturing (AM: 3D プリンター) が築く新たなものづくり」の最新動向とビジネス展開
228	10月27日	東京くらし WEB	セーフティ グッズ フェア with サイエンスアゴラ 2015 ～子供の安全に配慮した商品見本市を開催します！～
229	10月30日	PR Times	『第 19 回いたばし産業見本市 ～製造と加工技術展～』開催

No.	日付	サイト名	見出し
230	11月 2日	My Cloud トピックス 他 1 件	生命・生活・人生—3つの“LIFE”考えるイベント開催
231	11月 6日	apital	「生命・生活・人生を考える」シンポジウム（11月、東京）のお知らせ
232	11月 6日	J-Net21	【城南支所】機器メンテナンスによる依頼試験、機器利用一時停止のお知らせ
233	11月 6日	J-Net21	【本部 無料送迎バス】11月14日（土）・15日（日）サイエンスアゴラ 2015 開催に併せ、特別運行します。
234	11月 6日	J-Net21	【本部】JCSS 校正（直流抵抗器、熱電対）一時停止のお知らせ
235	11月 6日	J-Net21	セミナー：アジアの製品安全認証制度・化学物質規制～インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナム～
236	11月 6日	J-Net21	セミナー：海外ビジネスのための知財戦略
237	11月 6日	J-Net21	新着図書（企画展示）のお知らせ
238	11月 6日	J-Net21	先端計測加工ラボ 1 周年記念講演会
239	11月 6日	J-Net21	墨田支所 生活技術開発セクター 機器利用 機器停止情報
240	11月 6日	J-Net21	利用機器一覧（利用料金）を更新しました
241	11月 9日	Yahoo!ニュース 他 15 件	お台場の科学イベントで大助・花子が“生”と医療を語る
242	11月10日	Jpubb	東京都中小企業振興公社タイ事務所を開設
243	11月10日	東京都	東京都中小企業振興公社タイ事務所を開設 中小企業の海外展開を現地でサポート
244	11月11日	J-Net21	【TKF】オープンフォーラム
245	11月11日	J-Net21	【重点 4 分野技術フォーラム】環境・省エネルギー
246	11月11日	建設通信新聞	約 3.1 万㎡、18 年度着工／合同庁舎と市保健所合築／八王子に産業交流拠点施設
247	11月12日	@Press	いよいよ開催！「第 17 回産業ときめきフェア in EDOGAWA」～現在（いま）を造る 未来を創る 江戸川のものづくり～
248	11月12日	日刊工業新聞	都産技研、TKF 事例発表会を来年 1 月初公開—中小の参加募集
249	11月12日	タイランド通信	都中小企業振興公社、初の海外事務所をバンコクに
250	11月12日	livedoor ニュース 他 8 件	都立産技研センター、TKF 事例発表会を来年 1 月初公開—中小の参加募集
251	11月12日	朝日新聞デジタル 他 7 件	いよいよ開催！「第 17 回産業ときめきフェア in EDOGAWA」～現在（いま）を造る 未来を創る 江戸川のものづくり～
252	11月13日	PR Times	お台場で開催の科学イベント『サイエンスアゴラ 2015』のシンポジウムに人気夫婦漫才コンビ宮川大助・花子が登場！
253	11月13日	室蘭民報	13 日からサイエンスアゴラ、室工大も出展
254	11月13日	北海道ニュースリンク	13 日からサイエンスアゴラ、室工大も出展【室蘭】
255	11月13日	goo ニュース 他 7 件	宮川大助・花子、自らの経験談を語る！ 日本医療研究開発機構セッション「3つの LIFE はすばらしい～生命・生活・人生を考える～」
256	11月13日	NHK オンライン	子どもの事故防止商品 展示会
257	11月13日	エキサイトニュース 他 4 件	都内中小企業のアジア進出を強力支援、都中小企業振興公社初の海外拠点設立
258	11月15日	東京 IT 新聞	【マッチング】首都圏の中小企業トレードショー 11月18-20日
259	11月15日	東京新聞 他 1 件	子どもの安全配慮 商品そろえ見本市

No.	日付	サイト名	見出し
260	11月16日	マチパブ 他 1 件	「産業交流展 2015」への出展について
261	11月16日	文マガ	セーフティグッズフェア開催 子どもの安全に配慮した商品集める
262	11月16日	newsclip. be	東京都中小企業振興公社、バンコク事務所開設
263	11月17日	Minkabu ニュース	都 産業交流拠点新築で基本設計
264	11月17日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター
265	11月19日	J-Net21	MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第 4 回）
266	11月20日	ゴムタイムス WEB	PVC デザインアワード 2015 「日立ラップ」「テトラサーバー」が大賞に
267	11月25日	Yahoo!ニュース 他 10 件	【産業交流展 15】3D プリンターのレンタルで中小企業を支援…都立産業技術センター
268	11月25日	新潟日報	CE マーケティング 欧州基準を学ぶ 27 日、新潟・中央区 県工技総研
269	11月25日	J-Net21	先端型案内ロボットを「2015 国際ロボット展」に出展（PDF ファイル）
270	11月25日	Jpubb 他 2 件	「産業交流展 2015」の開催結果について
271	11月25日	HANJO HANJO	【産業交流展 15】東京都立産業技術センターで 3D プリンターがレンタルできる
272	11月26日	東京 IT 新聞	3D プリンター、レンタルします…ヒット商品も生まれた
273	11月26日	日刊工業新聞	都産技研、国際ロボ展に先端型案内ロボを出展
274	11月29日	毎日新聞 他 2 件	<We・東京五輪・パラリンピック>ロボ、多言語でおもてなし 5 年後目指し産学が研究 /東京
275	12月 1日	J-Net21	【本部】大電流試験、ヒートサイクル試験、誘導負荷を使用した試験の一時停止のお知らせ
276	12月 1日	J-Net21	新着図書（企画展示）のお知らせ
277	12月 1日	Jpubb 他 1 件	第四回都議会定例会 知事所信表明
278	12月 2日	日刊工業新聞	都産技研、サービスロボ向け移動台車の量産モデル開発―骨組みにパイプフレーム採用（動画あり）
279	12月 2日	MEDIC (Medical device in cubation platform)	新着情報：「先端計測加工ラボ 1 周年記念講演会」（主催：地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター）が 12 月 22 日に開催されます。
280	12月 5日	HARBOR BUSINESS Online	ロボットテクノロジーを堪能。『2015 国際ロボット展』写真&動画レポート
281	12月 5日	Yahoo!ニュース	ロボット展は眠らない！
282	12月 5日	ニュースイッチ	会期中にもロボット進化！国際ロボット展は眠らない
283	12月 7日	ONLINE デジモノステーション 他 2 件	すごいロボも、変テコロボも 23 体イッキ見せ。「2015 国際ロボット展」写真特集
284	12月 8日	J-Net21	【重点 4 分野技術フォーラム】メカトロニクス
285	12月 8日	J-Net21 他 1 件	【本部】製品開発支援ラボ（電気系 1 室）入居者募集
286	12月 8日	J-Net21	セミナー：CE マーケティング入門＋改正 RoHS 指令入門
287	12月 8日	J-Net21	セミナー：素材・製品における色の基礎（第 2 回）～素材・製品の特性と色の基礎知識～
288	12月 9日	J-Net21	セミナー：事例とともに基礎から学ぶ 現場で活用できる EMC 設計と対策
289	12月10日	J-Net21	【知的資産経営支援】知的資産経営報告書を更新しました
290	12月10日	毎日新聞	大学倶楽部・芝浦工業大 ロボットが多言語でおもてなし 東京五輪目指し産学で研究

No.	日付	サイト名	見出し
291	12月11日	J-Net21	【機器利用】料金表を更新しました
292	12月11日	J-Net21	【多摩テクノプラザ 機械設計セミナー】機械分野の製造業向け安全設計セミナー
293	12月15日	Jpubb 他1件	舛添知事記者会見 ●1 自転車シェアリングの広域実証実験の開始 ●2 第4回多言語対応協議会 ●3 東京都中小企業振興公社タイ事務所の開設
294	12月15日	東京都	【知事の部屋】 舛添知事記者会見 1 自転車シェアリングの広域実証実験の開始 2 第4回多言語対応協議会 3 東京都中小企業振興公社タイ事務所の開設
295	12月16日	産経ニュース	【舛添知事定例会見録】 清水寺と偶然一致！？ 舛添知事の今年の漢字も「安」
296	12月16日	J-Net21	【本部】蓄光輝度測定、反射輝度測定サービス停止および分光放射照度測定一時休止のお知らせ
297	12月16日	J-Net21	セミナー：放射線の基礎、測定の実際と最新トピックス
298	12月16日	日刊工業新聞	都産技研、観光案内ロボット開発―東京五輪向け、中小に技術提供（動画あり）
299	12月16日	J-Net21	平成27年度共同研究テーマ 第2回（9月募集）採択テーマを掲載しました
300	12月17日	WI2 Web Intelligence and Interaction	Web インテリジェンスとインタラクション研究会開催報告掲載 発表者：情報技術 G 阿部真也
301	12月17日	J-Net21	MTEP ミニ講座 欧州向け製品輸出入門「CE マーケティング超入門」
302	12月17日	ニュースイッチ	東京都の研究機関、五輪に向け「観光案内ロボ」開発
303	12月21日	Yahoo!ニュース 他1件	【タイ】東京都の中小振興公社、バンコク事務所を開所
304	12月21日	J-Net21	超音波利用技術の基礎―産業に役立つ超音波―
305	12月21日	NNA	東京都の中小振興公社、バンコク事務所を開所 [経済]
306	12月22日	ゴムタイムス WEB	週刊 ゴム・樹脂関連セミナー情報
307	12月24日	J-Net21	年末年始休業のお知らせ
308	12月28日	J-Net21	講習会：医工分野のための走査電子顕微鏡による観察と分析
309	12月31日	ニュースイッチ	「全国の中小企業に五輪効果を」舛添東京都知事に直撃インタビュー
310	1月 5日	ゴムタイムス WEB	週刊 ゴム・樹脂関連セミナー情報
311	1月 5日	J-Net21	第31回 東京都異業種交流グループ合同交流会
312	1月 5日	J-Net21	理事長挨拶「平成28年の年頭にあって」
313	1月 6日	Jpubb 他1件	「第9回つくば産産学連携促進市 in アキバ」を開催
314	1月 7日	タウンニュース	長期間キレイが続く抗菌スプレー開発
315	1月 7日	朝日新聞デジタル	東京）大気の放射性物質検査を強化 都、北朝鮮核実験で
316	1月 7日	東京新聞 他2件	北朝鮮「水爆」実験 知事、都議会、5区長ら抗議
317	1月 8日	J-Net21	【本部】輝度計、照度計 校正による機器利用 一時休止のお知らせ
318	1月 8日	J-Net21	海外規格閲覧サービス
319	1月 8日	バンコク週報	東京都中小企業振興公社、バンコクに海外初拠点開設、都立産業技術研究センターと連携支援
320	1月12日	ゴムタイムス WEB	週刊 ゴム・樹脂関連セミナー情報
321	1月13日	東京新聞 他1件	産技研、きょうから実証実験 会話可能の案内ロボ

No.	日付	サイト名	見出し
322	1月13日	日刊工業新聞	都産技研、本部でキャラクターロボ「チリンロボット」の実証開始
323	1月13日	@Press	優れた製品や技術を有する中小企業が集結 展示商談会「ライフサポートフェア 2016」1月28・29日に浅草で開催
324	1月13日	TOKYO MX NEWS	労働力不足補完に期待 道案内や通訳も…広がるロボットの活用
325	1月13日	Infoseek ニュース 他 6 件	優れた製品や技術を有する中小企業が集結 展示商談会「ライフサポートフェア 2016」1月28・29日に浅草で開催
326	1月13日	You Tube 他 1 件	労働力不足補完に期待 道案内や通訳も…広がるロボットの活用
327	1月18日	J-Net21	“世界に勝つ”ものづくりセミナー～市場展開のための規格提案と海外規格対応～
328	1月18日	J-Net21	セミナー：CE マーキング 医療機器指令（MDD）入門
329	1月18日	J-Net21	セミナー：CE マーキング実践編 低電圧指令の進め方 ～リスクアセスメントと技術文書～
330	1月18日	J-Net21	セミナー：MTEP 欧州向け製品輸出入門「CE マーキング入門＋改正 RoHS 指令入門」
331	1月18日	J-Net21	セミナー：営業で役立つ ものづくり基礎の基礎 振動試験編
332	1月18日	J-Net21	セミナー：現場と営業で役立つプラスチック技術
333	1月20日	J-Net21	多摩テクノプラザ「技術交流会 2016」
334	1月20日	J-Net21	補助金等の各種事業説明会
335	1月22日	BIGLOBE ニュース 他 5 件	芝浦工大、産技大、都産技研による研究会、オリンピックでの実証を目指し、“おもてなしロボット”のネットワーク連携実験に成功 [芝浦工業大学、産業技術大学院大学、首都大学東京]
336	1月22日	東京 IT 新聞	“おもてなしロボット”のネットワーク連携 実験に成功
337	1月22日	ロボスタドットインフォ	【バイエリアおもてなしロボット研究会】五輪での実証を目指し、「おもてなしロボット」のネットワーク連携実験に成功
338	1月22日	MONOist	各地のサービスロボットがあなたの「履歴」を知っておもてなし
339	1月22日	日刊工業新聞 他 2 件	芝浦工大・産技大・都産技研、オリンピックでの実証を目指し“おもてなしロボット”のネットワーク連携実験に成功
340	1月22日	J-Net21	放射線量測定試験機器の校正による試験停止のお知らせ
341	1月23日	Digital PR Platform	芝浦工大、産技大、都産技研による研究会がオリンピックでの実証を目指し、“おもてなしロボット”のネットワーク連携実験に成功～利用者とのコミュニケーションや、複数台が情報共有しビッグデータを収集
342	1月25日	Jpubb 他 2 件	27 年度第 5 回試験研究分科会を開催
343	1月26日	日経テクノロジーオンライン	スポーツ用義足の進化の軌跡
344	1月26日	J-Net21	MTEP ミニ講座：RoHS 指令超入門（第 5 回）
345	1月28日	J-Net21	依頼試験一覧（料金表）
346	1月28日	J-Net21	活用事例・製品化事例集
347	1月29日	大学ジャーナルオンライン	芝浦工業大学など、“おもてなしロボット”でビッグデータ収集目指す
348	2月 1日	日刊工業新聞	都産技研、公設試連携体の成果事例発表会を開く
349	2月 5日	J-Net21	東京都、シンガポール航空産業商談会に出展－中小組織を支援

No.	日付	サイト名	見出し
350	2月 9日	公明新聞	中小企業に“心強い味方”
351	2月10日	CoatingMedia Online	ペイント&コーティングジャーナル 2016 年 2 月 10 日付：スラッジの固形燃料化に着手 東京工業塗装、都産技研と共同
352	2月15日	共同通信 PR ワイヤー	3 大臣賞(経済産業、文部科学、農林水産)他、決まる！(第 5 回地域産業支援プログラム表彰) [一般財団法人日本立地センター] イノベーションネットアワード 2016
353	2月15日	日本経済新聞	地域産業支援の各賞発表 全国イノベーションネット
354	2月15日	Jpubb 他 1 件	第 5 回地域産業支援プログラム表彰(イノベーションネットアワード 2016) 経済産業大臣賞 受賞事業が決定しました！
355	2月16日	J-Net21 他 1 件	【本部】製品開発支援ラボ(IT 系 2 室・電気系 1 室) 入居者募集
356	2月16日	J-Net21	【本部】赤外分光放射測定試験の休止のお知らせ
357	2月17日	J-Net21	セミナー：国際規格徹底解説 IEC60204-1
358	2月17日	J-Net21	バンコク支所セミナー：タイで上流設計を支援する 3D-CAD 設計と 3D プリンター
359	2月18日	Car Watch	3 月 8 日～9 日開催の「自動車技術に関する CAE フォーラム 2016」参加申し込み受付中
360	2月18日	Yahoo!ニュース 他 9 件	東京 TY 社長「オリンピック前に勝負がつく」
361	2月19日	Value Press	イベント出展のお知らせ (N&F テクノサービス提案会 2016・としまものづくりメッセ)
362	2月22日	J-Net21	【本部】二次元色彩輝度計 校正による一時休止のお知らせ
363	2月22日	東京都 他 1 件	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター次期理事長について
364	2月22日	Jpubb 他 1 件	都立産業技術研究センター 次期理事長予定者が決定
365	2月23日	日刊工業新聞	都立産業技術研究センター、理事長に奥村次徳氏
366	2月23日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターと亀有信用金庫が協定を締結ー企業支援業務の連携・協働により、地域産業の活性化推進ー (PDF ファイル)
367	2月23日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターと泰日工業大学が協定を締結 (PDF ファイル)
368	2月23日	J-Net21	ものづくり企業 海外ビジネスセミナー：リーダーの役割と実務
369	2月23日	J-Net21	ロボット産業活性化事業 平成 27 年度「ロボット産業活性化セミナー」
370	2月24日	Jpubb 他 1 件	イノベーションネットアワード 2016「全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞」の受賞について
371	2月24日	CoatingMedia Online	スラッジの固形燃料化に着手 東京工業塗装、都産技研と共同
372	2月25日	タウンニュース	女性経営者 70 人 シルクレイズの活動
373	2月25日	日刊工業新聞	都立産業技術研究センター、中小振興で亀有信金と提携
374	2月25日	J-Net21 他 1 件	平成 28 年度 (第 1 回) 共同研究募集
375	2月26日	J-Net21	セミナー:CE マーケティング 新 EMC 指令 ～指令の基礎と改訂版への対応方法～
376	2月26日	J-Net21	セミナー:海外規格精通シリーズ RoHS 指令徹底解説 ～基礎から実践まで～
377	2月26日	J-Net21	セミナー：海外規格精通シリーズ 電気・電子製品の中国規格と中国版 RoHS
378	3月 1日	J-Net21	新着図書 (企画展示) のお知らせ
379	3月 3日	AEROPRES 他 2 件	3 日よりイベント出展します!3D レリーフ大盤振舞!!

No.	日付	サイト名	見出し
380	3月 7日	Jpubb 他 1 件	27 年度第 6 回試験研究分科会を開催
381	3月11日	日刊工業新聞	都産技研、産学公連携で信州大と協力
382	3月14日	J-Net21	【本部】大電流試験、ヒートサイクル試験、誘導負荷を使用した試験の再開予定のお知らせ
383	3月15日	J-Net21	【墨田支所 生活技術開発セクター】「アパレル製造機器」の本部移設のお知らせ
384	3月15日	J-Net21	【本部】簡易放射率測定器 機器利用の停止のお知らせ
385	3月15日	化学工業日報	三協興産 VOC 触媒の白金代替 非金属酸化物系を製品化
386	3月16日	Jpubb 他 1 件	平成 28 年度科学技術週間 東京都特別行事のお知らせ
387	3月17日	J-Net21	セミナー：CE マーケティング超入門
388	3月21日	@nifty ニュース 他 10 件	人手不足はロボットで補えるか？ 最新技術が一堂「未来提案 EXPO」
389	3月23日	東京IT新聞	東京都中小企業振興公社、ASEAN へのビジネスマッチング支援を本格的に開始
390	3月24日	共同通信 PR ワイヤー	ASEAN へのビジネスマッチング支援等を本格的に開始
391	3月24日	東京都中小企業振興公社 タイ事務所 HP	東京都中小企業振興公社 タイ事務所とは
392	3月24日	J-Net21	開発から安全性評価まで対応するロボット開発拠点「東京ロボット産業支援プラザ」全面オープン
393	3月24日	J-Net21	中小企業と技術の出会いの場「TIRI クロスミーティング」
394	3月25日	日刊工業新聞	都産技研、ロボ実験施設を来月 20 日に本格開設ー4 分野で中小技術支援
395	3月25日	ASEAN PORTAL	東京都中小企業振興公社は中小企業の ASEAN 進出を支援
396	3月28日	Jpubb 他 1 件	アジア特別商談会参加企業を募集

(合計 614 件)

8.8 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週一回配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。また、技術セミナー受講者やイベント参加者などから配信希望を募り、登録を随時行っている。

配 信 数：約 12,500 件

発行回数：52 回

8.9 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入するとともに、国、地方自治体、業界団体、大学および企業などから各種資料の寄贈を受け、事業に活用している。また、本部図書室は中小企業者らに公開して、調査研究活動に活用されている。

平成 27 年度は月 1 回の企画展示や蔵書の充実を行った。外部利用者数は、延べ約 900 名であった。図書システムで登録・管理している蔵書数は次の通りである。

平成 27 年度図書管理数

蔵書種類	本部	多摩 テクノプラザ	墨田支所
和書（冊）	14,900	3,531	2,573
洋書（冊）	1,067	66	118
和文雑誌（種）	433	86	93
欧文雑誌（種）	21	15	16

サーバーの保証期間終了による入れ替え、蔵書管理、検索機能等の図書室活用の利便性向上を図るため、システムを更新した。（平成 28 年 4 月末更新終了）

9. 業 務 運 営

9.1 組織運営

平成 23 年度からの第二期中期計画の着実な実施と、都産技研の業務運営および中小企業の動向を踏まえ、新たな組織体制での平成 27 年度版「都産技研戦略ロードマップ」を策定し、ホームページで公開した。また、効率的な事業運営のための業務改革の推進や、職員育成のための各種研修を行った。

9.1.1 都産技研戦略ロードマップ

中小企業の技術支援を通じた産業振興を図り、技術支援の実施にあたってきめ細かいサービスを提供することを目的とし、中長期的な視点に立った戦略的な事業展開のための「都産技研戦略ロードマップ」を作成して、公開版をホームページに掲載した。

また、「技術支援から事業支援へ」を要点とする第二期中期計画の着実な達成を目指すとともに、研究開発による成果展開や、新技術分野への重点的な取り組みを見据えて、平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間に進める実施事業を明確にした。

- ① 事業戦略ロードマップ：現行事業と今後新たにに取り組むべき事業を明確にしたもの
- ② 技術分野ロードマップ：現行技術と今後注力する技術分野を明確にしたもの
- ③ 事業運営ロードマップ：都産技研の運営に関わる取り組みを明確にしたもの
- ④ 部門別ロードマップ：各部門の事業、技術、設備等についてまとめたもの

9.1.2 業務改革

平成 27 年度は、昨年度に引き続き「業務品質向上」を重点テーマに所内各部門が業務改革に取り組んだ。また、職場の業務改善や課題解決を図るために、昨年度同様「小集団活動」を実施した。小集団活動を有意義なものにするため、活動開始前に外部講師による所内研修を実施した。

所属ごとに 1 チーム作り、全 27 チームにより、各所属の課題解決・実行型の活動を行った。全チームの活動成果を冊子にまとめ、所内に配布した。

「業務品質向上」を重点テーマとした業務改革活動では、管理部門への要望なども含め、合計 60 件について取り組みを実施した。実施済みおよび継続中の代表的な取り組み内容は以下の通りである。

代表的な取り組み内容

事 業	取り組み内容
依頼試験	依頼試験実施要項と約款の継続的な見直し、依頼試験および技術相談用情報の共有化による業務の効率化、お客様への依頼試験受付事務ルールの周知
機器利用	機器の予約状況 WEB 公開拡大、初級利用者向けマニュアル整備、機器利用対応装置手順書の更新、お客様向け冊子の作成
研究推進	査読付き技術論文著者数増加へ向けた取り組み、基盤研究事業制度の改革、公募型共同研究実施に伴うマニュアルの作成
管理運営	マイナンバーへの対応、メンタルヘルス対策の強化、契約のマニュアル完成、エネルギー管理システムの導入

また、業務改革の一環として、ヒヤリ・ハット事例の報告様式を簡素化し、所内システムのワークフロー申請による報告方法に変更した。これにより報告促進が図れた。収集した事例とそれらに対する業務事故防止策を毎月掲示板で所内に周知し、業務事故の抑制に取り組んだ。

9.1.3 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

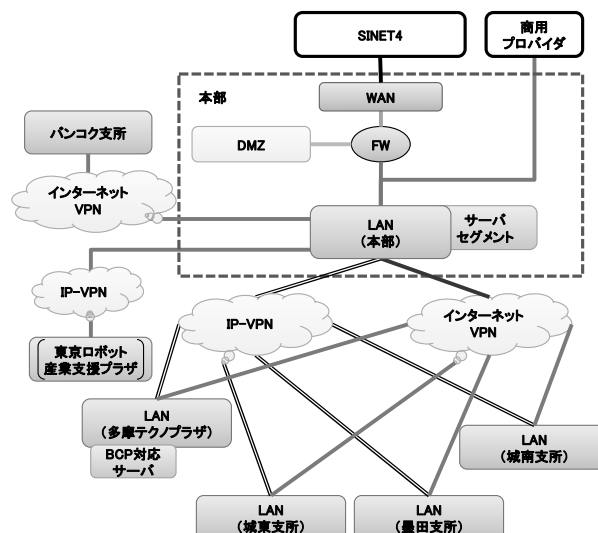
- ① 新任研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など 10 件
- ② 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など 43 件
- ③ 専門研修：職務上必要な専門知識の習得 29 件
- ④ 派遣研修：中小企業大学校など外部機関における研修 213 件（236 名）。
大学院博士課程 1 件
- ⑤ 出向研修：東京都庁への派遣 1 件

9.2 都産技研情報システム

9.2.1 概要

情報ネットワークの基盤であるとともに、ウェブ閲覧、メール、ファイル共有、ファイル転送などのサービスを提供した。

本部、多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所、城南支所に加え、27年度はバンコク支所および東京ロボット産業支援プラザが開設され、これらも含めネットワークで接続している。組織全体でサービスを共有することにより、試験・研究・技術支援などの産業支援業務および各種事務の効率向上に寄与した。



9.2.2 業務運営

(1) ネットワーク機能の概要

学術情報ネットワーク（SINET）および民間プロバイダ経由のインターネット接続、5拠点をつなぐ拠点間通信網で構成されており、ウィルス対策、不正侵入対策、不正端末対策などの機能を有している。

(2) 提供サービスの概要

- ・一般ユーザ環境（ファイル共有サーバー、ウェブサイト閲覧、メール、認証印刷、ファイル転送、リモートアクセス機能など）
- ・グループウェア（予定表、施設予約、掲示板、汎用申請機能など）
- ・メールアーカイブシステム
- ・メール受付共有システム
- ・内部向け情報サーバー（簡易利用手順、FAQなどの掲載）
- ・産業支援業務システム（技術相談・依頼試験・機器利用等事業管理）
- ・首都圏テクノナレッジフリーウェイ (<http://tkm.iri-tokyo.jp/>)
- ・外部公開サイト (<http://www.iri-tokyo.jp/>)
- ・東京都地域結集型研究開発プログラム成果報告サイト (<http://create.iri-tokyo.jp/>)
- ・採用情報サイト (<http://saiyou.iri-tokyo.jp/>)
- ・公立鉦工業試験研究機関長協議会サイト (<http://info.iri-tokyo.jp/kyogikai/>)
- ・予約状況表示システム
- ・図書管理システム（蔵書検索、NACSIS連携）
- ・総務システム（庶務事務・人事管理事務）
- ・財務システム（購買・資産管理事務）
- ・拠点間テレビ会議・映像配信システム
- ・薬品管理システム

(3) その他

- ・アカウント数 約470アカウント
- ・ネットワーク接続情報端末数 約1,300台、スタンドアロン情報端末数 約800台

9.3 業務実績報告書と業務実績評価

9.3.1 業務実績報告書の提出

平成 26 年度における業務実績報告書を地方独立行政法人法第 29 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年 6 月 30 日に東京都へ提出した。

9.3.2 業務実績評価

東京都地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、東京都が設立した地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターについて、平成 26 年度における業務の実績に関する事業評価を行った。

全体評価の総評は以下の通りであった。

○平成 26 年度事業評価

総 評

中期計画の達成に向け、業務全体が優れた進捗状況にある。

第二期中期目標期間の四年目を迎えた東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という）は、現有の力を十分に発揮し、本部や支所等を通年で安定稼働させるとともに、サービスの充実等に積極的に取り組んだ結果、技術相談や依頼試験、機器利用で着実な実績増を達成した。

依頼試験では、ブランド試験に光学特性計測技術の 1 分野を追加して 10 分野とする等、高品質なサービス提供のもと、過去最高の実績を達成している。また機器利用サービスの提供では、高度な先端機器の利用を拡大するため、利用方法習得セミナーでの習熟度に基づく機器利用ライセンスを発行する対象機器を 12 種類に拡充し、利用実績が増加した。

平成 26 年 12 月には、城南地域の航空機・医工連携ニーズに対応するべく城南支所に両分野に適した 6 機種の新規導入を含む計 24 機種を集約した「先端計測加工ラボ」を開設しており、開設以来 4,300 件以上の利用があり、好調に推移している。

平成 26 年 4 月には、システムデザインセクターからロボット分野を分離・独立し、「ロボット開発セクター」を開設した。都産技研が開発した「T 型ロボットベース」の普及を進めるとともに、ロボット開発産業のより一層の活性化を目的とした事業を東京都に提案した結果、平成 27 年 4 月から「ロボット産業活性化事業」を開始している。

平成 24 年 10 月に 1 都 4 県の公設試験研究機関と連携して開始した「広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTETP）」では、平成 26 年 4 月に参画機関を 1 都 10 県に拡大させた。さらに、専門相談員を 28 名体制に増強し、中小企業製品の海外規格への適合支援を充実させることにより、相談実績が大きく伸びている。

東京の産業を支える産業人材の育成では、中小企業において研究開発・製造技術の高度化を担う人材の育成支援を目的とした実践型高度人材育成講習会や、中小企業からのニーズの高い海外展開を支援するセミナーを充実させたことが、受講者数の大幅増に寄与している。また、平成 26 年度から利用者の利便性向上のため、本部で実施しているセミナーを多摩テクノプラザで生中継する遠隔セミナーを実施し、多摩地区の中小企業の利便性を向上させた。

このように、都産技研は、臨機応変な対応が可能な地方独立行政法人のメリットを活かし、都内中小企業の技術振興に正面から向き合いニーズに合致した支援の充実を努め、十分な結果を出したと言える。

今後も、ニーズオリエンティドな事業運営、事業化を見据えた技術支援、産業育成に直結する研究開発を3本柱とする都産技研の基本理念に基づき、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えたものづくり産業の高付加価値化、新技術開発、新事業・新産業創出の支援が求められる。そのため、東京の産業の発展と成長を支える研究開発の推進及び国内外の市場ニーズを的確に捉えた製品開発を支える技術支援のより一層の拡充を期待したい。

また、機器整備においては、支援事業、研究開発事業における稼働状況の把握はもとより、導入目的の達成度合いについての効果検証を継続的に行うとともに、増加する設備機器の適切な校正・保守が求められる。

こうした都産技研の取組の結果、都内中小企業に適切なサービス提供がなされ、都内中小企業の産業競争力が強化されるものと期待する。

9.4 施設整備

都内中小企業の技術の向上とその成果の普及を図る上で、事業実施のために必要となる施設の整備を行った。

本部においては平成 27 年 7 月に一部開設、平成 28 年度に全面開設予定の東京ロボット産業支援プラザ施設整備を、墨田支所においては平成 27 年 11 月に開設した生活空間計測スタジオの施設整備を、多摩テクノプラザにおいては、平成 28 年度開設予定の複合素材開発サイトの施設整備をそれぞれ実施した。

9.4.1 本部

施設整備・修繕工事 合計 46 件

- ① 東京ロボット産業支援プラザ整備その 1 工事
- ② 東京ロボット産業支援プラザ電気設備整備
- ③ 東京ロボット産業プラザ衝突防止表示等取り付け
- ④ 東京ロボット産業支援プラザ整備その 2 工事
- ⑤ 東京ロボット産業支援プラザ複合環境振動試験機防振架台設置
- ⑥ 東京イノベーションハブ改修
- ⑦ 段差解消機改修 ⑧ エネルギー管理システム整備
- ⑨ 屋外業務案内サイン改修 ⑩ 3 階共同研究開発室 393 ガスボンベ架台設置
- ⑪ 電話設備改修工事 ⑫ 4S04、5S01 装置等変更対応
- ⑬ 1E01、3S04 室名サイン取り付け ⑭ 西側窓日射遮蔽フィルム設置
- ⑮ 実践セミナー室電源配線工事 ⑯ 3 階ラボ 319 高圧ガス種別変更
- ⑰ 1E01、3S04 モニタ設置 ⑱ 第 2 照明実験室 5S01-2 電源配線工事
- ⑲ エントランス 9 面マルチモニタ修繕 ⑳ 電話設備改修その 2 工事
- ㉑ 1N05-1 残響室扉引手増設 ㉒ 1S02 機器移設
- ㉓ 1S02 床粉塵対策工事 ㉔ 受変電設備監視端末交換
- ㉕ 4N09-2 ガス取出し部追加工事 ㉖ 受水槽室西側扉鍵取り付け
- ㉗ 消火設備用窒素ガスボンベ充填 ㉘ 4 階仮設電源切替装置取り付け
- ㉙ 屋外 TAXI 案内サイン設置 ㉚ 2E05 装置排気ダクト変更
- ㉛ 32℃系冷却水設定温度変更 ㉜ 空調機用温水配管電動二方弁交換
- ㉝ 4 階複層ガラス取り替え ㉞ 4E12 流し台撤去・ガス管延長工事
- ㉟ 一般放送エリア改修 ㊱ 2 階西側廊下ロールスクリーン設置
- ㊲ 5N06 クリーンプース HEPA フィルタ交換 ㊳ 電話交換機一般電話回線用基板増設
- ㊴ 磁粉探傷装置移設 ㊵ 5 階パワエレ実験室電気工事 ㊶ 消防設備改修
- ㊷ 電気系実験装置構内移設 ㊸ 上水配管流量計増設 ㊹ 2C13・3C14 整備
- ㊺ PHS 登録番号変更 ㊻ 安全点検対策

9.4.2 城東支所

施設整備・修繕工事 合計 19 件

- ① 防水改修 ② 機械警備装置修繕 ③ 自動ドア装置修繕
- ④ 受水槽修繕 ⑤ 地下 1 階シャッター修繕
- ⑥ 2 階多機能トイレ自動ドア修繕 ⑦ 3 階技術開発支援室自火報ベル増設
- ⑧ 1 階多機能トイレ自動ドア修繕 ⑨ 1 階シャッター修繕
- ⑩ 2 階一般照明器具交換 ⑪ 1 階照明設備修繕 ⑫ 変圧器撤去 ⑬ 空気圧縮機交換
- ⑭ 恒温恒湿エアコン修繕・整備 ⑮ 地下ドラフトチャンバー前天井修繕
- ⑯ 空調機械室修繕 ⑰ スクラバー式ドラフト及び循環ポンプ洗浄修繕
- ⑱ 非常照明器具等交換修繕 ⑲ 地下給湯室天井等修繕

9.4.3 墨田支所 生活技術開発セクター

施設整備・修繕工事 合計6件

- ① 生活空間計測スタジオ整備 ② 緊急地震速報子局移設
- ③ OA ダンパ自動制御器交換 ④ 女子トイレフラッシュバルブ修理
- ⑤ 日射環境試験室コンセント盤設置
- ⑥ X線解析装置冷媒配管・屋外機撤去

9.4.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計7件

- ① 廃水処理設備放流ポンプ修理 ② メンテナンス用水栓取り付け
- ③ 廃水処理設備コンプレッサーオートドレン取り付け ④ 階段手すり取り付け
- ⑤ 空調機修理 ⑥ 電源制御ユニット交換
- ⑦ 電話機器用電源増設

9.4.5 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計21件

- ① 複合素材開発サイト改修 ② 複合素材開発サイト仕上げゾーン天井改修
- ③ 植栽剪定 ④ D棟窓用戸締金具補修 ⑤ D棟ブラインド補修
- ⑥ D棟ブラインドラダーテープ補修 ⑦ 高木剪定
- ⑧ D棟エントランス天井照明器具取り替え
- ⑨ A棟環境試験装置内酸素濃度計測装置補修
- ⑩ A棟クリーンルームフィルター取り付け ⑪ 正門扉補修およびU字溝設置
- ⑫ D棟2階小会議室扉改修 ⑬ 電源改修 ⑭ B棟工事に伴う電話移設
- ⑮ B棟1階出入管理扉移設 ⑯ A棟クリーンルーム加湿器補修
- ⑰ D棟3階廊下サッシ補修 ⑱ 倒木処理
- ⑲ D棟EMCサイト屋上AHU加湿器補修およびその他電源補修
- ⑳ 電子回路評価室排気ダクト補修 ㉑ B棟仕上げゾーン仮天井取り外し

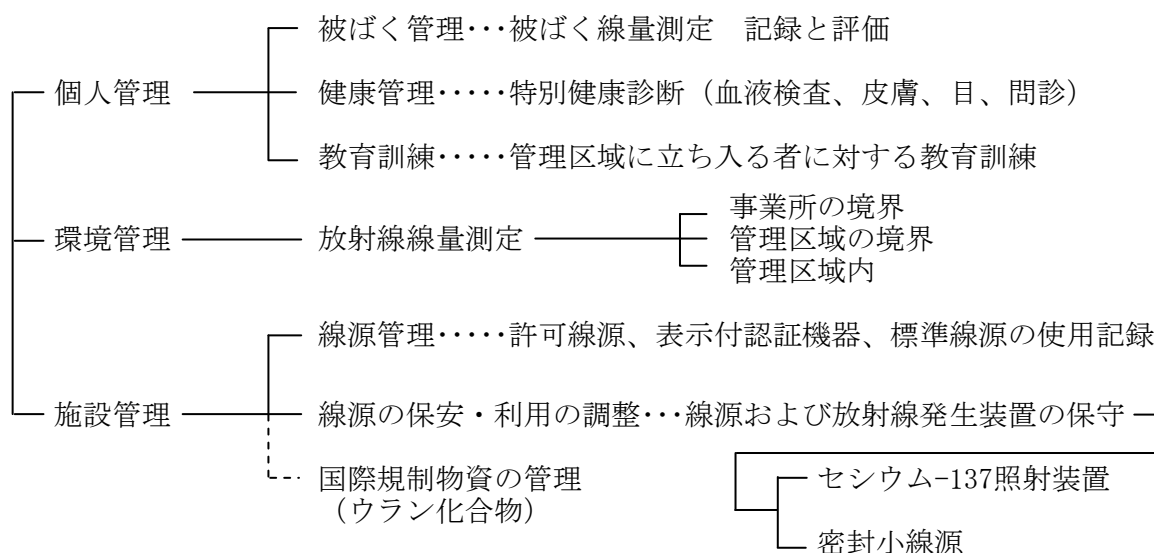
※城東支所、城南支所、多摩テクノプラザは、東京都から建物管理を受託しており、受託費により施設整備を行っている。

9.5 安全衛生管理

9.5.1 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射線障害防止法関連法令の規定に基づく個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

(1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



(2) 本部における放射線施設の概要

1) 使用許可 平成23年1月17日付許可済み（許可証番号 使第5725号）

許可内容

放射線管理区域：第一非破壊検査室、第二非破壊検査室

許可線源：4種（6個）

ガンマ線照射装置（Cs-137：81.4 TBq×3個）

（未保有）密封小線源（Co-60:370 MBq、Co-60:37 MBq、Cs-137:37 MBq）

（平成28年3月現在）

2) 表示付認証機器（平成23年10月27日届出）

ガンマ線標準照射線量線源 Co-60:10 MBq、Cs-137:10 MBq、Cf-252:3.7 MBq

ガスクロマトグラフ用線源 Ni-63:370 MBq

(3) 個人管理

1) 被ばく管理

① 放射線管理対象者

単位：人

	職 員	外来者	合 計
放射線業務従事者	24	0	24
一時立入者	6	490	496
合 計	30	490	520

② 被ばく測定結果

全員0.1ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度 放射線業務従事者： 50ミリシーベルト/年
100ミリシーベルト/5年
一時立入者： 1ミリシーベルト/年

2) 放射線健康診断

放射線業務従事者を対象に法定項目について実施したところ、全員異常は認められなかった。

3) 教育訓練

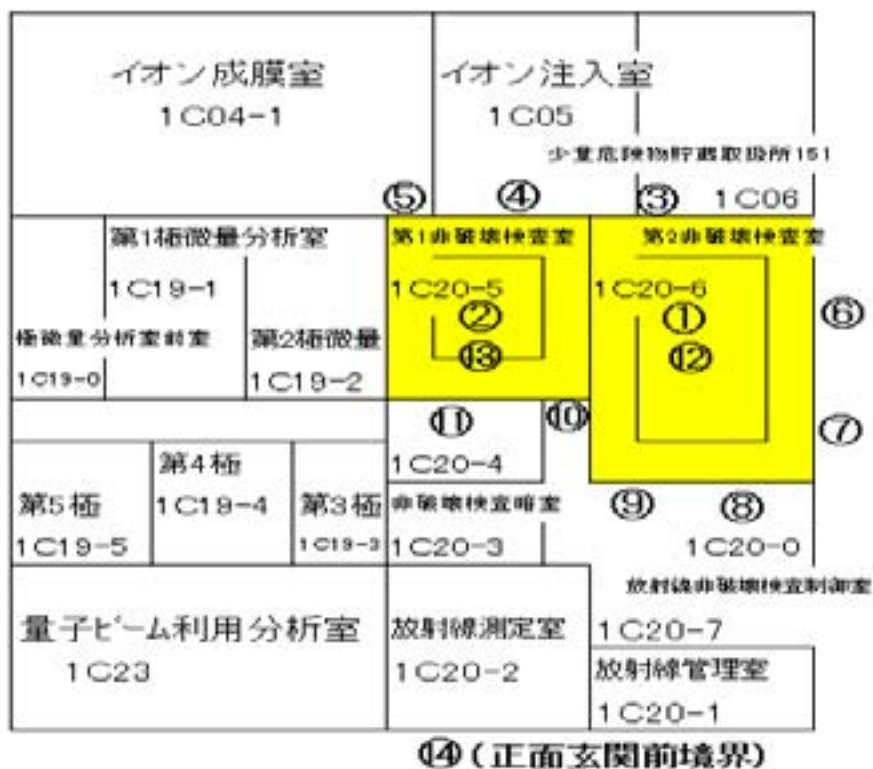
① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・4人

② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・20人

訓練内容 ・放射線の基礎
・放射線安全取り扱いに関する法律
・放射線の人体影響
・放射線安全取り扱いの実際

(4) 環境測定

毎月1回、ガンマ線照射装置を稼働状態にして、管理区域内（下図①、②）管理区域境界（③～⑬）、事業所境界（⑭）における1センチメートル線量当量率を測定した。



⑫ 上階(研修室243) 右

⑬ 上階(研修室243) 左

■ :放射線管理区域

測定結果はいずれの月も測定点①～⑬については0.5マイクロシーベルト/h以下、⑭については0.1マイクロシーベルト/h以下であった。

【参考】

- (1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：
実効線量で1ミリシーベルト/週（40 h）＝25マイクロシーベルト/h
- (2) 管理区域の境界における線量限度：
実効線量で1.3ミリシーベルト/3月（40 h×13週）＝2.5マイクロシーベルト/h
- (3) 事業所の境界における線量限度：
実効線量で250マイクロシーベルト/3月＝0.116マイクロシーベルト/h

(5) 線源などの使用管理

- 1) 線源等の搬入および搬出：実績無し
- 2) 線源等使用状況

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	28	39	67
表示付認証機器（ガンマ線源）	0	63	63
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

(6) 安全点検

管理区域について以下の安全点検を実施し、安全が確保されていることを確認した。

- ① 線源等使用者による始業・終業時における日常点検（毎日）
- ② 線源の保管状況の点検（毎週）
- ③ 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6月毎）
- ④ 地震（震度4以上）直後の安全点検（1回、平成27年5月30日）

9.5.2 安全衛生管理

(1) 安全衛生委員会

本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。

(2) 衛生委員会

多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。

(3) 安全衛生推進部会

安全衛生推進部会ごとに職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

<安全衛生推進部会>

- | | |
|-------------|-------------|
| ①事業化支援部会 | ⑤城東部会 |
| ②開発本部開発第一部会 | ⑥墨田部会 |
| ③開発本部開発第二部会 | ⑦城南部会 |
| ④企画・技経・総務部会 | ⑧多摩テクノプラザ部会 |

【構成員】

・部会長

- | |
|----------------------------|
| ①～④：各部の室長、上席研究員、課長の中から1名選出 |
| ⑤～⑦：各支所長 |
| ⑧：多摩テクノプラザ 総合支援課長 |

・安全衛生推進員

- | |
|---|
| ①～④：各部内の室・グループ・課ごとに1名ずつ選出 |
| ⑤～⑦：各支所の管理係から1名、技術支援係（放射線安全係）から1～3名程度選出 |
| ⑧：総合支援課から1名、電子・機械グループ、繊維・化学グループから1名ずつ選出 |
- ・その他部会長が指名した者

【活動内容】

- ・月1回以上、安全衛生推進部会を開催
- ・災害ポテンシャルの摘出と排除を実施
- ・安全衛生上の課題検討と排除を実施

(4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。安全衛生手帳の内容を精査し、3月に更新・発行した。

(5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

(6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した(6月1日～30日、10月1日～31日)。今年度は全職員対象に毎営業日の休憩時間にラジオ体操を行い、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。

(7) メンタルヘルス

管理職向け・一般職向けのストレスマネジメント研修を行った。また、職場復帰訓練の手引きを作成し、病気休職からの復職希望者について適切に対処した。

(8) 安全な作業に関する研修

新規採用者向けに、実験室等で安全に業務に取り組むための基本的な研修を実施した。

9.5.3 リスクマネジメント

平成22年度に制定した「リスクマネジメント活動の中期計画(平成23～27年度の5ヶ年計画)」に基づき、リスクマネジメント活動を実施している。平成27年度は、都産技研事業継続計画(BCP)地震編の改訂と、BCP対応訓練を実施した。

(1) 都産技研事業継続計画(BCP)地震編の改訂

平成25年度に制定した都産技研BCP地震編の内容を全体的に見直して改訂するとともに、多摩テクノプラザの被災を想定した対応策を追加した。

(2) BCP対応訓練の実施

実証試験セクターを対象に、BCP対応訓練を実施した。所属部署内の人員・設備が限られている状況を想定し、事業継続に向けた緊急時の対応手順に沿った訓練を実施した(平成28年2月26日実施)。

9.6 情報開示

「東京都情報公開条例」(第二条)、「東京都個人情報保護に関する条例」(第二条)に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター個人情報の保護に関する要綱」を制定・施行している。

平成27年度は、情報公開請求0件、個人情報の開示請求0件であった。

資 料

1 沿革

大正10年10月	東京府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
大正13年 8月	東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
昭和 2年 3月	東京府立染色試験場（東京都立繊維工業試験場の前身）設立
昭和34年 7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
昭和45年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
平成 3年 7月	城東地域中小企業振興センター発足
平成 8年 2月	城南地域中小企業振興センター発足
平成 9年 4月	東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として発足
平成12年 4月	東京都立産業技術研究所に東京都立繊維工業試験場を統合
平成14年 4月	多摩中小企業振興センター発足
平成18年 4月	東京都立産業技術研究所と城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中小企業振興センターの技術支援部門を統合し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
平成22年 2月	多摩テクノプラザ開設 多摩支所および八王子支所閉鎖
平成23年 3月	駒沢支所閉鎖
平成23年 9月	西が丘本部閉鎖
平成23年10月	本部（江東区青海）開設
平成27年 4月	タイ王国にバンコク支所開設

2 施設

1) 本部（平成23年10月3日業務開始）

所在地 東京都江東区青海二丁目4番10号

敷地面積 14,519.35 m²

建築面積 8,573.38 m²

延床面積 33,129.80 m² (本体建屋: 33,032.30 m²、付属建屋: 97.50 m²)

1 階

総合受付

総合支援窓口

扌込窓口

コーディネータ室

知的財産相談室

高度分析開発セクター



2 階

東京イノベーションハブ

研修室・会議室

実証試験セクター



3 階

創作実験ギャラリー

実践セミナー室

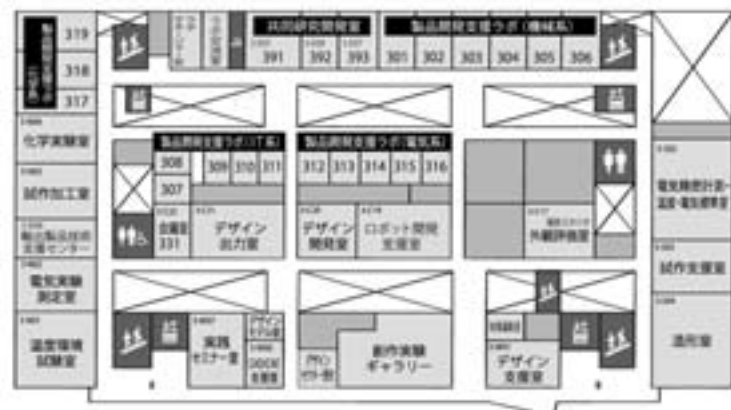
製品開発支援ラボ

共同研究開発室

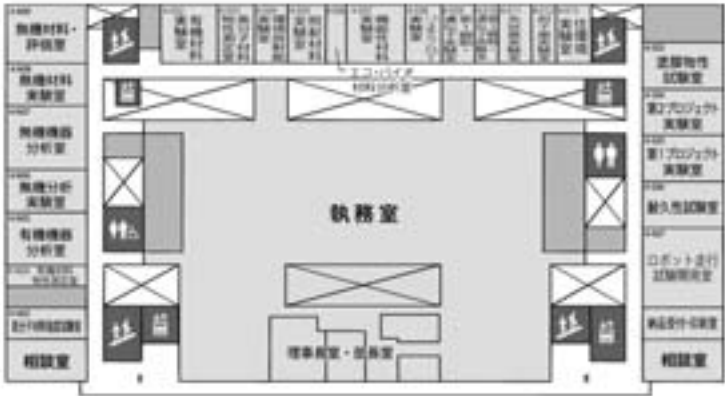
システムデザインセクター

ロボット開発セクター

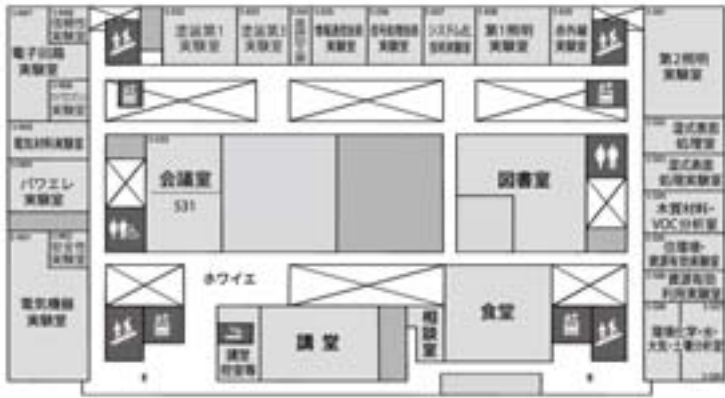
輸出製品技術支援センター



4 階
 執務室
 相談室



5 階
 講堂
 図書室
 会議室
 相談室
 食堂



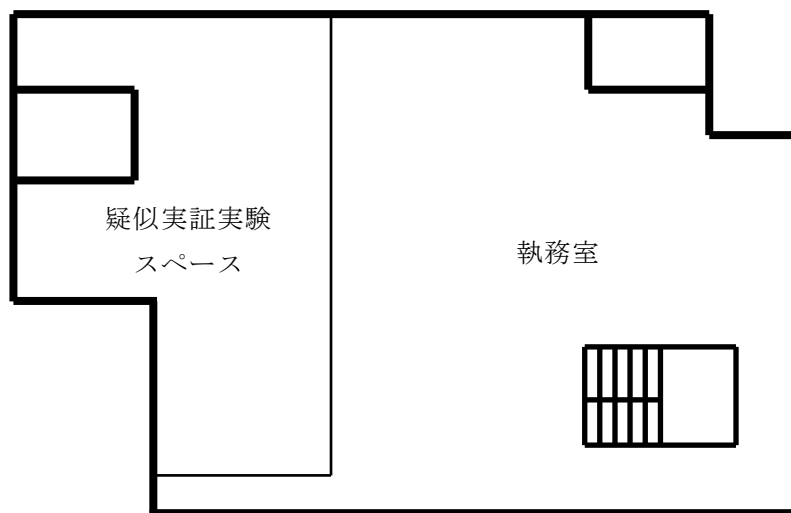
○本部建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
塔屋	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨造)	121.95 m ²	機械室など
5 階		6,397.80 m ²	講堂、図書室、会議室、食堂など
4 階		6,719.04 m ²	執務室など
3 階		6,352.55 m ²	製品開発支援ラボ、 システムデザインセクターなど
2 階		6,170.43 m ²	東京イノベーションハブ、 実証試験セクターなど
1 階		7,081.91 m ²	総合支援窓口、 高度分析開発セクターなど
地階		188.62 m ²	一般廃棄物処理施設など
付属建屋	鉄筋コンクリート造	97.50 m ²	車庫および廃棄物倉庫
合計		33,129.80 m ²	

2) 東京ロボット産業支援プラザ

所在地 東京都江東区青海二丁目 5 番 10 号（テレコムセンター2 階）

使用面積 524.18 m² 延床面積 158,050.18 m²

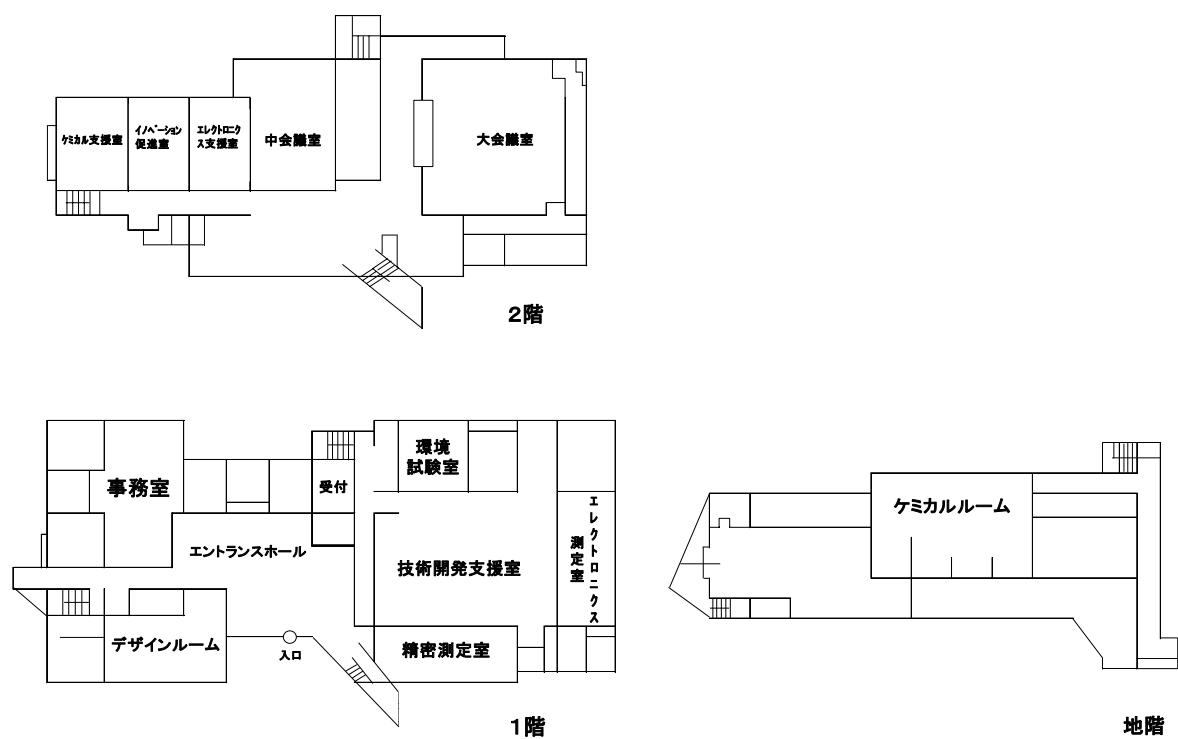


名称	建物		内容
	構造	面積	
2 階	鉄筋コンクリート造	524.18 m ²	執務室他、 疑似実証実験スペース
合計		524.18 m ²	

3) 城東支所

所在地 東京都葛飾区青戸七丁目2番5号（城東地域中小企業振興センター内）

使用面積 1,564.82 m² 延床面積 4,402.90 m²



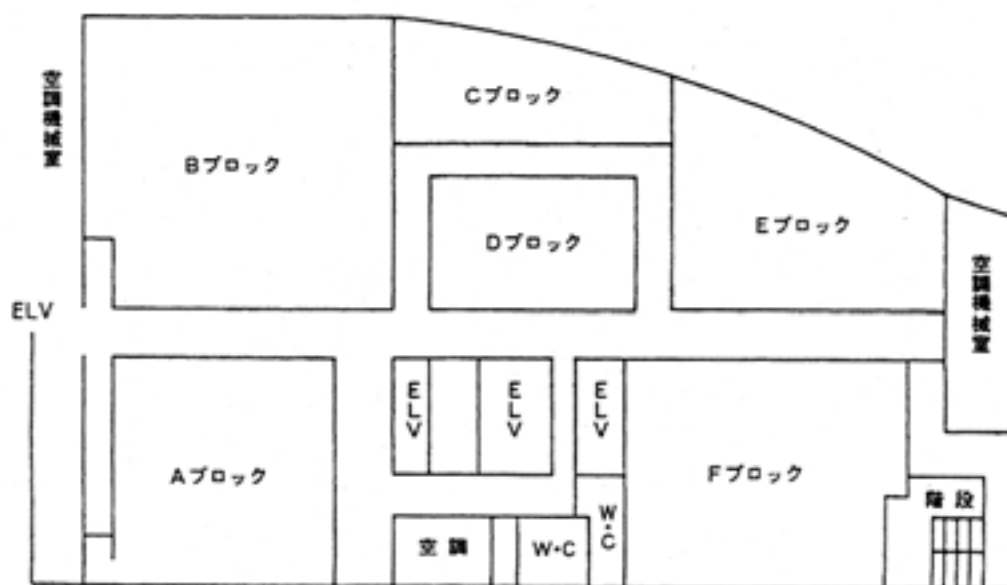
○城東支所内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
地階	鉄筋コンクリート造	182.00 m ²	ケミカルルーム
1 階	鉄筋コンクリート造	728.80 m ²	事務室、デザインルーム、 技術開発支援室、 エレクトロニクス測定室、 精密測定室、環境試験室
2 階	鉄筋コンクリート造	654.02 m ²	大会議室、中会議室、 エレクトロニクス支援室、 イノベーション促進室、 ケミカル支援室
合計		1,564.82 m ²	

4) 墨田支所 生活技術開発セクター

所在地 東京都墨田区横網一丁目 6 番 1 号 (国際ファッションセンタービル 12 階)

使用面積 1,920.02 m² 延床面積 47,565.60 m²



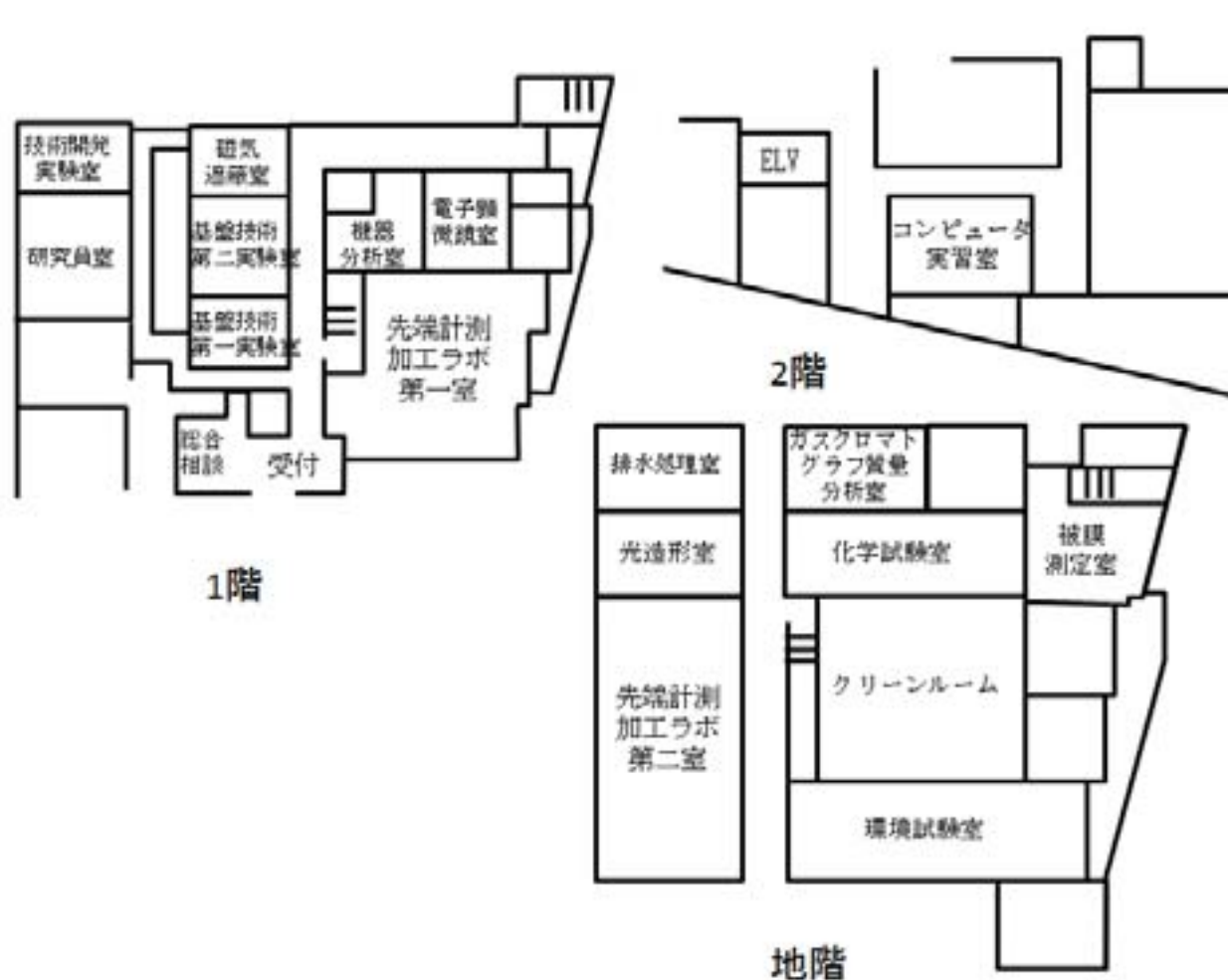
○墨田支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
Aブロック	鉄骨	296.46 m ²	総合受付、相談コーナー、図書室、応接室、会議室、セミナー室
Bブロック	鉄骨	417.65 m ²	生活空間計測スタジオ、生活製品開発ラボ、染色加工試験室、品質評価試験室、安全技術評価室、耐光性試験室、クリーニング試験室
Cブロック	鉄骨	118.62 m ²	高度観察システム室、生活科学試験室
Dブロック	鉄骨	123.00 m ²	恒温恒湿室、官能検査室、デザイン室
Eブロック	鉄骨	218.31 m ²	被服科学試験室、生活環境試験室、日射フィールド試験室
Fブロック	鉄骨	310.49 m ²	執務室、アパレル設計室
その他		435.49 m ²	通路、空調機械室など
合計		1,920.02 m ²	

5) 城南支所

所在地 東京都大田区南蒲田一丁目20番20号(城南地域中小企業振興センター内)

使用面積 2,668.52 m² 延床面積 8,054.61 m²

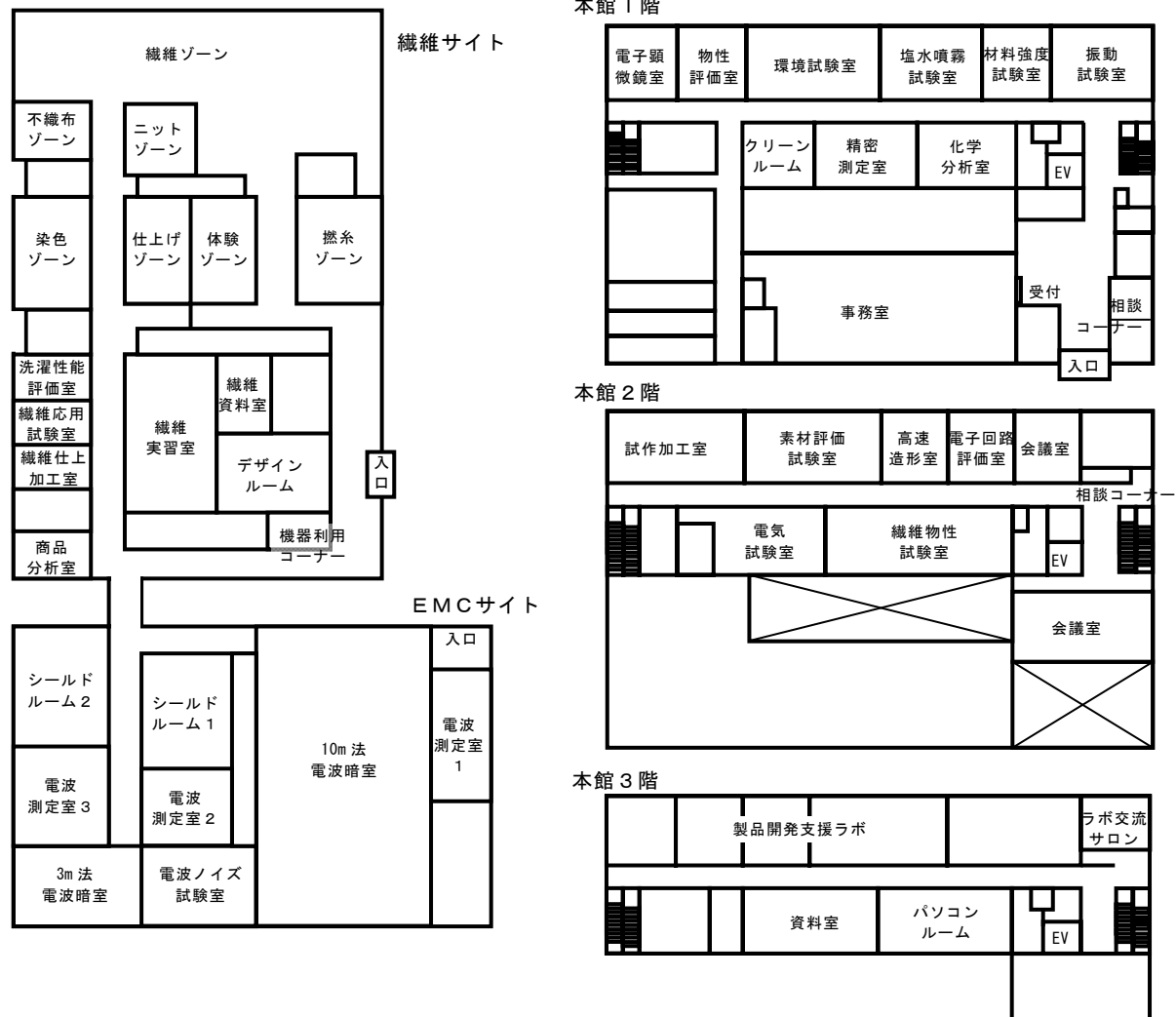


○城南支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
地階	鉄筋コンクリート造	1,020.66 m ²	ナノテクノロジーセンター、各種試験室、光造形室、ガスクロマトグラフ室、先端計測加工ラボ第二室
1 階	鉄筋コンクリート造	1,292.68 m ²	受付、先端計測加工ラボ第一室、電子顕微鏡室、磁気応用室、非破壊評価室、機器分析室、技術開発実験室
2 階	鉄筋コンクリート造	108.24 m ²	コンピュータ実習室
その他	鉄筋コンクリート造	246.94 m ²	事務室他
合計		2,668.52 m ²	

6) 多摩テクノプラザ

所在地 東京都昭島市東町三丁目 6 番 1 号（産業サポートスクエア・TAMA 内）
使用面積 6,120.10 m²（産業サポートスクエア・TAMA 延床面積 9,258.64 m²）



○多摩テクノプラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
テクノプラザ本館	鉄筋コンクリート造 地上 3 階建	3,353.53 m ²	事務室、振動試験室、 環境試験室、塩水噴霧試験室、 精密測定室、電子顕微鏡室、 化学分析室、高速造形室、 素材評価試験室、会議室、 製品開発支援ラボ
繊維サイト EMC サイト	鉄骨造 地上 1 階建	2,766.57 m ²	デザインルーム、織物ゾーン、 染色ゾーン、10m 法電波暗室、 3m 法電波暗室、シールドルーム、 電波ノイズ試験室
合計		6,120.10 m ²	

3 第二期中期計画・平成 27 年度計画

3.1 第二期中期計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 25 条の規定に基づき、東京都知事から指示を受けた平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間ににおける地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を、以下のとおり定める。

都産技研は、平成 18 年 4 月地方公設試験研究機関で初めて地方独立行政法人化し、デザインセンターや企業の要望に応じたオーダーメイド型の支援事業を新たに展開するなど事業の幅を広げるとともに、こうした技術支援に適した組織変更を行うなど、法人の経営判断に基づく機動性の高い組織運営や柔軟かつ迅速な業務運営を積極的に推進し東京の産業の発展と都民生活の向上に寄与してきた。

近年、経済のグローバル化や新興国の台頭による市場競争の激化など、都内中小企業を取り巻く環境は厳しさを増していることを踏まえ、第二期中期計画期間においては、平成 22 年 2 月に開設の多摩テクノプラザの設備や機器を一層有効に活用した取組を進めるとともに、平成 23 年度江東区青海に開設の本部において高度な技術開発に対する支援を新たに開始するなど事業の拡充・強化を図り、都内中小企業の製品化や事業化及び新分野への進出等に対する支援をさらに推し進めていく。

具体的には、

1. ものづくりの高度化や迅速な製品開発の促進

中小企業の高度な製造技術の開発支援やものづくりの上流工程の支援、安全で信頼性の高い製品及び技術開発への支援に必要な機器を備えた 3 つの技術セクターを開設し、高付加価値な製品開発を加速させる。

また、急激に発展する技術革新に対応する取組として、開発期間の短縮を求められている都内中小企業に対し効率的な製品開発ができる場を提供することにより、製品開発や事業化のスピードアップに貢献する。

2. イノベーションの創出・新事業創出への取り組み

都内中小企業間の交流や企業と大学、研究機関との交流による製品開発やビジネスを創出する場として「東京イノベーションハブ」を設置するなど都内中小企業によるイノベーション創出を支援する。

また、環境、福祉、安全・安心などの東京の将来の活力を支える産業分野の育成に向けて、今後の成長が期待される環境・省エネルギー等の技術分野の研究等を通じた支援を実施し、中小企業の新事業への展開などを促進するとともに、大都市課題の解決や都民生活の向上に貢献する。

3. 中小企業の国際競争力の強化

経済のグローバル化等への中小企業の対応を支援するため、国際規格に即した製品開発等に関する情報提供や相談体制の確保に努めるとともに、国際的に通用する証明書の発行を進め、都内中小企業の国際競争力の強化や海外展開に貢献する。

4. サービス産業への技術支援サービスの拡充

情報通信業、卸売業・小売業、サービス業等のサービス産業の経済活動の重要性が増していることを踏まえ、こうした分野における技術開発の促進に向けた技術支援サービスの拡充を図る。

5. 産業人材の育成

新製品・新技術開発、高度化する研究開発や製造技術において、ものづくりの上流工程である製品の企画・設計を担う中小企業の技術者の育成を行う。また、サービス産業において新たなサービス市場の開発を担う人材育成のニーズにも対応する。

I. 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

1-1 技術的課題の解決のための支援

(1) 技術相談

ものづくりの基盤的技術分野の技術支援ニーズのみならず、環境、福祉、安全・安心など都市課題の解決に向け、サービス産業の分野の相談にも積極的に対応するなど都内中小企業が必要とする幅広い技術支援に取り組む。

第一期中期計画期間に本部において試行してきた総合支援窓口の取組みを本格実施し、料金収納及び成績証明書の発行窓口の統合や複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を図り、お客様へのワンストップサービスを充実する。

中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。

都産技研が保有していない技術分野の相談があった場合は、他の試験研究機関や大学へ紹介するなど、お客様の利便性向上に努める。

相談業務の効率的・効果的な実施と利用者の利便性向上の視点から、新たに、ITを活用し協定締結機関と連携した技術相談体制を構築するとともに、区市町村と連携した現地での技術相談会等の開催や来所相談における予約制の導入など、相談体制の充実を図る。

技術相談件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間実績80,000件を目標とする。

(2) 依頼試験

製品の品質・性能証明や事故原因究明など都内中小企業の技術的課題の解決及び高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図るとともに、効果的な技術的アドバイスを実施する。

高付加価値な製品の開発に必要となる高度かつ多様な試験ニーズに対応するため、試験項目の追加等を適宜行うとともに、全国の公設試験研究機関にはない都産技研の特徴ある技術分野（EMC、非破壊検査、照明、音響、高電圧等）については、試験精度の向上や試験内容の拡充を図るなど一層高品質なサービスの提供に努める。

JIS等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。

膨大かつ多様な試験ニーズに対応するため、首都圏公設試連携体（以下「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携し、お客様の相互紹介を行うなどのサービスを進める。

中小企業の海外取引の拡大や高度化する製品開発に伴って必要となる品質証明に関するニーズに対応し、公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行うとともに、強度試験等の国際的に通用する試験所認定の登録分野を拡充する。登録分野数については、第二期中期計画期間終了時 5 件を目標とする。

1-2 製品開発、品質評価のための支援

(1) 機器利用サービスの提供

中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器の直接利用のサービスを提供する。利用に際しては、職員の豊富な知識を活かして、的確な機器利用に関する指導・助言を行う。

第一期中期目標期間に機器利用の対象としていなかった高度な先端機器についても、利用方法習得セミナーを開催して機器利用ライセンスを発行する制度を導入し、中小企業の機器利用の促進を図る。

新たに、都産技研ホームページ（以下、「都産技研 HP」という。）を活用し、利用可能情報を提供するなど、機器利用に際しての利便性向上を図る。

(2) 高付加価値製品の開発支援

機能性材料、環境対応製品、高精度加工製品等の開発や、製品の不具合発生の原因究明などに用いる高度先端機器を集中配置した「高度分析開発セクター」を開設し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。「高度分析開発セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成 27 年度の年間実績 5,000 件を目標とする。

第一期で開設した「デザインセンター」の機能と設備を拡充・強化し、中小企業のブランド確立支援、デザインギャラリーによる製品企画支援、ラピッド・プロトタイピング設備による試作支援、三次元CADデータ作成等のデジタルエンジニアリング支援を行うための「システムデザインセクター」を開設し、デザインを活用した製品開発を総合的に支援する。「システムデザインセクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間実績9,000件を目標とする。

中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を実施し、新製品や新技術の開発を支援する。オーダーメイド開発支援の利用件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間利用実績120件を目標とする。

新製品・新技術開発を目指す中小企業の研究・実験スペースへのニーズに対応するため、多摩テクノプラザの製品開発支援ラボ5室を引き続き利用に供するとともに、本部に製品開発支援ラボを新たに18室設置し、支援対象の拡充を図る。

共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を3室設置し、共同研究の成果を活用した迅速な製品の開発を促進する。

製品開発支援ラボと共同研究開発室の入居者による製品化・事業化を支援するため、共同利用の試作加工室を提供するとともに、技術経営相談などにも幅広く対応できる人材を配置し、技術及び経営の両面からの支援を行う。第二期中期計画期間中に製品開発支援ラボ及び共同研究開発室入居者が製品化又は事業化に至った件数については、20件を目標とする。

(3) 製品の品質評価支援

中小企業の安全で信頼性の高い製品開発のために必要な温湿度、振動、衝撃、劣化、ノイズ等の試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用を一貫して支援することができるよう、環境試験機器を集約した「実証試験セクター」を開設し、迅速かつ効率的な試験サービスを提供する。「実証試験セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間実績20,000件を目標とする。

1-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

(1) 技術経営への支援

中小企業が自社の「技術力」を強力な経営基盤として活用し、戦略的な事業展開や技術経営手法の導入等に活かしていけるよう、財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）などの経営支援機関と連携して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。

都産技研を利用して製品開発等に取り組む中小企業に対し、東京都知的財産総合センターなどの知的財産支援機関の持つ支援機能を活用しつつ、知的財産の取得やそれを活用した事業戦略を促す。

都産技研の成果として蓄積した優れた新技術や技術的知見を、中小企業の技術開発や製品開発に活かすため、知的財産権の出願やそれらを活用する使用許諾を推進する。第二期中期計画期間中の知的財産権出願件数については、75 件を目標とする。また、都産技研の知的財産権を中小企業等へ実施許諾する件数については、第二期中期計画期間中 10 件を目標とする。

(2) 国際規格対応への支援

中小企業が製品輸出や海外進出などを行う際に、相手国の規格への適合性を確認するための測定や分析の必要性などの情報が中小企業に十分に提供されていない現状を踏まえ、国際規格に関する相談や国際規格の動向に関するセミナーを実施し、海外展開を目指す都内中小企業を支援する。

(3) 技術審査への貢献

東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

公的試験研究機関として公平・公正・中立な審査を効率的に行えるよう、学会や展示会などでの最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

2. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開等を支える連携の推進

2-1 産学公連携による支援

本部に開設する「東京イノベーションハブ」において、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催し、産学公連携支援を推進する。

公立大学法人首都大学東京（以下「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

都産技研の本部や多摩テクノプラザに配置した産学公連携コーディネーターによる中小企業のニーズと大学等のシーズとのマッチングを実施し、共同研究につなげるなど、中小企業の技術開発・製品開発支援を推進する。

企業同士の連携に意欲のある企業に対して、異業種交流会や技術研究会の設立支援、業界団体との業種別交流会の開催等を継続実施し、単独企業では困難な技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進する。

2-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

区市町村やそれらの自治体が運営する中小企業支援機関が開催する展示会及びセミナーへの参加の要請や、職員派遣の要請等にきめ細かく対応することで、地域における産業振興の取組みに貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

首都圏の公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携して技術と経営の両面から総合的な支援に努める。

3. 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

3-1 基盤研究

(1) 基盤研究

機械、電気・電子、化学等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取組む。

なかでも、今後の成長が期待される4つの技術分野を重点として、新産業育成を図る研究に取組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

ア) 環境・省エネルギー分野

製品のライフサイクルを見通した環境性能評価に関する研究により、ものづくりの上流工程からの省エネルギー製品開発の研究を通じて都市課題の解決に貢献する。

イ) EMC・半導体分野

電磁ノイズ対策、電子機器の高密度化、FPGA の応用などに対応する研究に取り組み、高信頼・高機能製品開発の研究を通じて、付加価値の高い新製品や新サービスの創出に貢献する。

FPGA : Field-Programmable Gate Array の略

ウ) メカトロニクス分野

メカトロニクス技術の応用による、製品の高速化や高精度化、インテリジェント化などの研究を通じた付加価値の高い製品開発により都民生活の向上に寄与する。

エ) バイオ応用分野

今後発展が予想されるバイオセンサやバイオチップ等のバイオ応用研究に取り組み、都民生活の向上に寄与する技術開発を促進する。

基盤研究の成果は、都産技研の技術レベルの向上、対応技術分野の拡充、新たな依頼試験項目の追加など中小企業への技術支援の強化につなげていくほか、中小企業との共同研究の実施や外部資金導入研究にも発展させていく。基盤研究の成果を基に、事業化・製品化された件数、共同研究に発展した件数、外部資金導入研究に採択された件数を合わせて、第二期中期計画期間中に 60 件を目標とする。

3-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組む。共同研究の実施により、第二期中期計画期間中に製品化又は事業化に至った件数については、20 件を目標とする。

3-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。外部資金を導入した研究・調査を実施した成果をもって、中小企業のニーズや社会的ニーズの解決に役立ていく。外部資金導入研究・調査の採択件数については、第二期中期計画期間中に 60 件を目標とする。

3-4 都市課題解決に資する研究開発

大都市課題に先駆的に取り組んでいる首都大学東京と連携を強化し、それぞれが有する知的資源を有効活用した取組を推進する。

東京都が進めている「都市科学・産業技術連携戦略会議」が策定する技術戦略ロードマップに基づき、首都大学東京との共同研究を実施し、その成果を中小企業の事業化に結び付けることにより都市課題の解決に貢献する。

4. 東京の産業を支える産業人材の育成

4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、本部の開設に伴い整備した機器を活用し、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

サービス業や卸売業・小売業においても、製品の製造や品質管理に関する知識を有する人材育成が必要となっていることを踏まえ、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

都産技研の設備や研究員の有する知識を活用し、東京都立職業能力開発センターや中小企業振興公社が実施する人材育成事業に積極的に協力する。

5. 情報発信・情報提供の推進

5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、首都大学東京やTKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

- ・研究開発の成果
- ・保有する技術情報やノウハウ
- ・依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・産学公連携コーディネートに関する情報
- ・共同研究や受託研究の公募に関する情報
- ・最近の技術動向等に関する情報

Ⅱ. 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1. 組織体制及び運営

1-1 機動性の高い組織体制の確保

社会経済情勢や中小企業の変化する技術ニーズに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かした柔軟かつ迅速な経営判断により、組織体制を弾力的に見直していく。

1-2 適正な組織運営

地方独立行政法人法の主旨に則った事業経費の適切な執行管理を行うとともに、事業別のセグメント管理の導入により、各事業において投入した経営資源と事業効果を検証し、技術支援事業と研究開発事業とのバランスの取れた事業執行をめざすなど、都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定的かつ継続的に提供する適切な組織運営を実施する。

1-3 職員の確保・育成

技術革新の著しい産業や技術に対し将来を見据えた中長期的な視点に立って、必要とされる技術を適時に中小企業に対して提供できるよう、大学訪問などの積極的なリクルート活動により優秀な技術職員を計画的に採用する。

地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保していく。

地方独立行政法人の任用・給与制度の特徴を活かして、公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

中小企業のグローバル化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集などを通じて国際規格の相談に対応できる職員の確保・育成に努める。

1-4 情報システム化の推進

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談等を実施し、お客様へのサービスの向上に努める。

2. 業務運営の効率化と経費節減

2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案による業務内容や処理手続きの見直し等の業務改革を推進し、外部機関や専門家の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進等により、毎年度平均で前年度比一パーセントの財政運営の効率化を図る。

Ⅲ. 財務内容の改善に関する事項

1. 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

2. 剰余金の適切な活用

的確な経営判断に基づき、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

Ⅳ. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 別紙

Ⅴ. 短期借入金の限度額

1. 短期借入金の限度額

15 億円

2. 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借入れの必要が生じることが想定される。

Ⅵ. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときはその計画

江東区青海に設置する本部の土地及び建物の出資を都から受ける際に、出資と同時に次の資産を都に譲渡する。

旧西が丘本部の土地及び建物

Ⅶ. 剰余金及び積立金の使途

1. 剰余金の使途

当該中期目標期間の決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

2. 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において地方独立行政法人法第 40 条第 1 項又は第 2 項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

VIII. その他業務運営に関する重要事項

1. 施設・設備の整備と活用

業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を確保し、先端技術への対応や省エネルギー対策を含めた総合的・長期的観点に立った整備・更新を適切に行う。

2. 危機管理対策の推進

個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止を図るために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

健全な事業活動の確保や事故・事件の未然防止を図るため、環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、劇毒物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

3. 社会的責任

3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研 HP や刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO₂削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画および資金計画

1. 予算

平成 23 年度～平成 27 年度予算

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	33,511
施設整備費補助金	50
自己収入	4,880
事業収入	2,273
補助金収入	150
外部資金研究費等	500
地域結集型研究開発プログラム	31
その他収入	1,927
積立金取崩	743
計	39,185
支出	
業務費	29,746
試験研究経費	7,644
外部資金研究経費等	500
地域結集型研究開発プログラム	82
産業支援拠点整備費	7,288
東京緊急対策	249
役職員人件費	13,983
一般管理費	9,439
計	39,185

[人件費の見積り]

中期目標期間中、総額 13,009 百万円支出する。（退職手当は除く。）

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

2. 収支計画

平成 23 年度～平成 27 年度収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	42,193
経常費用	42,239
業務費	21,521
試験研究経費	5,197
外部資金研究経費等	500
地域結集型研究開発プログラム	82
産業支援拠点整備費	1,568
役職員人件費	13,983
東京緊急対策	145
一般管理費	9,439
減価償却費	11,279
収入の部	42,172
経常収益	42,172
運営費交付金収益	26,112
事業収益	2,273
外部資金研究費等収益	500
地域結集型研究開発プログラム	31
補助金収益	50
その他収益	1,927
資産見返運営費交付金等戻入	11,114
資産見返補助金等戻入	108
資産見返物品受贈額戻入	50
資産見返寄付金等戻入	7
純利益	△21
前中期目標期間繰越積立金取崩額	21
総利益	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

3. 資金計画

平成 23 年度～平成 27 年度資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	39,185
業務活動による支出	30,914
投資活動による支出	8,271
資金収入	39,185
業務活動による収入	38,422
運営費交付金による収入	33,511
事業収入	2,273
外部資金研究費等による収入	500
地域結集型研究開発プログラムによる収入	31
補助金等による収入	200
その他の収入	1,927
前期中期目標期間よりの繰越金	743

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

3.2 平成 27 年度計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 25 条の規定に基づき、東京都知事から認可を受けた平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間に於ける地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）の中期計画を達成するための平成 27 年度の業務運営に関する計画を、以下のとおり定める。

I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

1-1 技術的課題の解決のための支援

(1) 技術相談

中小企業等に対し、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図る。

①お客様への的確な技術相談を提供するため、本部の実施体制を継続する。

②総合支援窓口の取組みにより、料金収納及び成績証明書の発行窓口の統合や複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を継続する。

③都市課題の解決に貢献するため、環境、福祉、安全・安心などの技術相談に対応する。特に、平成 27 年度は安全・安心分野への対応を継続する。

④ものづくりに関連するサービス産業等の技術分野の相談について積極的に対応する。

⑤中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。

⑥都産技研の保有していない技術については、他の試験研究機関や大学、専門知識を有する外部専門家を活用して課題の解決を図り、利用者の要望に応える。

⑦協定締結機関と連携した技術相談体制を継続および拡充する。

⑧震災による電力不足に対応するため、都内および被災地中小企業の節電や省エネルギーに関する技術相談や実地技術支援を継続実施する。

⑨被災地公設試験研究機関と連携し、現地の課題に対応した震災対応技術支援を実施し、被災地復興に貢献する。

(2) 依頼試験

製品等の品質・性能の評価や、事故原因究明など中小企業の生産活動に伴う技術課題の解決を目的として、依頼試験を実施する。

①導入した機器を活用し、高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図る。

- ②都産技研の特徴的な技術分野である非破壊検査、照明、音響、高電圧、ガラス技術、環境・防かび、放射線技術、高速通信、めっき・塗装複合試験、光学特性計測技術分野において、試験精度の向上や試験範囲の拡充など一層高品質なサービスを実施する。
- ③J I S等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。
- ④首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携した試験実施体制を継続する。
- ⑤本部において、電気分野の計量法認定事業者（JCSS）として試験業務を継続実施する。
- ⑥多摩テクノプラザ EMC サイトにおいて、EMC 分野の試験所認定事業者（VLAC）として試験業務を継続実施する。
- ⑦本部において、照明分野の試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を継続実施する。また、鉄鋼分野の試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を開始する。
- ⑧公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行う。
- ⑨中小企業ニーズ及び最新の技術動向等に基づき、試験・研究設備及び機器の導入・更新を実施する。
- ⑩震災による電力不足に対応するため、中小企業の省エネルギー、高効率化に関する製品開発を促進する依頼試験を継続実施する。
- ⑪原子力発電所の事故に伴い、工業製品等の放射線量測定試験を継続実施する。

1-2 製品開発、品質評価のための支援

(1) 機器利用サービスの提供

- ①中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器利用のサービスを提供する。
- ②機器の操作方法のアドバイスや、測定データの説明、課題解決のための的確な指導・助言を行う。
- ③高度な先端機器は利用方法習得セミナーを開催して、機器利用ライセンス制度により利用可能な機器を拡張する。
- ④都産技研ホームページを活用し、機器利用可能情報の提供を継続する。また、インターネット経由での予約申し込み受付の対象機器を拡大する。
- ⑤墨田支所において、「生活技術開発セクター」を拠点とし、サービス産業等への技術支援サービスを継続する。
- ⑥城南支所において、昨年度開設した先端計測加工ラボを活用した先端ものづくり産業支援を継続する。

(2) 高付加価値製品の開発支援

- ①本部において、「高度分析開発セクター」を活用し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。特に、高精度加工製品の開発支援を継続するとともに、機能性材料開発を継続する。
- ②本部において、「システムデザインセクター」を活用し、デザインを活用した製品開発を支援する。特に、デザイン分野でニーズの高い、三次元ものづくり支援を拡充する。
- ③中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を継続する。
- ④新製品・新技術開発を目指す中小企業に対する支援施設として「製品開発支援ラボ」を本部に 19 室、多摩テクノプラザに 5 室を引き続き提供する。
- ⑤共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を 3 室引き続き提供し、迅速な製品の開発を促進する。
- ⑥製品開発支援ラボと共同研究開発室の入居者による製品化・事業化を支援するため、共同利用の試作加工室を提供するとともに、技術経営相談などにも幅広く対応できる人材を配置する。

(3) 製品の品質評価支援

本部において、「実証試験セクター」を活用し、中小企業の安全で信頼性の高い製品開発を支援するために、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援する。

特に、温湿度、機械、電気試験分野において、各種規格に対応した質の高い試験を継続させる。

1-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

(1) 技術経営への支援

- ①公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）の経営支援部門等他の機関との連携を活用して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。
- ②都産技研を利用して製品開発等に取り組む中小企業に対し、東京都知的財産総合センターなどの知的財産支援機関の持つ支援機能を活用しつつ、知的財産の取得やそれを活用した事業戦略を促す。
- ③研究の成果として得た新技術に関して知的財産の出願に努めるとともに、使用許諾を推進し中小企業支援に活用する。

(2) 国際規格対応への支援

- ①輸出製品技術支援センターを支援拠点として、中小企業が製品輸出や海外進出を行う際に必要な国際規格への適合性などの技術情報を提供する。
- ②海外展開を目指す中小企業を支援するため、輸出製品に関する相談体制や情報提供を拡充するとともに、海外取引に関する技術セミナーを開催する。

③海外進出した企業への現地技術支援事業を試行するためタイ王国にバンコク支所を開設する。

(3) 技術審査への貢献

①東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

②審査・評価の公平かつ中立な実施と、精度の維持向上を図るため、最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

③技術審査事業を通じた産業振興への貢献度把握を継続する。

2. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開等を支える連携の推進

2-1 産学公連携による支援

①本部において、産学公連携の拠点となる「東京イノベーションハブ」を活用し、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催する。

②公立大学法人首都大学東京（以下、「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

③本部や多摩テクノプラザに配置した産学公連携コーディネーターを活用し、中小企業のニーズと大学等のシーズとのマッチングを実施し、中小企業の技術開発・製品開発支援を推進する。

④企業同士の連携に意欲のある企業に対して、本部及び多摩テクノプラザで異業種交流会を各1グループ立ち上げるとともに、既存グループの活動支援を実施する。

⑤業界団体との業種別交流会を開催し、研究成果や新技術等の情報提供及び技術ニーズの収集を行う。

⑥中小企業の技術者等で構成する技術研究会を通じて、共同で技術的課題の解決を図る。

2-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

①区市町村との連携強化に努め、地域における産業振興の取組に貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

②首都圏の公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

③都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携した事業を実施する。

④東京都との「放射性物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、放射能測定試験を継続実施する。

3. 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

3-1 基盤研究

機械・電気・電子、化学等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取り組む。

なかでも、今後の成長が期待される環境・省エネルギー、バイオ応用、メカトロニクス、EMC・半導体技術分野を重点研究として取り組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

また、第1期中、平成23, 24, 25, 26年度の基盤研究において得られた研究成果を事業化・製品化及び共同研究への実施や外部資金導入研究の採択へ発展させる。

○取り組む技術分野

- ①ナノテクノロジー分野
- ②情報技術分野
- ③エレクトロニクス分野
- ④システムデザイン分野
- ⑤環境・省エネルギー分野
- ⑥少子高齢・福祉分野
- ⑦バイオ応用分野
- ⑧メカトロニクス分野
- ⑨EMC・半導体分野
- ⑩品質強化分野
- ⑪復興支援に貢献する技術分野
- ⑫ものづくり基盤技術分野

3-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組むとともに、成果展開へつなげる。

年度当初及び年度途中で研究テーマを公募により設定し、研究を実施する。

「ロボット産業活性化事業」について、事業推進に必要な体制整備及び要素技術の開発を行う。

3-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。

①提案公募型研究

技術開発の要素が大きい経済産業省や文部科学省などの提案公募型事業へ積極的に応募し、採択を目指すとともに、採択された研究を確実に実施する。

未利用外部資金の調査を行い、申請可能なものを抽出して積極的に申請する。

②地域結集型研究

フェーズⅢの体制のもとで完了した製品化研究に基づき、これまでに得られた研究成果の事業化を推進する。

3-4 都市課題解決に資する研究開発

大都市課題に先駆的に取り組んでいる首都大学東京と連携を強化し、それぞれが有する知的資源を有効活用した取組を推進する。

東京都が進めている「都市課題解決のための技術戦略プログラム」事業における技術戦略ロードマップに基づいて実施した首都大学東京との共同研究の成果展開を図る。

4. 東京の産業を支える産業人材の育成

4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、本部の開設に伴い整備した機器を活用し、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

サービス業や卸売業・小売業の従事者向けにおいても、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取り組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

都産技研の設備や研究員の有する知識を活用し、東京都立職業能力開発センターや中小企業振興公社が実施する人材育成事業に積極的に協力する。

5. 情報発信・情報提供の推進

5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、首都大学東京やTKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

本部の公開図書室を活用し、中小企業に役立つ技術資料等を公開する。

- ・ 研究開発の成果
- ・ 保有する技術情報
- ・ 依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・ 産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・ 産学公連携コーディネートに関する情報
- ・ 共同研究の公募や受託研究に関する情報
- ・ 最近の技術動向等に関する情報
- ・ 工業製品等の放射能検査に関する情報

II. 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1. 組織体制及び運営

1-1 機動性の高い組織体制の確保

①事業動向等を踏まえ組織の見直しを継続的に実施し、各事業の効率的な執行体制を確保する。

②既存組織体制にとらわれず、適時プロジェクトチームを設置するなど、ニーズに柔軟に対応する。

1-2 適正な組織運営

①事業別のセグメント管理を活用することにより、各事業において投入した経営資源と事業効果の検証を継続する。

②都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定かつ継続的に提供する適切な組織運営を継続する。

1-3 職員の確保・育成

①大学訪問などの積極的なリクルート活動により、優秀な技術職員を計画的に採用する。

②地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保する。

③公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

④中小企業の国際化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集など国際規格の相談に対応できる職員の育成を継続する。

1-4 情報システム化の推進

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談など情報システムを活用した利便性の向上に努める。

2. 業務運営の効率化と経費節減

2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案により、業務内容や処理手続きの見直等の業務改革を推進し、外部機関の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進による効率化を進める。

Ⅲ. 財務内容の改善に関する事項

1. 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

2. 剰余金の適切な活用

的確な経営判断を行い、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

IV. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
別紙

V. 短期借入金の限度額

1. 短期借入金の限度額

15 億円

2. 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借入れの必要が生じることが想定される。

VI. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときはその計画

なし

VII. 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

VIII. その他業務運営に関する重要事項

1. 施設・設備の整備と活用

①業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

②実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を適切に確保し、策定する長期保全計画に基づき総合的・長期的観点に立った整備・更新を行う。

2. 危機管理対策の推進

第 1 期中に策定した「リスクマネジメントに関する基本方針」に基づき、内部危機管理体制の整備を継続する。

①個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止のために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

②環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

③震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

④緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

3. 社会的責任

3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研ホームページや刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO₂削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画および資金計画

1. 予算

平成 27 年度 予算

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	5,083
施設整備費補助金	10
自己収入	963
事業収入	465
補助金収入	30
外部資金研究費等	100
地域結集型研究開発プログラム	0
その他収入	368
積立金取崩	144
計	6,201
支出	
業務費	4,350
試験研究経費	1,301
外部資金研究経費等	100
地域結集型研究開発プログラム	0
産業支援拠点整備費	0
東京緊急対策	0
役職員人件費	2,950
一般管理費	1,851
計	6,201

[人件費の見積り]

平成 27 年度、2,755 百万円支出する。（退職手当は除く。）

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

2. 収支計画

平成 27 年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	7,721
経常費用	7,721
業務費	3,861
試験研究経費	811
外部資金研究経費等	100
地域結集型研究開発プログラム	0
産業支援拠点整備費	0
役職員人件費	2,950
東京緊急対策	0
一般管理費	1,851
減価償却費	2,009
収入の部	7,721
経常収益	7,721
運営費交付金収益	4,768
事業収益	465
外部資金研究費等収益	100
地域結集型研究開発プログラム	0
補助金収益	10
その他収益	368
資産見返運営費交付金等戻入	1,979
資産見返補助金等戻入	27
資産見返物品受贈額戻入	2
資産見返寄付金等戻入	1
純利益	0
前中期目標期間繰越積立金取崩額	0
総利益	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

3. 資金計画

平成 27 年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	6,201
業務活動による支出	5,711
投資活動による支出	489
次期中期目標期間への繰越金	0
資金収入	6,056
業務活動による収入	6,056
運営費交付金による収入	5,083
事業収入	465
外部資金研究費等による収入	100
地域結集型研究開発プログラムによる収入	0
補助金等による収入	40
その他の収入	368
前期中期目標期間よりの繰越金	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

4 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会

東京都地方独立行政法人評価委員会は、東京都が設立する地方独立行政法人の業務実績に関する評価などを行う組織であり、そのうち試験研究分科会は、都産技研についての評価を行う。平成 27 年度、試験研究分科会が 6 回開催された。

○平成 27 年度試験研究分科会開催概要

	開催年月日	概 要
第 1 回	平成 27 年 7 月 7 日	・平成 26 年度業務実績報告について都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。
第 2 回	平成 27 年 7 月 27 日	・平成 26 年度業務実績評価(案)について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。 ・平成 26 年度財務諸表および積立金処分の承認について事務局から説明後、質疑応答ならびに意見聴取した。
第 3 回	平成 27 年 8 月 4 日	・平成 26 年度業務実績評価(案)について、事務局から説明し、評価案のとおり決定した。 ・平成 26 年度財務諸表および積立金処分の承認について事務局から説明後、質疑応答ならびに意見聴取した。
第 4 回	平成 27 年 9 月 11 日	・第二期中期目標期間終了時における組織・業務全般の検討について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。 ・第三期中期目標（案）について事務局から説明し、質疑応答および意見聴取した。
第 5 回	平成 28 年 2 月 1 日	・第三期中期計画（案）について都産技研から説明し、質疑応答および意見聴取した。
第 6 回	平成 28 年 3 月 14 日	・業務実績報告書作成要領（案）について事務局から説明し、質疑応答および意見聴取した。 ・第二期中期目標期間終了時における評価等の取組、および積立金の処理日程について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。 ・平成 28 年度年度計画（案）について、都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。

5 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

都産技研が社会において活動していく上で、法人の考え方や姿勢を明確にするために、基本理念とその理念を実現するための行動指針ならびに行動基準を「憲章」として、平成 19 年 12 月 1 日に策定した。役職員に憲章を印刷したカードを携帯させ、都産技研全体のものとする活動を進め、憲章の精神を実現するために精励して業務に取り組んでいる。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章 「明日の暮らしと産業を支えるために」

<基本理念>

－私たちの使命－

産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することが私たちの使命です

－私たちの理想－

地球を取り巻く課題を常に意識し、未来を見つめ、日々の努力と英知をもって果敢に挑みつづけることが私たちの理想です

－私たちの信条－

すべての人々の喜びと安心を大切にし、豊かな創造力と優れた技術に基づく公正なサービスを提供することが私たちの信条です

<行動指針>

私たちは、基本理念の精神を実現するために、以下の指針に従って行動します

1. 誠実であり続けます（誠実）
 2. 科学技術で社会に貢献します（技術）
 3. 環境保護に取り組みます（環境）
 4. 活気に満ちた健全な職場をつくります（活力）
 5. 自らの向上に努めます（研鑽）
 6. 適正に業務を行います（適正）
 7. 情報を適切に取り扱います（情報）
- 役員は、率先垂範して憲章を実現するために行動します

6 環境方針

都産技研は環境に配慮した業務運営の指針となる環境方針を、平成21年1月1日に制定した。環境にとって良い活動やサービスの提供、継続的取り組み、環境負荷の低減、法令遵守、環境目標などについて、それを行う意思を明らかにした。

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター環境方針 「技術の力で環境改善と産業の発展を支えます」

<基本理念>

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、健康で安全な環境と持続的発展可能な社会を次世代に継承するため、環境への配慮を経営上の最重要課題のひとつと位置付け、日々の努力と英知をもって環境改善に取り組みます。

<基本方針>

1. 環境負荷の低減、環境改善につながる研究開発・技術支援を積極的に行います。
2. 省資源・省エネルギー化を推進し、CO₂と廃棄物の削減に努めます。
3. 職員全員の環境問題に関する意識の向上を図ります。
4. 環境に関する法令、条例、規則等を遵守します。
5. 環境目標を策定し、定期的な見直しを行うことにより、継続的に改善を進めます。

この環境方針を内外に公表し、都民・中小企業の理解と協力を得ながら実施していきます。

7 リスクマネジメントに関する基本方針

都産技研におけるリスクマネジメントに関して必要な事項を定め、リスク顕在化防止および危機対応等を行い、都産技研の事業運営の堅実化およびステークホルダーの損失の最小化を図るため、平成 23 年 1 月 23 日、リスクマネジメントに関する基本方針を制定した。

リスクマネジメントに関する基本方針

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、都内中小企業のニーズに対応した技術支援を行い、もって都民生活の向上に寄与するために、都民の皆様からのご理解と高い信頼が得られるよう、高品質な経営の確立を目指します。

適正かつ効率的な経営を実現するために、都産技研は有効な内部管理体制を構築し、事業に関連する危機及び災害などの様々なリスクに対応するためのリスクマネジメントに関する体制を整備し、その充実、強化に努めていきます。

リスクとは、それが顕在化することによって、事業目的の達成に望ましくない影響を与える可能性、または可能性のある要因と定義します。

都産技研のリスクマネジメントは、以下の事項を達成目標として活動します。

1. 役職員一人ひとりが、高い業務品質の維持・改善を通じて、リスクの顕在化防止に努めます。（品質）
2. リスクを特定、評価し、適切に対策を行うことでリスクの顕在化を未然に防ぎます。（防止）
3. リスクが顕在化した場合は、責任ある行動により、被害の最小化及び速やかな回復を図ります。（回復）
4. リスクマネジメントを通じて、リスク対応能力の継続的向上を図ります。（向上）
5. 都産技研に関係する全ての人や組織の安全及び健康に配慮した業務を行います。（安全）
6. 高い倫理感を持って業務を遂行し、法令、規程類及びそれらの精神を理解し遵守します。（遵守）

理事長はリスクマネジメント活動の責任者として、これを統括します。

都産技研では、以上の方針及びリスクマネジメントに関係する諸規程に基づき、リスクマネジメントを確実に実行することで、都内中小企業への技術支援に貢献してまいります。

8 職員名簿

理事長		片岡 正俊	技術経営支援部		
理事		原田 晃	部長	片桐 正博	
理事		鈴木 雅洋			
監事		宮内 忍	交流連携室		
経営企画部			室長	山本 哲雄	
	部長	近藤 幹也	上席研究員	山田 一徳	
	主席研究員（兼務）	瓦田 研介	産業交流係		
経営企画室			係長	中村 広隆	
	室長（兼務）	瓦田 研介	副主任研究員	中川 朋恵	
	上席研究員	内田 聡	副主任研究員（ワト）（兼務）	榎本 博司	
	上席研究員（ワト）	山本 克美	研究員（ワト）	沼田 邦雄	
	主任研究員	清水 綾	研究員（ワト）（兼務）	小林 敏信	
	副主任	市川 啓子	技術管理係		
	主事	松原 由菜	係長（兼務）	山田 一徳	
			副主任研究員（ワト）	島田 勝広	
			副主任研究員（ワト）	斎藤 正明	
経営情報室			品質保証推進センター		
	室長（兼務）	近藤 幹也	センター長（兼務）	山本 哲雄	
情報システム係			主任研究員（兼務）	水野 裕正	
	係長	高崎 英承	主任研究員（兼務）	沼尻 治彦	
	副主任研究員	高松 聡裕	主任研究員（兼務）	櫻庭 健一郎	
	副主任研究員	北原 枢	主任研究員（兼務）	中西 正一	
	副主任研究員（兼務）	阿部 真也	主任研究員（兼務）	佐々木 正史	
広報室			副主任研究員（兼務）	中村 弘史	
	室長	山口 美佐子	副主任研究員（兼務）	小船 諭史	
広報係			副主任研究員（兼務）	澁谷 孝幸	
	係長	渡部 友太郎	研究員（兼務）	倉持 幸佑	
	副主任研究員	平井 和彦	研究員（兼務）	新垣 翔	
	主事	淡路 和江	研究員（兼務）	秋葉 拓也	
			研究員（ワト）（兼務）	森口 正夫	
			技術経営支援室		
			室長	中村 優	
			相談支援係		
			係長	水野 裕正	
			副主任研究員（ワト）	碓井 正雄	
			研究員（ワト）	本阿彌 忠彦	
			研究員（ワト）	北原 浩	
			研究員（ワト）	鈴木 隆司	
			技術振興係		
			副主任研究員	山田 巧	
			研究員（ワト）	小林 敏信	
			国際化推進室		
			室長（兼務）	片桐 正博	
			副主任研究員（ワト）	榎本 博司	
			輸出製品技術支援センター		
			センター長	五十嵐 美穂子	
			副主任研究員	井上 潤	
			主事	秦 由梨加	
			研究員（ワト）	生島 博	
			バンコク支所		
			支所長	西野 義典	
			主任研究員（ワト）	内山 正吉	
			主任研究員（ワト）	須間 賢二	

ロボット事業推進部			電子半導体技術グループ		
部長	瓦田	研介	グループ長	小林	丈士
ロボット企画グループ			上席研究員	重松	宏志
グループ長	竹内	由美子	上席研究員(ワト)	伊藤	清
副主任研究員(兼務)	北原	枢	主任研究員	加澤	エリト
副主任研究員(ワト)(兼務)	久慈	俊夫	副主任研究員	黒澤	大樹
副主任(兼務)	佐藤	岳	副主任研究員	時田	幸一
主事	高橋	千秋	副主任研究員	西澤	裕輔
主事	入川	涼	副主任研究員	藤原	康平
ロボット開発技術員	佐藤	宏	副主任研究員	小宮	一毅
ロボット開発技術員	大泉	悟	副主任研究員	新井	宏章
ロボット開発セクター			副主任研究員	福司	達郎
セクター長	坂下	和弘	副主任研究員	志水	匠
主任研究員	武田	有志	副主任研究員	山岡	英彦
副主任研究員	佐藤	研	副主任研究員(ワト)	瀧田	和宣
副主任研究員	佐々木	智典	研究員	太田	優一
副主任研究員	益田	俊樹	研究員	須藤	翼
副主任研究員	小林	祐介	研究員	永田	晃基
副主任研究員	森田	裕介	研究員(ワト)	梶ヶ谷	正美
研究員	村上	真之	機械技術グループ		
研究員	吉村	僚太	グループ長(兼務)	三尾	淳
研究員	中村	佳雅	上席研究員(ワト)	佐藤	健二
研究員(ワト)	倉持	昌尚	主任研究員	青沼	昌幸
ロボット開発技術員	松本	正雄	主任研究員	福田	良司
開発本部			主任研究員	横山	幸雄
本部長(兼務)	原田	晃	副主任研究員	中村	勲
開発企画室			副主任研究員	植松	卓彦
室長	田中	実	副主任研究員	小西	毅
上席研究員(ワト)	朝倉	守	副主任研究員(兼務)	小金井	誠司
担当係長	城	照彰	副主任研究員	岩岡	拓
開発企画係			副主任研究員	藤巻	研吾
係長	柴田	忠	副主任研究員	西村	信司
副主任研究員	近藤	崇	副主任研究員	中村	健太
研究員	長尾	梨紗	研究員	奥出	裕亮
主事	渡辺	彩	研究員	大久保	智
開発本部開発第一部			研究員	千葉	浩行
部長	三尾	淳	光音技術グループ		
情報技術グループ			グループ長	岩永	敏秀
グループ長	入月	康晴	主任研究員	中島	敏晴
主任研究員	大原	衛	主任研究員	中田	修
主任研究員	金田	泰昌	主任研究員	服部	遊
副主任研究員	山口	隆志	主任研究員	海老澤	瑞枝
副主任研究員	岡部	忠	副主任研究員	渡辺	茂幸
副主任研究員	阿部	真也	副主任研究員	西沢	啓子
副主任研究員	中川	善継	副主任研究員	横田	浩之
副主任研究員	富山	真一	副主任研究員	澁谷	孝幸
研究員	村上	知里	副主任研究員	磯田	和貴
研究員	三木	大輔	副主任研究員(ワト)	神田	浩一
			研究員	宮入	徹
			研究員	秋葉	拓也

開発本部開発第二部
部長

木下 稔夫

表面技術グループ

グループ長(兼務) 木下 稔夫
主任研究員 長坂 浩志
主任研究員 寺西 義一
主任研究員 竹村 昌太
主任研究員 峯 英一
副主任研究員 浦崎 香織里
副主任研究員 村井 まどか
副主任研究員(ワト) 土井 正
研究員 桑原 聡士

材料技術グループ

グループ長 清水 研一
上席研究員(ワト) 篠田 勉
主任研究員 柳 捷凡
主任研究員 安田 健
副主任研究員 藤巻 康人
副主任研究員 木下 健司
副主任研究員 染川 正一
副主任研究員 菊池 有加
副主任研究員 許 琛
副主任研究員 渡辺 洋人
副主任研究員 山中 寿行
副主任研究員 林 孝星
研究員 渡辺 世利子
研究員 小汲 佳祐
研究員 西田 葵
研究員 佐野 森

環境技術グループ

グループ長 飯田 孝彦
主任研究員 陸井 史子
主任研究員 中澤 亮二
副主任研究員 増田 優子
副主任研究員 小沼 ルミ
副主任研究員 田熊 保彦
副主任研究員 濱野 智子
副主任研究員 安藤 恵理
副主任研究員 吉野 徹
副主任研究員 田中 真美
副主任研究員(ワト) 上部 隆男
副主任研究員(ワト) 小坂 幸夫
研究員 小林 宏輝
研究員 井上 研一郎
研究員 森久保 諭
研究員 宮宅 ゆみ子

バイオ応用技術グループ

グループ長 櫻井 昇
主任研究員 中川 清子
主任研究員 紋川 亮
主任研究員 柚木 俊二
副主任研究員 河原 大吾
副主任研究員 藤井 恭子
副主任研究員 大藪 淑美
副主任研究員 月精 智子
副主任研究員 永川 栄泰
副主任研究員 畑山 博哉
副主任研究員(ワト) 関口 正之
研究員 瀧本 悠貴
研究員 片岡 憲昭
研究員 成田 武文
研究員(ワト) 外立 貴宏
研究員(ワト)(兼務) 武藤 利雄
研究員(ワト) 金城 康人

事業化支援本部

本部長(兼務) 鈴木 雅洋

事業化支援本部技術開発支援部
部長

伊東 洋一

高度分析開発セクター

セクター長 上野 博志
主任研究員 森河 和雄
主任研究員 林 英男
主任研究員 川口 雅弘
主任研究員 渡邊 禎之
主任研究員 中西 正一
副主任研究員 中村 弘史
研究員 古杉 美幸
研究員 小川 大輔
研究員(ワト) 三浦 由佳

システムデザインセクター

セクター長 薬師寺 千尋
主任研究員(兼務) 横山 幸雄
副主任研究員 小金井 誠司
副主任研究員 山内 友貴
副主任研究員 上野 明也
研究員 角坂 麗子
研究員 小林 隆一
研究員 橋本 みゆき
研究員(ワト) 中田 恵子
研究員(ワト) 小池 真生

実証試験セクター

セクター長 大久保 一宏
 上席研究員(ワト) 三上 和正
 上席研究員(ワト)(兼務) 山本 克美
 主任研究員 沼尻 治彦
 主任研究員 櫻庭 健一郎
 主任研究員 佐々木 正史
 副主任研究員 小船 諭史
 研究員 倉持 幸佑
 研究員 新垣 翔
 研究員 林 夢愛子
 研究員(ワト) 森口 正夫
 研究員(ワト) 大久保 富彦
 研究員(ワト) 石井 清一

事業化支援本部地域技術支援部

部長(兼務) 鈴木 雅洋
 主席研究員 大泉 幸乃
 主席研究員 樋口 明久

城東支所

管理係 支所長(兼務) 樋口 明久
 係長 谷口 文江
 副主任 金子 真由美
 技術支援係 係長(ワト) 秋山 正
 主任研究員 宇井 剛
 副主任研究員 長谷川 孝
 副主任研究員 樋口 智寛
 副主任研究員 松原 独歩
 副主任研究員 木暮 尊志
 副主任研究員 酒井 日出子
 副主任研究員 徳田 祐樹
 研究員(ワト) 殿谷 保雄
 研究員(ワト) 岡野 宏

墨田支所

管理係 支所長(兼務) 大泉 幸乃
 主事 高木 徹也

生活技術開発セクター

セクター長(兼務) 大泉 幸乃
 上席研究員(ワト) 岩崎 謙次
 主任研究員 木村 千明
 主任研究員 平山 明浩
 主任研究員 添田 心
 主任研究員 島田 茂伸
 主任研究員 大平 倫宏
 副主任研究員 加藤 貴司
 副主任研究員 佐々木 直里
 副主任研究員 菅谷 紘子
 副主任研究員 後濱 龍太
 副主任研究員(ワト) 嶋 明
 副主任研究員(ワト) 池田 善光
 研究員 大島 浩幸
 研究員(ワト) 古田 博一

城南支所

管理係 支所長 上本 道久
 係長 石上 知子
 主事 井上 崇
 技術支援係 係長 玉置 賢次
 主任研究員 梶山 哲人
 副主任研究員 豊島 克久
 副主任研究員 湯川 泰之
 副主任研究員 樋口 英一
 副主任研究員 平野 康之
 副主任研究員 竹澤 勉
 副主任研究員 山田 健太郎
 副主任研究員 石堂 均
 研究員 萩原 利哉
 研究員(ワト) 立花 直樹
 研究員(ワト) 河村 洋
 研究員(ワト) 藤木 栄
 研究員(ワト) 笹岡 逞二
 研究員(ワト) 二宮 淳行

多摩テクノプラザ

所長 澤近 洋史

総合支援課

管理係 課長(兼務) 澤近 洋史
 上席研究員 小山 元子
 係長 清水 一弥
 副主任 仁田 千鶴
 副主任 和田 雅明
 主事(ワト) 清水 美代子
 主事(ワト) 井上 寛也

連携支援係

係長 荒川 豊
 主任研究員 藤田 薫子
 副主任研究員(ワト) 小山 秀美
 研究員 山本 清志
 研究員 森 豊史
 主事(ワト) 小林 文雄

電子・機械グループ	グループ長	阿保 友二郎	総務部	部長	越智 かずさ
	上席研究員	上野 武司	総務課	課長	飯田 栄司
	主任研究員	大西 徹			
	副主任研究員	西川 康博	庶務係	係長	北原 勲
	副主任研究員	仲村 将司			
	副主任研究員	高橋 文緒	人事給与係	副主任	山本 大輔
	副主任研究員	佐野 宏靖		主事	梅津 晴香
	副主任研究員	大橋 弘幸		主事	内藤 正剛
	副主任研究員	鈴木 悠矢		係長	宮崎 律子
	副主任研究員	高橋 俊也			
	副主任研究員	岩田 雄介	財務会計課	副主任	時岡 裕美
	副主任研究員(ワイド)	久慈 俊夫		主事	原田 英彦
	研究員	佐々木 秀勝	経理係	課長(兼務)	越智 かずさ
	研究員	渡部 雄太			
	研究員	村上 祐一	出納係	係長	竹野 公
	研究員	福田 純子			
	研究員	秋山 美郷			
	研究員(ワイド)	大森 学			
	研究員(ワイド)	井原 房雄			
繊維・化学グループ	グループ長	谷口 昌平	環境安全管理室	室長	足立 孝
	上席研究員	水元 和成			
	主任研究員	小柴 多佳子			
	主任研究員	堀江 暁			
	主任研究員	榎本 一郎			
	主任研究員	小野澤 明良	施設係	係長	和田 美可
	主任研究員	飛澤 泰樹			
	主任研究員	窪寺 健吾	環境安全管理室	主事	菅原 信恵
	副主任研究員	杉森 博和			
	副主任研究員	神谷 嘉美	施設係	室長	足立 孝
	副主任研究員	岡田 明子			
	副主任研究員	唐木 由佑	施設係	上席研究員(兼務)	櫻井 昇
	副主任研究員	武田 浩司			
	副主任研究員	池田 紗織	施設係	担当係長	横田 裕史
	副主任研究員(ワイド)	中島 茂			
	研究員(ワイド)	仁平 宣弘			
	研究員(ワイド)	棚本 敏幸			
	研究員(ワイド)	小林 研吾			
	研究員(ワイド)	山本 悦子			
			施設係	係長	近藤 好信
				主任	小野寺 正崇
				主事	市川 崇
				研究員(ワイド)	武藤 利雄
			施設係	主事(ワイド)	高田 彬宏
				主事(ワイド)	鈴木 光由
			施設係	主事(ワイド)	北原 喜敏
				主事(ワイド)	

※(ワイド)はワイドキャリアスタッフの略

平成28年3月31日現在

※本年報から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。
本年報の内容は、ホームページでも PDF ファイルをご覧ください。
ホームページ： <http://www.iri-tokyo.jp/>

登録番号 28 (本) 2

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
平成 27 年度 年報
平成 28 年 6 月 24 日発行
ISSN1882-157X

発 行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
経営企画部 広報室
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10
TEL 03-5530-2521
FAX 03-5530-2536
URL <http://www.iri-tokyo.jp>

印刷所 日経印刷株式会社
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-15-5
TEL 03-6758-1001
FAX 03-3263-5814

平成27年度 年報
平成28年6月



古紙配合率70%
白色度70%の再生紙を使用しています

石油系溶剤を含まないインキを使用しています